

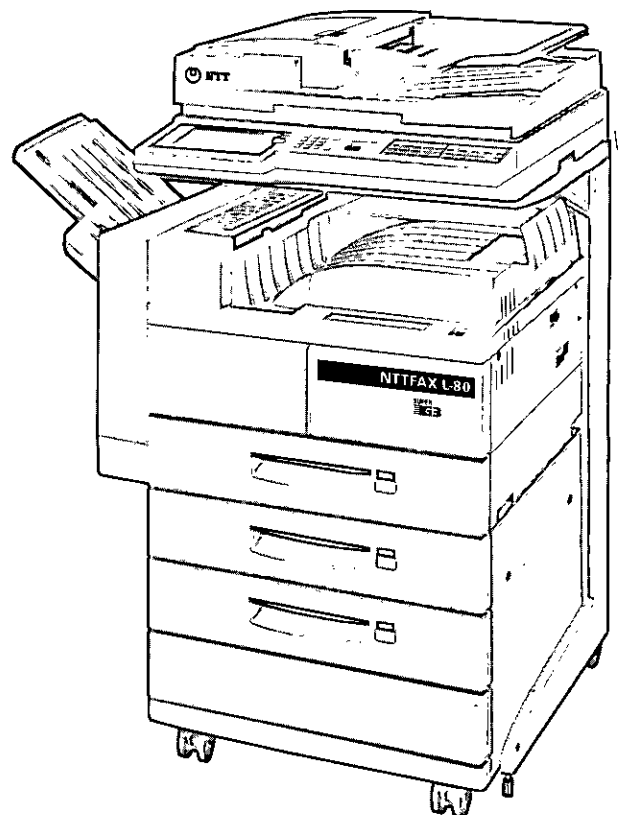
# NTTFAX L-80

**応用編** 取扱説明書

**IDナンバー・ディスプレイ対応**

このたびはNTTFAX L-80をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お使いになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認定品

## お客様へ

この取扱説明書で、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を基本編の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(●基本P2~11)に示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 画面の見かた

■操作手順中の画面では、選択できる範囲はすべてグレーで表わしていますので、実際の画面とは異なる場合があります。実際の画面では前に選択された機能ボタンが反転表示となっている場合でも、本書ではすべてグレーとして表示しています。

# 目次

※基本編は別冊になっています。

## 基本編

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・2  
特長・・・16

### 1 お使いになる前に



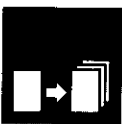
商品の構成	20
各部の名前とはたらき	21
タッチパネルディスプレイの使い方	26
タッチパネルディスプレイの各部の名前と はたらき	26
タッチパネルディスプレイの画面表示のしかた	28
日付/時刻を合わせるには	31
会社の名前やダイヤル種別、回線種別などを 登録するには	34
自局名を登録する	34
発信元名を登録する	36
G3 IDとダイヤル種別/回線種別を登録する	38
G4 IDを登録する	42
ISDN IDを登録する	44
文字を入力するには	48
英数字/記号を入力する	48
ひらがな/カタカナ/漢字を入力する	49
並行して行える動作(デュアルアクセス) について	50

### 2 原稿をセットする



原稿について	52
原稿をセットするには	54
原稿をDADF(自動両面原稿送り装置) にセットする	54
原稿をコピーガラスにセットする	54
次の原稿をセットする	56

### 3 コピーする



部数を指定してコピーするには	57
用紙を指定してコピーするには	59
セットされている用紙から選んでコピーする	59
定型外や厚手の用紙をセットしてコピーする	61
倍率を指定してコピーするには	64
固定倍率から選んでコピーする	64

任意の倍率でコピーする	67
コピー濃度を調整するには	69
任意の濃度でコピーする	69
原稿の種類に合わせてコピーするには	71
原稿の途中で読み取りの設定を変えるには	73
コピーの状態を確認するには	76
コピー中の状態を確認する	76
コピーを中止する	77
割り込んでコピーするには	78

### 4 コピーの便利な機能を使う

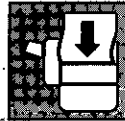


こんな使い方ができます	80
とじしろをつけるには(とじしろ)	83
縦長/横長に変形するには(たてよこ独立変倍)	86
たて倍率とよこ倍率を別々に設定する	87
原稿の長さでコピーの長さを設定する	89
たて倍率とよこ倍率を本装置に自動設定させる	92
原稿の影を消すには(わく消し)	95
画像を中央に移動するには(センター移動)	97
見開き原稿を左右に分割するには(ページ連写)	99
2枚/4枚の原稿を1枚の用紙にコピーするには (2イン1/4イン1)	101
両面コピーするには	105
片面原稿を両面コピーする(片面→両面)	106
両面原稿を両面コピーする(両面→両面)	109
両面原稿を片面コピーする(両面→片面)	112
はがきにコピーするには	114
1部ごとにページ順に並べて排出させるには (ソート)	116
異なるサイズ of 原稿を一度に読み取らせるには (ミックスサイズ原稿)	118
小冊子となるようにコピーするには (小冊子作成)	120
OHPフィルムにコピーするには (OHPコピー)	124
OHPフィルムにコピーしたり、OHPフィルム の間に白紙やコピーを差し込む	125
OHPフィルムの間に白紙を差し込み、 コピーもする(会議コピー)	127
ページごとに位置をずらして排出させるには (オフセット排出)	129
コピーのおもて面を上にして排出させるには (サイドトレイ排出)	130

# 目次

定型操作をボタンに登録してコピーを  
簡単にするには(ジョブメモリ) .....132  
定型操作をジョブメモリに登録する .....133  
ジョブメモリの登録を変更/削除する .....136  
ジョブメモリを使ってコピーする .....139  
機能の組み合わせ一覧表 .....140

## 5 ファクスを送る



ファクスを送るには(メモリ送信) .....142  
ファクスを送る(基本操作) .....142  
送信画質/原稿の種類/送信濃度を  
選択するには .....144  
送信画質を選択する .....144  
原稿の種類を選択する .....145  
送信濃度を選択する .....146  
通信モードを選択するには .....147  
相手先を指定するには .....148  
ダイヤル入力で指定する .....148  
短縮番号で指定する .....150  
ワンタッチボタンで指定する .....150  
宛先表を使って指定する .....151  
グループ番号で指定する .....153  
サブダイヤルを使って指定する .....153  
相手先を登録するには .....154  
短縮ダイヤルの基本項目を登録する .....154  
宛先グループを登録する .....158  
サブダイヤルを登録する .....160  
原稿の途中で読み取りの設定を変えるには .....162  
相手先の応答を確認してからファクスを送るには  
(手動送信) .....164  
通信を中止するには .....166  
通信状態を確認するには .....169  
通信中文書を確認する .....169  
通信/プリント待ち文書を、確認/プリント/  
優先する .....170  
通信結果を確認する .....173

## 6 ファクスを受ける



受信モードを選ぶには .....174  
受信モードを切り替える .....175  
ファクス/電話自動切り替え動作について .....176  
特定の相手の方以外からの受信を防ぐには  
(セレクト受信) .....177

電話でお話ししてから受信するには  
(手動受信) .....178

## 7 電話をかける/受ける



電話をかけるには(発信) .....179  
受話器を取りあげてかける  
(オフフックダイヤル) .....179  
受話器を置いたままかける  
(オンフックダイヤル) .....180  
電話がかかってきたときは(着信) .....181  
プッシュホンサービスを利用するには .....182

## 8 留守番電話機を接続して使う



留守番電話機を接続してファクスを受けるには  
(留守番電話モード) .....183  
留守番電話接続の設定をする .....184  
留守番電話モードを設定する .....186

## 9 こんなときには



お手入れするには .....187  
用紙を補給するには .....189  
用紙サイズを変更するには .....192  
ドラム/トナーカートリッジを交換するには .....194  
消耗品について .....197  
保守サービスのご案内 .....198  
リモートメンテナンスについて .....199  
表示できる漢字一覧 .....200  
原稿が詰まったら .....205  
用紙が詰まったら .....207  
停電になったときは .....211  
故障かな?と思ったら .....212  
状態表示コード/エラーメッセージ一覧 .....216  
自動診断を行う .....224  
索引 .....226

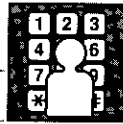
**G4** : G4通信ユニット (オプション) を増設しているときのみ使用できる機能です。

**G3** : G3モードでのみ使用できる機能です (G4モードでは使用できません)。

## 応用編

こんな使い方ができます .....8

### 1 通信相手を登録する



- サブダイヤルを登録するには .....14
- 短縮ダイヤルを登録するには .....16
  - 短縮ダイヤルの各項目を登録する .....17
  - 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除する .....32
- 宛先グループを登録するには .....35

### 2 便利な機能を使って通信する



- 同じ原稿を複数の相手先に送信するには
  - (順次同報送信) .....37
  - 複数の相手先を指定する .....38
- 急ぎの通信を割り込ませるには (優先送信) .....39
- 時刻を指定して送信するには (時刻指定) .....40
- 中継機を経由して送信するには
  - (中継同報送信) **G3** .....42
  - 中継同報送信をする .....44
  - 中継機として使用できる/できないようにする .....45
- 範囲や倍率を指定して送信するには
  - (読み取り指定) .....47
- 複数の原稿を1枚にして送信するには
  - (合成送信) .....50
- 表紙を付けて送信するには (送信シート) .....52
  - コメントを登録する .....53
  - 送信シートを設定して送信する .....55
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送信するには (ミックスサイズ原稿) .....57
- 両面原稿を送信するには (両面原稿) .....58
- 見開き原稿を左右に分割して送信するには
  - (ページ連写) .....61
- 部数を指定して送信/受信するには
  - (送信先部数) **G3** .....63
  - 送信先部数を指定して送信する .....63
  - 送信先部数受信を設定する .....65
- 受信側の操作で通信を行うには
  - (ポーリング通信) **G3** .....67
  - 暗証番号を登録/変更する .....68

- 掲示板/ポーリング予約をセットする .....70
- ポーリング受信をする .....72
- 親展で送信/受信するには (親展通信) **G3** .....74
  - 親展ボックスを開設する .....75
  - 親展で送信する .....78
  - 親展受信文書をプリントする .....80
- 原稿を暗号化してファクスを送受信するには
  - (サイファ通信) **G3** .....82
  - サイファキー登録の暗証番号を登録する .....84
  - サイファキーを登録/変更する .....86
  - サイファ送信をする .....89
- 外線と内線を切り替えて送信するには
  - (外線/内線切り替え) .....91
- 定型操作をボタンに登録して送受信を簡単にするには (ジョブメモリ) .....92
  - ジョブメモリを登録する .....93
  - ジョブメモリを削除する .....96
  - ジョブメモリを実行する .....96
- FAX情報サービスを利用するには .....97
- 海外通信を行うには .....98
- ファクス番号と電話番号を使い分けるには
  - (ダイヤルイン) .....100
  - ダイヤルイン接続を設定する .....102
- ナンバー・ディスプレイを利用するには .....105
  - ナンバー・ディスプレイ対応機能を設定する .....110
  - 相手の電話番号で応答のしかたを変える
    - (発信番号識別着信) .....117
  - ファクス番号と電話番号を使い分ける
    - (モデムダイヤルイン) .....119
  - かけてきた方の電話番号を表示させる
    - (着信記録) .....122
- Fネット (ファクシミリ通信網) を利用するには
  - (Fネットアクセス) .....125
  - Fネットサービスの主な内容 .....125
  - ファクシミリ案内サービスを利用する .....126
  - Fネットを利用して送信する .....127

# 目次

## 3 ビジネスホンを通知する



通信結果を内線電話機に通知するには

- (送受信通知) .....128
  - 送信結果を通知させるには .....129
  - 受信結果を通知させるには .....130
  - 送信結果通知を設定する .....131
  - 通知先を指定して送信する .....133
  - 通知先を指定して掲示板/  
ポーリング予約をセットする .....135
  - 受信結果通知を設定する .....136
  - 通知先を指定してポーリング受信する .....138
- ファクスの異常を内線電話機に通知するには
- (異常通知) .....140
  - 異常通知を設定する .....141

## 4 各種レポート/リストを出力する



- レポート/リストを出力するには .....143
  - レポート/リストの種類 .....143
  - レポート/リストを手動で出力する .....144
  - モニターレポートの出力を設定する .....147
  - レポートの自動出力を設定する .....148
- 各種レポート/リストの見かた .....152
- 通信管理レポートの見かた .....152
  - モニターレポート/未送信レポートの見かた .....154
  - 親展受信レポートの見かた .....157
  - 同報/集信レポートの見かた .....158
  - 中継結果レポートの見かた .....160
  - 機能設定リストの見かた .....162
  - 蓄積文書リストの見かた .....166
  - 登録ダイヤルリストの見かた .....168
  - サイファキーリストの見かた .....171
  - パワーオフレポートの見かた .....172

## 5 いろいろな機能を設定する



- コピー機能の設定を変えてより使いやすく  
するには(仕様設定) .....174
  - コピー機能を設定する .....175
- コピー画面の設定を変えてより使いやすく  
するには(仕様設定) .....201

- ディスプレイの初期画面を変更する .....201
  - コピーの初期画面を変更する .....202
  - お好みコピー画面を変更する .....204
  - その他のコピー画面設定を変更する .....206
- ファクス機能の設定を変えてより使いやすく  
するには(仕様設定) .....212
- ファクス機能を設定する .....214
- ファクス画面の設定を変えてより使いやすく  
するには(仕様設定) .....260
- ファクスの初期画面を変更する .....260
  - お好みファクス画面を変更する .....262
  - その他のファクス画面設定を変更する .....265
- 音の仕様設定を変えるには(仕様設定) .....268
- その他の仕様設定を変えるには(仕様設定) .....282
- 登録/設定操作一覧 .....294
- 仕様設定 .....294
  - 登録/変更 .....322

## 6 ご参考に



- 各種オプションについて .....334
  - 済スタンプを利用する .....334
  - G4通信ユニットを利用する .....337
  - 増設G3ポートを利用する .....337
- 機器を設置、接続するには .....338
- 電源、電話回線を接続する .....338
  - 電源を入れる/切る .....339
- 主な仕様 .....342
- 索引 .....343

## 応用編

本装置の取扱説明書は、基本編と応用編から構成されています。基本編は、基本的な使用方法やコピーの応用機能などについて、応用編ではより便利なファクスの機能や、本装置の仕様設定の方法などについて説明しています。

### こんな使い方ができます

応用編で取り上げる各機能を、利用目的ごとに分けて紹介しています。

#### 1 通信相手を登録する

通信操作を大幅に簡略化する短縮ダイヤルをはじめとする、通信相手の登録についてまとめています。

#### 2 便利な機能を使って通信する

ファクスのさまざまな機能について、その使い方や登録・設定方法について説明しています。

#### 3 ビジネスホンに通知する

本装置をビジネスホンと連動させる便利な使い方について説明しています。

#### 4 各種レポート／リストを出力する

通信に関するレポートや、登録内容を確認するためのリストについて説明しています。

#### 5 いろいろな機能を設定する

オフィスでの使い勝手に合わせて、コピー／ファクスの標準設定を調整する方法などについて説明しています。

#### 6 ご参考に

各種のオプション機能、主な仕様などについて説明しています。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

### 操作説明のページの構成

**章タイトル**  
この章のタイトルです。

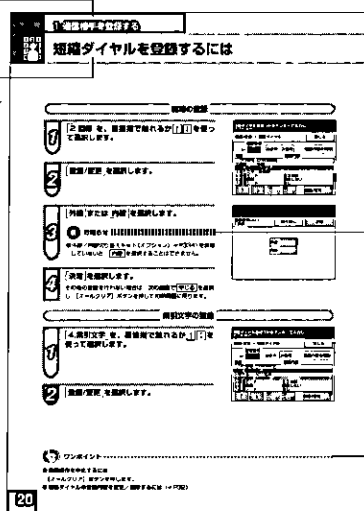
**タイトル**  
目的ごとにタイトルが付けられています。

**操作手順説明**  
順番に操作を説明しています。

#### マークの見方

**G4** : G4通信ユニット(オプション)を増設しているときのみ利用できる機能です。

**G3** : G3モードでのみ利用できる機能です(G4モードでは利用できません)。



#### お願いまたはお知らせ

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。


#### お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示します。

#### ワンポイント

本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

※文中で操作パネルのボタンを表記する場合、ボタンイラストまたは [ ] で囲んで表記します。

タッチパネルディスプレイの機能ボタンを表記する場合、 で囲んで表記します。

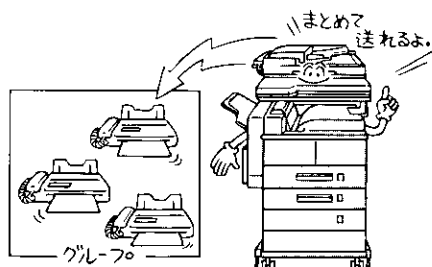
# こんな使い方ができます

## 宛先指定を簡単にする

### ■宛先グループ

同報送信する相手先をグループ登録しておくことができます。(●P35、基本P158)

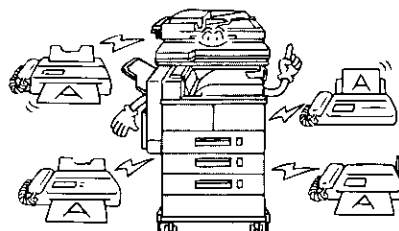
送信の相手先を、目的ごとにグループ化して登録しておくとう便利です。



### ■順次同報送信

同じ原稿なら1回の送信操作で最大349件の相手先に送信できます。(●P37)

相手先ごとに送信操作を繰り返す必要はありません。



### ■短縮ダイヤル

よく原稿を送る相手先を登録しておくとう、簡単な操作で送信できます。(●P16、基本P154)

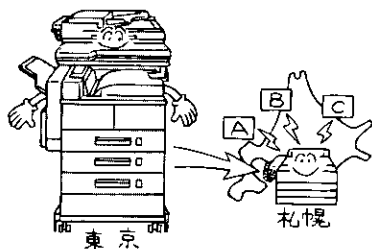
短縮ダイヤルに登録すると、タッチパネルディスプレイに表示される宛先表で検索することもできます。

## 通信コストを下げる

### ■中継同報送信

遠方にある同じ地域内の複数の相手先に同報送信するとき、相手先の近くにあるファクスを中継して送信させることができます。(●P42)

いったん中継機に送信して中継機から各相手先に送信されるので、直接それぞれの相手先に送信するよりも通信費が節約できます。



### ■時刻指定

深夜などの料金の安い時間帯をタイムで指定して自動送信できます。(●P40)

大量の原稿を送信する場合などに便利です。



### ■合成送信

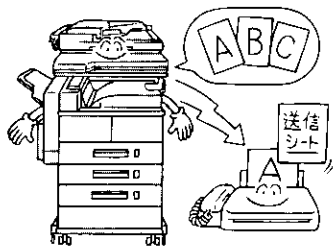
複数枚の原稿を1枚に合成して送信させることができます。(●P50)

原稿の送信枚数が減り、通信費が節約できます。

## 通信時の手間を省く

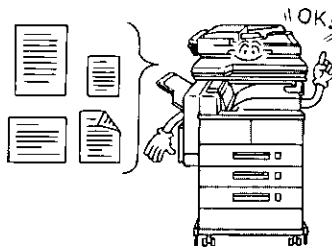
### ■送信シート

原稿の先頭ページに、送信する宛先名や、コメントなどを入れた表紙が付けられます。(●P52)  
送信票などを用意する必要がありません。



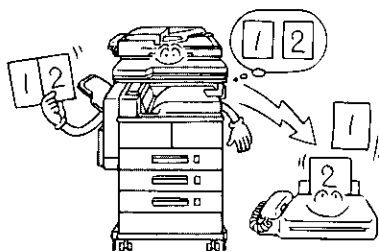
### ■ミックスサイズ原稿／両面原稿

サイズの異なる原稿でも、一度に読み取れます。(●P57) また、両面原稿でも、自動的に読み取って送信することができます。(●P58)  
原稿を何度もセットし直す必要がありません。



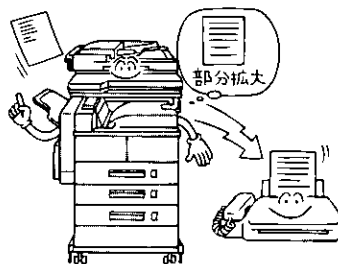
### ■合成送信／ページ連写

複数のページを1枚にして送信することができます。(●P50) また、見開きページを左右に分割して送信することができます。(●P61)  
送信側で原稿に手を加えることなく、受信側でのプリントのしかたが調整できます。



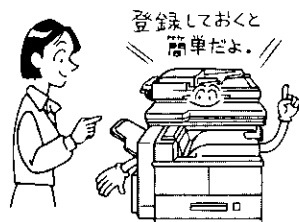
### ■読み取り指定

余分な部分を削除した原稿や、必要な部分のみを拡大した原稿を送信することができます。(●P47)  
指定したサイズや倍率で原稿を読み取らせて送信します。送信する前に拡大コピーしたり原稿を折り曲げたりする必要がありません。



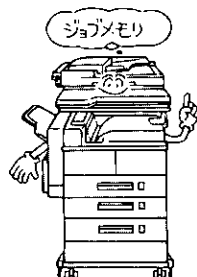
### ■短縮ダイヤル

いつも同じ機能を設定して通信を行う相手先なら、機能の設定も短縮ダイヤルに登録しておけます。(●P16、基本P154)  
短縮ダイヤルで通信すれば、各種の機能を毎回設定する必要がありません。



### ■ジョブメモリ

ボタンを1つ押すだけで、通信のための各種設定操作が次々に実行されます。(●P92、基本P132)  
一連の操作をあらかじめジョブメモリに登録しておきます。

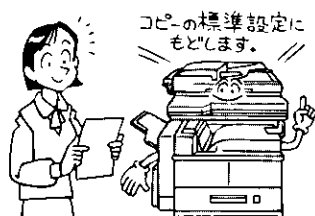


# こんな使い方ができます

## 設定の手間を省く

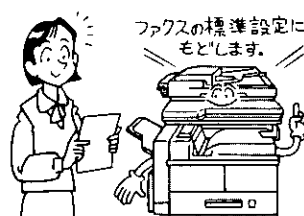
### ■コピー仕様設定

コピー濃度やソートの指定など各種機能の標準設定を使い勝手に合わせて変えられます。(●P174)  
オフィスでの利用状況に合った設定に調整することによって、いつでもスムーズにコピー操作が行えます。



### ■ファクス仕様設定

送信画質や通信モードなど各種機能の標準設定を使い勝手に合わせて変えられます。(●P212)  
オフィスでの利用状況に合った設定に調整することによって、通信ごとに行っていた煩雑な設定の手間が省けます。

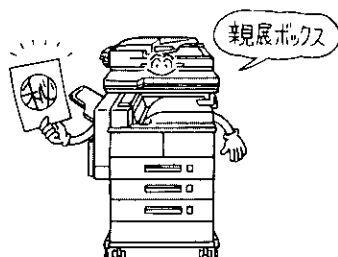


## 機密性の高い通信をする

### ■親展通信

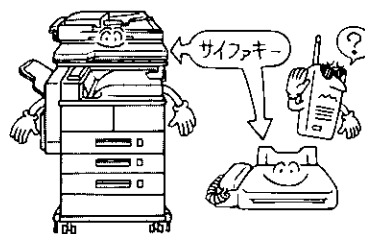
メモリ内に受信箱（親展ボックス）を作り、暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできないようにします。(●P74)

特定の人以外に見られたくない文書は、あらかじめ開設した親展ボックス宛に送信してもらえば、暗証番号を知っている人しか受信文書を取り出せません。



### ■サイファ通信

文書を暗号化して送受信できます。(●P82)  
送信画像を復元するには16桁のサイファキーが必要です。万一盗聴されても、画像を復元できません。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

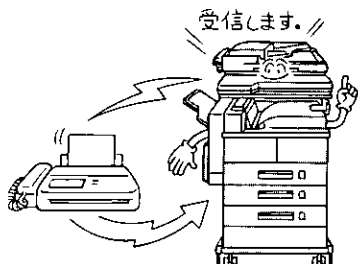
6 ご参考に

## 情報の提供/収集をする

### ■ポーリング通信

送信側がセットした原稿を受信側の操作で送信させることができます。(●P67)

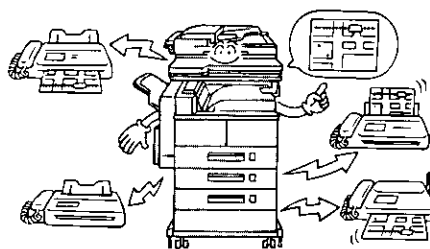
受信側の都合に合わせて原稿を取り出すことができます。通信料金は受信側の負担となります。



### ■掲示板

メモリに蓄積した原稿を複数の受信者が必要に応じて何度でも取り出せます。(●P70)

ポーリング送信の応用機能です。送信原稿は送信側の操作で削除しない限り、ポーリング受信によって何度でも取り出すことができます。

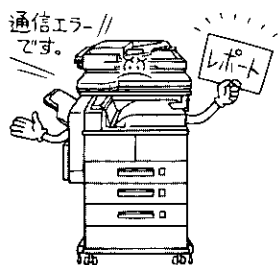


## 通信エラーに対処する

### ■各種の結果レポート

通信の結果をレポートに記録できます。(●P143)

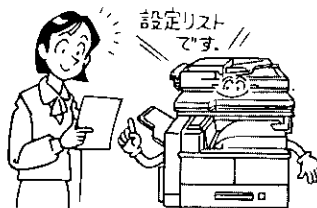
通信エラーがあったときだけ結果レポートを自動的に出力させたり、送受信の記録を定期的に出力させたりできます。



### ■各種の登録リスト

各種の登録内容をリスト出力させて確認できます。(●P143)

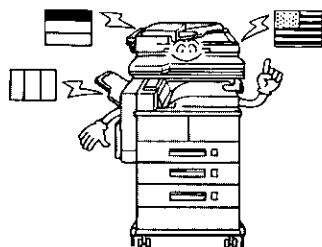
ダイヤル登録の内容や本装置の登録・設定内容のリストを出力させ、登録内容を確認したり記録として保存したりできます。



### ■海外通信

海外へ送信するときの通信エラーを防止できます。(●P98)

伝送速度を調整することにより、画質の乱れや回線の中断などのトラブルの少ない確実な通信が行えます。



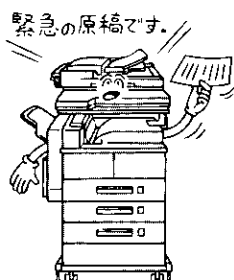
# こんな使い方ができます

## ビジネスの能率を上げる

### ■優先送信

すでに複数の送信が予約されているときでも、緊急の原稿を割り込ませて送信できます。(P39)

送信待ちの原稿がなくなるまで待つ必要はありません。



### ■外線／内線切り替え

外線と内線を切り替えて使用することができます。(P91)

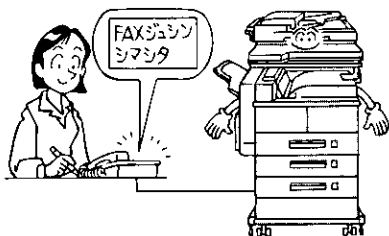
外線／内線切替キット (オプション) を装着すると、外線と内線を本装置の1つの回線に接続し必要に応じて切り替えて使用することができます。



### ■送受信通知

ファクスの送受信結果をデスクに座ったままで知ることができます。(P128)

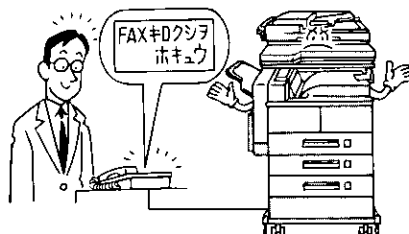
本装置をビジネスホンなどの内線電話機に接続することにより、送受信の結果を内線電話機に表示させることができます。



### ■異常通知

「メモリがいっぱい」「記録紙補給」などのファクスの状態をデスクに座ったままで知ることができます。(P140)

ファクス管理者の内線電話機に表示されるようにすれば、メンテナンスがすばやく行えます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

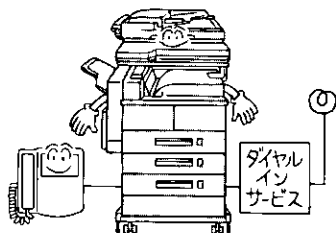
6 ご参考に

## NTTの様々なサービスを利用する

### ■ダイヤルイン

1本の電話回線をご利用の場合でも、電話とファクスのそれぞれに電話番号を割り当てることができます。(☎P100)

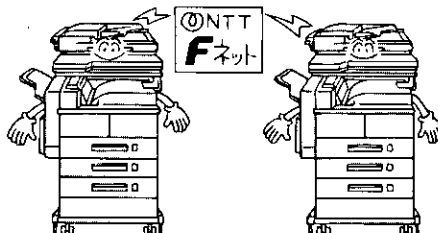
NTTのダイヤルインサービスを利用すれば、2つの電話番号を電話とファクスで使い分けることができます。



### ■Fネットアクセス

送信の手間、通信エラー、通信コストが削減できます。(☎P125)

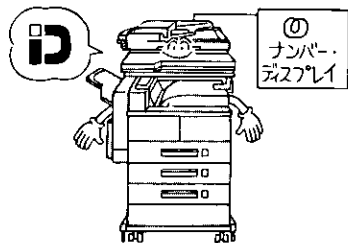
NTTのファクシミリ専用ネットサービス (Fネット) に加入すると、原稿の送受信をよりスムーズにする様々なサービスやいろいろな情報案内サービスなどを利用することができます。



### ■ナンバー・ディスプレイ

相手の方によって着信音や応答のしかたが変わります。(☎P105)

NTTのナンバー・ディスプレイ (発信電話番号表示サービス) を利用すると、特定の方からの着信時に通常と違う着信音を鳴らしたり、設定されている受信モードにかかわらず電話で呼び出す/ファクスで応答するなどの設定ができます。

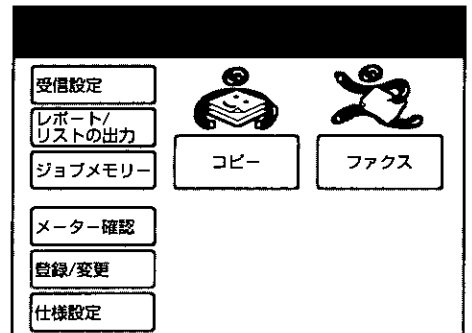




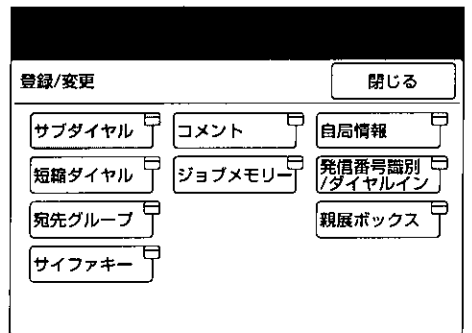
# サブダイヤルを登録するには

サブダイヤルは、電話番号を入力するときに補助的に使用する番号です。よく使う番号（最大16桁10件）をサブダイヤルとしてあらかじめ登録しておき、通信時に相手先を指定するときや短縮ダイヤルを登録するときなどに使用します。

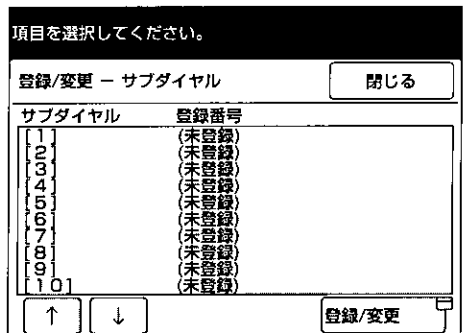
**1** **メニュー画面の「登録/変更」を選択します。**  
 メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**2** **「サブダイヤル」を選択します。**



**3** **登録したいサブダイヤルを、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**



**4** **「登録/変更」を選択します。**

**5** **番号（最大16桁）を入力します。**  
 画面は、手順3でサブダイヤル「1」を選択した場合の例です。  
 ここでは例として「001」を指定します。  
 文字を入力するには（←基本P48）  
 番号はダイヤルボタンで入力することもできます。



**6** **「決定」を選択します。**  
 手順5で入力した番号の登録を取り消したい場合には、**「取り消し」**を選択します。





## 短縮ダイヤルを登録するには

よく通信する相手先（最大300件）を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルのうち70件（短縮番号001～070）はワンタッチボタンに対応しているため、ボタンを1つ押すだけで宛先の指定や通信の指定が行えます。（●基本P154）また、短縮ダイヤルに登録されている相手先は「宛先表」で検索することができます。（●基本P151）

短縮ダイヤルの機能はファクスの電話番号を登録するだけでも使えますが、必要に応じて以下のような項目の登録も行えます。あらかじめ短縮ダイヤルに各種の機能を合わせて登録しておくことで、短縮ダイヤルを指定するだけで複雑な応用機能を利用した通信が行えます。

項目	内容	お買い求め時の設定	操作手順のページ
ファクス番号	最大39桁まで登録できます。	未登録	●P17
回線	外線／内線切替キット（オプション）（●P334）を装着している場合にのみ設定します。この短縮ダイヤルで通信するとき、外線と内線のどちらの回線を使用するかを指定します。	外線	●P20
宛先名	最大18文字まで登録できます。	未登録	●P17
索引文字	宛先表（●基本P151）で検索するとき使うキーワードとして、ひらがな、英数字のうちいずれか1文字を登録することができます。	未登録	●P20
通信モード	この短縮ダイヤルと通信するときの通信モードを、「G3自動」、「海外通信」、「G4自動」（G4通信ユニット（オプション）増設時）の中から選択します。	G3自動	●P21
送信画質	「標準」、「高画質」、「超高画質」、「設定しない」の中から選択します。	設定しない	●P22
送信シート	送信時に送信シート（●P52）を付けるかどうかを指定し、送信シート「あり」を選択する場合にはどのコメント（●P53）を付けるかを選択します。	なし	●P22
最大蓄積サイズ	相手先の受信紙サイズに合わせて「A3」、「B4」、「A4」の中から最大蓄積サイズを選択します。	A3	●P23
時刻指定	時刻指定（●P40）で通信する場合、通信の開始時刻を指定します。日付の指定はできません。	しない	●P24
サイファキー番号	文書を暗号化して通信するサイファ通信（●P82）を行う場合に使用する2桁の数字を登録します。短縮ダイヤルにサイファキー番号を登録すると、相手先への送信は自動的にサイファ送信になります。	未登録	●P25
ポーリング暗証番号	ポーリング通信（●P67）を行う場合に機密を守るための4桁の暗証番号を登録します。	未登録	●P26
結果通知先	本装置をビジネスホンと接続して使用する場合に通信結果（●P128）を表示させる内線電話機の内線番号（最大4桁）を登録します。	未登録	●P26
受信モード	ナンバー・ディスプレイに加入して発信番号識別着信（●P117）を利用する場合に設定します。この短縮ダイヤルの相手先から着信があったときの応答方法を、「設定しない」、「ファクス」、「電話（手動受信）」の中から選択します。	ファクス	●P27
発信番号着信音	ナンバー・ディスプレイに加入して発信電話番号着信音（●P114）を利用する場合に設定します。「なし」、「あり」のどちらかを選択して、この短縮ダイヤルの相手先から着信があったときに発信番号着信音を鳴らすかどうかを設定します。	なし	●P28
親展通信	この短縮ダイヤルの相手先に親展送信（●P74）するときに必要な、相手先の親展ボックス番号（0～99）を登録します。	しない	●P28
中継同報	この短縮ダイヤルの相手先を中継機とし、本装置が中継指示機となって中継同報（●P42）を行う場合に登録を行います。中継同報を行うときは中継同報を「指示する」を選択し、中継同報を指示するための暗証番号、同報宛先（中継機に登録されたグループ番号）を登録し、中継機でも原稿を出力するかどうか、および中継結果を中継機から返送させるかどうかの設定をします。	指示しない	●P30

すでに登録済みの短縮ダイヤルに登録項目を追加したり、登録内容を変更することもできます。また、すべての登録内容を削除することもできます。（●P32）

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

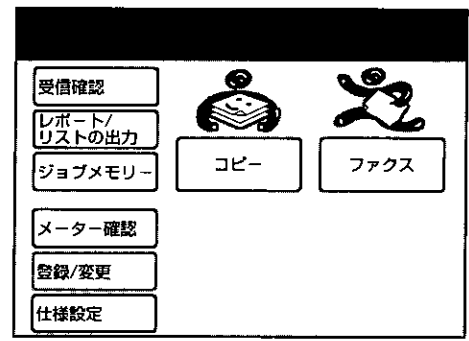
## 短縮ダイヤルの各項目を登録する

### ファクス番号と宛先名の登録

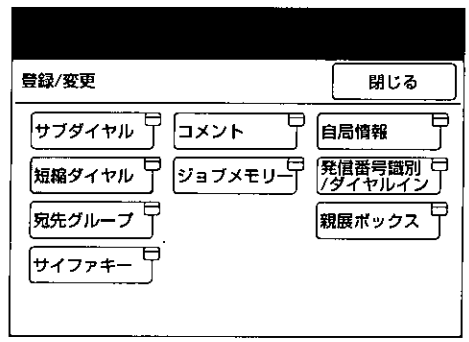
ファクス番号を登録するだけでも短縮ダイヤルを使うことができます。宛先名を登録すると、宛先表（基本P151）や短縮番号で相手先を指定したときなどにタッチパネルディスプレイに表示されたり、相手先に発信元記録として出力されたりします。

**1** **メニュー画面の「登録/変更」を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

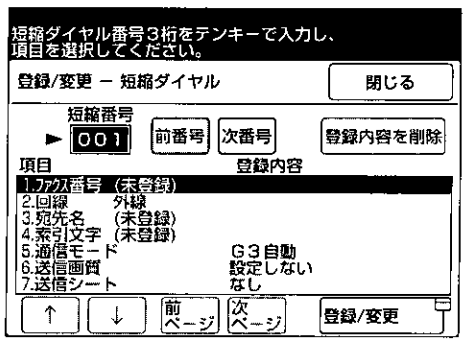


**2** **短縮ダイヤルを選択します。**



**3** **登録したい短縮番号 (001~300) を、ダイヤルボタンまたは「次番号」「前番号」を使って選択します。**

ここでは例として短縮番号「001」を選択します。入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。3桁入力した場合は、[クリア] ボタンを押すと3桁すべて消すことができます。

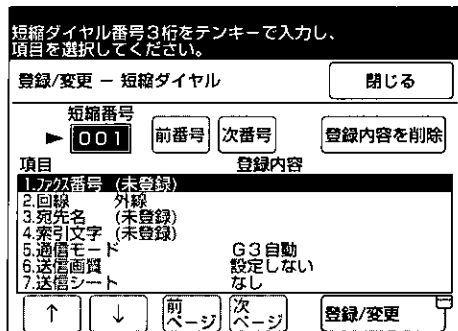


次ページに続きます。

# 短縮ダイヤルを登録するには

**4**

1.ファクス番号 が選択されていることを確認し、登録/変更 を選択します。



**5**

サブダイヤル/キーボード を選択します。  
キーボードが表示されます。



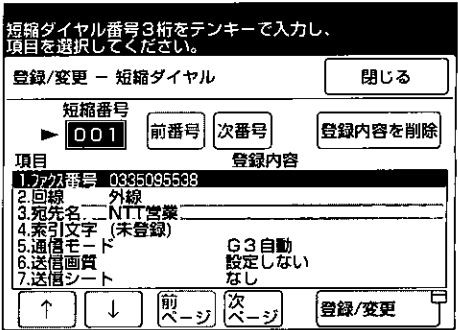
**6**

ファクス番号 (最大39桁) を入力します。  
文字を入力するには (●基本P48)  
特殊記号を入力するには (●基本P149)  
番号はダイヤルボタンで入力することもできます。



**7**

決定 を選択します。  
宛先名の登録を行わない場合は、次の画面で閉じる を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。



**8**

3.宛先名 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

**9**

登録/変更 を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

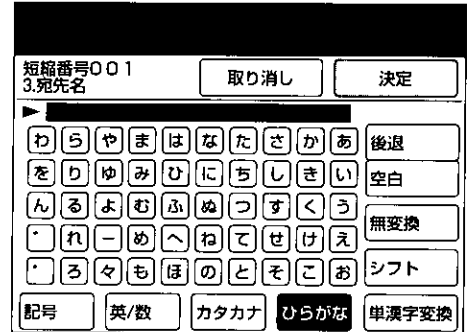
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

10

**相手先の名前（最大18文字）を入力します。**

文字を入力するには（➡基本P48）



11

**決定** を選択します。

短縮ダイヤルのその他の登録項目は必要に応じて登録します。その他の登録を行わない場合は、次の画面で「閉じる」を選択し、「オールクリア」ボタンを押して初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を確認するには  
登録ダイヤルリスト（➡P145、168）を出力して確認することができます。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには（➡P32）



**お知らせ** .....

- 誤送信や間違い電話を防ぐため、短縮ダイヤルを登録する際は番号違いのないようタッチパネルディスプレイを見ながら正確に行ってください。また、登録後は登録ダイヤルリスト（➡P145、168）で正しく登録されていることを確認してください。

**お願い**

- 電話番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

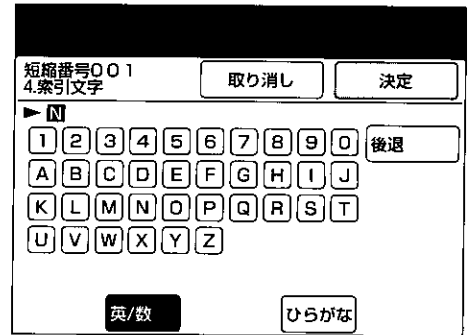
3

**索引文字（英数字またはひらがなで1文字）を入力します。**

ここでは例として「N」を入力します。  
文字を入力するには（●基本P48）



●索引文字に濁音を登録することはできません。



4

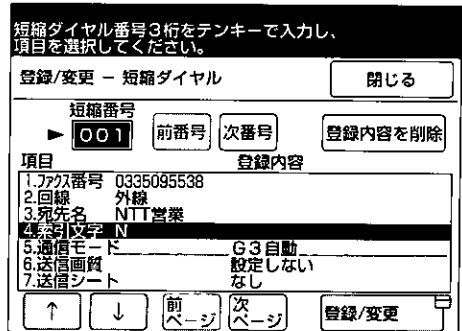
**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で**閉じる**を選択し、**[オールクリア]** ボタンを押して初期画面に戻ります。

**通信モード設定の登録**

1

**5.通信モード** を、直接指で触れるか を使って選択します。



2

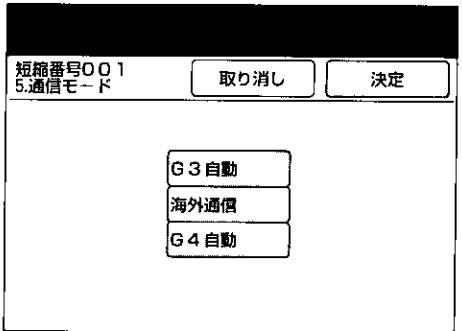
**登録/変更** を選択します。

3

**G3自動**、**海外通信**、**G4自動** のいずれかを選択して、通信モードを指定します。



●G4通信ユニット（オプション）（●P334）を増設していないと、**G4自動** は表示されません。



4

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で**閉じる**を選択し、**[オールクリア]** ボタンを押して初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには（●P32）

# 1. 通信相手を登録する



## 短縮ダイヤルを登録するには

### 送信画質設定の登録

1

**6.送信画質** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

2

**登録/変更** を選択します。

3

**設定しない**、**標準**、**高画質**、**超高画質** のいずれかを選択して、送信画質を指定します。



お知らせ

●送信画質に **設定しない** を選択すると  
送信操作を行うときにファクス画面（●基本P28）で選択されている送信画質で原稿が読み取られます。

4

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号 ▶ **001**    前番号    次番号    登録内容を削除

項目	登録内容
1.ファクス番号	0335095538
2.回線	外線
3.宛先名	NTT営業
4.索引文字	N
5.通信モード	G3自動
6.送信画質	設定しない
7.送信シート	なし

↑   ↓   前ページ   次ページ   登録/変更

短縮番号001  
6.送信画質

取り消し    決定

設定しない

標準

高画質

超高画質

### 送信シートの設定の登録

コメントの入れ方については「送信シートを設定して送信する」（●P55）を、コメント文の登録については「コメントを登録する」（●P53）を参照してください。

1

**7.送信シート** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

2

**登録/変更** を選択します。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号 ▶ **001**    前番号    次番号    登録内容を削除

項目	登録内容
1.ファクス番号	0335095538
2.回線	外線
3.宛先名	NTT営業
4.索引文字	N
5.通信モード	G3自動
6.送信画質	設定しない
7.送信シート	なし

↑   ↓   前ページ   次ページ   登録/変更



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには（●P32）

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

3

**なし** または **あり** を選択して、送信シートを付けるかどうかを指定します。

- なし** : 送信シートを付けない
  - あり** : 送信シートを付ける
- ここでは例として **あり** を選択します。  
**なし** を選択した場合は手順5に進みます。

4

コメントが必要な場合は、送信先や発信元の**コメント**を選択し、次の画面でコメント番号を選択してから**決定**を選択します。

コメントを登録するには (←P53)  
 コメントが必要ない場合は、**決定** を選択します。

5

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で**閉じる**を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

### 最大蓄積サイズ設定の登録

1

**次ページ** を選択します。

2

**8.最大蓄積サイズ** が選択されていることを確認し、**登録/変更** を選択します。

次ページに続きます。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (←P32)



# 短縮ダイヤルを登録するには

**3** **A4**、**B4**、**A3** のいずれかを選択して、**最大蓄積サイズ**を指定します。

**4** **決定** を選択します。  
 その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

## 時刻指定通信設定の登録

時刻指定のしかたについては「時刻を指定して通信するには」(P40) を参照してください。

**1** **9.時刻指定** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

**2** **登録/変更** を選択します。

**3** **しない** または **する** を選択して、**時刻指定をするかどうか**を指定します。  
 ここでは例として **する** を選択します。  
**しない** を選択した場合は手順5に進みます。

**4** **時刻を設定します。** (P40)

**5** **決定** を選択します。  
 その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (P32)

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## サイファキー番号の登録

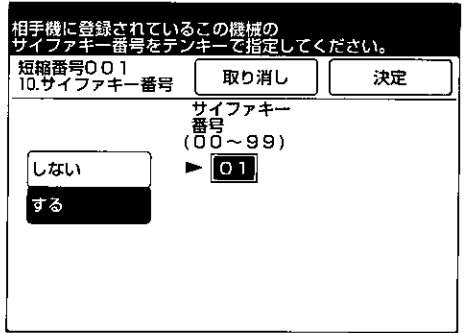
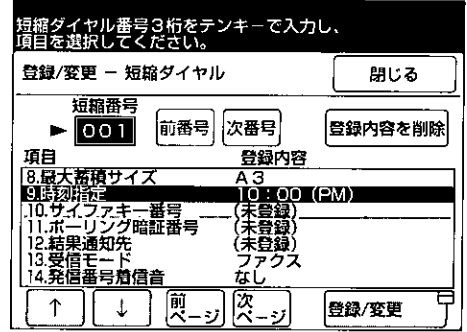
入力するサイファキー番号には、あらかじめサイファキーを登録しておいてください。(P86)

**1** **10.サイファキー番号** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

**2** **登録/変更** を選択します。

**3** **する** を選択し、**サイファキー番号 (2桁の数字)** をダイヤルボタンで入力します。  
ここでは例として「01」を入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

**4** **決定** を選択します。  
その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (P32)



# 短縮ダイヤルを登録するには

## ポーリング暗証番号の登録

相手先のファクスでも同じポーリング暗証番号を登録する必要があります。この短縮ダイヤルの相手先と、ポーリング暗証番号を確認してから登録してください。

1

**11.ポーリング暗証番号** を、直接指で触れるか を使って選択します。

2

**登録/変更** を選択します。

3

**ポーリング暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。**

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

4

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号 **001** 前番号 次番号 登録内容を削除

項目	登録内容
8.最大蓄積サイズ	A3
9.時刻指定	10:00 (PM)
10.サイファキー番号	1
11.ポーリング暗証番号	(未登録)
12.結果通知先	(未登録)
13.受信モード	ファクス
14.発信番号着信音	なし

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

送信側に設定されているポーリング暗証番号を指定して下さい。

短縮番号001 取り消し 決定

11.\*-リック暗証番号

(0~9999)

▶ \*\*\*\*

## 結果通知先の登録

送信結果通知や受信結果通知を **する** に設定している場合に有効な登録です。(●P131、136)

1

**12.結果通知先** を、直接指で触れるか を使って選択します。

2

**登録/変更** を選択します。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号 **001** 前番号 次番号 登録内容を削除

項目	登録内容
8.最大蓄積サイズ	A3
9.時刻指定	10:00 (PM)
10.サイファキー番号	1
11.ポーリング暗証番号	****
12.結果通知先	(未登録)
13.受信モード	ファクス
14.発信番号着信音	なし

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更



**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (●P32)

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 高精レボット/リストを出力する

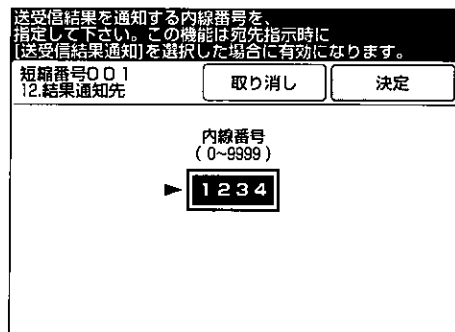
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

3

**送信結果の通知先の内線番号（最大4桁）をダイヤルボタンで入力します。**

ここでは例として「1234」と入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



4

**決定** を選択します。

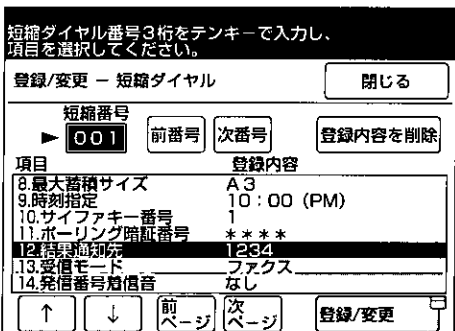
その他の登録を行わない場合は、次の画面で**閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

**受信モードの登録**

ナンバー・ディスプレイ (P105) に加入し、発信番号識別着信 (P117) を **する** に設定している場合に有効になる登録です。

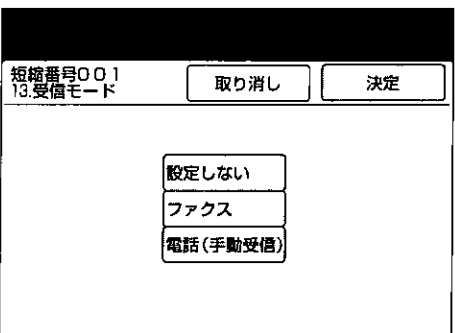
1

**13.受信モード** を、直接指で触れるか を使って選択します。



2

**登録/変更** を選択します。



3

**設定しない**、**ファクス**、**電話(手動受信)** のいずれかを選択して、受信モードを指定します。

相手先によって以下のように指定すると便利です。  
**設定しない** : 現在の受信モードに従うとき  
**ファクス** : ファクス通信しか行わない相手先のとき  
**電話(手動受信)** : 電話でかかってくる可能性がある相手先のとき

4

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で**閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (P32)



# 短縮ダイヤルを登録するには

## 発信番号着信音の登録

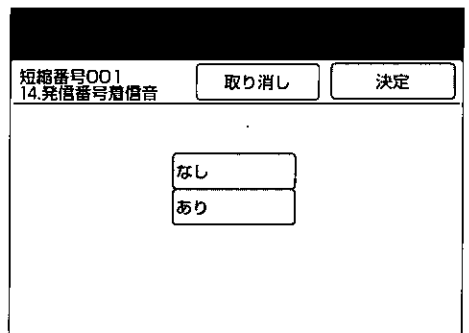
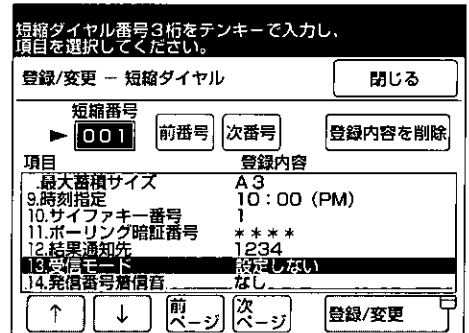
ナンバー・ディスプレイに加入し、発信電話番号着信音を「する」に設定している場合に有効な登録です。(P114)

1 **14.発信番号着信音** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

2 **登録/変更** を選択します。

3 **なし** または **あり** を選択して、番号着信音を鳴らすかどうかを指定します。  
**なし** : 鳴らさない  
**あり** : 鳴らす

4 **決定** を選択します。  
 その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

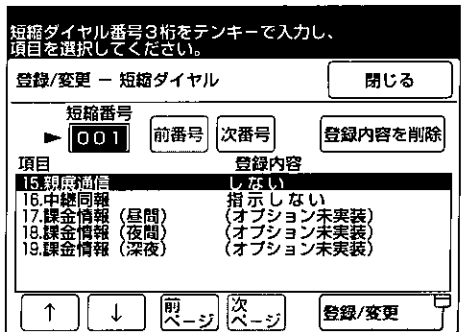


## 親展通信の登録

この短縮ダイヤルの相手先のファクスで登録している親展ボックスの番号を確認してから登録してください。

1 **次ページ** を選択します。

2 **15.親展通信** が選択されていることを確認し、**登録/変更** を選択します。



※現在、課金情報は設定できません。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (P32)

1  
通信相手  
を登録する2  
便利な機能  
を使用  
して通信する3  
ビジネスホ  
ンに通知する4  
音種レボ  
ット/リス  
トを出力する5  
いろいろな  
機能を設定する6  
ご参考に

3

**しない** または **する** を選択して、親展通信  
するかどうかを指定します。

ここでは例として **する** を選択します。  
**しない** を選択した場合は手順5に進みます。

4

**ボックス番号 (0~99) をダイヤルボタンで  
入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ  
消してから入力し直します。

5

**決定** を選択します。

その他の登録を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択  
し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

テンキーで入力してください。

短縮番号001  
15.親展通信

取り消し

決定

ボックス番号  
(0~99)

しない

する



ワンポイント .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (→P32)



お知らせ .....

- 親展通信を **する** に設定している場合は、中継同報の登録はできません。



# 短縮ダイヤルを登録するには

## 中継同報の登録

あらかじめ同報送信させる宛先グループのグループ番号を確認しておきます。

1

**16.中継同報** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

2

**登録/変更** を選択します。

3

**指示しない** または **指示する** を選択して、**中継同報を行うかどうか**を指定します。

ここでは例として **指示する** を選択します。  
**指示しない** を選択した場合は手順8に進みます。

4

**暗証番号 (4桁の数字)** をダイヤルボタンで入力します。

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

5

**決定/次選択** を選択し、宛先グループの入力ボックスに **▶** を移動させます。

6

**宛先グループ番号 (2桁の数字)** をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。  
中継機での文書の出力と中継結果の返送を指定する必要がない場合は手順8に進みます。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号

項目	登録内容
15. 親展・通信	(ない)
16. 中継同報	指示しない
17. 課金情報 (昼間)	(オプション未実装)
18. 課金情報 (夜間)	(オプション未実装)
19. 課金情報 (深夜)	(オプション未実装)

※現在、課金情報は設定できません。

暗証番号と宛先グループをテンキーで入力して下さい。

短縮番号001

16.中継同報

中継同報指示	暗証番号 (0000~9999)	宛先グループ (01~40)
<input type="button" value="指示しない"/>	<input type="text" value="****"/>	<input type="text"/>
<input checked="" type="button" value="指示する"/>		

暗証番号と宛先グループをテンキーで入力して下さい。

短縮番号001

16.中継同報

中継同報指示	暗証番号 (0000~9999)	宛先グループ (01~40)
<input type="button" value="指示しない"/>	<input type="text" value="****"/>	<input type="text"/>
<input checked="" type="button" value="指示する"/>		<input type="text"/>

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通話する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

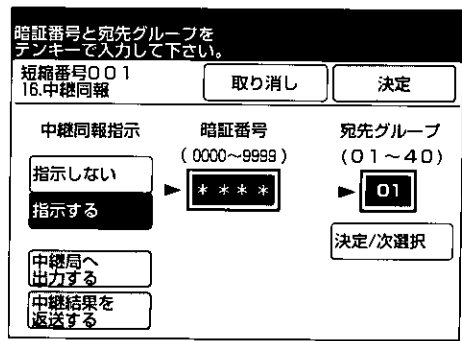
6 ご参考に

7 中継機でも文書を出力させる場合には、**中継局へ出力する** を、中継同報の結果通知を中継機から返送させる場合には、**中継結果を返送する** を選択します。

8 **決定** を選択します。

9 **閉じる** を選択します。

10 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除するには (←P32)

**お知らせ** .....

- 中継同報を **指示する** に設定している場合は、親展通信の登録はできません。

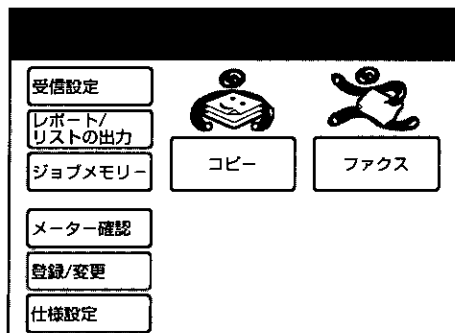
## 短縮ダイヤルを登録するには

## 短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除する

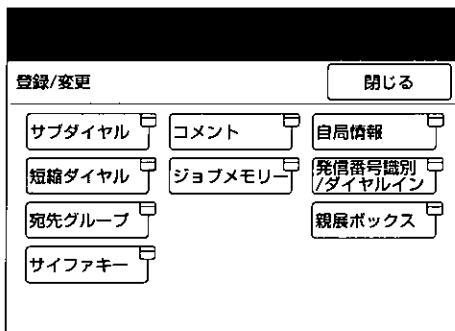
## 登録内容の変更

1 **メニュー画面の「登録/変更」を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

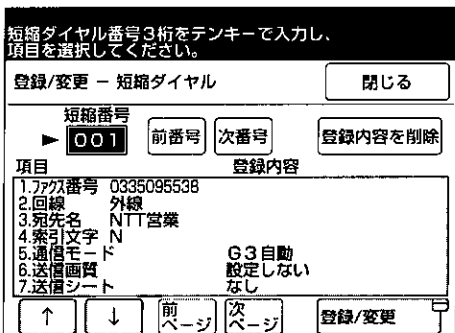


2 **短縮ダイヤル** を選択します。



3 **登録内容を変更したい短縮番号を、ダイヤルボタンで入力します。**

ここでは例として「001」を指定します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。3桁入力した場合は、[クリア] ボタンを押すと3桁すべて消すことができます。



4 **内容を変更したい項目を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**

5 **登録/変更** を選択します。

6 **表示された画面で登録内容を変更し、決定** を選択します。

変更を取り消したい場合には、[取り消し] を選択します。  
続けて登録内容を変更する場合は、手順4～6を繰り返します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通値する

3 ビジネスホンに通知する

4 登録したポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

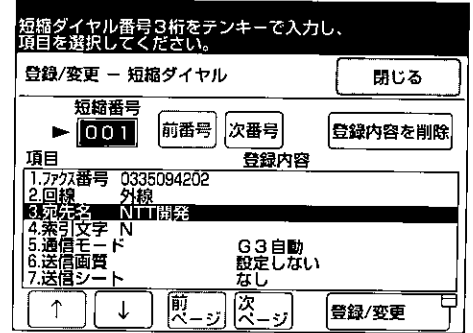
6 ご参考に

7

登録した値が表示されているのを確認して、**閉じる**を選択します。

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

## 短縮ダイヤルを登録するには

## 全登録内容の削除

1 「登録内容の変更」(P32)の手順1~2の操作をします。

2 登録内容を削除したい短縮番号を、ダイヤルボタンで入力します。

ここでは例として「001」を指定します。  
入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。3桁入力した場合は、[クリア]ボタンを押すと3桁すべて消すことができます。

3 登録内容を削除を選択します。

4 はい(削除する)を選択します。

削除を取り消したい場合には、いいえ(削除しない)を選択します。

5 閉じるを選択します。

6 [オールクリア]ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

登録/変更 - 短縮ダイヤル 閉じる

短縮番号 前番号 次番号 登録内容を削除

▶ 001

項目	登録内容
1. アナログ番号	0335095538
2. 回線	外線
3. 宛先名	NTT営業
4. 索引文字	N
5. 通信モード	G3自動
6. 送信画質	設定しない
7. 送信シート	なし

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し、項目を選択してください。

短縮ダイヤル001の登録内容を削除します。  
よろしいですか?

はい(削除する)    いいえ(削除しない)

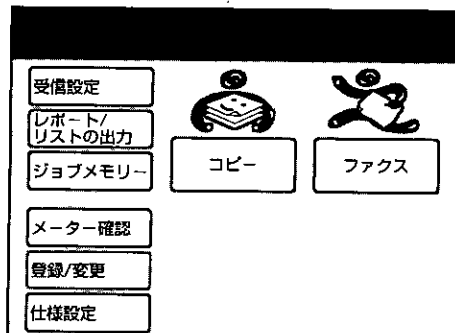
# 1. 通信相手を登録する

## 宛先グループを登録するには

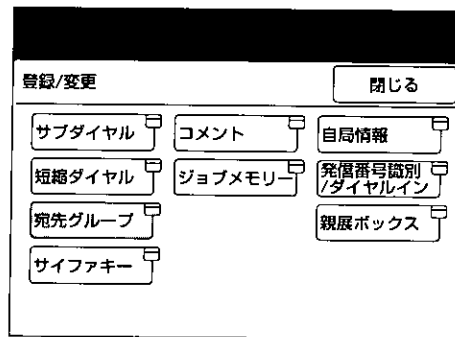
あらかじめ短縮ダイヤルに登録してある相手先（最大100件）を1つにまとめ、宛先グループとして登録することができます。短縮ダイヤルの指定にはワイルドカード（\* ボタン）も使用できます。最大40件の宛先グループが登録できます。

### 1 メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

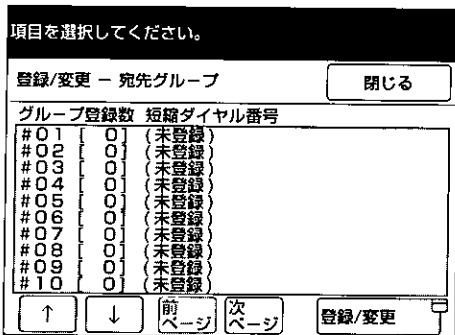
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



### 2 宛先グループを選択します。



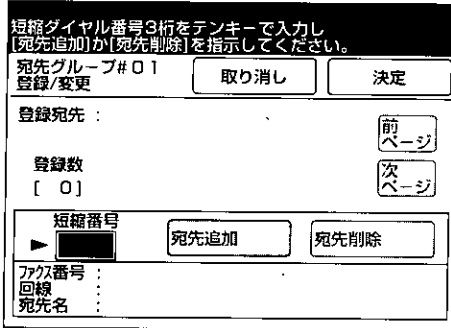
### 3 登録したいグループ番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



### 4 登録/変更を選択します。

### 5 グループに登録したい短縮番号(3桁の数字)をダイヤルボタンで指定します。

画面は、手順3で「# 01」を選択した場合の例です。入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



### 6 宛先追加を選択します。

### 7 手順5~6を繰り返して短縮番号を登録します。

次ページに続きます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



# 宛先グループを登録するには

8

**決定** を選択します。

グループに登録した短縮番号が表示されます。  
画面は、手順5～7で「001」～「020」を選択した場合の例です。

短縮ダイヤル番号3桁をテンキーで入力し  
【宛先追加】か【宛先削除】を指示してください。

宛先グループ# 01      取り消し      決定

登録/変更

登録宛先 : 001 002 003 004 005 006 007 008      前ページ

              009 010 011 012 013 014 015 016

登録数 : 017 018 019 020      次ページ

[ 20 ]

短縮番号

▶ [ ]      宛先追加      宛先削除

ファク番号 :  
回線  
宛先名

9

登録した値が表示されているのを確認し、  
**閉じる** を選択します。

項目を選択してください。

登録/変更 - 宛先グループ      閉じる

グループ登録数 短縮ダイヤル番号

#01	[20]	001 002 003 004 005 006 007...
#02	0	(未登録)
#03	0	(未登録)
#04	0	(未登録)
#05	0	(未登録)
#06	0	(未登録)
#07	0	(未登録)
#08	0	(未登録)
#09	0	(未登録)
#10	0	(未登録)

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

10

**【オールクリア】 ボタン**を押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。
- グループから宛先を削除するには
  - ① 手順1～4の操作を行います。
  - ② ダイヤルボタンで削除したい短縮番号を入力します。
  - ③ **宛先削除** を選択します。
  - ④ 手順8～10の操作を行います。
- ワイルドカード ( \* ) ボタン を使って短縮ダイヤルを指定するには
  - 10宛先単位で指定するとき  
「百の位」 + 「十の位」 のあとに 「 \* 」 を入力します。  
例 : 01 \* : 010～019
  - すべての短縮ダイヤルを指定するとき  
「 \* \* \* 」 を入力します。
- 宛先グループの登録内容を確認するには  
登録ダイヤルリスト (●P145、168) を出力して確認することができます。

**STOP** お願い

- すでに指示した待ち状態の通信に宛先グループが使用されているときに、その宛先グループの変更/削除を行うと、間違った相手先に送信されることがありますので、ご注意ください。

# 同じ原稿を複数の相手先に送信するには(順次同報送信)

1回の送信操作で複数の相手先を続けて指定することにより、同じ原稿を複数の相手先へ送信することができます。相手先は短縮ダイヤル、ダイヤル入力を組み合わせて、最大349件まで指定することができます。短縮ダイヤル「001」から「070」はワンタッチボタンに対応しています。また、短縮ダイヤルをグループ登録してある場合は、グループ番号で相手先を指定することもできます。

1

## 原稿をセットします。

原稿をセットするには (●基本P54)

2

複数の相手先(最大349件)を、「複数の相手先を指定する」(●P38)の手順に従って指定します。

3

すべての相手先を指定したら、[スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

1 通信相手手  
登録する

2 便利な機能を使って  
通信する

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に



## ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 通信を確認/中止するには (●基本P166、169)
- 同報送信が終わると  
自動的に「同報/集信レポート」が出力されます。設定を変更して、出力されないようにすることもできます。  
(●P148、158)
- 短縮ダイヤルを登録するには (●P16、基本P154)
- グループを登録するには (●P35、基本P158)



## お知らせ

- 同じ短縮ダイヤルや宛先グループを、複数指定することはできません。
- グループ番号を指定したときは、グループに登録されている短縮ダイヤルの数が、相手先の件数に加算されます。ただし、すでに短縮ダイヤルで個別に指定した相手先と重複があった場合には、重複分が差し引かれます。
- 順次同報送信するときは、操作パネルで「送信シート」や「親展通信」を選択することはできません。送信シートや親展通信を設定して送信したいときは、あらかじめ短縮ダイヤルにこれらの機能を登録してください。(●P22、28)
- 短縮ダイヤルに送信画質や時刻指定を設定しても、同報送信すると、その設定は無効になります。

# 同じ原稿を複数の相手先に送信するには(順次同報送信)

## 複数の相手先を指定する

以下の4つの方法を組み合わせて指定することもできます。

指定の方法	操作
ダイヤル入力 (最大50件)	①ダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力します。 ② <b>次宛先</b> を選択します。 ③手順①～②を繰り返します。 ●ファクス機能一覧画面には、 <b>次宛先</b> が表示されません。基本ファクス画面またはお好みファクス画面で指定してください。
短縮番号 (最大300件)	① <b>短縮(グループ)</b> を選択します。 ②ダイヤルボタンで短縮番号(3桁)を入力します。 ③手順①～②を繰り返します。 ●ワイルドカード( * ボタン)を使って短縮ダイヤルを指定するには ・10宛先単位で指定するとき 「百の位」+「十の位」のあとに「*」を入力します。 例：01* : 010～019 ・すべての短縮ダイヤルを指定するとき 「***」を入力します。
ワンタッチボタン (短縮番号を使った指定と合わせて最大300件)	①ワンタッチボタンを選択します。 ②手順1を繰り返します。 ●ワンタッチボタン「030」以降を押すときは、パネルをめくります。
グループ番号 (グループ登録されている短縮ダイヤル最大300件分)	① <b>短縮(グループ)</b> を選択します。 ②ダイヤルボタンで「#」を押してからグループ番号(2桁)を入力します。 ③手順①～②を繰り返します。

短縮番号、ワンタッチボタンで入力した相手先を1件ずつ削除するには、[クリア] ボタンを押して、相手先を確認してからもう一度 [クリア] ボタンを押します。

# 急ぎの通信を割り込ませるには (優先送信)

急ぎの通信があるときは、すでに予約されている通信より優先させて送信したりポーリングすることができます。優先送信を設定すると、現在送信中の原稿のすぐあとに通信できます。

1

## 原稿をセットします。

原稿をセットするには (●基本P54)

2

## ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

3

## ファクス機能一覧画面で **優先送信** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧**のインデックスを選択します。

4

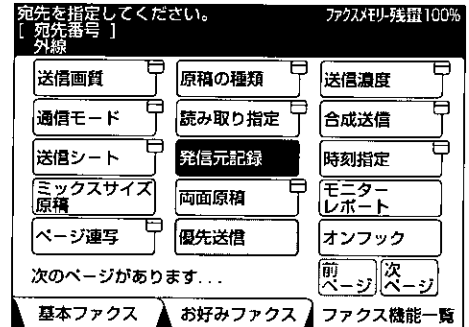
## 相手先を指定します。

相手先を指定するには (●基本P148)

5

## 【スタート】ボタンを押します。

原稿が読み取られ、メモリに蓄積されます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



### ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (●基本P166、169)
- 実行待ちの通信を優先送信するには (●基本P172)
- 相手先がお話し中のときは  
約1分間隔で2回まで自動的にリダイヤルされます。リダイヤルの回数と間隔は変更することができます。(●P222)

## 時刻を指定して通信するには (時刻指定)

あらかじめ指定した時刻に、自動的に通信させることができます。大量の原稿を、深夜の安い料金で送信したいときなどに便利です。

1

## 原稿をセットします。

原稿をセットするには (●基本P54)

2

## ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

3

ファクス機能一覧画面で **時刻指定** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

4

**時/分選択** を選択し、変更したい項目に **▶** を表示させます。

**時/分選択** に繰り返し指で触れるごとに、**▶** の表示される項目が変わります。

5

必要に応じて **午前 (AM)** または **午後 (PM)** を選択してから、**ダイヤルボタン** で数字を入力します。

24時間表示の場合は、**午前 (AM)** と **午後 (PM)** は表示されません。

入力を間違えたときは、**[クリア]** ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6

手順4~5を繰り返して時/分を入力し、**閉じる** を選択します。

7

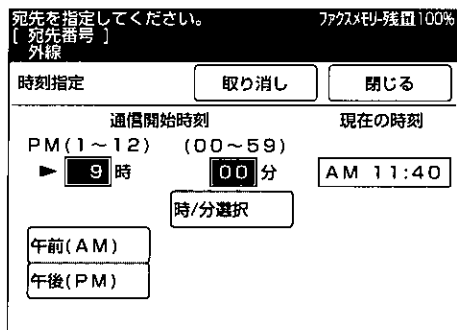
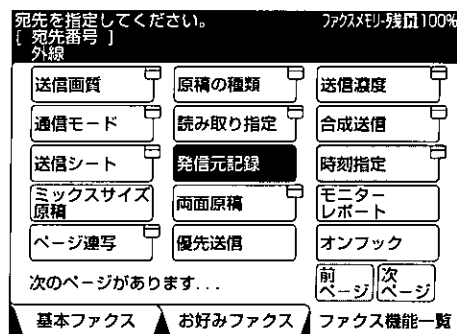
## 相手先を指定します。

相手先を指定するには (●基本P148)

8

## 【スタート】 ボタンを押します。

原稿が読み取られ、メモリに蓄積されます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホーンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 指定時刻を変更するには  
時刻指定（実行待ち文書）を削除してから、セットし直します。
- 時刻指定を確認/解除するには  
確認するときは、通信待ち文書の詳細表示で確認します。（☛基本P170）  
削除するときは、通信ジョブを中止します。（☛基本P166）
- 時刻指定を短縮ダイヤルに登録すると  
短縮ダイヤルで宛先を指定するだけで、時刻指定通信が設定できます。（☛P24）
- 指定時刻に回線が使用中だったときは  
通信可能になり次第、通信を開始します。



お知らせ

- 指定できる時刻は、24時間以内です。日付の指定はできません。
- 指定時刻を過ぎてから [スタート] ボタンを押したときは、翌日の指定時刻に送信されます。
- 時刻指定は順次同報送信やポーリング通信のときも設定できます。ただし、短縮ダイヤルで相手先を指定すると、あらかじめ短縮ダイヤルに登録されている時刻指定は無効になります。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って送信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 中継同報送信の準備をする

中継同報送信をするには、中継指示機と中継機とで、あらかじめ以下の登録をしておきます。

### ■中継指示機での準備

短縮ダイヤルに中継同報を登録する (●P30、324)

短縮ダイヤルに以下の内容を登録/設定します。

- ①中継機のファクス番号の登録
- ②中継同報の設定  
中継同報の設定で、**指示する**を選択します。
- ③暗証番号の登録  
中継指示機で登録しているものと同じ中継同報用の暗証番号を登録します。
- ④宛先グループの登録  
中継機に同報送信先として登録してあるグループのグループ番号を登録します。
- ⑤中継機での原稿出力の設定  
送信原稿を、中継機でも出力させるかどうかを設定します。
- ⑥中継結果通知の設定  
中継同報送信の結果レポートを、中継機から返送してもらうかどうかを設定します。

### ■中継機での準備

中継機として使用できるように設定し、中継指示機と同じ中継暗証番号を登録する (●P45)

中継同報を**許可**に設定し、中継指示機で登録しているものと同じ中継同報用の暗証番号を登録します。**禁止**に設定されていると、中継機として使用できません。



同報送信先をグループ登録する (●P35、基本P158)

同報送信する相手先を登録した短縮ダイヤルを、まとめて宛先グループ登録します。



中継結果レポート出力を設定する (●P150)

中継同報送信が行われたとき、中継機で結果レポートを出力するかどうかを設定します。

# 中継機を経由して送信するには (中継同報送信) G3

## 中継同報送信をする

あらかじめ中継同報の設定を登録した短縮ダイヤルを使います。

1

**原稿をセットします。**

原稿をセットするには (←基本P54)

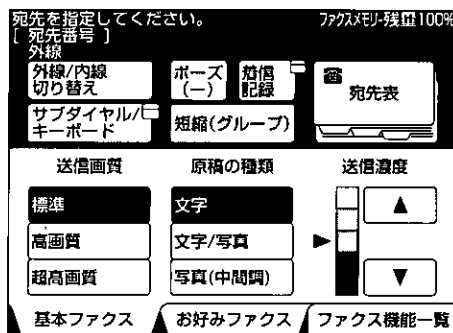
2

**ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。**

3

**基本ファクス画面で「短縮 (グループ)」を選択します。**

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**「ファクス機能一覧」**のインデックスを選択します。



4

**中継同報を登録した短縮ダイヤルの短縮番号(3桁)をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、**「クリア」**ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

5

**【スタート】ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、メモリに蓄積されます。



ワンポイント.....

- 送信を中止するには (←基本P166)
- 短縮ダイヤルに中継同報の設定を登録するには (←P30)

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

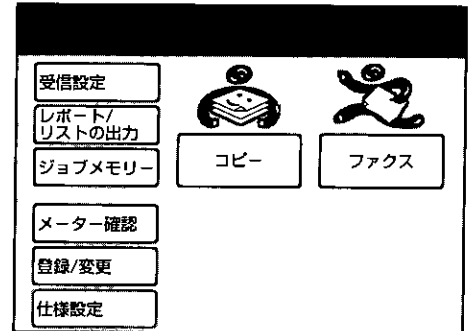
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

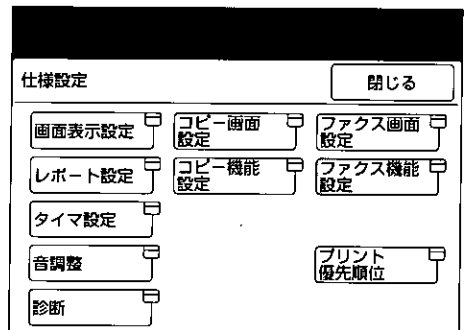
## 中継機として使用できる/できないようにする

お買い求め時には、本装置を中継機として使用できるよう「許可」に設定されています。中継機として使用しない場合や、保守などのために一時的に中継指示の受付を停止するときは中継同報を「禁止」に設定します。

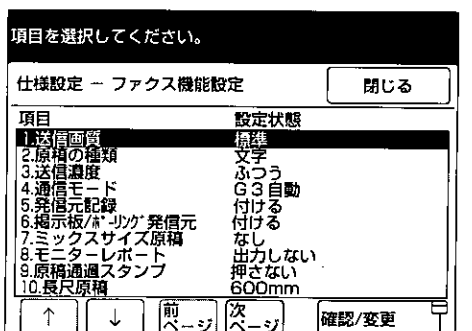
**1** **メニュー画面の「仕様設定」を選択します。**  
 メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



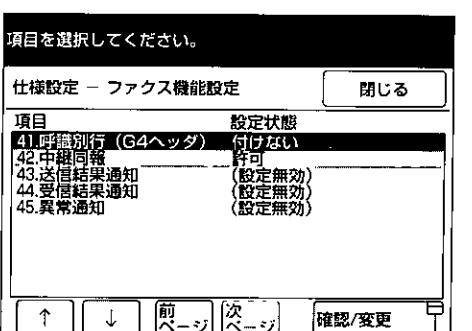
**2** **「ファクス機能設定」を選択します。**



**3** **「次ページ」を4回選択します。**



**4** **「42.中継同報」を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**



**5** **「確認/変更」を選択します。**

次ページに続きます。



# 中継機を経由して送信するには (中継同報送信) G3

6

**禁止** または **許可** を選択して、中継機として使用するかどうかを指定します。

ここでは例として **許可** を選択します。  
**禁止** を選択した場合は、手順8に進みます。

7

**暗証番号 (4桁の数字) をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

8

**決定** を選択します。

9

**閉じる** を選択します。

10

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。

暗証番号をテンキーで入力してください。

42.中継同報

取り消し

決定

暗証番号

(0000~9999)

禁止

許可

▶

3333



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

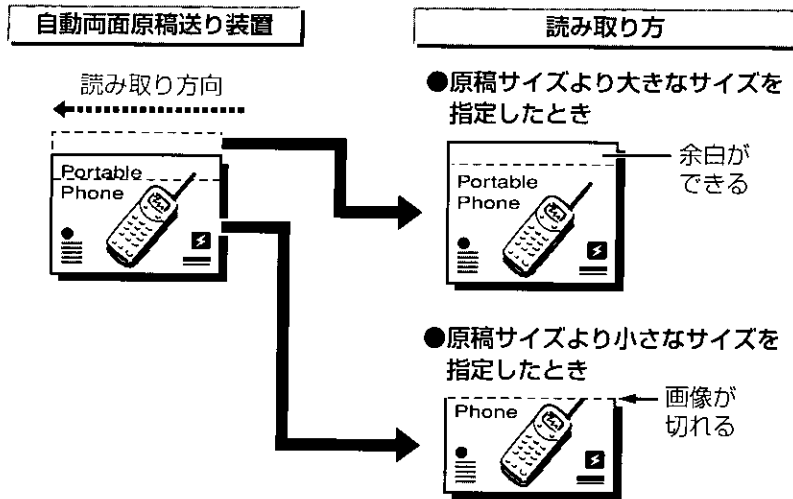
# 範囲や倍率を指定して送信するには(読み取り指定)

読み取り指定とは、原稿のサイズにかかわらず、指定したサイズや倍率で原稿を読み取らせることです。意図的に余白を設けたり、余分な部分を削除して送信することができます。また、倍率を指定すると、読み取った原稿を指定した倍率に拡大/縮小して送信します。

原稿サイズを指定したときの読み取り方は、DADF（自動両面原稿送り装置）を使う場合とコピーガラスを使う場合とで、次のように異なります。

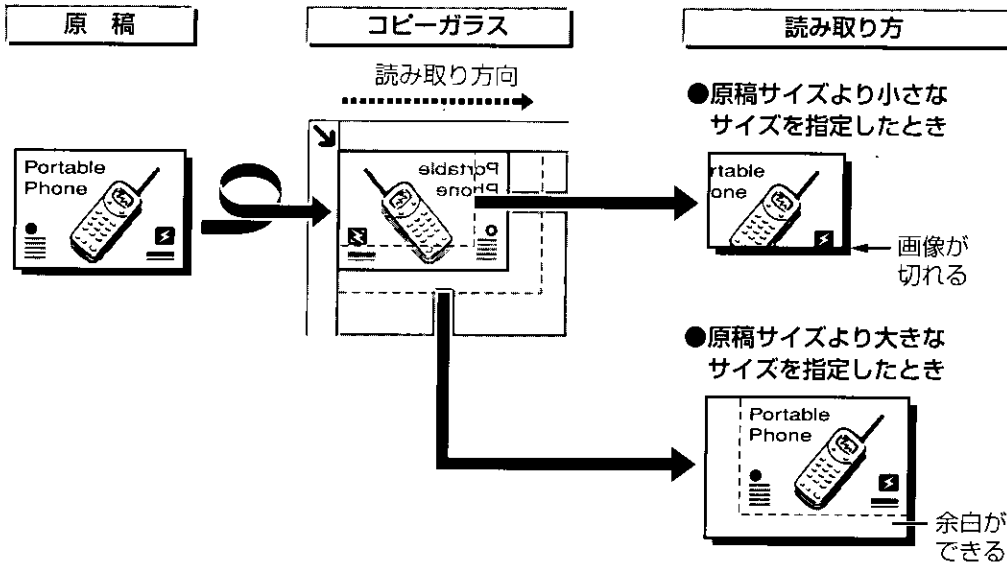
●DADF（自動両面原稿送り装置）を使うとき

原稿の幅は指定されたサイズで読み取りますが、原稿の長さは原稿サイズのまま読み取ります。



●コピーガラスを使うとき

原稿の幅/長さともに指定されたサイズで読み取ります。



お知らせ

●読み取り倍率を指定して送信するときは、自動回転送信（P218）の機能は利用できません。

1 通信相手を手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポートリストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

# 範囲や倍率を指定して送信するには(読み取り指定)

1 原稿をセットします。

2 ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

3 ファクス機能一覧画面で【読み取り指定】を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。

4 読み取りサイズを選択します。

原稿サイズと同じ大きさを読み取らせる場合は、【自動検知】を選択します。  
 等倍で読み取らせる場合は、手順6に進みます。

▲ または ▼ を選択して、読み取り倍率を指定します。

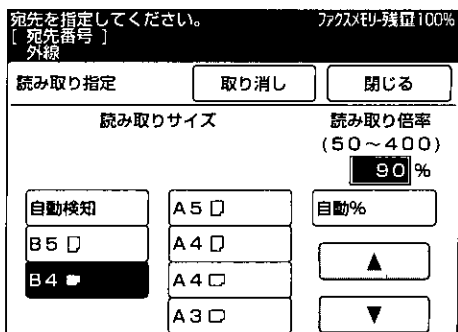
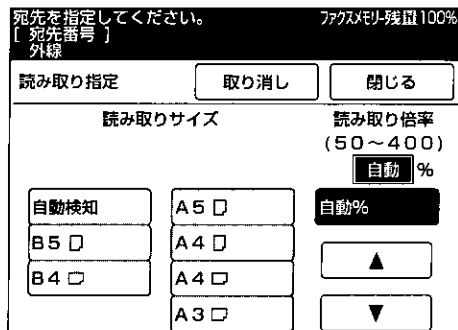
画面は、手順4で【B4】を選択した場合の例です。

▲ ▼ に繰り返し指で触れるごとに、読み取り倍率が1%ずつ上下します。

読み取り倍率の【自動%】は、最大蓄積サイズ(●P23)が原稿サイズよりも小さい場合に、収まるサイズまで縮小して読み取る機能です。

ここでは例として「90」%を指定します。

6 閉じる を選択します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**7** 相手先を指定します。  
相手先を指定するには (●基本P148)

**8** [スタート] ボタンを押します。  
原稿が読み取られ、送信が開始されます。

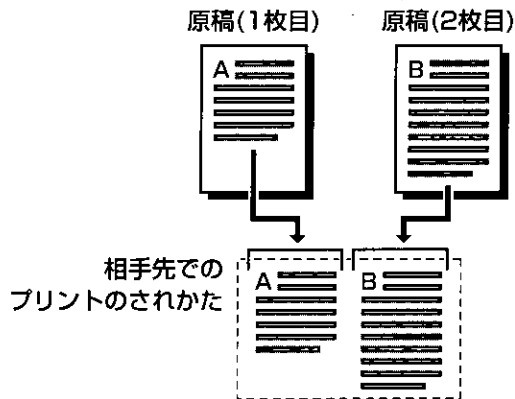


ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (●基本P166、169)

# 複数の原稿を1枚にして送信するには(合成送信)

合成送信とは、DADF（自動両面原稿送り装置）にセットした複数枚（最大9枚）の原稿を、1枚の原稿に合成して送信することです。原稿の長さに関係なく、前の原稿の後ろに次の原稿が合成されます。たとえば、2枚の原稿を合成する場合には、以下のようになります。



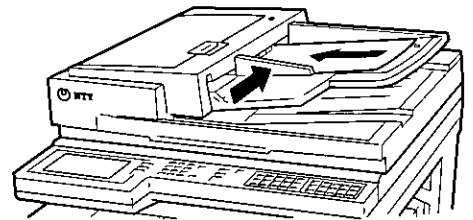
## お知らせ

- 原稿を合成した結果原稿が長くなると、受信側で分割される場合があります。
- 指定枚数よりも原稿の枚数が少ない場合は、読み取った分の原稿のみを合成して送信します。

1

**DADF（自動両面原稿送り装置）に原稿をセットします。**

原稿をセットするには（←基本P54）



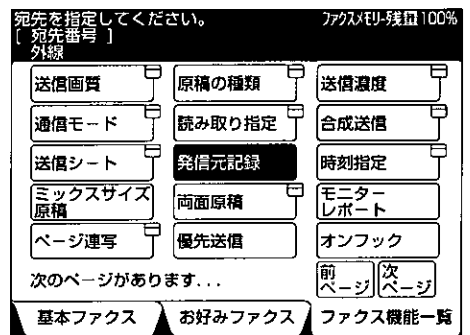
2

**ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。**

3

**ファクス機能一覧画面で【合成送信】を選択します。**

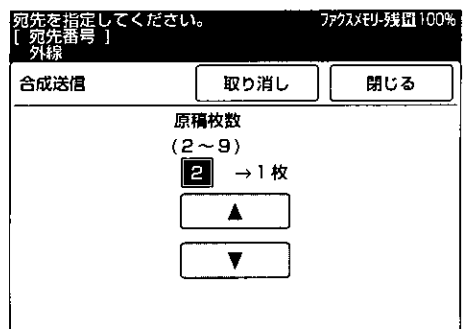
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。



4

**▲または▼を選択して、原稿の枚数（2～9枚）を指定します。**

▲▼に繰り返し指で触れるごとに、原稿枚数が1枚ずつ上下します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って送信する

3 ビジネスホンを通知する

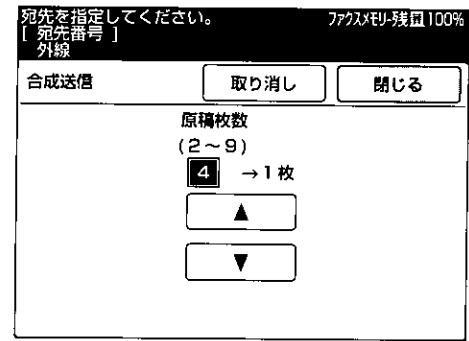
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**5** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は手順4で「4」枚を指定した場合の例です。



**6** 相手先を指定します。

相手先を指定するには (☛基本P148)

**7** [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

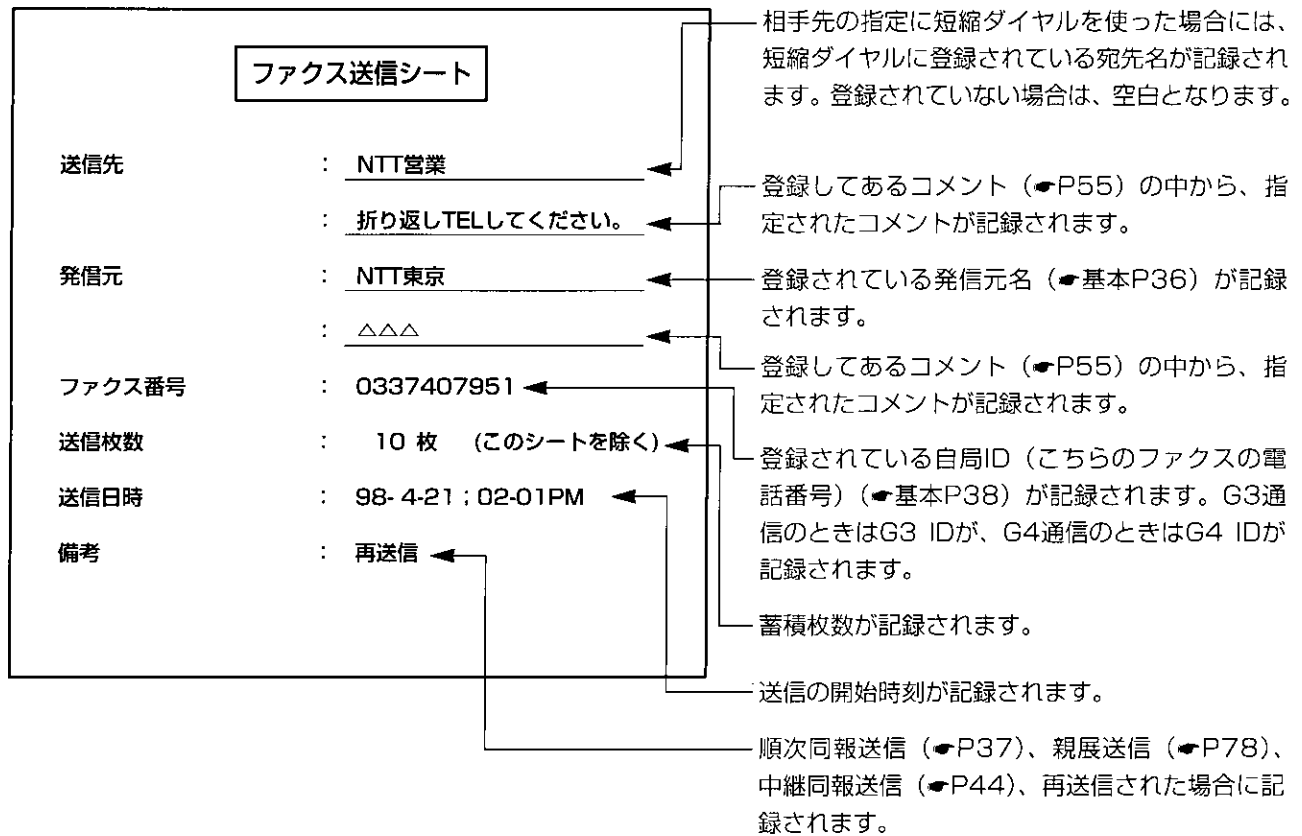
 ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (☛基本P166、169)

## 表紙を付けて送信するには

## (送信シート)

送信シートとは、原稿の先頭ページに付ける表紙のことです。  
送信シートには、以下のような内容が記載されます。



送信シートを付けるには、送信ごとに設定する方法 (●P55) と、あらかじめ短縮ダイヤルに送信シートの設定を登録しておく方法 (●P22) があります。



## お知らせ

- ファクス機能一覧画面で「発信元記録」を設定した場合においても、送信シート自体には、発信元記録は記載されません。
- 順次同報送信で相手先をダイヤル入力で指定する場合には、送信シート機能は利用できません。送信シートを付けたときは、あらかじめ相手先を短縮ダイヤルに登録し、短縮ダイヤルで相手先を指定してください。
- 送信シートのサイズと解像度は、原稿の1ページめに準じます。
- メモリー残量が少ない状態では、送信シートを付けて送信しても、送信シートに送信枚数が表示されません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

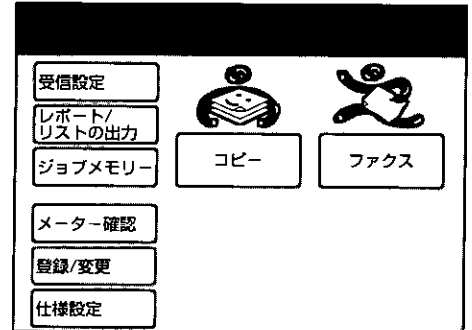
## コメントを登録する

送信シートに入れるコメント（最大18文字）を登録します。コメント番号1～50に対応する50種のコメントが登録できます。登録したコメントは、ジョブメモリ（●P92、基本P132）にも使用できます。

1

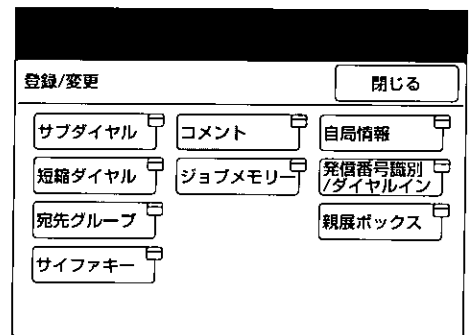
### メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え]ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



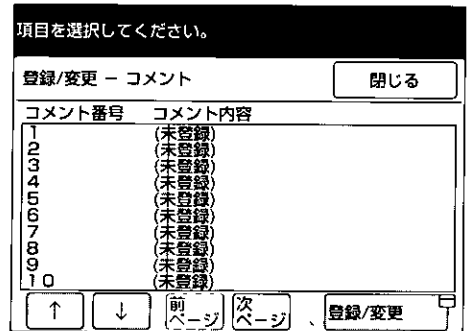
2

### 「コメント」を選択します。



3

### 登録したいコメント番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



4

### 「登録/変更」を選択します。



5

### コメント（最大18文字）を入力します。

文字を入力するには（●基本P48）ここでは例として「月報」を入力します。

6

### 「決定」を選択します。

続けてコメントを登録する場合は、手順3～6を繰り返します。

次ページに続きます。

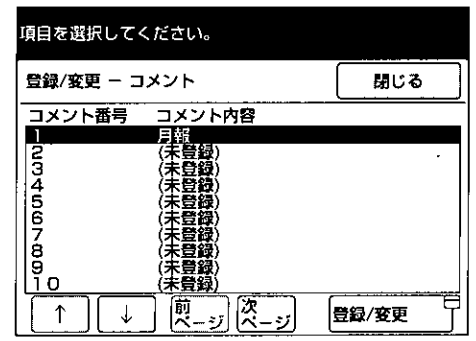


# 表紙を付けて送信するには

# (送信シート)

7

登録したコメントが表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



8

**【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って送信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポートリストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 送信シートを設定して送信する

**1** 原稿をセットします。  
原稿をセットするには (●基本P54)

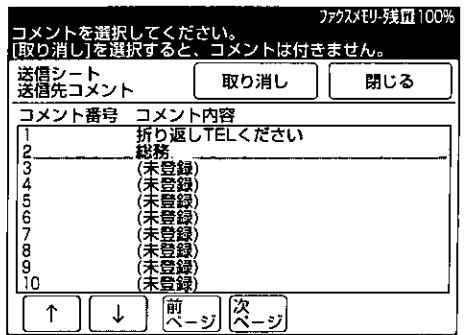
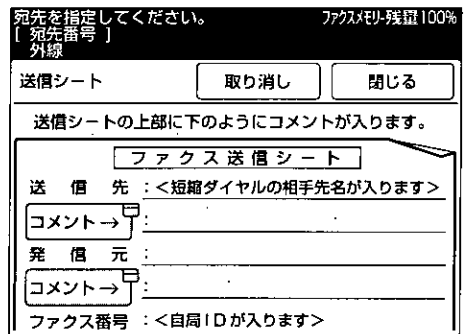
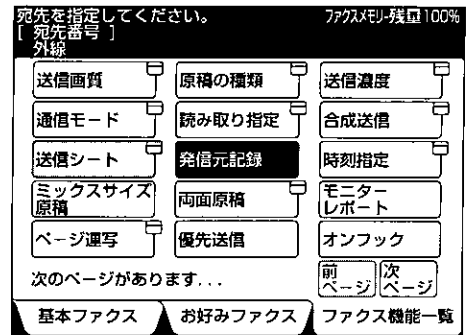
**2** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

**3** ファクス機能一覧画面で **送信シート** を選択します。  
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。  
コメントを指定しない場合は、手順7に進みます。

**4** 必要に応じて送信先または発信元の **コメント** を選択します。

**5** コメント番号を、直接指で触れるか **↑ ↓** を使って選択します。

次ページに続きます。



# 表紙を付けて送信するには

# (送信シート)

**閉じる** を選択します。

続けてコメントを選択する場合は、手順4~6を繰り返します。

6

設定したコメントが表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4、5で送信先のコメント、発信元のコメントに、それぞれコメント番号1、2を選択した場合の例です。

7

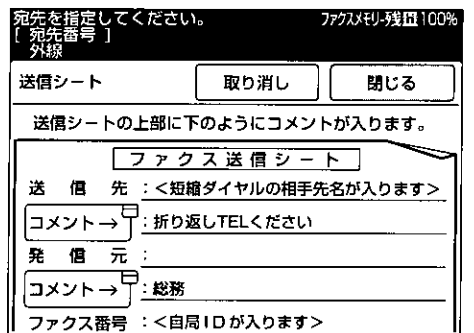
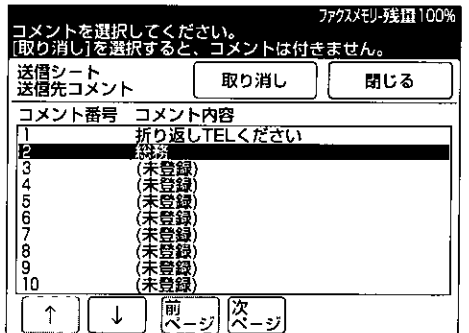
**相手先を指定します。**

相手先を指定するには (●基本P148)

9

**【スタート】 ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



ワンポイント .....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (●基本P166、169)

## 2. 便利な機能を使って通信する

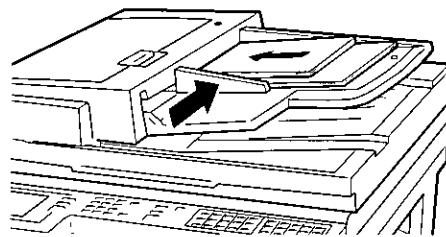
# 異なるサイズ of 原稿を一度の操作で送信するには (ミックスサイズ原稿)

A5□からA3までの定型サイズの原稿なら、サイズの異なる複数枚の原稿が一度の操作で送信できます。原稿を同サイズにコピーしてからセットしたり、送信操作を繰り返す必要がありません。

1

### DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットします。

すべての原稿を原稿ガイド (固定) 側にそろえて当て、原稿ガイド (可動) を最大原稿幅の位置に合わせます。



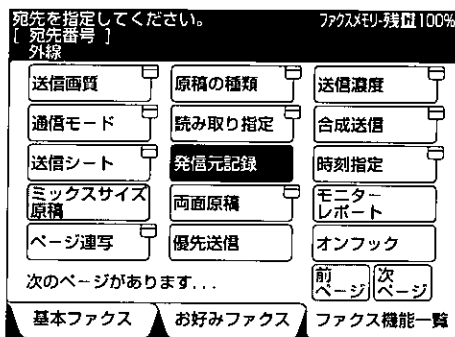
2

### ファクス画面が表示されるまで [機能切り替え] ボタンを繰り返し押します。

3

### ファクス機能一覧画面で **ミックスサイズ原稿** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。



4

### 相手先を指定します。

相手先を指定するには (●基本P148)

5

### [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



### ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには [ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (●基本P166、169)



### お知らせ

- 読み取り指定機能 (●P47) を指定した場合は、指定した読み取りサイズで読み取られます。
- ミックスサイズ原稿機能を合成送信 (●P50) と組み合わせて利用することはできません。

### STOP お願い

- クリップやホッチキスの針は、取り除いてからセットしてください。

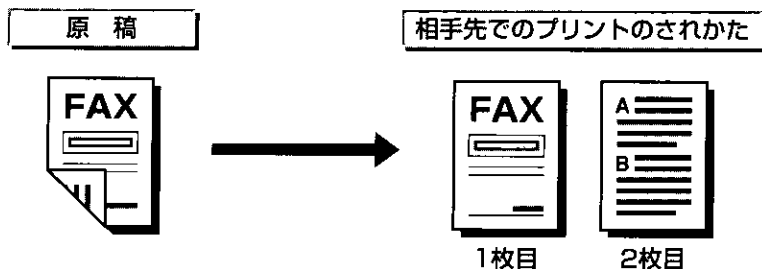


# 両面原稿を送信するには

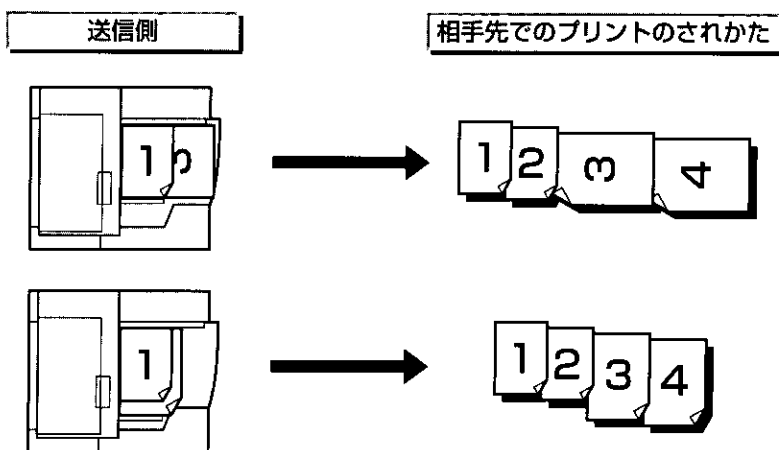
(両面原稿)

両面原稿とは、DADF（自動両面原稿送り装置）にセットした原稿を、自動的に両面読み取って送信する機能です。原稿をセットし直して片面ずつ送信する必要がありません。

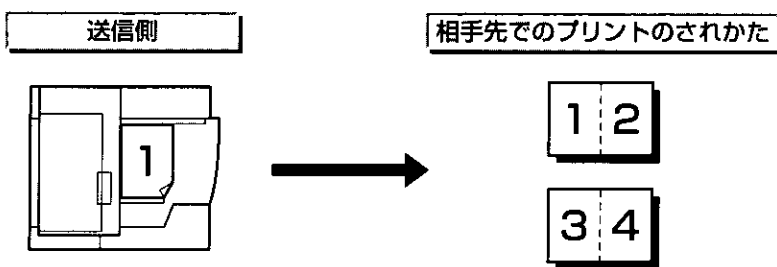
●基本的な両面原稿の送信



●異なるサイズの両面原稿の送信（ミックスサイズ原稿機能を併用するとき）



●両面原稿を1ページに合成した送信（合成送信機能を併用するとき）



お知らせ

●メモリがいっぱいになったときには、両面原稿機能は利用できません。タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されたときには、メッセージに従って操作してください。

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使用して通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

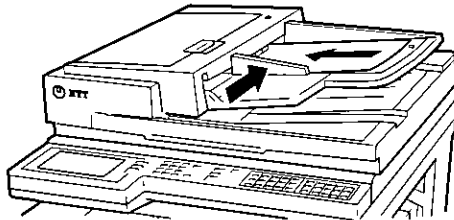
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

1

**DADF（自動両面原稿送り装置）に原稿をセットします。**

原稿をセットするには（➡基本P54）



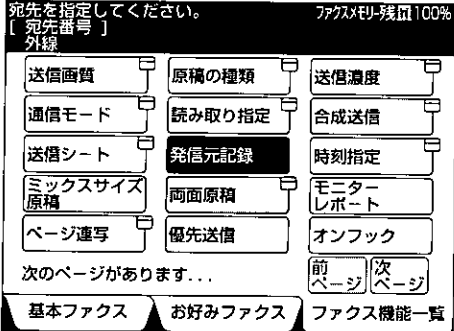
2

**ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。**

3

**ファクス機能一覧画面で **両面原稿** を選択します。**

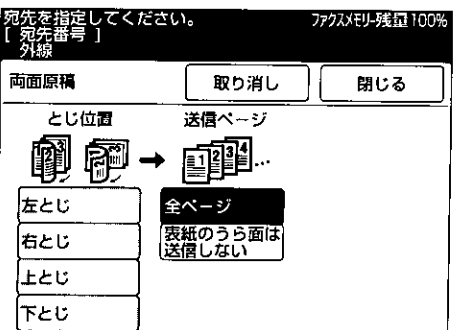
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧**のインデックスを選択します。



4

**原稿のとじ位置に応じて **左とじ**、**右とじ**、**上とじ**、**下とじ** のいずれかを選択します。**

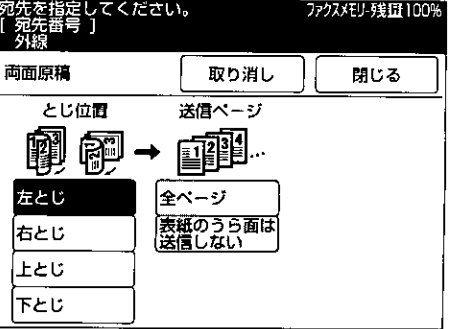
とじ位置の選択と相手先でのプリントのされかた（➡P60）



5

****全ページ** または **表紙のうら面は送信しない** のいずれかを選択して、送信するページを指定します。**

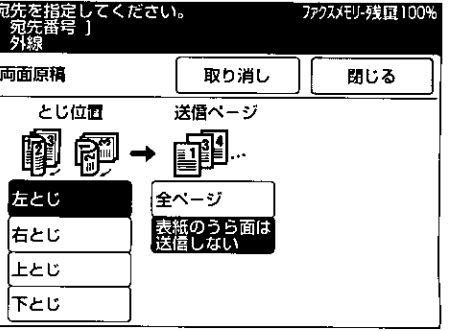
画面は、手順4で **左とじ** を選択した場合の例です。



6

****閉じる** を選択します。**

画面は手順5で **表紙のうら面は送信しない** を選択した場合の例です。



次ページに続きます。



# 両面原稿を送信するには

(両面原稿)

7

## 相手先を指定します。

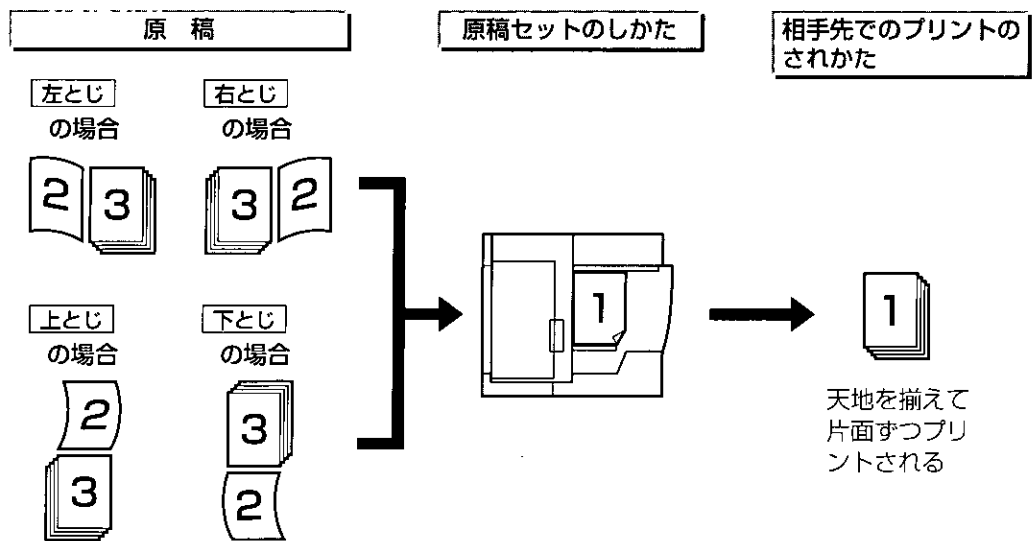
相手先を指定するには (←基本P148)

8

## 【スタート】 ボタンを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

### とじ位置の選択と相手先でのプリントのされかた



- 左とじ、右とじ、上とじ、下とじの選択が間違っていると、相手先で天地の向きが正しくプリントされません。
- 上とじまたは下とじを選択すると、原稿のうら面が反転してプリントされます。



### ワンポイント .....

- 送信操作を中止するには  
【ストップ】 ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (←基本P166、169)

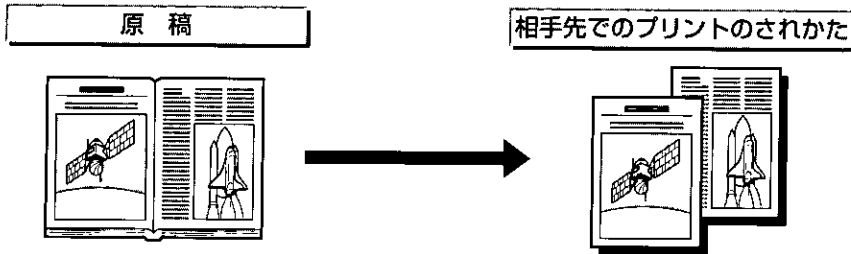


### お知らせ

- 両面原稿 選択中は、コピーガラスから原稿を読み取ることはできません。
- 合成送信と組み合わせて両面原稿機能を利用するときに、表紙のうら面は送信しないを選択した場合は、1枚目の原稿は合成されません。また、発信元記録は合成後の各ページの先端部分に記録されます。

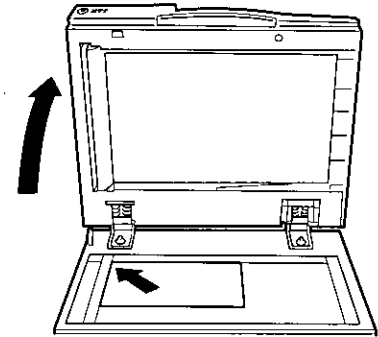
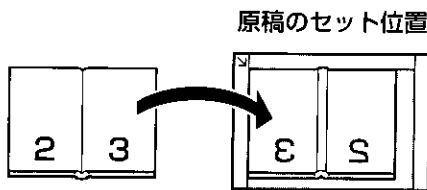
# 見開き原稿を左右に分割して送信するには(ページ連写)

とじてある原稿をコピーガラスにセットして、左右のページを分けて2ページの原稿として送信することができます。



コピーガラスに原稿をセットします。

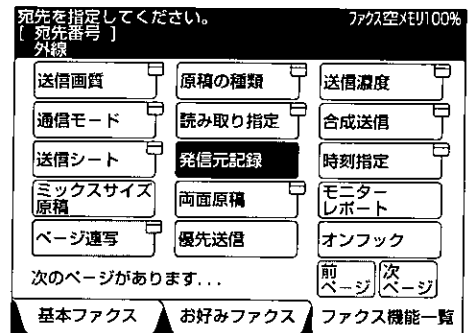
1



2 ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

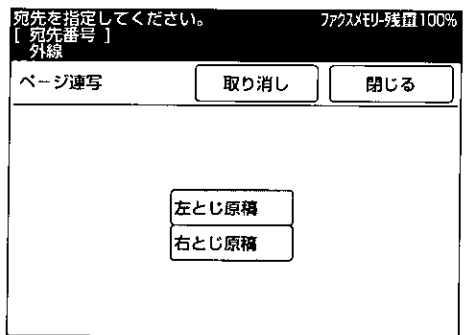
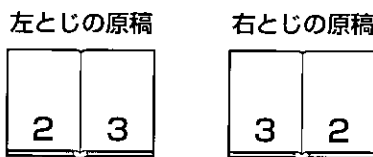
3 ファクス機能一覧画面で **ページ連写** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。



4

**左とじ原稿** または **右とじ原稿** を選択して、**原稿のとじ位置**を指定します。



次ページに続きます。

1 通信相手に登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



# 部数を指定して送信／受信するには(送信先部数) G3

相手先へ同じ原稿を2部以上送りたいときに、受信側で複数部(最大99部)コピーしてプリントするように指定することができます。

また、こちらがプリントする部数を指定して送信された文書を受信した場合には、コピーする部数を制限できます。

## 送信先部数を指定して送信する

### 1 原稿をセットします。

原稿をセットするには(●基本P54)

### 2 ファクス画面が表示されるまで「機能切り替え」ボタンを繰り返し押します。

### 3 ファクス機能一覧画面の「次ページ」を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、「ファクス機能一覧」のインデックスを選択します。

### 4 送信先部数を選択します。

### 5 部数(2~99部)を↑↓を使って指定します。

ここでは例として「10」部と指定します。

### 6 閉じるを選択します。

次ページに続きます。

1 通信相手登録する

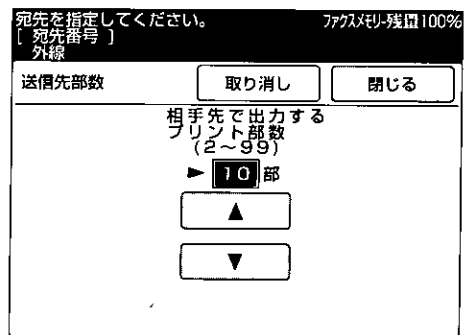
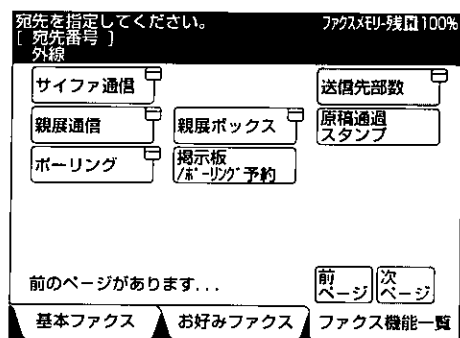
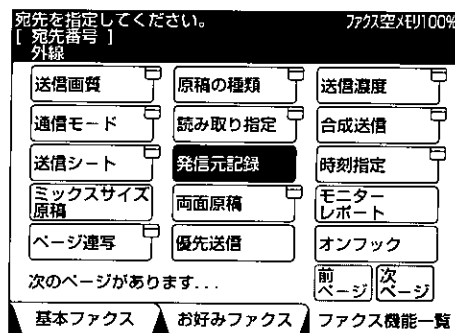
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に





# 部数を指定して送信／受信するには(送信先部数) G3

7

**相手先を指定します。**

相手先を指定するには (●基本P148)

8

**【スタート】 ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



## お知らせ

- 送信先部数を指定した送信では、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- 相手先で設定している送信先部数受信 (●P65) の部数を超える部数を指定してしまうと受信されません。
- 送信先部数送信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット (オプション) を増設してISDN回線でのみお使いの場合には、送信先部数送信は利用できません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

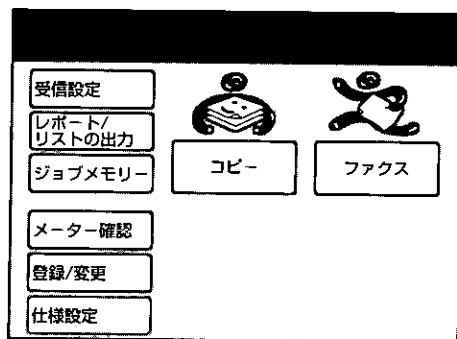
6 ご参考に

## 送信先部数受信を設定する

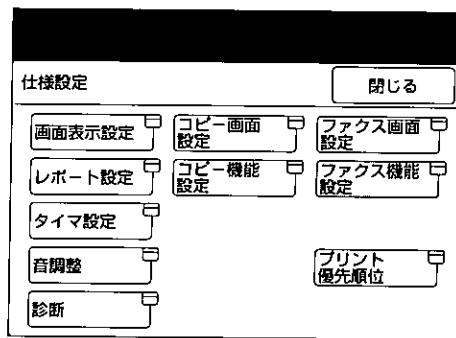
送信先部数受信を **する** に設定するときには最大何部までの部数指定の通信を受けるかを指定します。指定した部数を超える部数を指定された通信は受信しません。送信先部数受信を **しない** に設定すると、部数を指定して送信された文書は受信しません。お買い求め時は **する** に、部数は「99部」に設定されています。

**1** **メニュー画面の 仕様設定** を選択します。

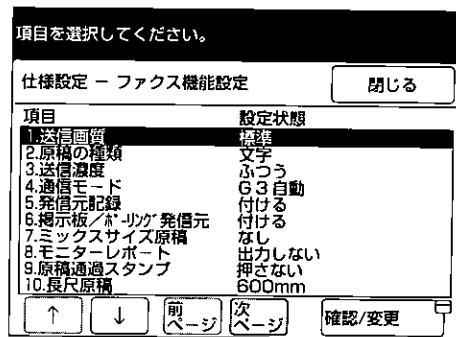
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



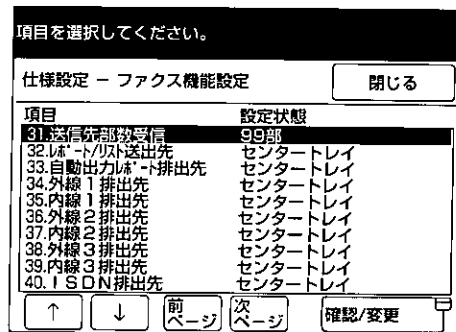
**2** **ファクス機能設定** を選択します。



**3** **次ページ** を3回選択します。



**4** **31. 送信先部数受信** が選択されていることを確認し、 **確認/変更** を選択します。



次ページに続きます。

# 部数を指定して送信／受信するには(送信先部数) G3

5

**しない** または **する** を選択して、送信先部数受信するかどうかを指定します。

**しない** を選択した場合は、手順7に進みます。

6

最大何部(2~99部)までの指定の通信を受け  
るかをダイヤルボタンで入力します。

ここでは例として「10」部と指定します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

7

**決定** を選択します。

8

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

9

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

テンキーで入力してください。

31.送信先部数受信

部数  
(2~99)

項目を選択してください。

仕様設定 - ファクス機能設定

項目	設定状態
31.送信先部数受信	10部
32.センター/リフト送先	センタートレイ
33.自動出力/リフト排出先	センタートレイ
34.外線1 排出先	センタートレイ
35.外線2 排出先	センタートレイ
36.外線3 排出先	センタートレイ
37.内線1 排出先	センタートレイ
38.内線2 排出先	センタートレイ
39.内線3 排出先	センタートレイ
40. I S O N 排出先	センタートレイ



## ワンポイント .....

- 受信側で複数部コピーするように設定して送信するには (←P63)
- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 制限を超える部数を指定した通信があったときは  
通信を行いません。送信先部数受信を「しない」に設定すると、受信しません。

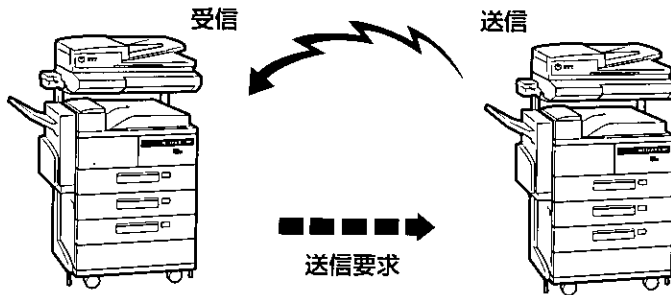


## お知らせ

- 送信先部数送信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

# 受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信) G3

ポーリング通信は、送信側があらかじめメモリに蓄積しておいた原稿を受信側の操作で送信させる機能です。ポーリング通信では、通信料金は受信側の負担となります。また、機密を守るために、暗証番号を使って受信先を制限することができます。



## ■ポーリング予約／ポーリング受信

送信側が原稿をメモリ内に蓄積しておき（ポーリング予約）、受信側の操作（ポーリング受信）で自動的に原稿を送信させることができます。このとき、通信料金は受信側の負担となります。

## ■掲示板

ポーリング通信の応用機能です。掲示板送信では、ポーリング受信されてもメモリに蓄積された原稿は消去されずに残っているので、複数の受信者が何度でもポーリング受信できます。また、メモリの中の原稿を、本装置で記録紙にプリントすることもできます。

## 〈ファクシミリ情報の取り出し方〉

ファクシミリ情報を取り出す方法には以下の3つがあります。

### ●ポーリング方式

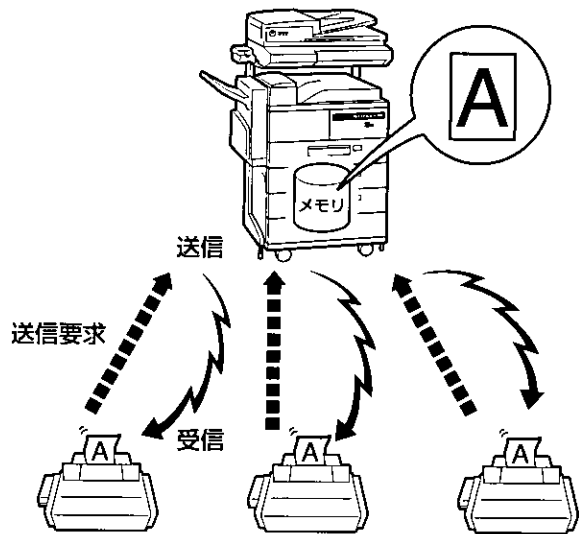
ダイヤルするだけで簡単にファクシミリ情報を取り出すことができます。

### ●Fネット方式

Fネットを利用してファクシミリ案内サービス（Fネット）にあるファクシミリ情報を簡単に取り出すことができます。

### ●ガイダンス方式

音声ガイダンスに従ってファクシミリ情報を取り出すことができます。



## ポーリング通信の準備をする

機密保持のための暗証番号を登録します。(P68) 登録する暗証番号によって、通信できる相手先の制限のしかたが異なります。

暗証番号	送信可能な相手先
4桁のスペース (お買い求め時の設定)	暗証番号のチェックを行わず、すべての相手先に送信されます。暗証番号のチェック機能のないファクスでも受信することができます。
0000	相手先のファクスがNTTの特定機種の場合には、暗証番号のチェックを行わずに、送信します。ただしG4モードでは送信できません。これらの機種については当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
4桁の数字	暗証番号の一致した相手にも送信します。ただしG4モードでは送信できません。

## お知らせ

- 暗証番号を使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- G4モードでのポーリング通信は、暗証番号が「4桁のスペース」に設定されている場合にのみ行えます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



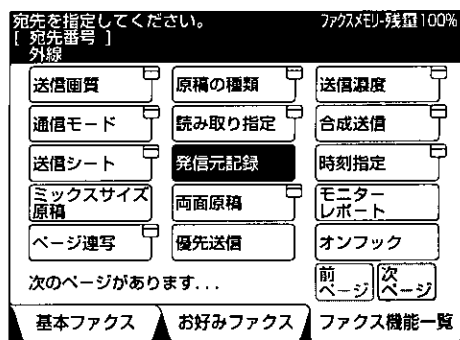
# 受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

## 暗証番号を登録/変更する

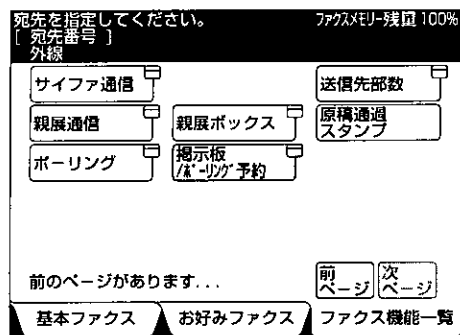
ポーリング通信で使用する暗証番号を登録/変更します。ポーリング予約または掲示板をセットしたあとで、暗証番号を変更することもできます。お買い求め時は4桁のスペースが登録されています。

**1** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

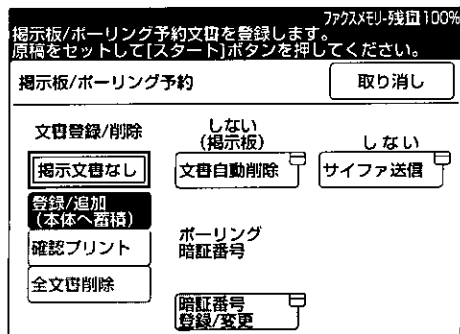
**2** ファクス機能一覧画面で【次ページ】を選択します。  
 ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。



**3** 【掲示板/ポーリング予約】を選択します。



**4** 【暗証番号登録/変更】を選択します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

5

暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。4桁スペースを入力する場合は、**【クリア】** ボタンを4回押します。

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。  
入力を間違えたときは、**【クリア】** ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

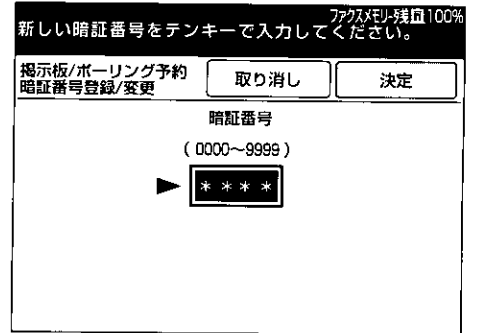
6

**決定** を選択します。

7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



お知らせ

- 数字とスペースを組み合わせた暗証番号は登録できません。

# 受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

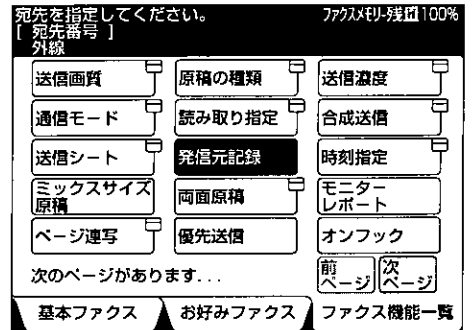
## 掲示板/ポーリング予約をセットする

原稿をメモリに蓄積させ、受信側の操作で自動的に送信できるようにします。掲示板は文書がポーリング受信されてもメモリから削除されません。ポーリング予約の場合、ポーリング受信後自動的に削除されます。

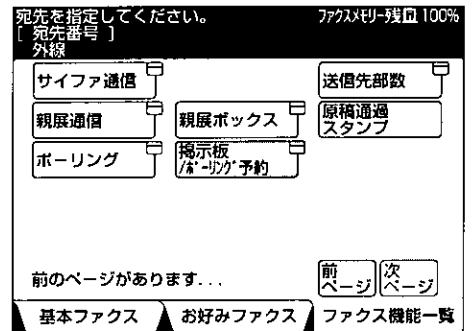
**1** 原稿をセットします。  
原稿をセットするには (←基本P54)

**2** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

**3** ファクス機能一覧画面で **次ページ** を選択します。  
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

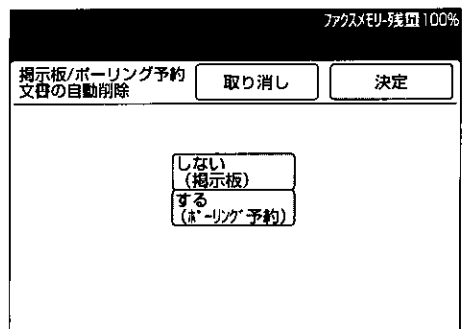


**4** **掲示板/ポーリング予約** を選択します。



**5** **文書自動削除** を選択します。

**6** **しない(掲示板)** または **する(ポーリング予約)** のいずれかを選択します。



**7** **決定** を選択します。

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

8

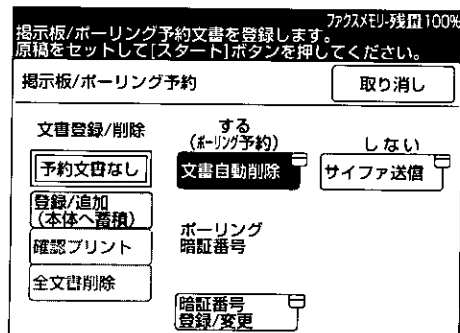
**登録/追加（本体へ蓄積）を選択します。**

画面は、手順6で **する（ポーリング予約）** を選択した場合の例です。

9

**【スタート】 ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、掲示板またはポーリング予約がセットされます。



**ワンポイント** .....

- セット操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 掲示板の内容を確認するには
  - ① 手順2~4の操作を行います。
  - ② **確認プリント** を選択します。
  - ③ **【スタート】** ボタンを押します。
- ポーリング予約の内容を確認するには  
ポーリング予約の場合、確認プリントを行うと文書がメモリから削除されてしまいます。文書が削除されない掲示板に設定してから確認プリントしてください。
  - ① 手順2~5の操作を行います。
  - ② **しない（掲示板）** を選択します。
  - ③ **決定** を選択します。
  - ④ **確認プリント** を選択します。
  - ⑤ **【スタート】** ボタンを押します。
  - ⑥ 文書がプリントされ、内容を確認したら、手順3~7の操作を行います。
  - ⑦ **【オールクリア】** ボタンを押します。
- ポーリング予約の文書を追加するには
  - ① 追加する原稿をセットします。
  - ② 手順2~4の操作を行います。
  - ③ 手順8~9の操作を行います。
- ポーリング予約を解除するには
  - ① 手順2~4の操作を行います。
  - ② **全文書削除** を選択します。
  - ③ **はい（削除する）** を選択します。
- 暗証番号を登録/変更するには (☛P68)
- 結果通知先を指定して掲示板/ポーリング予約をセットするには  
結果通知先の登録/変更が行えます。(☛P135)
- サイファ通信 (☛P82) を合わせて設定するときは
  - ① 手順1~7の操作を行います。
  - ② **サイファ送信** を選択します。
  - ③ **する** を選択します。
  - ④ **決定** を選択します。
  - ⑤ 手順8~9の操作を行います。
- 相手先で出力する文書に発信元記録を付けるには (☛P304)



**お知らせ**

- 暗証番号を使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 当社機以外のファクスとポーリング通信をしたいときには、暗証番号を4桁のスペースに変更してください。(☛P67、69)
- 文書を追加蓄積した場合、文書はすべて一度に送信されます。
- メモリがいっぱいのときには掲示板/ポーリング予約はセットできません。



# 受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

## ポーリング受信をする

送信側で掲示板/ポーリング予約をセットした原稿を、本装置から操作して受信します。  
送信側が暗証番号のチェックをしているときは、送信側と同じ暗証番号を指定してください。

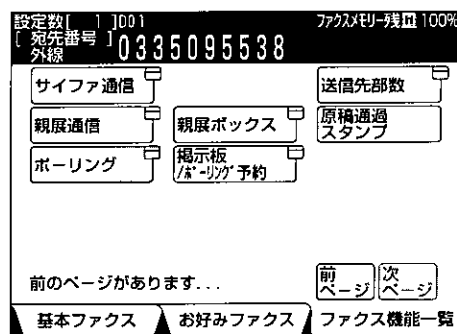
**1** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

**2** 相手先を指定します。  
相手先を指定するには(➡基本P148)  
複数の相手先からポーリング受信することもできます。

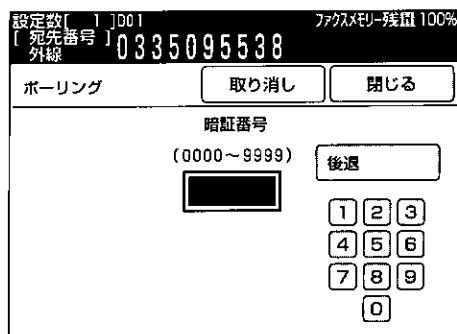
**3** ファクス機能一覧画面で【次ページ】を選択します。  
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。



**4** **ポーリング** を選択します。  
手順2で、ポーリング暗証番号が登録されている短縮ダイヤルでポーリング受信の相手先を指定した場合は、何も入力せずに手順6に進みます。



**5** 暗証番号(4桁の数字)をタッチパネルディスプレイのキーボードで入力します。4桁のスペースを入力する場合は、なにも入力せずに手順6に進みます。  
入力を間違えたときは、【後退】を選択して間違えた文字を消してから入力し直します。



**6** **閉じる** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

# 7 [スタート] ボタンを押します。

## ワンポイント .....

- 受信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- ポーリング受信を中断するには (☛基本P166)
- 複数の相手先からポーリング受信するには  
手順2で複数の相手先を指定します。相手先ごとに異なる暗証番号を指定することはできません。
- ポーリング暗証番号を短縮ダイヤルに登録するには (☛P26)
- 結果通知先を指定してポーリング受信をするには (☛P138)
- 複数の相手先からポーリング受信できなかったときは  
通信結果が集信レポート (☛P143、158) として出力されます。設定を変更して、出力されないようにすることもできます。(☛P148)

## お知らせ

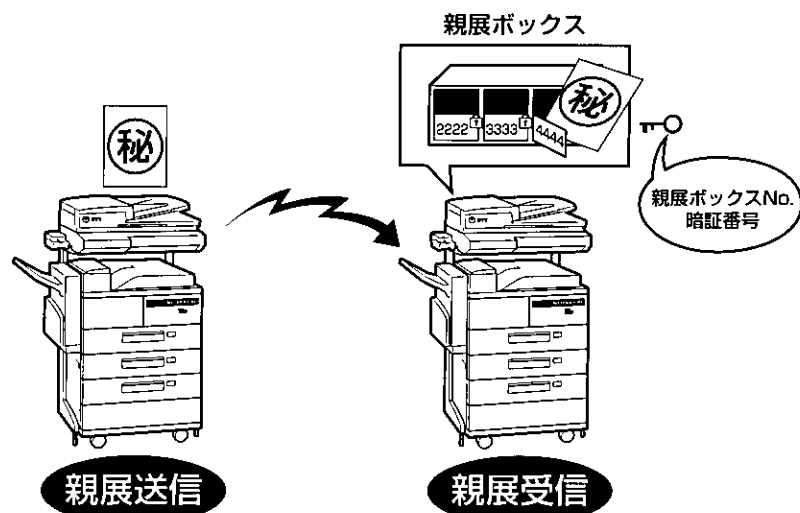
- 暗証番号を使用したポーリング通信のできる機種は限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- ポーリング受信するときの電話料金は、受信側の負担となります。
- ポーリング暗証番号が登録されている短縮ダイヤルで相手先を指定した場合、ポーリング受信を行うときに暗証番号を変更することはできません。



# 親展で送信／受信するには (親展通信) G3

親展通信とは、特定の人以外には見られたくない原稿を保護するための送受信方法です。親展で送信した原稿は、相手先ファクスのメモリ内（あらかじめ開設しておいた親展ボックス）に蓄積され、プリントされません。親展受信文書をプリントするには、親展ボックス番号とその親展ボックスに登録してある暗証番号を入力する必要があります。暗証番号を知っている人だけが親展文書を受け取ることができるので、機密性の高い通信が行えます。親展ボックスは、最大30個まで開設できます。

親展で送信するときは、相手先の親展ボックス番号を指定します。あらかじめ短縮ダイヤルに相手先の親展ボックス番号を登録しておけば、送信操作が簡単になります。（●P28）



親展で送信された原稿を受信すると、親展受信レポート（●P80、157）が出力されます。

本装置がビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）に接続されている場合は、指定した内線電話機のディスプレイに親展受信の結果通知を表示させることもできます。（●P75）

## 親展通信の準備をする

あらかじめ受信側で親展ボックスを開設し（●P75）、相手先に親展ボックス番号を知らせておきます。

親展ボックスには、以下の内容を登録します。

- ①親展ボックス番号（2桁の数字）の登録
- ②暗証番号（4桁の数字）の登録
- ③親展ボックスの名称（漢字を含め最大10文字）登録
- ④受信結果通知先の内線番号（最大4桁）登録

※受信結果通知（●P136）を「する」に設定しているときのみ、登録を行います。



## お知らせ

- 親展通信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線でのみお使いの場合には、親展通信は利用できません。
- 親展通信は、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

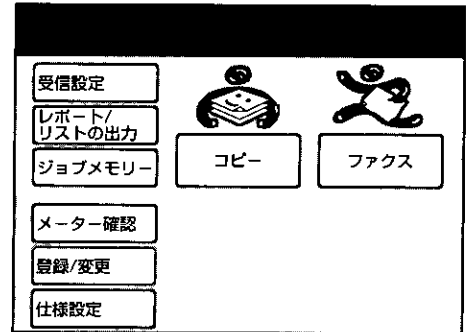
## 親展ボックスを開設する

親展受信を行うための親展ボックス（最大30個）を登録（開設）します。結果通知先を登録する場合は、あらかじめ受信結果通知（●P136）を「する」に設定しておいてください。

1

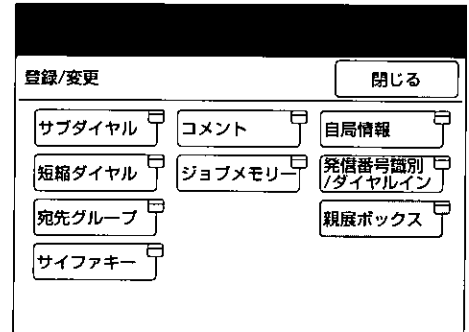
メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



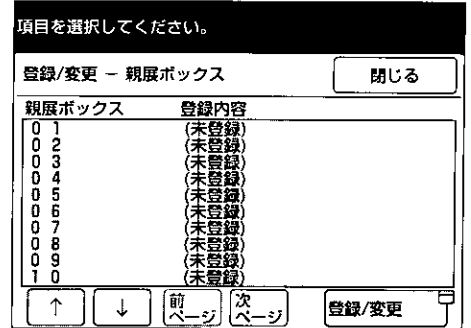
2

親展ボックスを選択します。



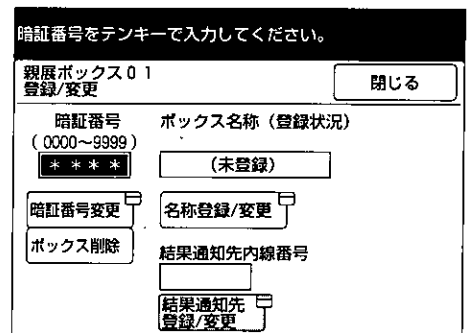
3

登録したい親展ボックス番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



4

登録/変更を選択します。



5

暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。

画面は、手順3で親展ボックス番号「01」を選択した場合の例です。

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。

結果通知先を登録しない場合は、手順9に進みます。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6

結果通知先登録/変更を選択します。

次ページに続きます。



# 親展で送信／受信するには

# (親展通信) G3

7

**結果通知先の内線番号（最大4桁）をダイヤルボタンで入力します。**

ここでは例として「1234」を入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

親展受信結果を通知する内線番号を入力して下さい。

親展ボックス01 結果通知先	取り消し	決定
内線番号 (0~9999)		
▶ <input type="text" value="1234"/>		

8

**決定** を選択します。

9

**名称登録/変更** を選択します。

親展ボックス01 登録/変更	閉じる
暗証番号 (0000~9999) * * * *	ボックス名称 (登録状況) (登録済-名称なし)
暗証番号変更	名称登録/変更
ボックス削除	結果通知先内線番号 1234
	結果通知先登録/変更

10

**親展ボックスの名称（漢字を含め最大10文字）を入力します。**

ここでは例として「NTT営業」と入力します。  
文字を入力するには (←基本P48)

親展ボックス01 名称入力/変更	取り消し	決定								
▶ NTT営業										
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	空白
ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	無変換
・	れ	ー	め	へ	ね	て	せ	け	え	
・	ろ	々	も	ほ	の	と	そ	こ	お	シフト
記号	英/数	カタカナ	ひらがな	単漢字変換						

11

**決定** を選択します。

12

**閉じる** を選択します。

登録したボックスの名称が表示されます。

13

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
ビジネスホン  
に通知する4  
音種レポート/リスト  
を出力する5  
設定する  
いろいろな機能6  
ご参考に

## ワンポイント.....

## ●登録操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。

## ●親展ボックスの内容を変更するには

- ①手順1～2の操作を行います。
- ②確認／変更する親展ボックス番号を、直接指で触れるか を使って選択します。
- ③手順4の操作を行います。
- ④旧暗証番号を入力し、**暗証番号変更** を選択します。
- ⑤新しい暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力し、**決定** を選択します。
- ⑥必要に応じて手順6～11の操作を行います。
- ⑦手順12～13の操作を行います。

## ●親展ボックスを削除するには

- ①手順1～2の操作を行います。
- ②削除する親展ボックス番号を、直接指で触れるか を使って選択します。
- ③手順4の操作を行います。
- ④旧暗証番号を入力し、**ボックス削除** を選択します。
- ⑤確認画面で **はい（削除する）** を選択します。
- ⑥ **閉じる** を選択します。
- ⑦ [オールクリア] ボタンを押します。



## お知らせ

- 親展ボックスの暗証番号に、他の親展ボックスと同じ暗証番号を登録することができます。
- 親展ボックスを削除すると、その親展ボックス内の受信文書も削除されます。受信文書の取り出しが必要なときは、削除を行う前に文書をプリントしてください。

## お願い

- 暗証番号は忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと受信文書をプリントすることができなくなります。暗証番号を忘れた場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

## 親展で送信する

親展送信をするときは、あらかじめ相手先の親展ボックス番号を確認しておいてください。

1

原稿をセットします。

原稿をセットするには (●基本P54)

2

ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

3

ファクス機能一覧画面で **次ページ** を選択します。

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

4

**親展通信** を選択します。

5

相手先の親展ボックス番号 (0~99) をダイヤルボタンで入力します。

ここでは例として「1」を入力します。

入力を間違えたときは、【クリア】ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

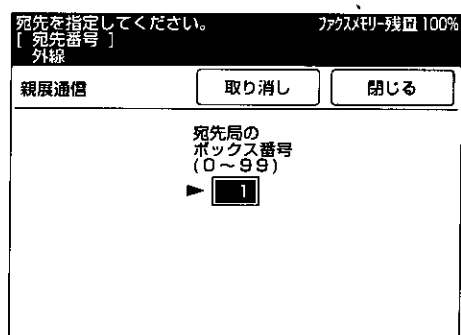
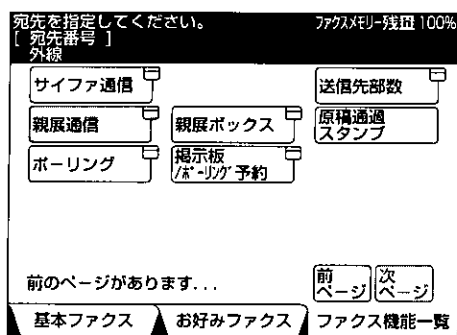
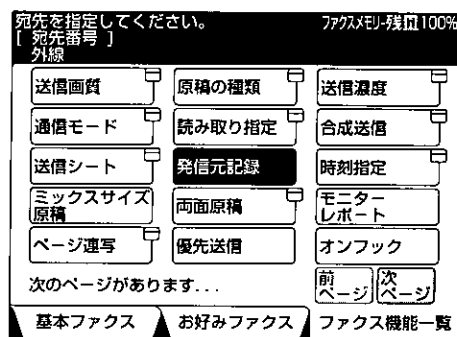
6

**閉じる** を選択します。

7

相手先を指定します。

相手先を指定するには (●基本P148)



**1** 通信相手を登録する

**2** 便利な機能を使って通信する

**3** ビジネスホンに通知する

**4** 音種レポート/リストを出力する

**5** いろいろな機能を設定する

**6** ご参考に

**8** **【スタート】ボタンを押します。**  
原稿が読み取られ、送信が開始されます。

**ワンポイント** .....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (←基本P166、169)
- 親展通信を短縮ダイヤルに登録すると  
短縮ダイヤルで宛先を指定するだけで、親展送信が行えます。(←P28)
- G4通信ユニット (オプション) を増設しているときは  
手順7で、G4モードの相手先を指定することはできません。

**お知らせ** |||

- 親展送信では、指定できる相手先は1件のみです。ただし、複数の相手先に同報送信するときに使った短縮ダイヤルに親展通信が登録されている場合には、その相手先のみ親展送信できます。
- 親展送信は、相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- 親展送信は、中継同報送信、ポーリング通信と組み合わせて設定することはできません。
- Fネット (ファクシミリ通信網) を利用した通信はできません。
- 親展送信では、送信先部数 (←P63) で複数部の指定をしても、送信の際に自動的に1部にして送信します。したがって、受信側では、1部のみ受信することになります。



# 親展で送信／受信するには

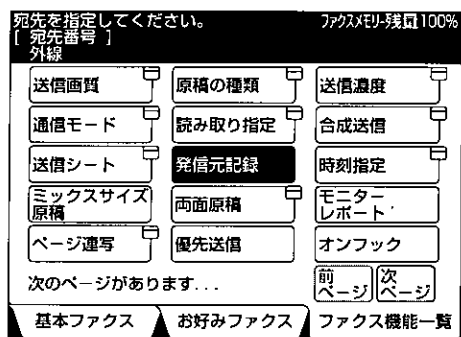
(親展通信) G3

## 親展受信文書をプリントする

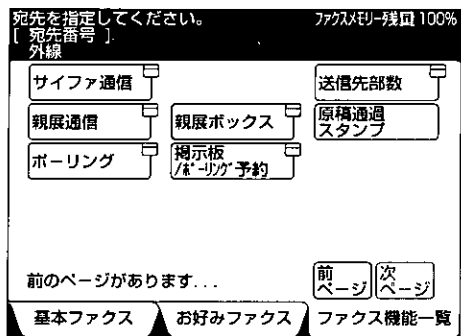
親展文書を受信すると、親展受信レポートが出力されます。親展ボックス番号を確認し、受信文書をプリントしてください。

**1** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

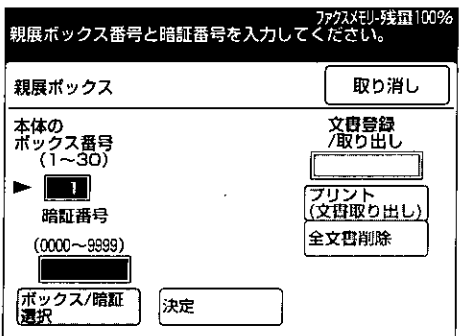
**2** ファクス機能一覧画面で【次ページ】を選択します。  
 ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。



**3** 【親展ボックス】を選択します。



**4** 親展ボックス番号 (1~30) をダイヤルボタンで入力します。  
 ここでは例として「1」を指定します。  
 入力を間違えたときは、【クリア】ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**5** 【ボックス/暗証選択】を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使用する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

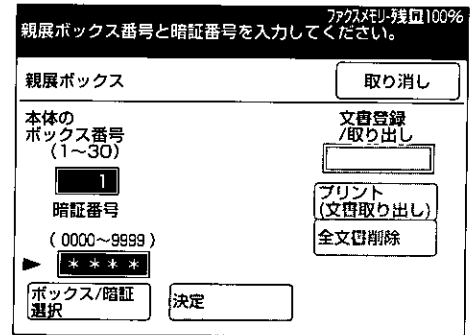
6 ご参考に

**6** 親展ボックスに登録されている暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。  
暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

**7** **決定** を選択します。  
暗証番号が違うと、「ピッピッピッ」という音が鳴ります。  
暗証番号を確認して、もう一度手順6からやり直します。

**8** **プリント（文書取り出し）** を選択します。  
親展ボックスに受信文書がないと、**プリント（文書取り出し）** は表示されません。

**9** **【スタート】 ボタン** を押します。  
受信文書のプリントが開始されます。



**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

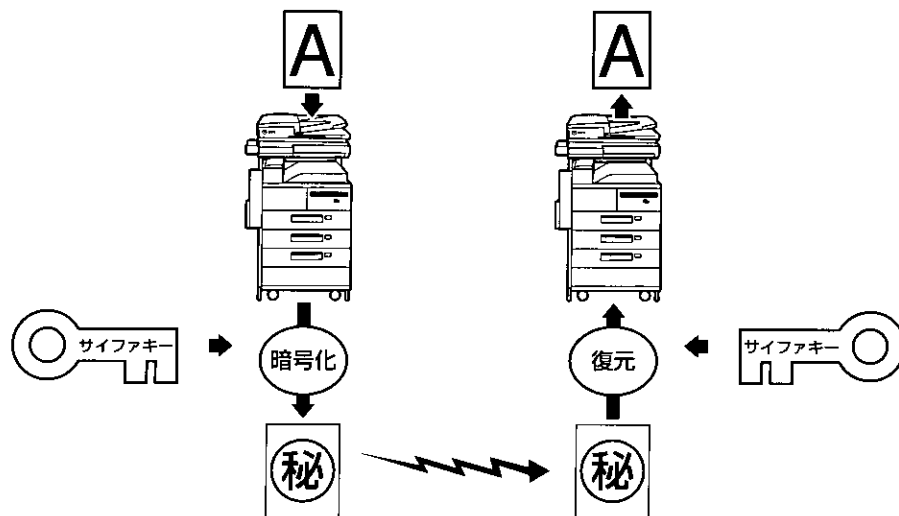
**お願い**

- 暗証番号は忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと受信文書をプリントすることができなくなります。暗証番号を忘れた場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

# 原稿を暗号化してファクスを送受信するには

(サイファ通信) G3

NTT独自の暗号化方式「FEAL-8」(Fast Data Encipherment Algorithm)を使って、文書を暗号化して送信することができます。16進数16桁のサイファキー(暗号を解くためのキーワード)が送信側と受信側とで一致しないと、文書を送信することができません。また、万一通信内容を盗聴されても画像を復元することができないので、機密文書を送信するときも安心です。



最大100個の任意のサイファキーをサイファキー番号(00~99)に登録しておき、通信相手ごとにサイファキー番号によって指定します。

サイファキー番号の指定方法にはあらかじめ短縮ダイヤル(←P25)に登録しておく方法と、送信時にサイファキー番号を入力する方法とがあります。

サイファ通信を本装置が受信する場合は、送信側から送られてきた発信元番号(ファクスの電話番号)を短縮ダイヤルの登録内容と照合し、一致したダイヤルに登録されているサイファキー番号によって、対応するサイファキーを選択します。サイファキーが一致した場合のみサイファ受信が自動的に開始されます。



## ワンポイント.....

●サイファキー番号「00」のサイファキーは

サイファキー番号が指定されなかった場合や、送信側から送られてきた発信元番号に一致する短縮ダイヤルの登録がなかったときの共通サイファキーとして使用されます。



## お知らせ

●サイファ通信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット(オプション)を増設してISDN回線でのみお使いの場合には、サイファ通信は利用できません。

●サイファ通信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●共通サイファキーを使ってサイファ通信をする場合でも、受信側にも同じ共通サイファキーが登録されている必要があります。

●Fネット(ファクシミリ通信網)を利用した通信では、サイファ通信できません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リポートを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

### サイファ通信の準備をする

サイファ通信をするには、送信側と受信側とで、あらかじめ以下の準備をしておきます。

- ①G3 ID（ファクス番号）を正確に登録します。（☛基本P38）
- ②サイファキー登録用暗証番号（4桁の数字）に登録します。（☛P84）
- ③送信側と受信側のそれぞれに同じサイファキーに登録します。（☛P86）
- ④短縮ダイヤルにサイファ通信の相手先を登録し、相手先と同じサイファキーが登録してあるサイファキー番号を登録します。

### どんなときにどんな操作でサイファ通信をするか

サイファ通信を行えるのは、以下のそれぞれの条件に当てはまる場合のみです。G4モードの相手先とはサイファ通信できません。

送信時に使用されるサイファキー	送信時の操作		
	相手先の指定方法	サイファ通信 選択	サイファキー番号の入力
特定のサイファキー番号のサイファキー	サイファキー番号を登録した短縮ダイヤル	—	—
	ダイヤル入力	○	○
共通サイファキー	サイファキー番号を登録していない短縮ダイヤル	○	—
	ダイヤル入力	○	—

—：操作が不要  
○：操作が必要



#### お知らせ

- サイファ通信は同報送信、時刻指定、中継同報送信、ポーリング通信、親展通信と組み合わせて設定することができます。

原稿を暗号化してファクスを送受信するには

(サイファ通信) G3

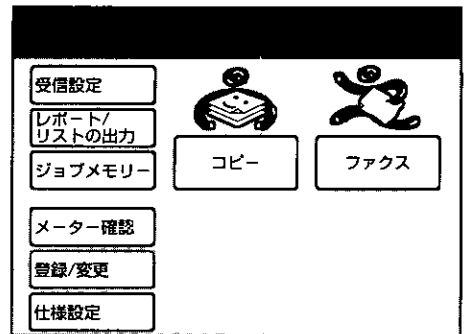
サイファキー登録の暗証番号を登録する

暗証番号を入力しなければ、サイファキーを登録することはできません。サイファキー登録の暗証番号は、サイファキー登録を最初に行うときに設定します。登録した暗証番号は絶対に忘れないよう、また部外者に知られないように注意してください。

1

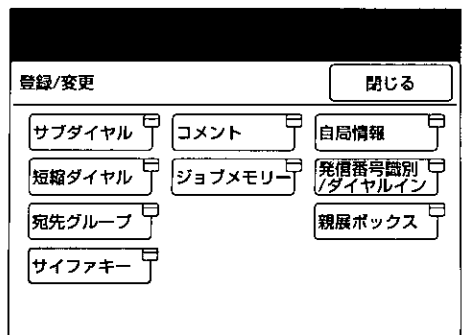
メニュー画面の **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**サイファキー** を選択します。

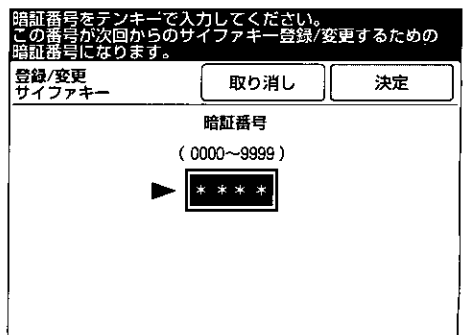


3

サイファキー登録用の暗証番号 (4桁の数字) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。

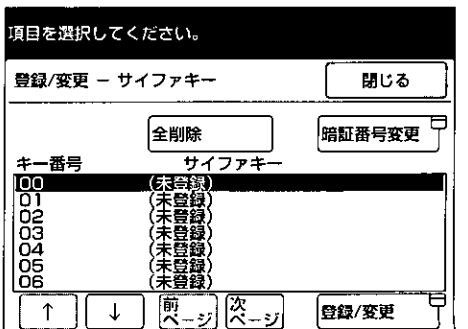


4

**決定** を選択します。

5

**閉じる** を選択します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

6

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 暗証番号を変更するには
  - ①手順1～2の操作を行います。
  - ②現在登録してある暗証番号をダイヤルボタンで入力します。
  - ③ **決定** を選択します。
  - ④ **暗証番号変更** を選択します。
  - ⑤新しい暗証番号をダイヤルボタンで入力します。
  - ⑥手順4～6の操作を行います。

**STOP** **お願い**

●暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと、サイファキーの登録ができなくなります。暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。この場合には、すべてのサイファキー登録が消去されます。また、暗証番号を特定の人以外に知られないように注意してください。

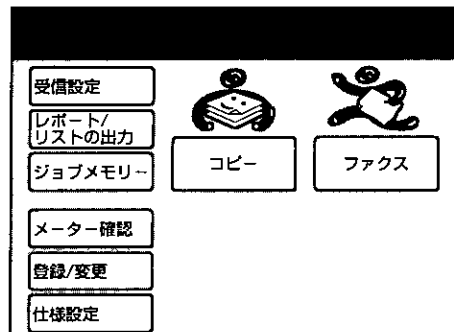
# 原稿を暗号化してファクスを送受信するには

(サイファ通信) G3

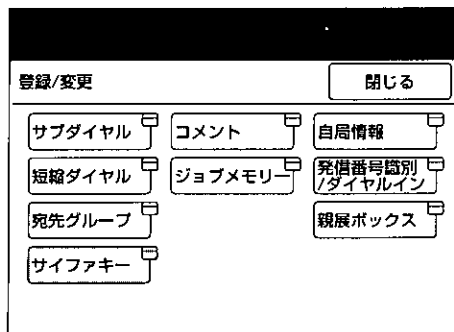
## サイファキーを登録/変更する

1 **メニュー画面の「登録/変更」を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

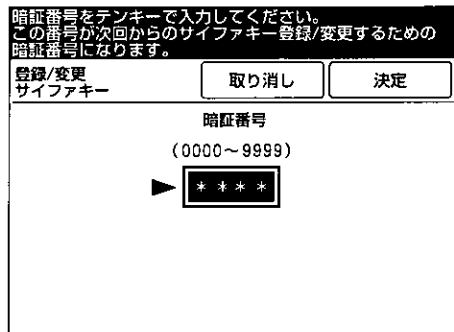


2 **「サイファキー」を選択します。**

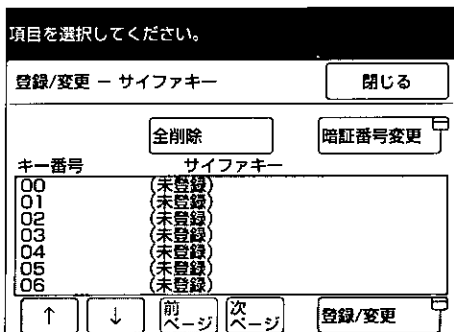


3 **サイファキー登録用の暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。**

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



4 **「決定」を選択します。**



6 **「登録/変更」を選択します。**

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

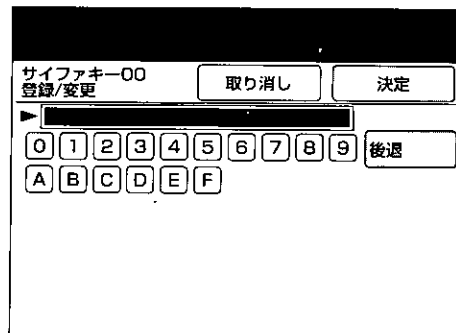
6 ご参考に

7

**サイファキー（16桁の16進数）をタッチパネルディスプレイのキーボードまたはダイヤルボタンを使って入力します。**

画面は、手順5でキー番号「00」を選択した場合の例です。16進数は、0～9の数字とA～Fのアルファベットで表示します。

入力を間違えたときは、「後退」を選択するか、または「クリア」ボタンを押して、1文字ずつ消してから入力し直します。



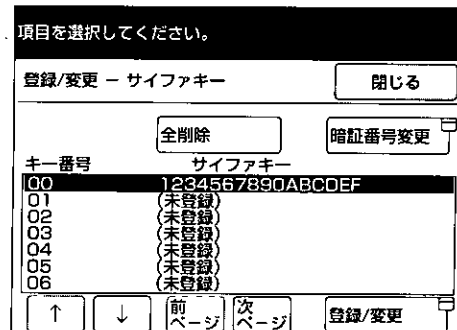
8

**「決定」を選択します。**

9

**登録した値が表示されているのを確認し、「閉じる」を選択します。**

画面は、手順7で「1234567890ABCDEF」を入力した場合の例です。



10

**【オールクリア】ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。

次ページに続きます。

# 原稿を暗号化してファクスを送受信するには

(サイファ通信) G3



## ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- サイファキー番号「00」のサイファキーは  
サイファキー番号が指定されなかった場合の共通サイファキーとして使用されますので、必ず登録しておくことをおすすめます。
- サイファキーを削除するには
  - ①手順1～4の操作を行います。
  - ②削除するキー番号を、直接指で触れるか   を使って選択します。
  - ③  を選択します。
  - ④  を繰り返し選択して、表示されている16進数をすべて消します。
  - ⑤手順8～10の操作を行います。
- すべてのサイファキーを削除するには
  - ①手順1～4の操作を行います。
  - ②  を選択します。
  - ③確認画面で  を選択します。
  - ④手順9～10の操作を行います。
- サイファキーリストを出力するには (●P146)
- サイファキーを短縮ダイヤルに登録するには (●P25)

**お願い**

- 短縮ダイヤルに登録してあるサイファキー番号のサイファキー登録を削除した場合には、必ず対応する短縮ダイヤルのサイファキー番号も消去してください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音報レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## サイファ送信をする

相手先の指定に、サイファ通信を登録した短縮ダイヤルを使う場合は、手順が簡単になります。

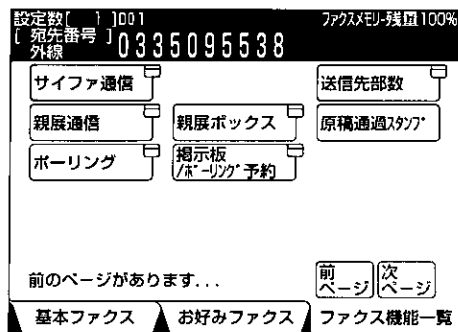
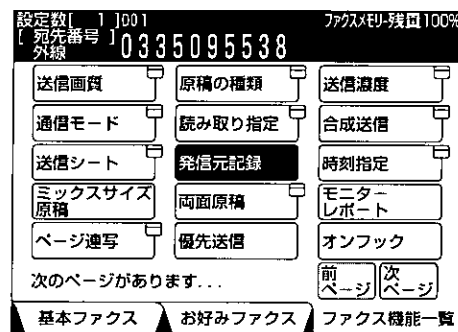
**1 原稿をセットします。**  
原稿をセットするには (●基本P54)

**2 ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。**

**3 相手先を指定します。**  
相手先を指定するには (●基本P148)  
サイファ通信を登録した短縮ダイヤルで相手先を指定した場合は、手順7に進みます。

**4 ファクス機能一覧画面で【次ページ】を選択します。**  
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、【ファクス機能一覧】のインデックスを選択します。

**5 【サイファ通信】を選択します。**



次ページに続きます。

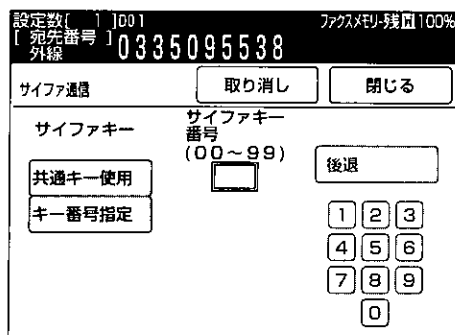
原稿を暗号化してファクスを送受信するには

(サイファ通信) G3

6

**共通キー使用** または **キー番号指定** を選択します。

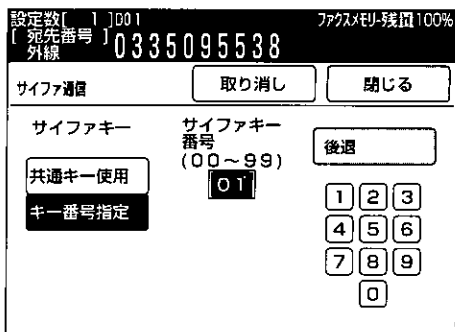
ここでは例として **キー番号指定** を選択します。  
**共通キー使用** を選択した場合は、手順8に進みます。



7

**サイファキー番号 (00~99) をタッチパネルディスプレイのキーボードを使って入力します。**

ここでは例として「01」を指定します。  
 入力を間違えたときは、**後退** を選択して間違えた文字を消してから入力し直します。



8

**閉じる** を選択します。

9

**[スタート] ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (←基本P166、169)
- 複数の相手先 (最大349件) を指定するときは  
手順3~8の操作を繰り返します。
- サイファ通信を登録した短縮ダイヤルを使うときは  
短縮ダイヤルにサイファキー番号を登録しておく、送信時にその短縮ダイヤルで相手先を指定することにより、自動的にサイファ送信されます。  
①原稿をセットします。  
②短縮ダイヤルで相手先を指定します。  
③[スタート] ボタンを押します。



お知らせ

- サイファ送信で、サイファキー番号が指定されなかった場合は、自動的にサイファキー番号「00」が用いられます。サイファ通信をご利用になる場合には、サイファキー番号「00」のサイファキーを登録するようおすすめします。(←P86)
- サイファ送信で同報送信するときは、すべての相手先に対してサイファ送信され、個別にサイファ送信を設定することはできません。



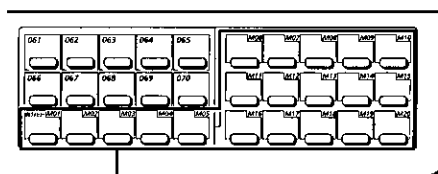
## 定型操作をボタンに登録して送受信を簡単にするには (ジョブメモリ)

ジョブメモリとは、1つのボタンを押すだけで、あらかじめ登録しておいた一連の定型操作が自動的に実行される機能です。いつも同じ設定で送受信する場合は、ジョブメモリに登録しておくのが便利です。

ジョブメモリは、コピー機能を含めて全部で20種類登録できます。ボタンやタッチパネルディスプレイの表示項目を1回選択する（押す）操作を1ステップとして、1つのジョブメモリにつき58ステップの操作が登録できます。

また、次の操作はジョブメモリに登録できません。

- ジョブメモリーボタンを押す
- オンフックダイヤル
- [割り込み] ボタンを押す
- [オールクリア] ボタンを押す
- [スタート] ボタンを押す



ジョブメモリーボタン

### ■ジョブメモリの使い方

ジョブメモリは、タッチパネルディスプレイに表示されるボタン番号1～20に登録します。ボタン番号1～20は、ジョブメモリーボタンM01～M20に対応しています。

ボタン番号1のジョブメモリを実行するときは、ジョブメモリーボタンM01を押します。

### ■ジョブメモリの内容をわかりやすくするには

ジョブメモリに、実行される操作の内容などを表す名前（コメント）を付けておくと判別しやすく、便利です。コメントはジョブメモリを登録するときに付けます。また、登録済みのジョブメモリの、コメントだけを変更することもできます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

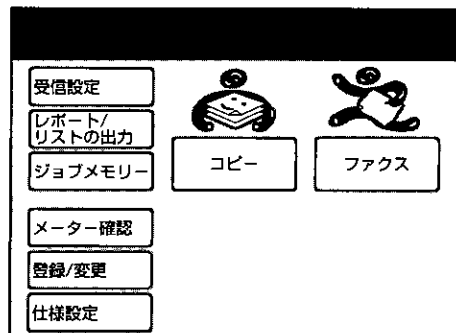
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

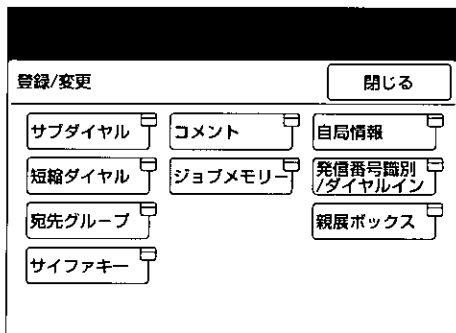
6 ご参考に

## ジョブメモリを登録する

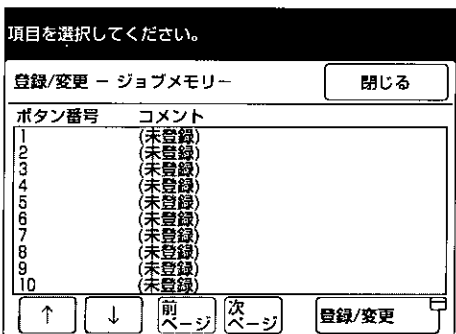
1 **メニュー画面の「登録/変更」を選択します。**  
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



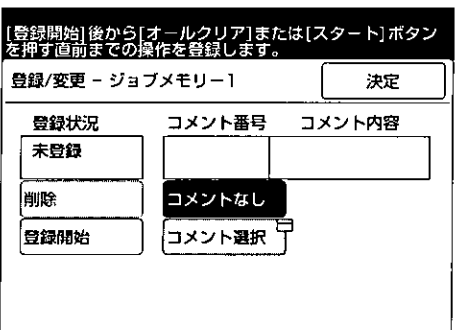
2 **「ジョブメモリ」を選択します。**



3 **登録するボタン番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**



4 **「登録/変更」を選択します。**  
コメントを付けないときは手順1に進みます。



5 **「コメント選択」を選択します。**  
画面は、手順3でボタン番号「1」を選択した場合の例です。

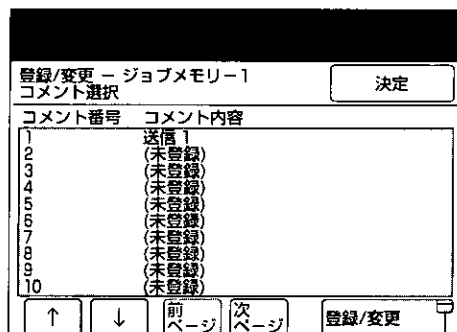
次ページに続きます。

# 定型操作をボタンに登録して送受信を簡単にするには (ジョブメモリ)

6

登録するコメント番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

すでに登録されているコメントを使うときは、そのコメント番号を選択して、手順10へ進みます。



7

**登録/変更** を選択します。



8

コメントを入力します。

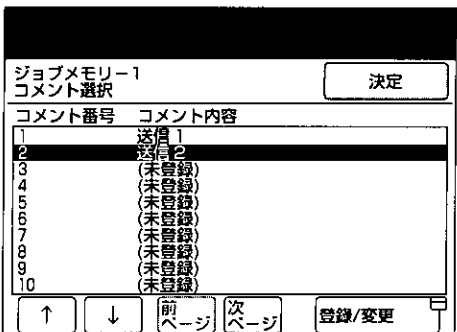
画面は、手順6でコメント番号「2」を選択した場合の例です。

ここでは例として「送信2」を入力します。

文字を入力するには (●基本P48)

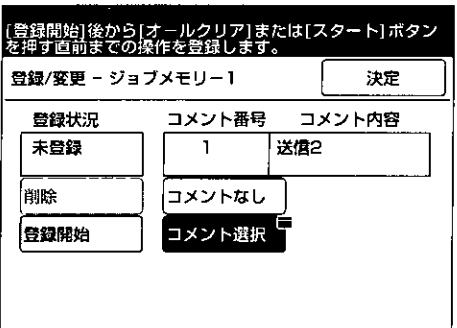
9

**決定** を選択します。



10

登録したコメントが表示されているのを確認し、**決定** を選択します。



11

**登録開始** を選択します。

登録中は「ブップブッ…」という音が鳴ります。

1 通信相手を登録する

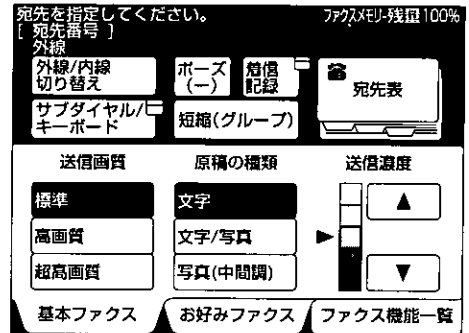
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



## 登録する操作（最大58ステップ）を選択します。

ボタンを押す操作や項目の選択など、登録したい操作を次々に続けて行います。

12

## 最後に【オールクリア】ボタンを押します。

「プップッッ…」という音が止まり、登録が終了します。  
[スタート] ボタンや [割り込み] ボタンを押しても、登録が終了します。

13



### ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。 [登録開始] を選択したあとは、途中までの操作が登録されます。
- 操作の登録中にプリントが開始されるボタンを押したり項目を選択したりすると  
[オールクリア] ボタンや [割り込み] ボタンを押さなくても、操作の登録が終了します。
- ジョブメモリのコメントを変更するには
  - ①手順1～5の操作を行います。
  - ②手順6で別のコメント番号を選択します。  
または、手順6～8の操作をして新しいコメントを登録します。
  - ③手順9、10の操作を行います。
  - ④ [決定] を選択します。
  - ⑤ [オールクリア] ボタンを押すか、または [閉じる] を選択します。
- ジョブメモリの内容を変更するには (●基本P136)  
ジョブメモリをいったん削除してから、登録し直します。
- ジョブメモリを削除するには (●P96、基本P138)



### お知らせ

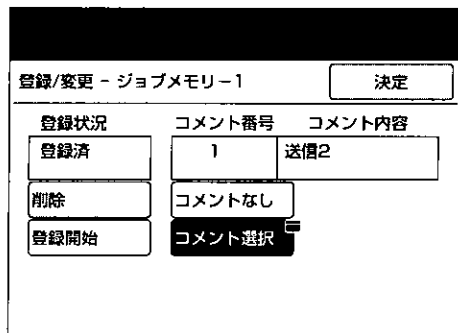
- すでに登録済みのジョブメモリの操作の一部を変更したり追加したりすることはできません。



# 定型操作をボタンに登録して送受信を簡単にするには (ジョブメモリ)

## ジョブメモリを削除する

- 1 「ジョブメモリに登録する」(←P93)の手順1~4の操作をします。
- 2 **削除** を選択します。
- 3 **決定** を選択します。
- 4 **閉じる** を選択します。
- 5 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



## ジョブメモリを実行する

ジョブメモリーボタンを押して、登録されている操作を実行します。原稿のセットが必要な場合は手順1でセットします。

- 1 必要に応じて原稿をセットします。  
原稿をセットするには (←基本P54)
- 2 ワンタッチパネルのパネルをめくり、ジョブメモリーボタン (MO1~M20) を押します。
- 3 通信などを開始する操作が必要な場合は、**【スタート】** ボタンを押します。

**ワンポイント** .....

- タッチパネルディスプレイで指定してジョブメモリを実行するには  
ジョブメモリーボタンを押すかわりに、タッチパネルディスプレイを使ってジョブメモリを実行することもできます。
- ①必要に応じて原稿をセットします。
- ②メニュー画面の「ジョブメモリー」を選択します。
- ③実行したいジョブメモリを直接指で触れて選択します。
- ④通信などを開始する操作が必要な場合は、**【スタート】** ボタンを押します。

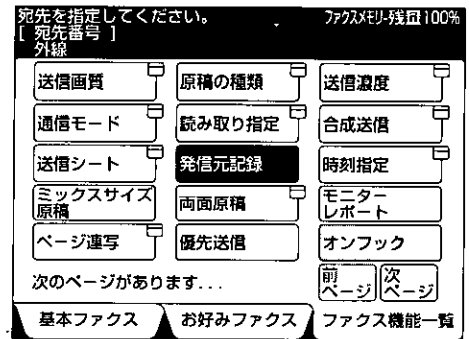
# FAX情報サービスを利用するには

FAX情報サービスを利用するときの、基本的な操作を説明します。  
ダイヤル回線をご使用の場合でも、プッシュホン信号を使ったFAX情報サービスを利用することができます。契約内容や具体的なご利用方法については、各サービス提供元へお問い合わせください。

**1** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

ファクス機能一覧画面で **オンフック** を選択します。

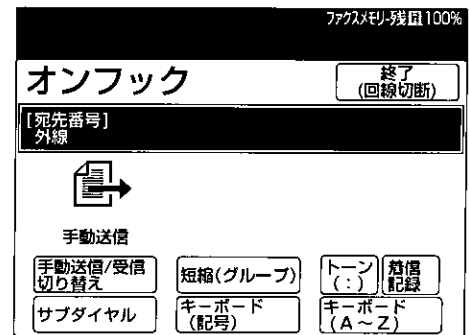
または受話器を取りあげます。  
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。



**3** FAX情報サービスの電話番号を入力します。

電話がつながったら、アナウンスの指示に従って、必要な番号をダイヤルボタンで入力します。

ダイヤル回線に接続しているときは、先に **トーン (:)** を選択してから必要な番号を入力します。  
プッシュ回線でお使いの場合には、**トーン (:)** は表示されません。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**5** **手動受信** になっていることを確認し、[スタート] ボタンを押します。

**手動送信** になっている場合は、**手動送信/受信切り替え** を選択して切り替えてから [スタート] ボタンを押します。  
受話器を取りあげているときは戻します。



## お知らせ

- ダイヤル回線でお使いの場合 **トーン (:)** を使ってもサービスを受けられないことがあります。詳しくは、各サービス提供元へお問い合わせください。
- ダイヤル回線から **トーン (:)** を使ってトーン信号を送出したあと、受話器を戻すと、ダイヤル信号に戻ります。
- 回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、**トーン (:)** は表示されません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



# 海外通信を行うには

海外通信を行うときは、**通信モード** で **海外通信** を選択することにより、通信の障害を軽減することができます。

電話番号の前に、国際電話番号と相手先の国番号を入力します。

1

**原稿をセットします。**

原稿をセットするには (●基本P54)

2

**お好みファクス画面またはファクス機能一覧画面で **通信モード** を選択します。**

お好みファクス画面またはファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**お好みファクス** または **ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

3

**海外通信** を選択します。

4

**閉じる** を選択します。

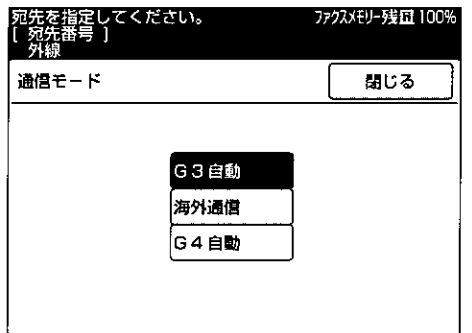
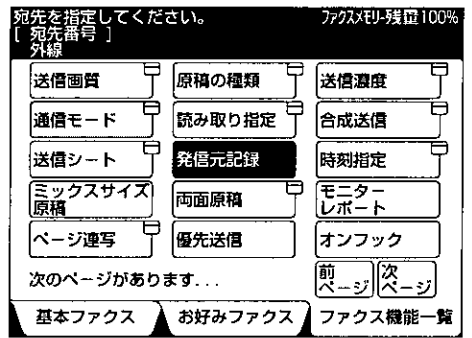
5

**国際電話番号と、相手先の国番号、電話番号を入力します。**

6

**【スタート】 ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



### ワンポイント.....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには (●基本P166、169)
- 国際電話番号とは  
国際電信電話株式会社 (KDD) や日本国際通信株式会社 (ITJ)、国際デジタル通信株式会社 (IDC) などの電話会社の交換機を経由して通信するための、「001」「0061」「0041」などの番号です。
- 海外通信を短縮ダイヤルに登録すると  
[海外通信] を選択しなくても、短縮ダイヤルで宛先を指定するだけで、海外通信が行えます。(●P21)



### お知らせ

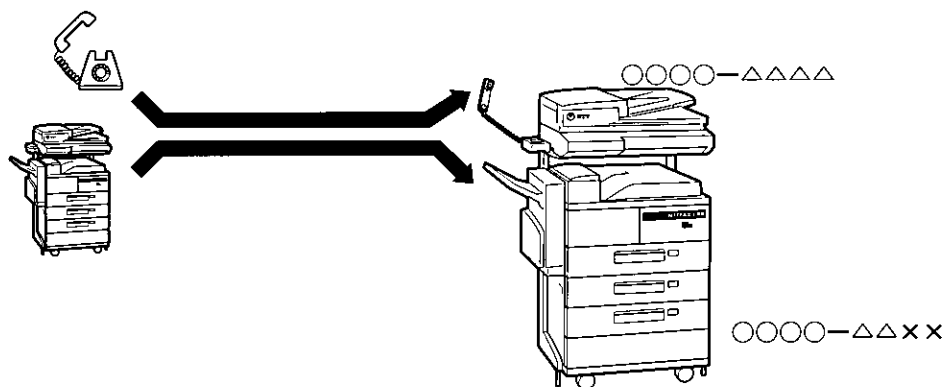
- [海外通信] を選択すると、より確実に送信するために伝送速度が4 800 bps以下になり、通信時間が長くなる場合があります。
- 国際電話番号 (001、0061、0041) を入力したあと、そのまま相手先の国番号と電話番号を入力しても、途中で話し中になり、通信できないことがあります。  
このような場合には、国際電話番号のあと、[ ] を2回入力するか、[ポーズ (-)] を入力してください。
- 北米地域のデジタル回線交換網に接続されたG4機と通信する場合は、回線速度などを合わせるために、国際電話番号を入力する前に [ <20,21> ] を入力してください。(「特殊記号を入力するには」 ●基本P149)
- [海外通信] を選択していても正常に送信できない場合は、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



# ファクス番号と電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン)

NTTのダイヤルインサービスをご利用になると、1本の電話回線で利用している電話とファクスに別々の電話番号を割り当てて、電話とファクスをうまく使い分けることができます。ダイヤルインをご利用になるには、NTTのダイヤルインサービスへの加入が必要です。NTTと契約したあと、回線契約種別(●P102)を「ダイヤルイン」に設定すると、このサービスが利用できるようになります。お買い求め時は「通常」に設定されています。

※ナンバー・ディスプレイ(●P105)と同時契約する場合は、回線契約種別を「発信番号通知/ダイヤルイン」に設定し、モデムダイヤルインの設定を行ってください。(●P119)



※留守番電話機等を接続して使用することができます。

## ダイヤルインを利用すると

<電話のとき>

相手が電話用の番号を使って呼び出す



呼出音が鳴る



受話器を取りあげて話をする

※ 電話への呼び出しは、3分間だけ鳴り続けたあと、自動的に切れます。

<ファクスのとき>

相手がファクス用の番号を使って呼び出す



自動的にファクスを受信する

## ダイヤルイン利用中に停電になったときの電話の受け方

停電になると、通常の操作では電話を受けることができません。次の手順で電話を受けてください。

呼出音が鳴る



呼出音が2回鳴り終わるまでに、受話器を取りあげる



「ピッポッパッポッ」という音が聞こえる

※ナンバー・ディスプレイと同時契約の場合は、「ピーガー」という短い音が聞こえます。



受話器を置く



1~2秒してからもう一度受話器を取りあげて話をする

**1**  
登録する  
通信相手を

**2**  
通信する  
便利な機能を使って

**3**  
に通知する  
ビジネスホン

**4**  
を出力する  
各種レポート/リスト

**5**  
を設定する  
いろいろな機能

**6**  
ご参考に



**お知らせ**

●ダイヤルインサービスをご利用のときには、本装置で設定した受信モードは無効になります。

**ダイヤルインサービスご契約についての注意**

ダイヤルインサービスをご契約になるときは、次のことに注意してください。

- ダイヤルインサービスをご契約の際は、送出番号は必ず4桁にしてください。
- ダイヤルインサービスに加入すると、現在お使いになっている電話番号が変わることがあります。
- 地域によりダイヤルインサービスを受けられない場合があります。NTT窓口等へご確認のうえ、ダイヤルインサービスをお申し込みください。
- ダイヤルインサービスをご利用になる場合、次のサービスとの同時契約はできません。  
キャッチホン、トリオホン、転送でんわ、でんわ会議、トーキ案内、ピンク電話など

- Fネットとの同時契約はできませんが、一部利用形態に制約があります。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。
- ファクスと電話を同時に使用することはできません。
- ナンバー・ディスプレイと同時契約する場合は、モデムダイヤルインサービスでのご契約となります。

# ファクス番号と電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン)

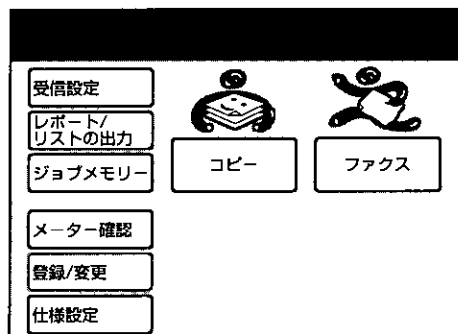
## ダイヤルイン接続を設定する

ダイヤルインサービスに加入されたときは、必ずファクス用と電話用の番号を登録し、回線契約種別を「ダイヤルイン」に設定してください。お買い求め時は「通常」に設定されています。ナンバー・ディスプレイと同時契約する場合は、ダイヤルイン接続のかわりに、モデムダイヤルインの設定をしてください。(P119)

1

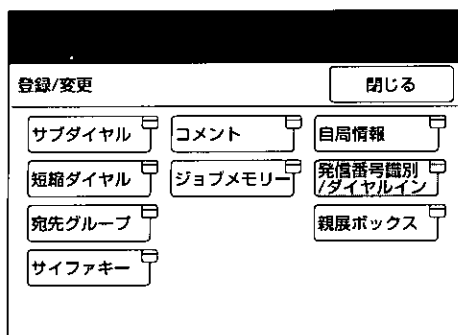
メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



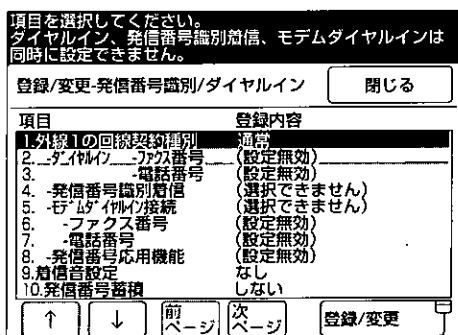
2

発信番号識別/ダイヤルインを選択します。



3

2.ダイヤルイン-ファクス番号を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



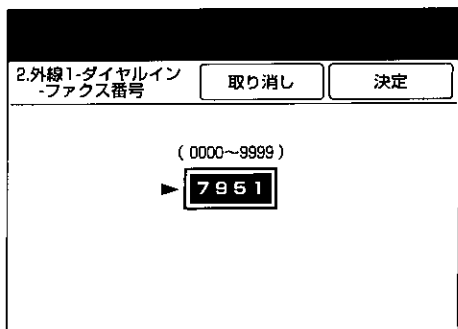
4

登録/変更を選択します。

5

ファクス用の番号の下4桁をダイヤルボタンで入力します。

ここでは例として「7951」を入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



6

決定を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7 **3.-電話番号**を、直接指で触れるか   を使って選択します。  
「2.-ファクス番号」は、手順14でダイヤルインが設定されるまでは、(設定無効)と表示されます。

8 **登録/変更** を選択します。

9 電話用の番号の下4桁をダイヤルボタンで入力します。  
ここでは例として「7911」を入力します。  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

10 **決定** を選択します。

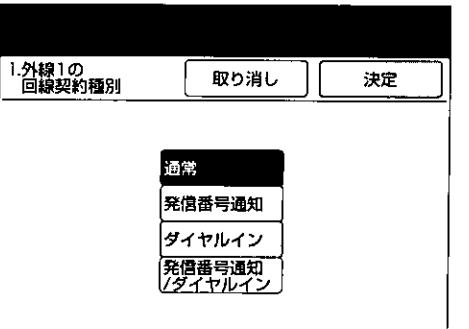
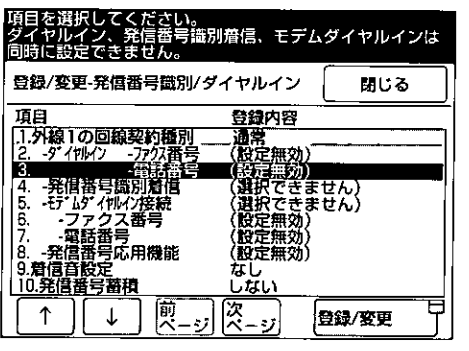
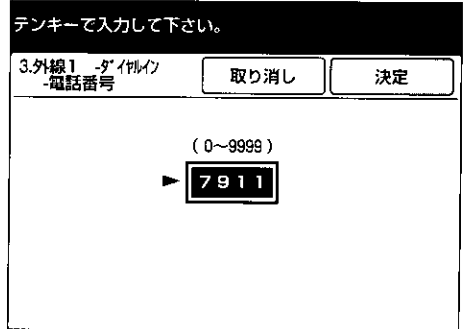
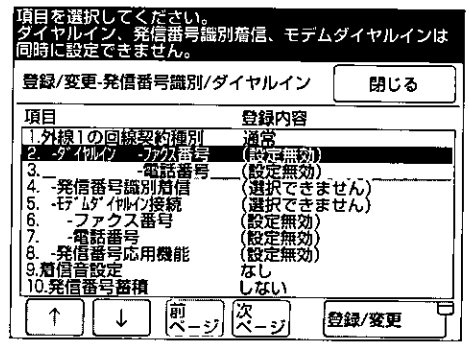
11 **1.外線1の回線契約種別** を、直接指で触れるか   を使って選択します。  
「3.-電話番号」は、手順14でダイヤルインが設定されるまでは、(設定無効)と表示されます。

12 **登録/変更** を選択します。

13 **ダイヤルイン** を選択します。

14 **決定** を選択します。

次ページに続きます。





# ファクス番号と電話番号を使い分けるには

(ダイヤルイン)

15

設定した値が表示されているのを確認し、

**閉じる** を選択します。

画面は、手順13で **ダイヤルイン** を選択した場合の例です。

項目を選択してください。  
ダイヤルイン、発信番号識別発信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

登録/変更-発信番号識別/ダイヤルイン 閉じる

項目	登録内容
1.回線1の回線契約種別	ダイヤルイン
2.ダイヤルイン-ファクス番号	7951
3.ダイヤルイン-電話番号	7911
4.発信番号識別発信	(選択できません)
5.モデムダイヤルイン接続	(選択できません)
6.ダイヤルイン-ファクス番号	(設定無効)
7.ダイヤルイン-電話番号	(設定無効)
8.発信番号応用機能	(設定無効)
9.着信音設定	(設定無効)
10.発信番号蓄積	(設定無効)

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

16

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



## ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- ナンバー・ディスプレイと同時契約する場合は  
ダイヤルイン接続の設定のかわりに、モデムダイヤルインの設定をします。(P119)



## お知らせ

- 手順5と9で登録するファクス番号と電話番号は、ダイヤルインサービスご加入時にNTTから連絡があった番号の下4桁を登録してください。登録を間違えるとファクスや電話が受けられなくなります。また、ファクス番号と電話番号は同じ番号を登録できません。
- 回線契約種別を **ダイヤルイン** に設定しているときは、自動受信モードの設定は、回線1の内線1、回線2、回線3に対して設定できます。

# ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、ファクスを送った方または電話をかけた方の電話番号（ファクス番号）が、着信に応答する前に受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、NTTとの契約が必要です。

NTTと契約したあと、回線契約種別（●P110）を「**発信番号通知**」または「**発信番号通知/ダイヤルイン**」に設定すると、このサービスが利用できるようになります。

お買い求め時は「**通常**」に設定されています。

※モデムダイヤルインサービス（●P119）と同時契約する場合は、回線契約種別を「**発信番号通知/ダイヤルイン**」に設定してください。

## ファクスを送る／電話をかけるとき

ファクスを送る相手の方または電話をかける相手の方がナンバー・ディスプレイを利用している場合、今までどおりのファクスの送り方または電話のかけ方で、本装置側の電話番号が相手側のディスプレイに表示されます。

### ●送信／通話ごとに電話番号を通知しないようにするには

相手の方の電話番号の前に、番号を表示しないようにするための特定番号をダイヤルすると、その送信／通話については、電話番号は通知されません。短縮ダイヤルに番号を表示しない特定番号をつけた電話番号を登録しておく、短縮ダイヤルで相手先を指定することによって、電話番号を通知しない通信が行えます。

### ●すべての送信／通話について電話番号を通知しないようにするには

局番なしの116番またはNTT窓口等へご連絡ください。

### ●相手の方に電話番号を通知すると

意図しない相手の方に電話番号を知られたりすることがあります。また、電話勧誘など思わぬ使われ方をされることがありますのでご注意ください。

### ●相手の方に電話番号を通知しないと

相手の方がナンバー・ディスプレイを利用しているとき、通信してきた人がわからないため、通信を拒否されたり、電話に出ていただけないこともあります。

### ●ナンバー・ディスプレイに関するお問い合わせは

NTT窓口等へお問い合わせください。



### お知らせ

●相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合、ダイヤルしてからつながるまでの時間が長くなることがあります。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音響レポート/レスポンスを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



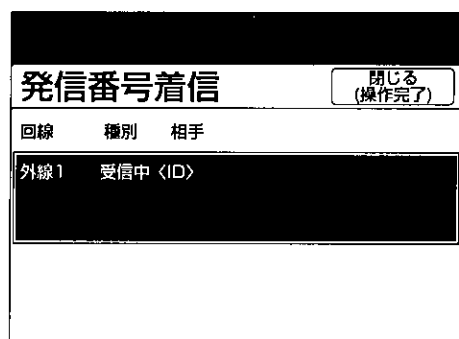
# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## ファクスが送られてきた／電話がかかってきたとき

本装置のナンバー・ディスプレイ対応機能が、相手の方から送られてきた発信電話番号を識別し、各種の設定に合わせた応答を行います。

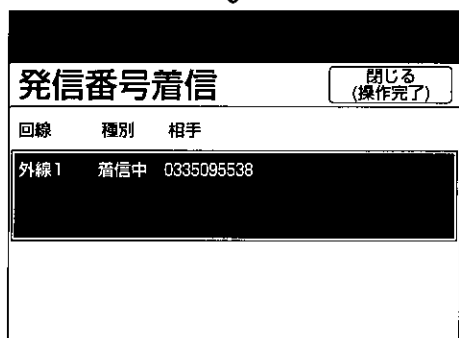
受話器や留守番電話機等を接続してご利用の場合は、電話に出る前に、電話をかけてきた方の電話番号がディスプレイに表示されるので、相手の方を確認してから電話に出ることができます。相手の方の名前が短縮ダイヤルに登録されている場合は、登録されている名称をディスプレイに表示させることもできます。（「相手名変換の設定」▶P116）

### ●ファクスが送られてきたときの表示例



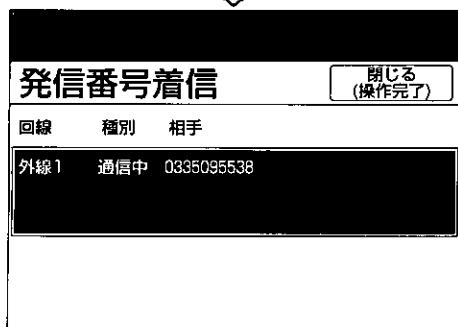
電話番号を受信中です。この表示中に受話器を取りあげて電話に出ることはできません。

電話番号を表示するとともに、ファクス受信を始めます。

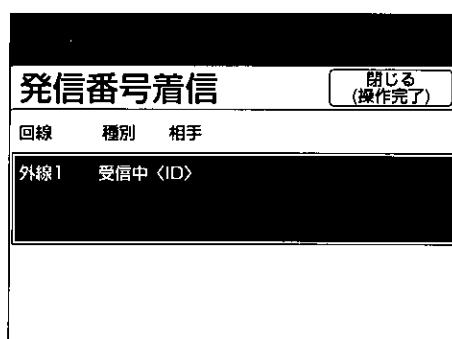


呼出音は鳴らずに、すぐにファクス受信を始めます。

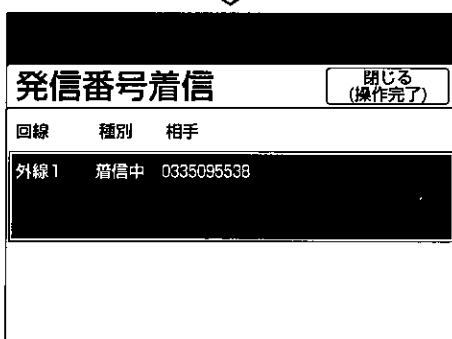
ファクスを送る方の番号通知状況によって表示される内容は変化します。（▶P107）



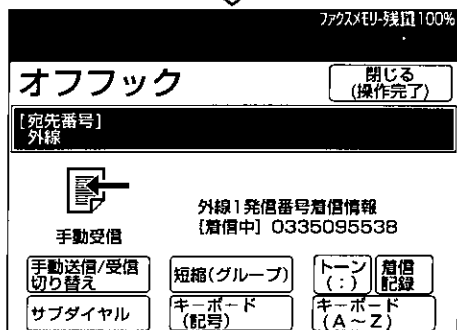
### ●電話がかかってきたときの表示例



電話番号を受信中です。この表示中に受話器を取りあげて電話に出ることはできません。



呼出音が鳴ります。電話をかけている方のダイヤル操作によって表示される内容は変化します。（▶P107）



電話に出るとオフフック画面に変わります。

通信しています。ファクスを送る方の番号通知状況によって表示される内容は変化します。（▶P107）

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する



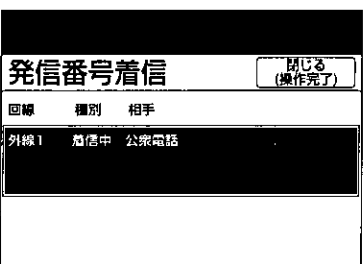
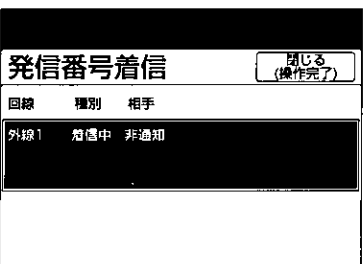
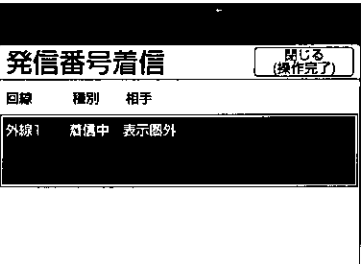
3 ビジネスホンに通知する

4 音報レポートリストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

●ファクスを送る／電話をかける方のダイヤル操作と、本装置での表示

電話をかける／ファクスを送る方のダイヤル操作	本装置の登録／設定状況	本装置での表示例
一般電話からのダイヤル	相手先の名称が短縮ダイヤルに登録されていない、または相手名変換を「しない」に設定しているとき (☛P116)	
	相手先の名称が短縮ダイヤルに登録されている、かつ相手名変換を「短縮登録宛先名に変換」に設定しているとき (☛P116)	
公衆電話からのダイヤル	/	
電話番号を表示しない操作でのダイヤル、または表示しない契約を行ってのダイヤル	/	
ナンバー・ディスプレイのサービスを提供していないエリアからのダイヤル、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できない場合	/	



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## ● 発信番号着信表示の流れ

機能を選択してください

受信設定		
レポート/リストの出力	コピー	ファクス
ジョブメモリー		
メーター確認		
登録/変更		
仕様設定		

外線1で送信中に、  
受話器を取りあげると…  
(外線2 (オプション) で発呼)

ファクスメリ-残量 100%

オフフック 閉じる (操作完了)

[宛先番号]  
外線

手動送信

手動送信/受信切り替え	短縮(グループ)	トーン (:)	着信記録
サブダイヤル	キーボード (記号)	キーボード (A~Z)	

外線1に発信番号が着信すると…  
または発信番号受信中に「ファクス」を選択すると…

「閉じる」を選択すると…  
または相手の方が回線を切断すると…

外線1に着信中に、  
受話器を取りあげると…

「閉じる」を選択すると…  
または受話器を置くと…

外線1の通信が終了すると…  
または外線1の相手の方が回線を切断すると…

外線1送信終了後、  
外線1に発信番号が着信すると…

発信番号着信 閉じる (操作完了)

回線	種別	相手
外線1	着信中	0335095538

受話器を取りあげると…

ファクスメリ-残量 100%

オフフック 閉じる (操作完了)

[宛先番号]  
外線

手動送信

外線1発信番号着信情報  
【着信中】 0335095538

手動送信/受信切り替え	短縮(グループ)	トーン (:)	着信記録
サブダイヤル	キーボード (記号)	キーボード (A~Z)	

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使う

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



## お知らせ

- 着信と同時に本装置または外付け電話機の受話器を取りあげると、ごくまれに、かかってきた相手の方の電話番号の情報を正常に受信できないことがあります。この場合、受話器から「ピガー」という音が聞こえたら、すぐに受話器を置いてください。続いて呼出音が鳴りますので、受話器を取りあげるとお話しすることができます。なお、この際には、相手の方の電話番号の表示などナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用できません。
- ナンバー・ディスプレイ機能は、外線1でのみご利用いただけます。回線1に外線/内線切替キット（オプション）を装着された場合は、内線ではナンバー・ディスプレイ機能はご利用できません。またG3増設ポート（オプション）装着時、回線2/回線3でもナンバー・ディスプレイ機能はご利用できません。
- ナンバー・ディスプレイ対応電話機を外付け電話機として本装置に接続しても、外付け電話機側のナンバー・ディスプレイ機能はご利用できません。
- 一時的な電話回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときは、タッチパネルディスプレイに「受信エラー」と表示されます。
- 相手の電話番号が短縮ダイヤルに登録されている場合、相手名変換を「短縮登録宛先名に変換」に設定しておくこと（☛P116）相手先の名称は表示されますが、短縮ダイヤルの登録番号は表示されません。
- 短縮ダイヤルには市外局番から登録してください。市内からの電話の場合、市外局番から登録していないと、登録されている名称が正しく表示されないことがあります。
- 事業所集団電話（CES）に接続してご利用の場合、CES内線から着信時は発信電話番号の表示は行われません。
- 本装置が構内交換機（PBX）やビジネスホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用にならないことがあります。
- 1本の電話回線で2台以上の電話機を接続してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用できません。
- コピー中に電話がかかってきた場合にも、相手の方の電話番号は表示されます。

## サービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

### ■相手の電話番号で着信音を変える

#### （発信電話番号着信音設定）

短縮ダイヤルに登録してある方からファクスが送られてくる/電話がかかってくると、通常とは違う着信音が鳴るようにすることができます。（☛P114）

### ■かかってきた方の電話番号を表示する

#### （発信電話番号蓄積）

ファクスを送ってきた/電話をかかってきた方の電話番号（最大3件、最大20桁/1件）を記憶させることができます。記憶した電話番号は、タッチパネルディスプレイに表示させたり消去したりすることができます。（☛P115）

### ■かかってきた方にこちらからかけ直す

かかってきた方の電話番号をタッチパネルディスプレイに表示させて、相手先の指定に使うことができます。（☛P124）

本機能は、本装置の受話器を取りあげて、またはファクス機能一覧画面の「オンフック」を選択して電話をかけ直すときに、利用できる機能です。

### ■かかってきた方の名前を表示する（相手名変換）

ファクスを送ってきた/電話をかかってきた方の電話番号や名前が短縮ダイヤルに登録されていると、タッチパネルディスプレイに名前が表示されます。（☛P116）

### ■相手の電話番号で応答のしかたを変える

#### （発信番号識別着信）

短縮ダイヤルに登録してある方からファクスが送られてきた/電話がかかってきたときに、受信モードを「ファクス」や「電話（手動受信）」に設定している場合でも、その相手の方に限り、電話で呼び出したりファクスで応答したりするように設定できます。（☛P117）

### ■ファクス番号と電話番号を使い分ける

#### （モデムダイヤルイン）

1本の電話回線でご利用の場合でも、電話用とファクス用に別々の電話番号を割り当てることができます。（☛P119）ナンバー・ディスプレイに加入すると、通常のダイヤルインサービスを利用できなくなりますが、モデムダイヤルイン機能を利用すれば、通常のダイヤルインサービスと同じように電話とファクスを使い分けることができます。



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## ナンバー・ディスプレイ対応機能を設定する

ナンバー・ディスプレイを利用するには、必ず回線契約種別を「発信番号通知」または「発信番号通知/ダイヤルイン」(ダイヤルインを同時契約する場合)に設定します。続いて、発信番号応用機能、着信音、発信番号蓄積、相手名変換の設定が行えます。「発信番号通知/ダイヤルイン」に設定する操作についてはP119を参照してください。

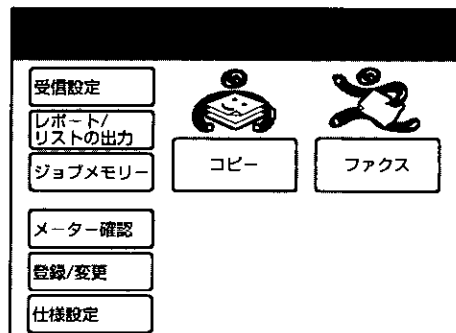
### 回線契約種別の設定

回線契約種別を「発信番号通知」に設定します。お買い求め時は「通常」に設定されています。

1

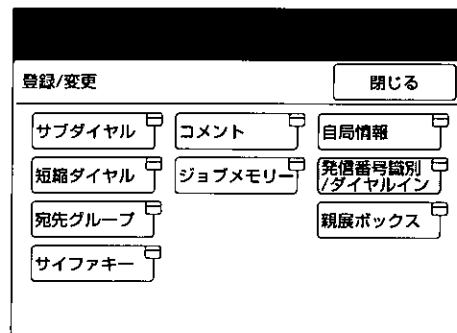
メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



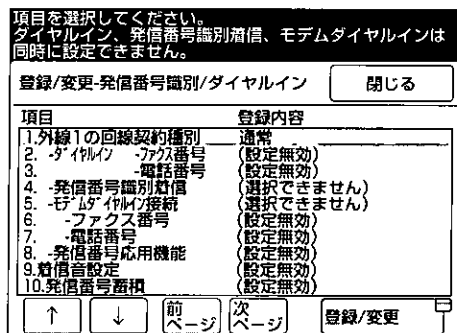
2

「発信番号識別/ダイヤルイン」を選択します。



3

1. 外線1の回線契約種別 が選択されていることを確認し、「登録/変更」を選択します。



1 登録する  
通信相手を

2 便利な機能を使って  
通信する

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

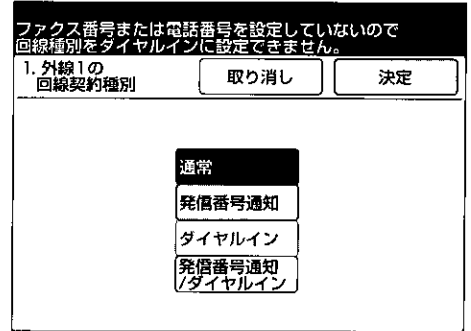
6 ご参考に

4 **発信番号通知** を選択します。

5 **決定** を選択します。

6 **閉じる** を選択します。

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。
- 手順4で **発信番号通知/ダイヤルイン** に設定したときは  
必ずモデムダイヤルインの登録を行ってください。(P119)



お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの契約をしないで、または契約後サービスが開始される前に、回線契約種別を **発信番号通知** または **発信番号通知/ダイヤルイン** に設定すると、正常に着信できない場合があります。



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## 発信番号応用機能の設定

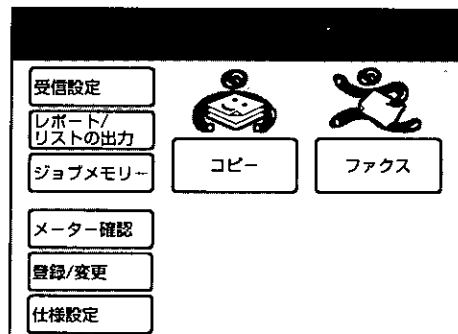
本装置のナンバー・ディスプレイの各対応機能を利用するには、発信番号応用機能を「あり」に設定してください。お買い求め時は「なし」に設定されています。

「なし」に設定していると、本装置の発信電話番号着信音設定、発信電話番号蓄積、相手名変換などの機能が利用できません。

1

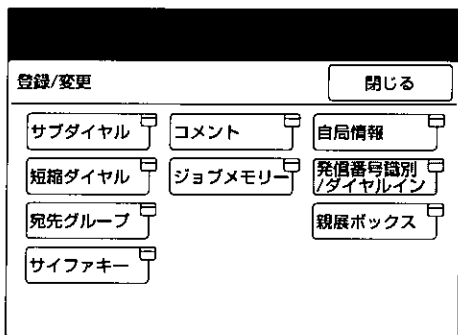
メニュー画面の **登録/変更** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



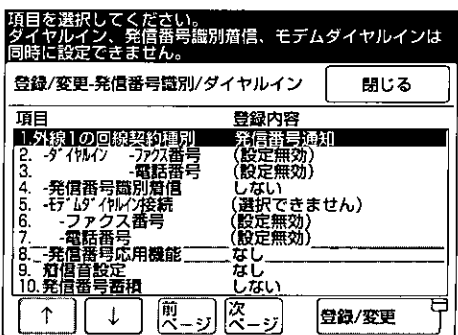
2

**発信番号識別/ダイヤルイン** を選択します。



3

**8. -発信番号応用機能** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**登録/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

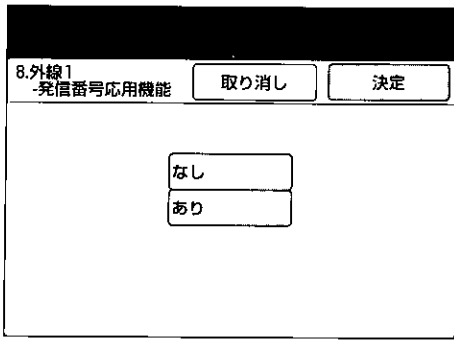
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

5 **なし** または **あり** を選択し、発信番号応用機能の設定を指定します。

6 **決定** を選択します。  
その他の設定を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、**[オールクリア]** ボタンを押して初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## 着信音の設定（発信電話番号着信音設定）

発信電話番号着信音を設定すると、発信番号着信音を「あり」に設定した短縮ダイヤル（P28）に登録されている方からかかってきたときに、通常と違う着信音（着信音1～3から選択）が鳴ります。お買い求め時は「なし」に設定されています。

**1** **9. 着信音設定** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

**2** **登録/変更** を選択します。

**3** **着信音1**、**着信音2**、**着信音3** のいずれかを選択します。

**4** **決定** を選択します。  
 その他の設定を行わない場合は、次の画面で「閉じる」を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

項目を選択してください。ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知
2. ダイヤルイン - ファクス番号	(設定無効)
3. - 電話番号	(設定無効)
4. 発信番号識別着信	しない
5. モデムダイヤル接続	(選択できません)
6. - ファクス番号	(設定無効)
7. - 電話番号	(設定無効)
8. 発信番号識別着信	あり
9. 着信音設定	なし
10. 発信番号着信	しない

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

9. 発信番号応用機能- 着信音設定

取り消し 決定

なし

着信音1

着信音2

着信音3

### ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。
- 着信音1～3の鳴り方は  
着信音1: 「ブブ・ブブ・ブブ…」  
着信音2: 「ブブブ・ブブブ…」  
着信音3: 「ブブブブ・ブブブブ…」

### お知らせ

- 短縮ダイヤルには市外局番から登録してください。市内からの電話の場合、市外局番から登録していないと、着信音の設定が正しくはたつきません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

### 発信電話番号蓄積の設定

発信番号蓄積を **する** に設定すると、かけてきた方の電話番号（最大3件、最大20桁/1件）が記憶され、タッチパネルディスプレイに表示させることができます。（☛P122）お買い求め時は **しない** に設定されています。

**1** **10. 発信番号蓄積** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

**2** **登録/変更** を選択します。

**3** **しない** または **する** を選択し、発信電話番号蓄積機能を利用するかどうかを指定します。

**4** **決定** を選択します。  
 その他の設定を行わない場合は、次の画面で **閉じる** を選択し、[オールクリア] ボタンを押して初期画面に戻ります。

項目を選択してください。  
 ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知
2. -ダイヤルイン -ファクス番号	(設定無効)
3. -電話番号	(設定無効)
4. -発信番号識別着信	しない
5. -モデムダイヤルイン接続	(選択できません)
6. -ファクス番号	(設定無効)
7. -電話番号	(設定無効)
8. -発信番号応用機能	あり
9. 着信音設定	前音音1
10. 発信番号蓄積	しない

↑ ↓ 前ページ 次ページ 登録/変更

10. 発信番号応用機能- 発信番号蓄積

取り消し 決定

しない  
 する



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。
- かけてきた方にこちらからかけ直すには (☛P124)



お知らせ

- 停電等があると、かけてきた方の電話番号が消えてしまうおそれがあります。
- かけてきた方の電話番号が3件を超えたときは、古い番号から消去されます。



1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

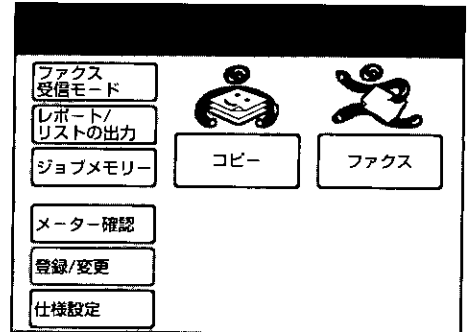
## 相手の電話番号で応答のしかたを変える (発信番号識別着信)

短縮ダイヤルに受信モードを登録してある相手先からファクスが送られてきた／電話がかかってきたときに、設定している受信モードにかかわらず、短縮ダイヤルに登録されている応答のしかたができるようにするには、発信番号識別着信を「する」に設定します。

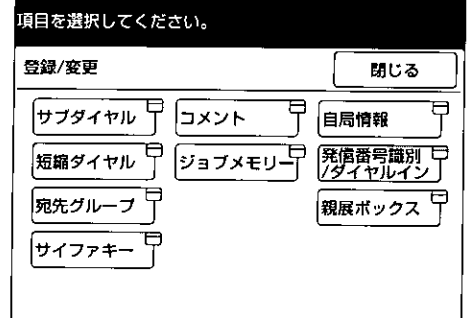
この設定を行う前に、回線契約種別 (P110) を「発信番号通知」に設定しておいてください。

### 1 メニュー画面の「登録/変更」を選択します。

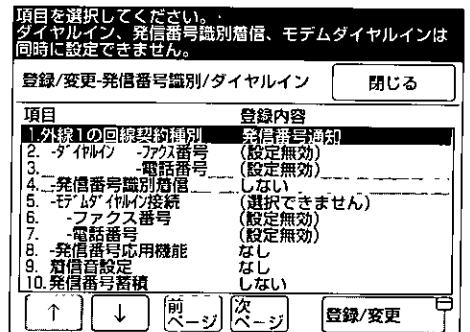
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



### 2 「発信番号識別/ダイヤルイン」を選択します。

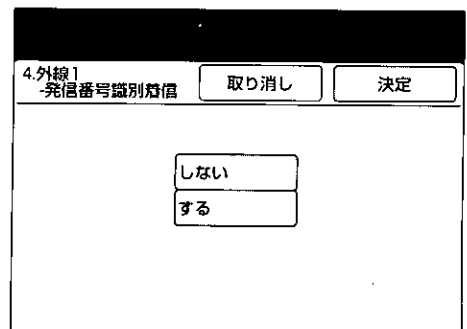


### 3 4.-発信番号識別着信 を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



### 4 「登録/変更」を選択します。

### 5 「しない」または「する」を選択し、発信番号識別着信の設定を指定します。



### 6 「決定」を選択します。



1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

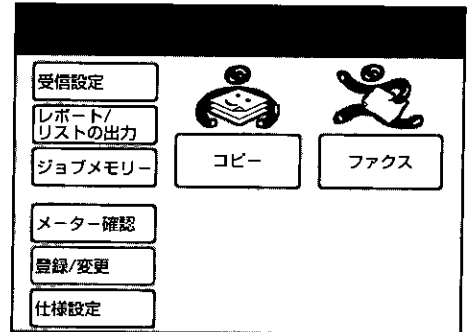
6 ご参考に

## ファクス番号と電話番号を使い分ける (モデムダイヤルイン)

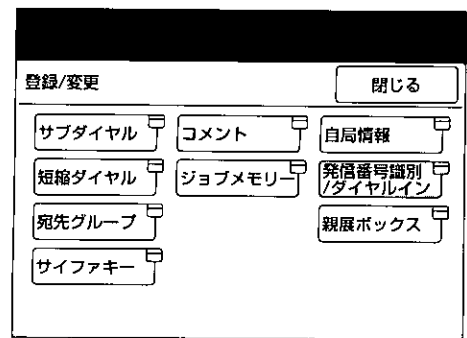
ナンバー・ディスプレイとダイヤルインを同時契約されたときは、必ず回線契約種別を **発信番号通知/ダイヤルイン** に設定してください。ファクス用と電話用の番号を登録し、モデムダイヤルイン接続を **する** に設定します。続いて発信番号応用機能 (●P112)、着信音 (●P114)、発信番号蓄積 (●P115)、相手名変換 (●P116) の設定が行えます。

メニュー画面の **登録/変更** を選択します。

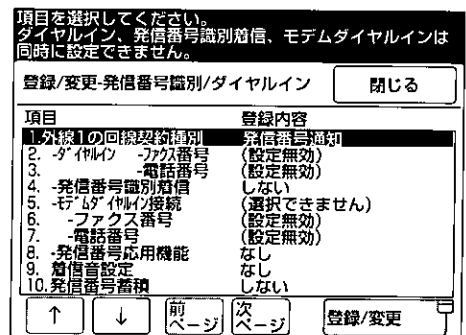
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



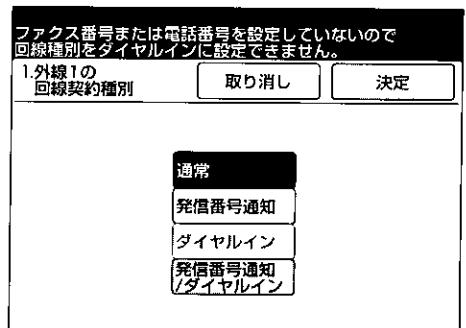
**発信番号識別/ダイヤルイン** を選択します。



**1. 外線1の回線契約種別** が選択されているのを確認し、**登録/変更** を選択します。



**発信番号通知/ダイヤルイン** を選択します。



**決定** を選択します。

次ページに続きます。



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

6 **6. -ファクス番号** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

7 **登録/変更** を選択します。

8 **ファクス用の番号を市外局番からダイヤルボタンで入力します。**  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

9 **決定** を選択します。

10 **7. -電話番号** を、直接指で触れるか   を使って選択します。

11 **登録/変更** を選択します。

12 **電話用の番号を市外局番からダイヤルボタンで入力します。**  
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

13 **決定** を選択します。

項目を選択してください。ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

登録/変更-発信番号識別/ダイヤルイン

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知/ダイヤルイン
2. ダイヤルイン -ファクス番号	(設定無効)
3. -電話番号	(設定無効)
4. -発信番号識別着信	しない
5. モデムダイヤルイン接続	(設定無効)
6. -ファクス番号	(未登録)
7. -電話番号	(未登録)
8. -発信番号応用機能	なし
9. 着信音設定	なし
10. 発信番号蓄積	しない

テンキーで入力して下さい。

6.外線1-モデムダイヤルイン  
-ファクス番号

(20桁まで)

▶

項目を選択してください。ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

登録/変更-発信番号識別/ダイヤルイン

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知/ダイヤルイン
2. ダイヤルイン -ファクス番号	(設定無効)
3. -電話番号	(設定無効)
4. -発信番号識別着信	しない
5. モデムダイヤルイン接続	(設定無効)
6. -ファクス番号	0337407951
7. -電話番号	(未登録)
8. -発信番号応用機能	なし
9. 着信音設定	なし
10. 発信番号蓄積	しない

テンキーで入力して下さい。

7.外線1-モデムダイヤルイン  
-電話番号

(20桁まで)

▶

1 通信相手へ登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

14 5. -モデムダイヤルイン接続 を、直接指で触れるか   を使って選択します。

15 登録/変更 を選択します。

16 する を選択します。

17 決定 を選択します。

18 設定した値が表示されているのを確認し、閉じる を選択します。

19 [オールクリア] ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

項目を選択してください。ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

登録/変更-発信番号識別/ダイヤルイン

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知/ダイヤルイン
2. ダイヤルイン -ファクス番号	(設定無効)
3. -電話番号	(設定無効)
4. 発信番号識別着信	しない
5. モデムダイヤルイン接続	(設定無効)
6. -ファクス番号	0337407951
7. -電話番号	0337407911
8. 発信番号応用機能	なし
9. 着信音設定	なし
10. 発信番号番積	しない

5.外線1  
-モデムダイヤルイン接続

項目を選択してください。ダイヤルイン、発信番号識別着信、モデムダイヤルインは同時に設定できません。

登録/変更-発信番号識別/ダイヤルイン

項目	登録内容
1. 外線1の回線契約種別	発信番号通知/ダイヤルイン
2. ダイヤルイン -ファクス番号	(設定無効)
3. -電話番号	(設定無効)
4. 発信番号識別着信	しない
5. モデムダイヤルイン接続	する
6. -ファクス番号	0337407951
7. -電話番号	0337407911
8. 発信番号応用機能	なし
9. 着信音設定	なし
10. 発信番号番積	しない



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- モデムダイヤルイン機能は、受信した電話番号と本装置に登録されているファクス用と電話用の番号を比べることにより、ファクスと電話を使い分けることができます。
- 手順8と12で登録するファクス用と電話用の番号は、モデムダイヤルインサービスご加入時にNTTから連絡があった電話番号を必ず市外局番から登録してください。登録を間違えるとファクスや電話が受けられなくなります。また、ファクス番号と電話番号は同じ番号を登録できません。
- 4.発信番号識別着信を  に設定しているときは、モデムダイヤルイン接続を  に設定することはできません。
- モデムダイヤルイン接続を  に設定しているときは、受信モードの設定にかかわらず、ファクス/電話それぞれで応答します。ただし、複数の回線に接続してお使いの場合、外線1以外の回線には受信モードの設定が適用されます。



# ナンバー・ディスプレイを利用するには

## かけてきた方の電話番号を表示させる (着信記録)

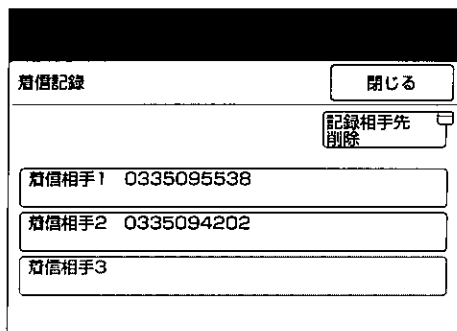
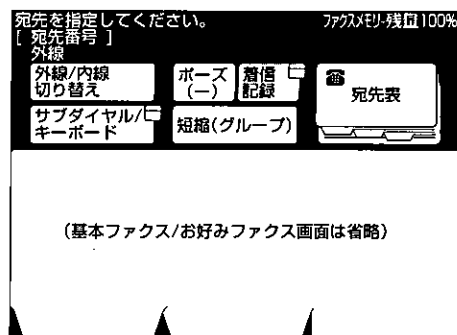
ファクスを送ってきた／電話をかけてきた方の電話番号（最大3件、最大20桁／1件）をタッチパネルディスプレイに表示させて確認することができます。簡単な操作で、表示させた電話番号にかけ直すこともできます。あらかじめ発信番号番積を **する** に設定しておいてください。(●P115)

**1** ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

**2** 基本ファクス画面またはお好みファクス画面で **着信記録** を選択します。

基本ファクス画面またはお好みファクス画面が表示されていないときは、**基本ファクス** または **お好みファクス** のインデックスを選択します。

**3** 着信記録を確認したら、**閉じる** を選択します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

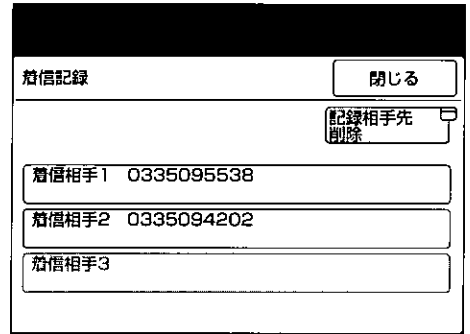
### 着信記録の削除

1

「かけてきた方の電話番号を表示させる（着信記録）」（P122）の手順1～2の操作をします。

2

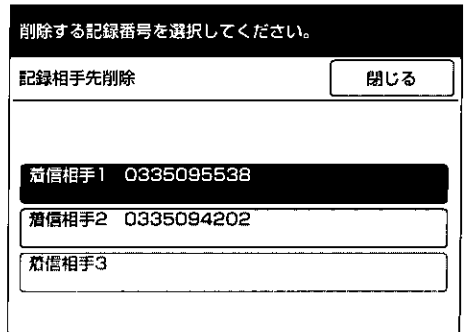
**記録相手先削除** を選択します。



3

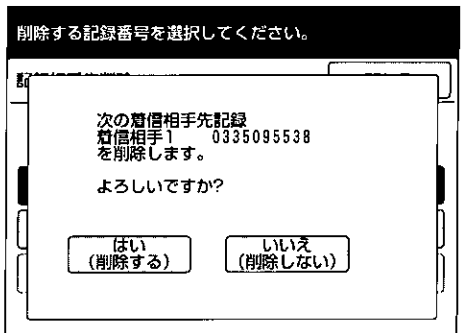
削除する着信記録を、直接指で触れて選択します。

ここでは例として **着信相手1** を選択します。



4

削除する場合は **はい（削除する）** を、削除を取りやめたいときは **いいえ（削除しない）** を選択します。



#### ワンポイント.....

- 記録した電話番号が3件を超えたときは  
新しい発信電話番号が受信されるたびに、古いものから順番に消去されます。



#### お知らせ

- 受信した発信電話番号は、電話/ファクスの区別なく記録されます。
- 停電等があると、着信記録が消えてしまうおそれがあります。

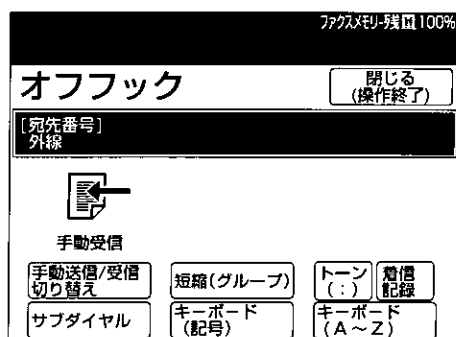


# ナンバー・ディスプレイを利用するには

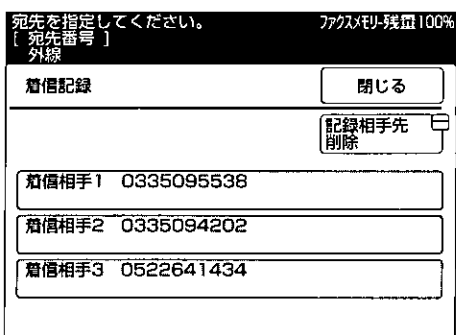
## 着信記録を使ったオフフックダイヤル

1 受話器を取りあげます。

2 **着信記録** を選択します。



3 かけたい着信相手を、直接指で触れて選択します。



4 **[スタート]** ボタンを押します。

5 相手の方が出たら、お話しください。



### ワンポイント.....

- 着信記録を使ったダイヤルは、本装置の受話器を取り上げるか、または、本装置のファクス機能一覧画面の**オフフック**を選択して利用できる機能です。
- 手動送信するには  
相手の方にファクス受信に切り替えてもらい、「ピー」という音が聞こえたら **[スタート]** ボタンを押します。
- オフフックダイヤルするには  
①ファクス機能一覧画面の**オフフック**を選択します。  
②手順2~4の操作を行います。



### お知らせ

- 増設G3ポート（オプション）装着時は、外付け電話機をオフフックしても、オフフック画面が表示されません。したがって、外付け電話機での手動送信、手動受信はご利用できません。

# Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

Fネットは、NTTのファクシミリ専用ネットワークです。Fネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。



## Fネットサービスの主な内容

### ■明確な2段階制料金

Fネットをご利用になると、送信に時間のかかる細かい文字の原稿でもB4版1ページ25円（夜間／100km以内）で日本国内どこへでも送れます（昼間でも40円）。100kmを超える遠距離の場合でも、夜間30円、昼間は50円の低価格の一定料金です（標準モードの場合）。（1998年2月現在）

### ■Fネット月極割引

毎月定額料のお支払いで、月々のFネット通信料が割り引きされるサービスです。（1998年2月現在）

サービスプラン名	サービスプラン内容（1回線ごとに）
Fネット月極割引・10	月々550円の定額料のお支払いで、Fネット通信料が10%割引
Fネット月極割引・15	月々1550円の定額料のお支払いで、Fネット通信料が15%割引

### ■夜間配送指定通信

昼間Fネットへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯（午後7時から翌朝8時まで）にFネットから相手先への送信をすることができます。料金が約40%割引になります。

### ■宛名サービス

宛名をあらかじめ登録しておけば、送られた原稿に自動的に宛名が印刷されます。人の多い職場でも、届けたい方へ確実に原稿が届きます。

### ■無鳴動自動受信

Fネットを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

### ■Fネット親展通信

暗証番号を使って通信するサービスです。暗証番号を知っている人しか受信文書を取り出すことができないので、重要書類のやりとりも安心です。

### ■閉域接続

お互いに登録した相手先とだけ通信できるシステムです。第三者からの送信やダイヤルの誤操作による情報漏れが防げます。（※）

### ■ファクシミリボックス

Fネットで送信された原稿を、Fネット側で一時預かりするサービスです。ファクスを長時間使用するときには、あらかじめファクシミリボックスをセットしておけば、その間に蓄積された原稿をあとで受け取ることができます。（※）

（※）印のサービスには別途ご契約が必要です。

次ページに続きます。

### ■一斉同報通信

短縮ダイヤルをご契約になると、簡単な1回の操作で同じ原稿が最大10,000か所まで送れます。

### ■一斉受信

原稿をいったんネット内に蓄積するシステムなので、多くの相手先から一斉にファクスが送られてきても、確実に受信できます。

### ■自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

### ■再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、Fネットが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



# Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

## Fネットサービスの主な内容

### ■着信課金サービス

Fネットのフリーダイヤルサービスです。ファクスによる注文受付などに便利です。（※）

### ■センタ・エンド形通信サービス

ファクスをコンピュータのデータ入出力端末として利用できます。大型コンピュータからパソコンまで様々な機種と接続でき、データは文書からイメージ情報まで幅広く対応できます。（※）

（※）印のサービスには別途ご契約が必要です。

## ファクシミリ案内サービスを利用する

### ■ファクシミリ案内サービス

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

#### <G3通信での取り出し方法>

- ① 受話器を取りあげ、「162」をダイヤルします。
- ② 「プップッ…」という音を確認します（ダイヤル回線の場合は「プップッ…」のあとにPBボタンなどを押してプッシュ信号に切り替えてから次の操作を行います）。
- ③ 「#284（または#287）-xx-xxxx-xxxx-△△#」と押します。
- ④ 「サービスを受け付けました」というアナウンスを確認します。
- ⑤ 受話器を戻し、しばらく待つと情報がプリント出力されます。

#### ●ファクス番号（G3）

162... #284-xx-xxxx-xxxx-△△#

	プップッ	情報提供者番号	情報案内番号	
--	------	---------	--------	--

#### <G4通信での取り出し方法>

- ① 「162」をダイヤルします。
- ② ポーズ (-) を選択します。
- ③ 「#284（または#287）-xx-xxxx-xxxx-△△#」と押します。
- ④ [スタート] ボタンを押します。

#### ●ファクス番号（G4）

162 ポーズ (-) #284-xx-xxxx-xxxx-△△#

	情報案内番号	情報提供者番号		
--	--------	---------	--	--



### お知らせ

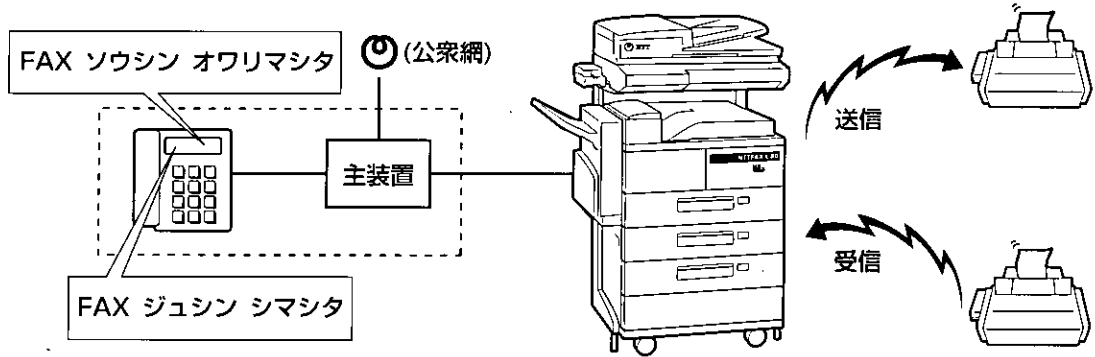
- Fネットをご利用の場合、本装置の中継同報送信、親展通信、ポーリング通信、サイファ通信はご利用になれません。
- Fネットのご利用には、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。なお、記載しているサービス内容および料金は、1998年2月現在のものです。
- Fネット機能で使用する短縮ダイヤルには別途ご契約と登録が必要です。



## 通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

本装置をNTT特定のビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）の内線に接続してお使いの場合には、ファクスの送受信結果を、指定した内線電話機のディスプレイにメッセージとして表示して知らせることができます。通信結果をデスクに座ったままで知ることができるので、ファクスの所まで何度も足を運ぶ必要がなくなります。

- 送受信通知には、送信通知と受信通知とがあります。



### お知らせ

- G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、送受信通知は利用できません。送受信通知をご利用になるには、ビジネスホンまたはPBXの回線を本装置の回線接続端子（LINE端子）に接続してください。
- 送受信通知を利用できるビジネスホンまたはPBXは、機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 手動送信、手動受信、Fネットを利用した送信時には、通知されません。

### STOP お願い

- 通信結果を確認したら、なるべく早くメッセージの表示を消してください。内線電話にメッセージが表示されたままになっていると、次のメッセージが通知されても表示されません。表示されたメッセージの消し方については、内線電話機の取扱説明書をご覧ください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通話する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 送信結果を通知させるには

### 準備

送信結果通知の設定を **する** にしておきます。(☛P131)

### ファクスを送信するときは

原稿をセットし、送信相手先を指定します。

### 送信通知のメッセージ例

メッセージ表示例	状況
FAXソウシン オフリマシタ	送信が正常に終了したとき
FAXソウシン エラーデス	送信にエラーが発生したとき (同報送信を除く)
FAXドウハウ エラーデス	同報送信中にエラーが発生したとき

送信結果の通知先 (内線番号) を指定します。(☛P133)  
送信相手先の指定に、結果通知先を登録した短縮ダイヤルを使った場合は、この操作が省略できます。

[スタート] ボタンを押すと、原稿の読み取りが開始されます。

送信中：エラーが発生すると、指定した内線番号に通知されます。

送信終了：指定した内線電話機に通知されます。



### ワンポイント.....

- 通知先を指定して掲示板やボーリング予約をセットするには (☛P135)
- 短縮ダイヤルに結果通知先を登録しておく  
送信操作を行うときに送受信結果通知を選択すると、短縮ダイヤルに登録された結果通知先へ通知されます。また、送信時に通知先の指定を行えば、通知先を一時的に変更することもできます。
- 短縮ダイヤルに結果通知先を登録するには (☛P16、26)
- 順次同報送信を行うときは  
最後の相手先を指定したあとに、送信結果の通知先を指定します。



### お知らせ

- 手動送信を行ったときは、送信結果は通知されません。



# 通信結果を内線電話機に通知するには (送受信通知)

## 受信結果を通知させるには

### 準備

受信結果通知の設定を **する** にして、共通通知先の内線番号を登録します。(P136)



短縮ダイヤルや親展ボックスに、結果通知先の内線番号を登録しておきます。(P26,75)

### 受信通知のメッセージ例

メッセージ表示例	状況
FAXジュシン シマシタ	受信が正常に終了したとき (親展受信を除く)
シンテンブンショガ アリ マス	親展受信が正常に終了した とき
FAXジュシン エラー デス	受信にエラーが発生したと き (ポーリング受信を除く)
ポーリング エラー デス	ポーリング受信中にエラー が発生したとき

### ファクスを受信したときは

●相手先を登録した短縮ダイヤルに、結果通知先の内線番号が登録されている場合には



相手先の発信元番号が、登録されている短縮ダイヤルと一致していれば、その短縮ダイヤルに登録されている内線電話機に通知されます。

●相手先を登録した短縮ダイヤルがない場合  
または、登録されていても、結果通知先の内線番号が登録されていない場合には



共通通知先として登録されている内線電話機に通知されます。

●親展ボックスに結果通知先の内線番号が登録されている場合には



登録されている結果通知先へ通知されます。  
結果通知先が登録されていない場合には、相手先の発信元番号と短縮ダイヤルとが照合され、一致する短縮ダイヤルに結果通知先が登録されていたときには、その内線電話機に通知されます。



### ワンポイント .....

- 通知先を指定してポーリング受信をするには (P138)
- 短縮ダイヤルに結果通知先を登録するには (P26)
- 親展ボックスに結果通知先を登録するには (P75)



### お知らせ

- 手動受信を行ったときは、受信結果は通知されません。

### STOP お願い

- 短縮ダイヤルには相手先のファクス番号を正しく登録してください。ファクス番号が間違っていると、登録された結果通知先へ通知されません。
- 相手先のファクスがID番号(発信元番号)を正しく登録していないと、短縮ダイヤルに結果通知先を登録していても、登録された通知先へ通知されません。正しく登録してもらうように相手先に伝えてください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

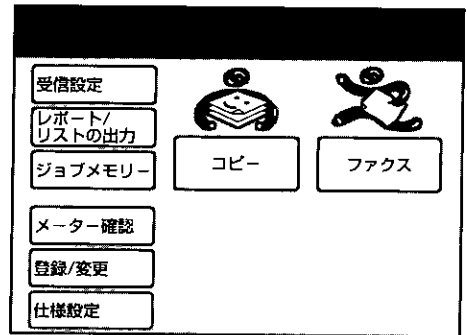
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

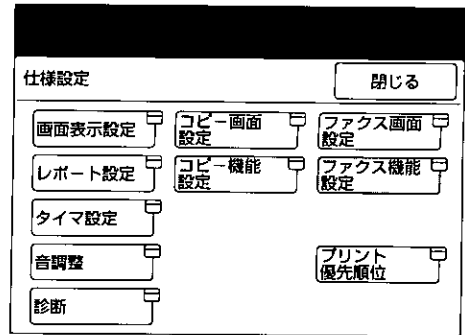
## 送信結果通知を設定する

送信結果通知機能を利用するには、あらかじめ送信結果通知を **する** に設定しておきます。お買い求め時には **しない** に設定されています。

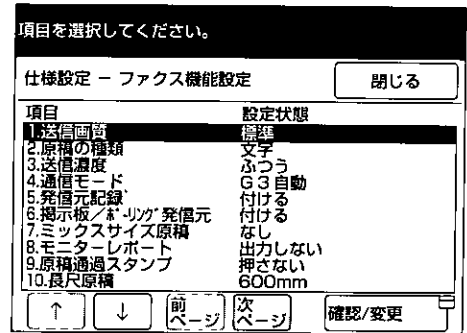
**1** **メニュー画面の「仕様設定」を選択します。**  
 メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



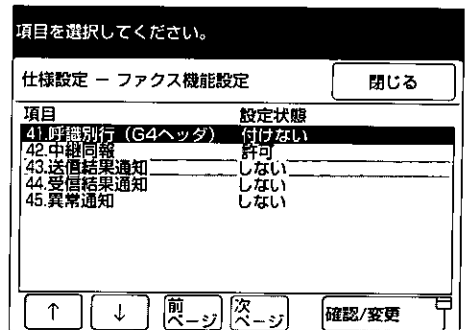
**2** **ファクス機能設定** を選択します。



**3** **次ページ** を4回選択します。



**4** **43.送信結果通知** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



**5** **確認/変更** を選択します。

次ページに続きます。

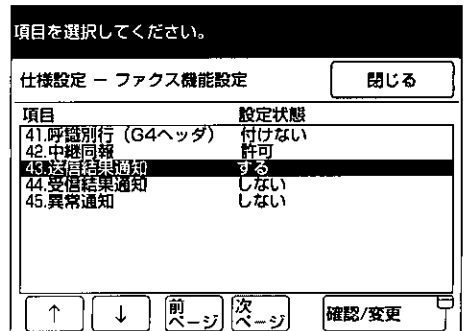
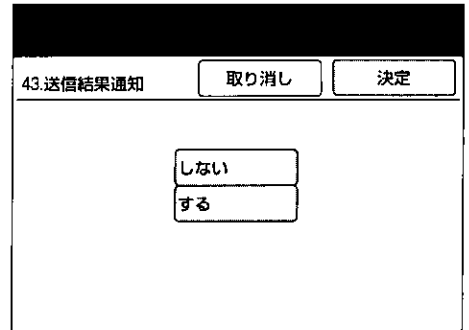
# 通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

6 **しない** または **する** を選択して、送信結果通知機能を利用するかどうかを指定します。

7 **決定** を選択します。

8 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。  
画面は、手順6で **する** を選択した場合の例です。

9 **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



 **ワンポイント** .....

●登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 通知先を指定して送信する

あらかじめ、送信結果通知の設定を **する** に設定しておいてください。(●P131)

### 1 原稿をセットします。

原稿をセットするには (●基本P54)

### 2 ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

### 3 相手先を指定します。

相手先を指定するには (●基本P148)

### 4 ファクス機能一覧画面の **次ページ** を選択します。

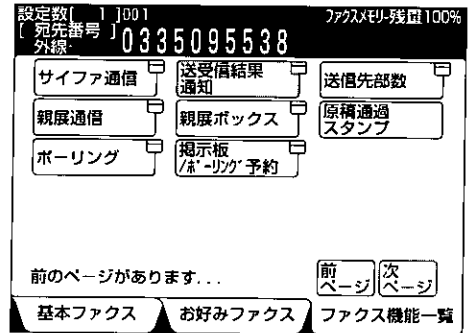
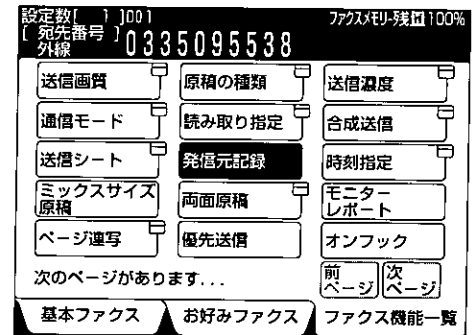
ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、**ファクス機能一覧** のインデックスを選択します。

### 5 **送受信結果通知** を選択します。

### 6 タッチパネルディスプレイのキーボードで通知先の内線番号 (最大4桁) を入力します。

ここでは例として「1234」を入力します。  
入力を間違えたときは、**後退** を選択して1文字ずつ消してから入力し直します。

手順3で結果通知先が登録されている短縮ボタンで相手先を指定した場合は、登録されている内線番号が表示されています。表示されている内線番号を変更する必要がない場合は、何も入力せずに手順7に進みます。



次ページに続きます。



# 通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

7

**閉じる** を選択します。

8

**【スタート】 ボタン**を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。  
送信が終わると、指定した内線電話機に通知されます。



## ワンポイント .....

- 送信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 送信を確認/中止するには（☛基本P166、169）
- 複数の相手先を指定したときは  
すべての指定先に送信されたあと、送信結果が通知されます。
- 結果通知先を短縮ダイヤルに登録するには（☛P16、26）



## お知らせ

- 手順3で結果通知先が登録されている短縮ダイヤルで相手先を指定した場合でも、手順6で異なる内線番号を指定すると、この通信に限り、通知先が変更されます。
- 送受信通知を利用できるビジネスホンまたはPBXの機種は限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

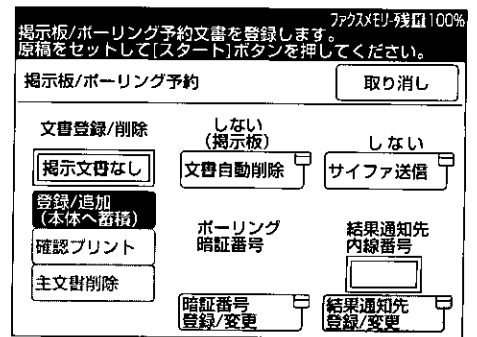
6 ご参考に

## 通知先を指定して掲示板/ポーリング予約をセットする

掲示板/ポーリング予約をセットするときに、結果通知先の登録や変更を行います。

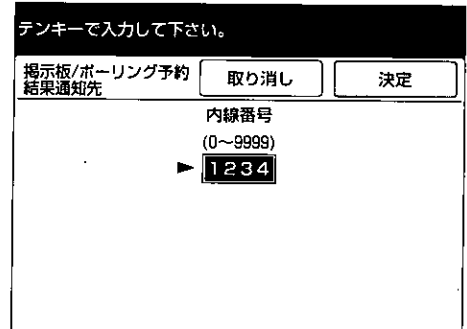
1 「掲示板/ポーリング予約をセットする」(P70)の手順1~8の操作をします。

2 **結果通知先登録/変更** を選択します。



3 **結果通知先の内線番号(最大4桁)をダイヤルボタンで入力します。**

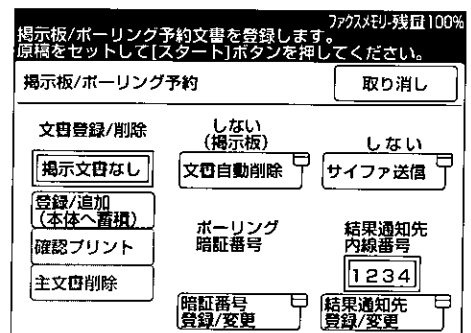
ここでは例として「1234」を入力します。  
入力を間違えたときは【クリア】ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



4 **決定** を選択します。

5 **【スタート】ボタンを押します。**

原稿が読み取られ、ポーリング予約または掲示板がセットされます。





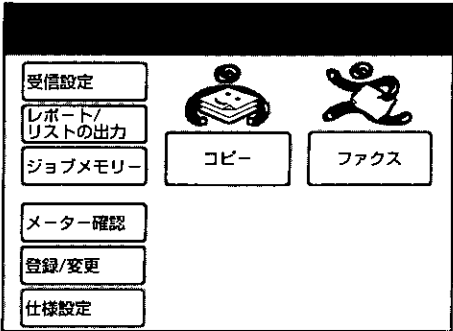
# 通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

## 受信結果通知を設定する

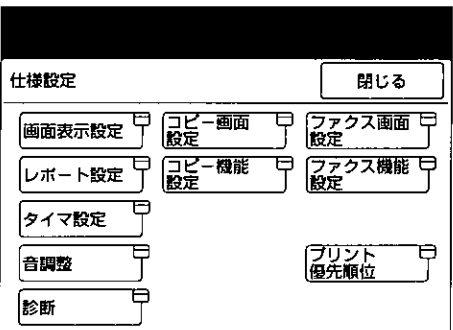
受信結果通知機能を利用するには、あらかじめ受信結果通知を **する** に設定し、共通通知先を登録しておきます。お買い求め時は **しない** に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択します。

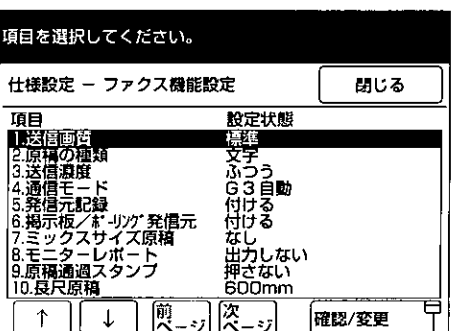
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



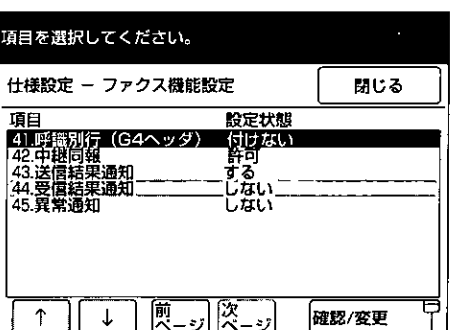
**2** **ファクス機能設定** を選択します。



**3** **次ページ** を4回選択します。



**4** **44.受信結果通知** を、直接指で触れるか **↑↓** を使って選択します。



**5** **確認/変更** を選択します。



1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

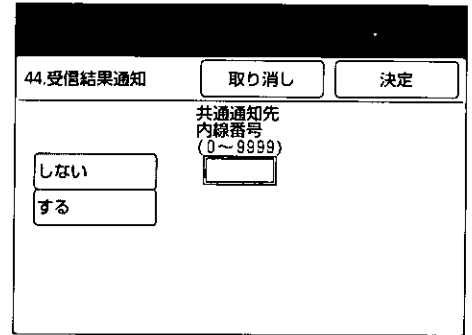
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**しない** または **する** を選択して、受信結果通知機能を利用するかどうかを指定します。

ここでは例として **する** を選択します。

**しない** を選択した場合は、手順8に進みます。

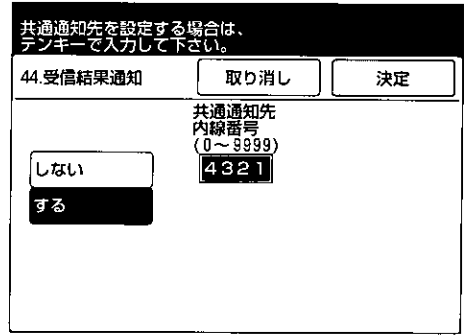


**共通通知先内線番号 (最大4桁) をダイヤルボタンで入力します。**

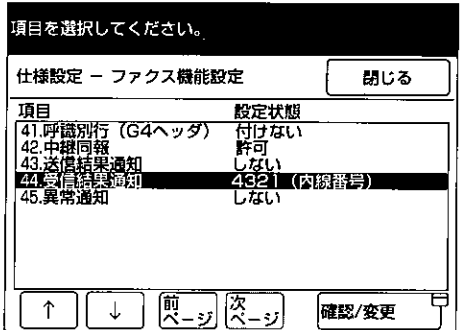
ここでは例として「4321」を入力します。

入力を間違えたときは [クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

共通通知先を指定しない場合は、番号を入力しないでください。



**決定** を選択します。



設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**[オールクリア] ボタンを押します。**



ワンポイント.....

● 設定操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。

● 共通通知先とは

短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信があったときや、登録されていても通知先が登録されていない場合に、受信結果を表示する内線電話機の内線番号です。

● 親展受信の受信結果通知先を登録するには

親展ボックスを開設する際に通知先を登録します。(P75)

# 通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

## 通知先を指定してポーリング受信する

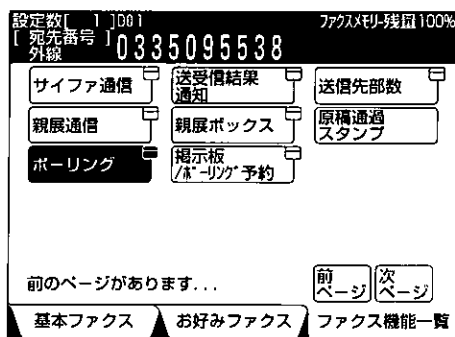
ポーリング受信をするとき、あわせて通知先を指定します。

1

「ポーリング受信をする」(P72) の手順 1~6の操作をします。

2

**送受信結果通知** を選択します。



3

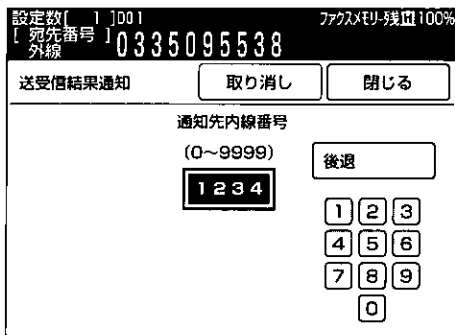
タッチパネルディスプレイのキーボードで通知先の内線番号（最大4桁）を入力します。

ここでは例として「1234」を入力します。

入力を間違えたときは、**後退** を選択して1文字ずつ消してから入力直します。

結果通知先が登録されている短縮ダイヤルでポーリング受信の相手先を指定した場合は、登録されている内線番号が表示されています。

表示されている内線番号を変更する必要がない場合は、何も入力せずに手順4に進みます。



4

**閉じる** を選択します。

5

**【スタート】** ボタンを押します。

相手先にダイヤルし、ポーリング暗証番号が一致すると受信を始めます。

ポーリング受信が終わると、指定先に通知されます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



ワンポイント.....

- 受信操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 受信を中止するには (➡基本P166)  
相手先に確認して、最初からやり直します。



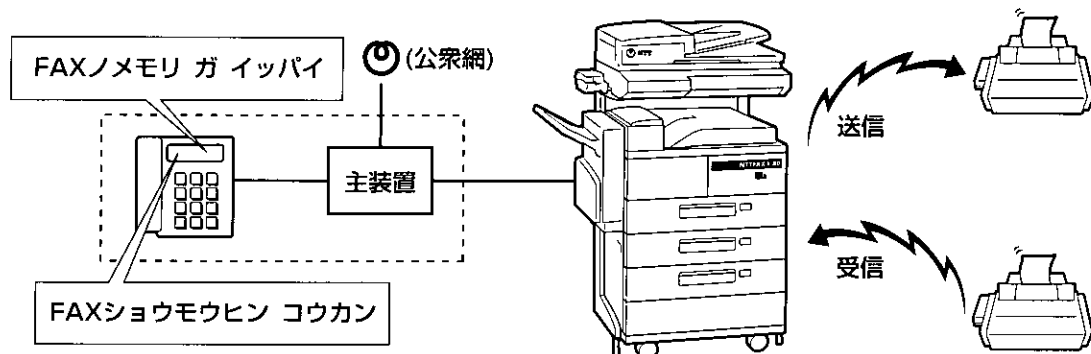
お知らせ

- 結果通知先が登録されている短縮ダイヤルで相手先を指定した場合でも、手順4で異なる内線番号を指定すると、この通信に限り、通知先が変更されます。

# ファクスの異常を内線電話機に通知するには

(異常通知)

本装置をNTT特定のビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）の内線に接続してお使いの場合に、記録紙切れや、消耗品切れ、メモリアーバーなどのファクスの状態を、異常通知の通知先として指定した内線電話機のディスプレイにメッセージを表示して知らせることができます。



●異常通知のメッセージ例

メッセージ表示例	状態
FAXノメモリ ガ イッパイ	メモリ代行受信中にメモリーがいっぱいになったとき
FAXノキロクシ ヲ ホキユウ	コピー中または受信文書のプリント中に、選択できる用紙トレイがなくなったとき
FAXショウモウヒン コウカン	ドラム/トナーカートリッジの交換が必要なとき

●お知らせ

- G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、異常通知は利用できません。異常通知をご利用になるには、ビジネスホンまたはPBXの回線を本装置の回線接続端子（LINE端子）に接続してください。
- 異常通知を利用できるビジネスホンまたはPBXは機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●お願い

- 通信結果を確認したら、なるべく早くメッセージの表示を消してください。内線電話にメッセージが表示されたままになっていると、次のメッセージが通知されても表示されません。表示されたメッセージの消し方については、内線電話機の取扱説明書をご覧ください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

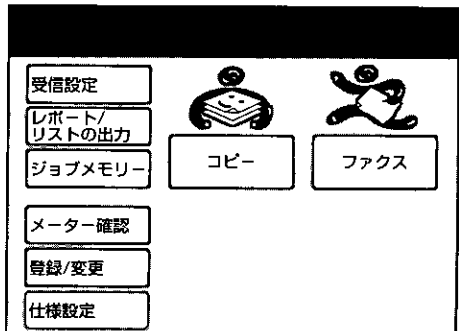
6 ご参考に

## 異常通知を設定する

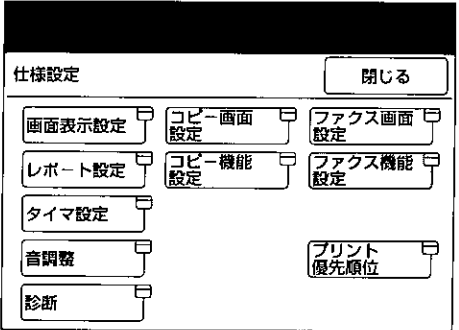
異常通知機能を利用するには、あらかじめ異常通知を **する** に設定し、通知先内線番号を登録しておきます。お買い求め時は **しない** に設定されています。

**1** **メニュー画面の **仕様設定** を選択します。**

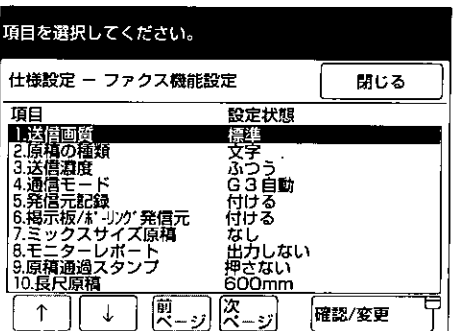
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



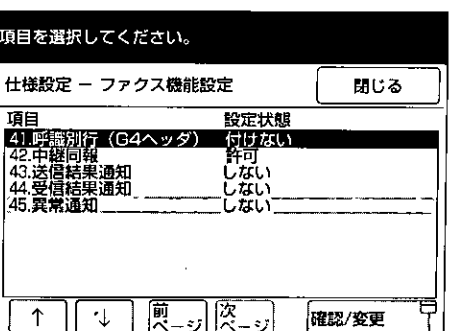
**2** **ファクス機能設定** を選択します。



**3** **次ページ** を4回選択します。



**4** **45.異常通知** を直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



**5** **確認/変更** を選択します。

次ページに続きます。

# ファクスの異常を内線電話機に通知するには

(異常通知)



**6**  しない または  する を選択して、異常通知機能を利用するかどうかを指定します。

ここでは例として  する を選択します。  
 しない を選択した場合は、手順8に進みます。

45.異常通知

通知先内線番号  
(0~9999)

しない  
 する

**7** 通知先内線番号 (最大4桁) をダイヤルボタンで入力します。

入力を間違えたときは [クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

テンキーで入力して下さい。

45.異常通知

通知先内線番号  
(0~9999)

しない  
 する

**8**  を選択します。

**9** 設定された値が表示されているのを確認し、 を選択します。

画面は、手順7で「15」を指定した場合の例です。

項目を選択してください。

仕様設定 - ファクス機能設定

項目	設定状態
41.呼出し別行 (G4ヘッダ)	付けない
42.中継同報	許可
43.送信結果通知	しない
44.受信結果通知	しない
45.異常通知	15 (内線番号)

**10** [オールクリア] ボタンを押します。



ワンポイント .....

- 登録操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

## レポート/リストを出力するには

レポート/リストを出力し、通信状況や設定内容を確認することができます。レポート/リストは、必要なときに手動の操作によって出力する（●P144）ほか、自動的に出力されるように設定（●P148）できるものもあります。

## レポート/リストの種類

レポート/リストには、以下の種類があります。

レポート/リスト名	内容	出力されるタイミング	お買い求め時の設定	出力の指示方法	出力例と見かた
通信管理レポート	送受信の通信結果や通信状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信結果の合計が50通信になったとき（あり/なし）</li> <li>出力操作をしたとき</li> </ul>	あり	●P144、148、298、	●P152
未送信レポート	送信できなかった文書の1ページめとその通信結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信の異常終了後、自動的に出力（あり/なし）</li> </ul>	あり	●P148、298、	●P155
取り消し文書の未送信レポート	通信を中止した文書の1ページめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信を中止したとき（あり/なし）</li> </ul>	なし	●P148、298、	—
親展受信レポート	親展受信の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>親展受信後自動的に出力（あり/なし）</li> </ul>	あり	●P148、298、	●P157
同報/集信レポート	同報/集信での通信結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>同報/集信通信後、自動的に出力（あり/なし）</li> </ul>	あり	●P148、298、	●P158
中継結果レポート	中継同報の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>中継同報終了後、自動的に出力（あり/なし）</li> </ul>	なし	●P148、150、298、	●P160
機能設定リスト	各機能の設定値や親展ボックス、コメント登録リスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力操作をしたとき</li> </ul>	—	●P144	●P162
蓄積文書リスト	蓄積文書とその状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力操作をしたとき</li> </ul>	—	●P144	●P166
登録ダイヤルリスト	短縮ダイヤル、グループ、サブダイヤルの登録内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力操作をしたとき</li> </ul>	—	●P145	●P168
サイファキーリスト	登録されているサイファキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力操作をしたとき</li> </ul>	—	●P146	●P171
パワーオフレポート	電源が切れたことによって消去された内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源投入後、自動的に出力</li> </ul>	—	—	●P172
モニターレポート	送信文書の1ページめとその通信結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信の正常終了後に出力（出力する/出力しない）</li> <li>異常終了後は未送信レポートを出力</li> </ul>	出力しない	●P147、214、306、	●P154



## お知らせ

- 各種のレポートが自動的に出力されるように設定したときは、記録紙がなくならないようにご注意ください。記録紙がセットされていないと、レポートが出力されません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

# レポート/リストを出力するには

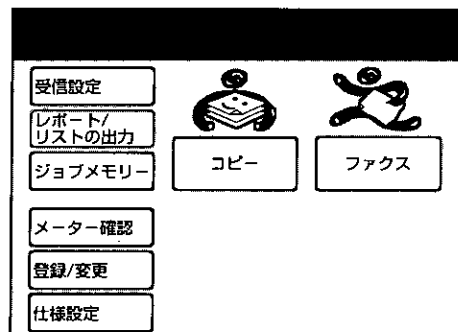
## レポート/リストを手動で出力する

通信管理レポート、機能設定リスト、蓄積文書リスト、登録ダイヤルリスト、サイファキーリストを出力したいときには、手動で出力を行うことができます。

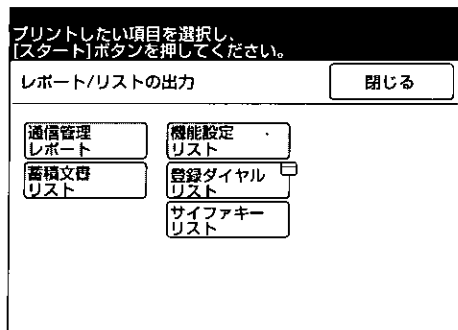
### 通信管理レポート/機能設定リスト/蓄積文書リストの出力

メニュー画面の **レポート/リストの出力** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



出力するレポート/リストを選択します。



[スタート] ボタンを押します。

レポート/リストが出力されます。



**ワンポイント** .....

- 出力操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 通信管理レポートの見かたは (☛P152)
- 機能設定リストの見かたは (☛P162)
- 蓄積文書リストの見かたは (☛P166)



**お知らせ** .....

- 蓄積文書がないときは、蓄積文書リストは出力されません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

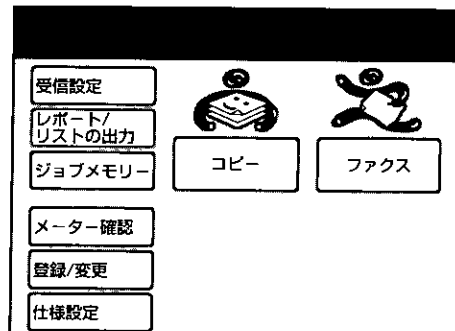
6 ご参考に

## 登録ダイヤルリストの出力

1

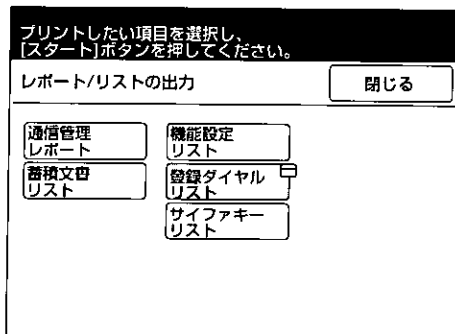
メニュー画面の **レポート/リストの出力** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



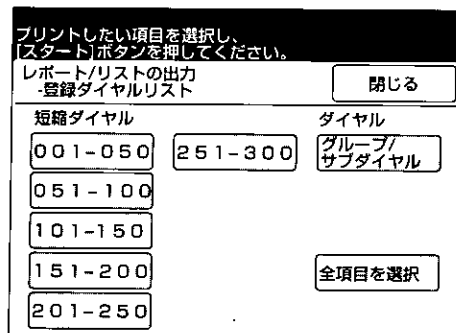
2

登録ダイヤルリストを選択します。



3

短縮番号の範囲を選択して、出力するリストの範囲を指定します。



4

**[スタート]** ボタンを押します。

登録ダイヤルリストが出力されます。



ワンポイント .....

- 出力操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- 登録ダイヤルリストの見かたは (●P168)

## レポート/リストを出力するには

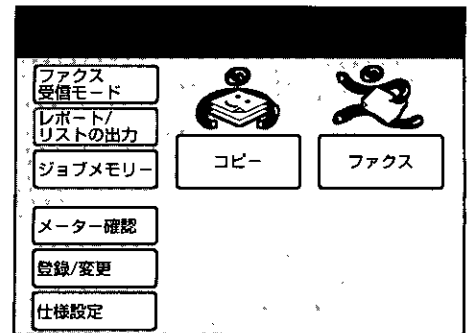
## サイファキーリストの出力

サイファキー登録用の暗証番号（●P84）の入力が必要です。

1

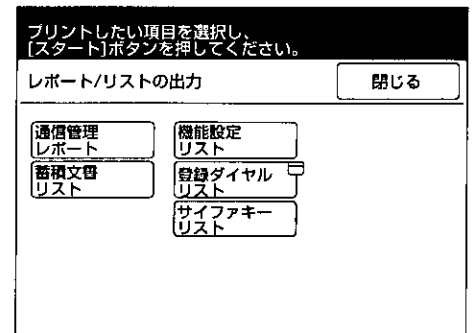
メニュー画面の **レポート/リストの出力** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**サイファキーリスト** を選択します。

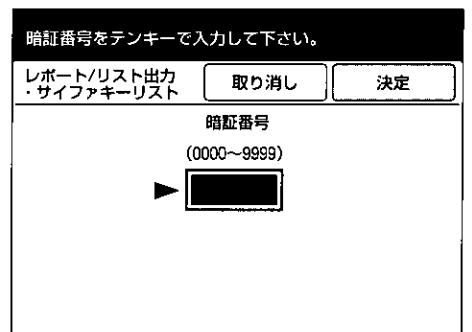


3

サイファキー登録用の暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで入力します。

暗証番号は「\*\*\*\*」と表示されます。

入力を間違えたときは [クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



4

**決定** を選択します。

暗証番号が違うと、「ピッピッピ」という音が鳴ります。

暗証番号を確認して、もう一度手順3からの操作を行います。

5

**[スタート]** ボタンを押します。

サイファキーリストが出力されます。



ワンポイント .....

- 出力操作を中止するには  
[ストップ] ボタンを押します。
- サイファキーリストの見かたは（●P171）

STOP お問い合わせ

- 出力されたサイファキーリストは、他人に見られないよう、取り扱いにご注意ください。

1 登録する  
通信相手を

2 通信する  
便利な機能を使って

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

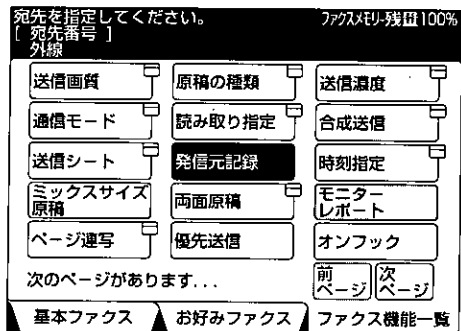
6 ご参考に

### モニターレポートの出力を設定する

送信操作を行うときにモニターレポート出力を設定しておくこと、送信終了後にモニターレポートが出力され、通信結果を確認することができます。また、送信できなかったときには未送信レポートが出力されます。

**1** **ファクス機能一覧画面で「モニターレポート」を選択します。**

ファクス機能一覧画面が表示されていないときは、「ファクス機能一覧」のインデックスを選択します。



**2** **送信操作を行います。**

通信終了後にモニターレポートが出力されます。



#### ワンポイント .....

- モニターレポート/未送信レポートの見かたは (●P154,155)



#### お知らせ

- モニターレポート出力を設定して送信操作を行うと、仕様設定で未送信レポートの自動出力を「なし」に設定 (●P148) している場合でも、送信できなかったときに未送信レポートが出力されます。

## レポート/リストを出力するには

## レポートの自動出力を設定する

以下のレポートは、自動的に出力されるように、お買い求め時に設定されています。

- ・通信管理レポート (50通信ごと)
- ・未送信レポート
- ・親展受信レポート
- ・同報/集信レポート

また、以下のレポートは、お買い求め時には出力されないように設定されています。

- ・取消し文書の未送信レポート
- ・中継結果レポート

自動出力の設定は、変更することができます。

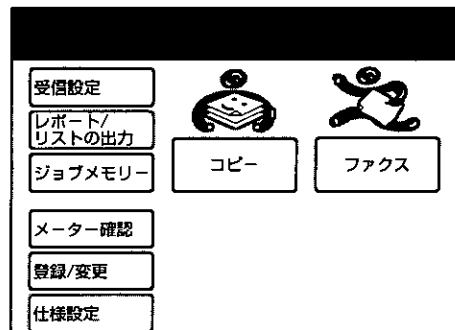
## レポート出力の設定変更

ここでは例として「通信管理レポート」の出力設定を変更する方法を説明します。

1

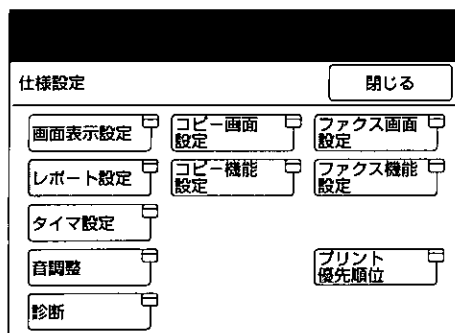
メニュー画面の **仕様設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



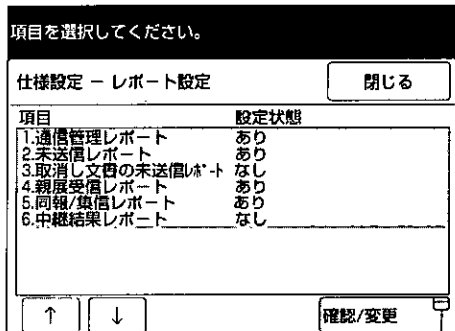
2

**レポート設定** を選択します。



3

設定変更するレポートを選択します。



4

**確認/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

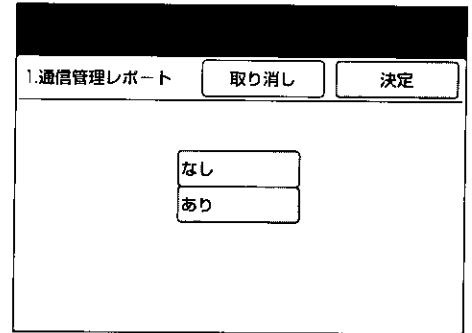
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



5 **なし**または**あり**を選択し、レポート自動出力の設定を指定します。  
 なし：レポートを出力しない  
 あり：自動的にレポートを出力する

6 **決定**を選択します。

7 **閉じる**を選択します。

8 **[オールクリア]** ボタンを押します。  
 初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

●仕様設定で未送信レポートの自動出力を**なし**に設定している場合でも、モニターレポート出力を設定（P147）して送信操作を行うと、送信できなかったときに未送信レポートが出力されます。

## レポート/リストを出力するには

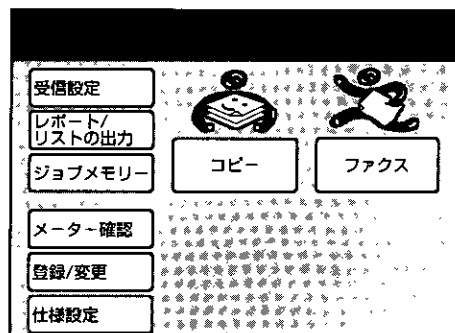
## 中継結果レポート出力の設定変更

中継機として中継同報送信（P42）を行ったときに、中継結果レポートを本装置で出力するかどうかの設定を変更する方法を説明します。お買い求め時は「なし」に設定されています。

1

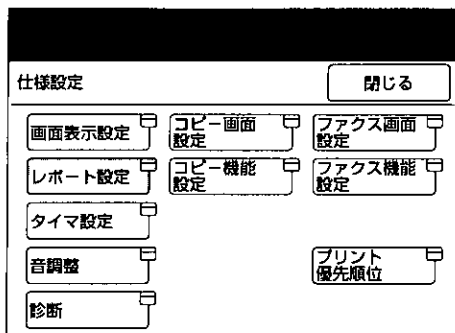
メニュー画面の **仕様設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



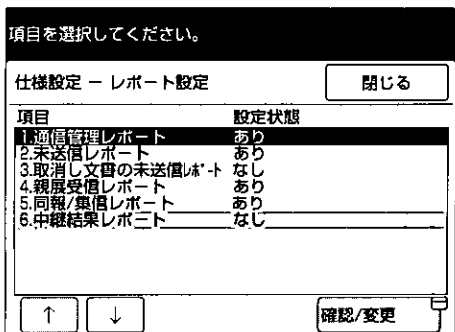
2

**レポート設定** を選択します。



3

**6.中継結果レポート** を選択します。

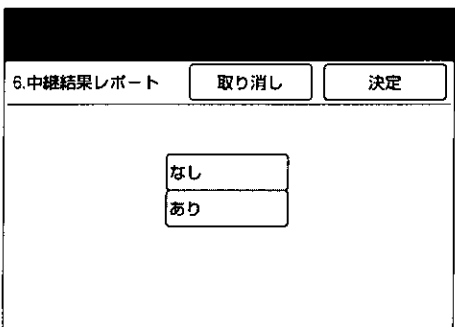


4

**確認/変更** を選択します。

5

**なし** または **あり** を選択し、レポート自動出力の設定を指定します。



6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7 **閉じる** を選択します。

8 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



お知らせ

●中継結果レポートを、中継指示機に返送するかどうかは、中継指示機での短縮ダイヤルの登録（P30）によります。本装置で中継結果レポートを「なし」に設定していても、中継指示機の短縮ダイヤルに中継結果の返送が設定されている場合は、本装置から返送された同内容のレポートが中継指示機で出力されます。

## 各種レポート/リストの見かた

## 通信管理レポートの見かた

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0030	11	5-18: 0:44AM	2分07秒	2/ 2	ECM	中継同報	良好
2	0031	11	0:46AM	1分52秒	1/ 1	G3	中継同報	良好
3	0032	11	0:48AM	3分15秒	1/ 1	G3	同報	良好
4	0034	11	0:52AM	2分07秒	1/ 1	ECM	同報	良好
5	0036	11	0:54AM	1分56秒	2/ 2	G3	同報	良好
6	0038	11	0:56AM	3分39秒	1/ 1	G3	親展	良好
7	0040	11	1:00AM	1分45秒	1/ 1	G3	ポーリング	良好
8	0042	11	1:02AM	2分22秒	1/ 1	ECM	親展	良好
9	0044	11	1:06AM	2分34秒	1/ 1	G3	親展	良好
10	0044	11	5-18: 7:25PM	18秒	-/ -	-	-	中断
11	0049	11	5-20: 9:48AM	0秒	-/ 1	-	-	K6-03
12	0051	0522641434	9:55AM	0秒	-/ 1	-	-	K6-03
13	0057	0522641434	5-21: 4:07PM	1分22秒	1/ 1	G3	-	良好
14	0062	0335095538	4:11PM	50秒	1/ 1	G3	-	良好
15	0064	0335095538	4:16PM	50秒	1/ 1	ECM	-	良好

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98- 4-21; 4:18PM  
0337407951  
NTTウキョウ  
NTT東京

\*\* 発信 \*\*

合計枚数 14

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0033	G3	5-19: 0:20AM	3分58秒	3	ECM	-	良好
2	0035	G3	0:25AM	3分06秒	1	ECM	-	良好
3	0037	G3	0:29AM	3分58秒	3	ECM	-	良好
4	0039	G3	0:34AM	3分13秒	1	ECM	-	良好
5	0041	G3	0:37AM	5分00秒	2	ECM	-	良好
6	0043	G3	5-20:11:15AM	20秒	-	ECM	-	話中

合計枚数 10

NOTE : ECM=エラーコレクションモード  
S=サイファ通信

## 1. No

発信、着信の連番がそれぞれ記録されます。

## 2. 文書番号

通信を受け付けたときに、自動的に付けられる蓄積文書の番号が記録されます。

## 3. 相手

通信した相手先の電話番号、G3 ID/G4 IDが以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

## • 発信時

- ① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名
- ② 電話番号
- ③ G3 ID/G4 ID(スペース含む)  
手動送信時は、発信の相手欄に、着信先(相手)の電話番号が記録されます。
- ④ 通信モード「ECM(またはG3、SG3)」

## • 着信時

- ① G3 ID/G4 ID(スペース含む)  
ナンバー・ディスプレイ契約時でも、相手先のファクスに登録されている発信元電話番号が記録されます。発信電話番号は記録されません。
- ② 通信モード「ECM(またはG3、SG3)」

## 4. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

## 5. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信の場合は各文書の時間が記録されます。



## 各種レポート/リストの見かた

## モニターレポート/未送信レポートの見かた

モニターレポート

時刻 98-4-21: 3:30PM  
G3-ID 0337407951  
G4-ID  
自局名 NTTトウキョウ  
発信元名 NTT東京

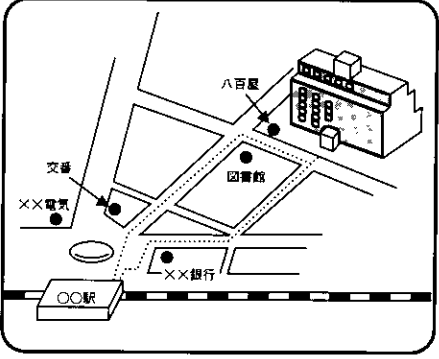
原稿は、送信完了しました。 1  
原稿サイズ A4縦 2

NTTエイギョウ

■住所 ..... 東京都〇〇〇〇〇〇〇〇  
△△△△△ビル

■最寄駅からの所要時間  
..... JR中央線・総武線 〇〇駅より 3分

■経路



原稿枚数 : 1枚  
送信枚数 : 1枚

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0033	0335095538	5-22: 4:07PM	1分06秒	1/ 1	G3		良好

6    7                    8                    9    10    11    12    13    14

## 1. メッセージ

送信結果によりどちらかが記録されます。

• **モニターレポート (送信成功)**

「原稿は、送信完了しました。」

• **未送信レポート (送信不成功)**

「下記原稿は、送信されませんでした。この未送信レポートを送信者へお渡してください。」

## 2. 原稿サイズ

送信した文書の1ページ目のサイズが記録されます。

A3縦、A4縦、A4横、B4縦、A5横、B5横

**1** 通信相手を登録する

**2** 便利な機能を使って通信する

**3** ビジネスホーンに通知する

**4** 各種レポート/リストを出す

**5** いろいろな機能を設定する

**6** 参考に

未送信レポート

時刻 98-4-21: 4:10PM  
G3-ID 0337407951  
G4-ID  
自局名 NTTトウキョウ  
発信元名 NTT東京

下記原稿は、送信されませんでした。この未送信レポートを送信者へお渡しください。

原稿サイズ A4縦

**NTTエイゴウ**

■住所 . . . . . 東京都〇〇〇〇〇〇〇〇  
△△△△△ビル

■最寄駅からの所要時間 . . . . . JR中央線・総武線 〇〇駅より 3分

■経路

原稿枚数 : 1枚  
送信枚数 : 0枚

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	送信内容	送信結果
1	0037	Q335095538	5-22: 4:10PM	0秒	- / 1			K7-03

**3. 画像**

原稿の1ページ目が縮小されて表示されます。(手動送信時などには記録されません。)

**4. 原稿枚数**

原稿枚数が記録されます。手動送信は原稿枚数が記録されず、「-」で記録されます。

次ページに続きます。

## 各種レポート/リストの見かた

## 5. 送信枚数

送信枚数が記録されます。

## 6. No

送信番号がそれぞれ記録されます。

## 7. 文書番号

操作を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

## 8. 相手

通信した相手先の電話番号、G3 ID /G4 IDが次の優先順位でひとつだけ記録されます。

- ① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名      ③ G3 ID/G4 ID (スペース含む)  
② 電話番号      ④ 通信モード「ECM (またはG3、SG3)」

## 9. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

## 10. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信は各文書の時間が記録されます。

## 11. ページ数

「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。手動送信は記録されずに「—」で表示されます。

## 12. モード

通信したときのモードが記録されます。G3、G4、ECM、SG3 (左記以外の通信モードの場合表示されません。)

## 13. 通信内容

以下の優先順位で通信の内容が記録されます。内容は重複して記録される場合もあります。サイファ通信時は、先頭に「S」が記載されます。

- ① 再送信    ② 親展    ③ 中継同報指示

## 14. 通信結果

通信結果の内容が記録されます。

- 良好 .....正常終了したもの  
話中 .....相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの  
自動再送 .....送ることのできなかったページがあったため自動ページ再送扱いとなったもの  
中断 .....強制停止したもの  
要相手確認 .....通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの  
要再送信 .....再度、送信が必要なもの  
Kx-xx .....通信異常を示す状態表示コード (●基本P217)  
F網通知 .....結果情報のコード (G4通信ユニット (オプション) 増設時のみ)  
要ケーブル確認 .....電話線が接続されていなかったり断線や接続不良が原因で通信できないもの



## ワンポイント .....

- モニターレポート出力を設定して送信するには (●P147)
- 未送信レポートの自動出力設定を変更するには (●P148)



## お知らせ .....

- モニターレポート出力を設定 (●P147) して送信操作を行うと、仕様設定で未送信レポートの自動出力を「なし」に設定 (●P148) している場合でも、送信できなかったときに未送信レポートが出力されます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 親展受信レポートの見かた

親展受信レポート

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98-4-21: 3:30PM  
0337407951  
  
NTTトウキョウ  
NTT東京

○ 親展文書を受信しました。

親展ボックス番号 : 01 1

親展ボックス名 : 総務部長 2

○ この親展受信レポートを上記親展ボックスの管理者へお渡してください。

○ 親展受信文書の排出はファクスの画面で次の手順で行います。

「ファクス機能一覧」→「親展ボックス」→

「ボックス番号の入力/暗証番号の入力」→「決定」→「プリント(文書取り出し)」→「スタート」

1. 親展ボックス番号  
親展ボックス番号が記録されます。
2. 親展ボックス名  
親展ボックス名が記録されます。



ワンポイント.....

●親展受信レポートの自動出力設定を変更するには (P148)



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

3. 相手

通信した相手先の電話番号、G3 ID/G4 IDが以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

- ① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名      ③ G3 ID/G4 ID (スペース含む)
- ② 電話番号      ④ 通信モード「ECM (またはG3、SG3)」

4. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

5. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信は各文書の時間が記録されます。

6. ページ数

0の場合は「-」で記録されます。

● 同報時

「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。

● 集信時

通信完了枚数のみが記録されます。

7. モード

通信したときのモードが記録されます。

G3、G4、ECM、SG3 (Super G3)

8. 通信内容

以下の優先順位で通信の内容が記録されます。内容は重複して記録される場合もあります。サイファ

通信時は、先頭に「S」が記載されます

- ① 再送信   ② 親展   ③ 同報/集信   ④ 中継同報指示

9. 通信結果

通信結果の内容が記録されます。

良好 ..... 正常終了したもの

話中 ..... 相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの

自動再送 ..... 自動ページ再送扱いになっていて再送回数を超えていないもの

文書削除 ..... 正常に受信したが、プリント前に削除したもの

中断 ..... 通信を中止したもの

要相手確認 ..... 通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの

要再送信 ..... 再度、送信が必要なもの

要再受信 ..... 再度、受信が必要なもの

Kx-xx ..... 通信異常を示す状態表示コード (●基本P217)

F網通知 ..... 結果情報のコード (G4通信ユニット (オプション) 増設時のみ)

要ケーブル確認 ..... 電話線が接続されていなかったり、断線や接続不良が原因で通信できないもの



ワンポイント .....

●同報/集信レポートの自動出力設定を変更するには (●P148)



お知らせ

●原稿サイズと画像は、同報レポートのときのみ記載されます。

## 各種レポート/リストの見かた

## 中継結果レポートの見かた

中継結果レポート										
							時刻	98-4-21:4:18PM		
							G3-ID	0337407951		
							G4-ID			
							自局名	NTTトウキョウ		
							発信元名	NTT東京		
No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果		
1	0080	ソウム	5-19:0:20AM	8秒	1/1	G3	中継同報	良好		
2	0080		0:25AM	8秒	1/1	G3	中継同報	良好		
3	0080	カイハツ	0:28AM	30秒	1/1	ECM	中継同報	良好		

1. No  
送信番号がそれぞれ記録されます。
2. 文書番号  
通信を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。
3. 相手  
通信した相手先の電話番号、G3 ID/G4 IDが次の優先順位でひとつだけ記録されます。  
① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名      ③ G3 ID/G4 ID (スペース含む)  
② 電話番号      ④ 通信モード「ECM(またはG3、SG3)」
4. 開始時刻  
通信が開始された時刻が記録されます。
5. 所要時間  
通信が開始されてから終了するまでに要した時間が記録されます。
6. ページ数  
「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は指示局から送られた総ページ数が記録されます。
7. モード  
通信したときのモードが記録されます。  
G3、G4、ECM、SG3 (左記以外の通信モードの場合表示されません。)
8. 通信内容  
「中継同報」と記録されます。サイファ通信時は、先頭に「S」が記載されます

**1**  
登録する  
通信相手を

**2**  
通信する  
便利な機能を使って

**3**  
に通知する  
ビジネスホン

**4**  
を出力する  
各種レポート／リスト

**5**  
を設定する  
いろいろな機能

**6**  
ご参考に

**9. 通信結果**

通信結果の内容が記録されます。

良好 .....正常終了したもの

話中 .....相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの

自動再送 .....自動ページ再送扱いになっていて再送回数を超えていないもの

中断 .....通信を中止したもの

要相手確認 .....通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの

要再送信 .....再度、送信が必要なもの

Kx-xx .....通信異常を示す状態表示コード (●基本P217)

要ケーブル確認 .....電話線が接続されていなかったり、断線や接続不良が原因で通信できないもの



ワンポイント.....

●中継結果レポートの自動出力設定を変更するには (●P150)

# 各種レポート／リストの見かた

## 機能設定リストの見かた

機能設定リスト

時刻 98-4-21: 4:14PM

1 自局情報

自局名	NTTトウキョウ
発信元名	NTT東京

2 G3-ID

回線	G3-ID
1	0337407951
2	未実装
3	未実装

G4-ID

回線	G4-ID
1	81=ABC
2	未実装

4 G3設定

回線	ダイヤル種別	回線種別	内線ダイヤル種別	内線一回線種別
1	PB	NTT	PB	PBX
2	10pps	PBX	機能なし	機能なし
3	20pps	NTT	20pps	PBX

5 ISDN/パラメータ

No.	ファクス番号	サブアドレス	通信能力	発信番号通知
1	0335094202	1234	G3/G4	する
2	未実装		なし	しない
3	未実装		なし	しない
4	未実装		なし	しない

6 画面表示設定

初期画面	コピー初期画面	ファクス初期画面
メニュー	基本コピー	基本ファクス

7 コピーお好み機能

用紙トレイ	コピー濃度	縮小/拡大
とししろ	原稿の種類	たてよこ独立変倍

ファクスお好み機能

送信画質	原稿の種類	送信濃度
通信モード	合成送信	送信シート

9 コピー画面設定

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
固定倍率設定1	86%	固定倍率設定4	141%	左右わく消し初期値	5mm
固定倍率設定2	81%	固定倍率設定5	122%	上下わく消し初期値	5mm
固定倍率設定3	70%	固定倍率設定6	115%	中消し初期値	15mm

10 ファクス画面設定

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
宛先表示開始番号	001	時刻指定初期値	9:00 (PM)	送信中画面表示	しない

11 レポート設定

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
通信管理レポート	あり	未送信レポート	あり	取消し文書の未送信レポート	あり
親属受信通知レポート	あり	同報/兼信レポート	あり	中継結果レポート	指示場へ出力

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

12

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
用紙トレイ原稿の種類	自動	縮小/拡大	100%	コピー濃度	うすく□□■□□こく
排出トレイ	文字/写真	センター移動	しない	ソート	しない
トレイ優先順位	サイドトレイ	セット枚数制限	99枚	自動トレイ切り替え	しない
オフセット排出	1→2→3→4	自動解除時の用紙トレイ	トレイ1	自動画像回転	する

13

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
送信面質	標準	原稿の種類	文字	送信濃度	うすく□□■□□こく
送信モード	G3自動	発信元記録	付ける	指示板/ボーリング発信元	付ける
ミックスサイズ原稿	なし	モニターレポート	出力しない	指示板/ボーリング予約文書の自動削除	する
原稿通過スタンプ	(オプション未実装)	長尺原稿	600mm	レポート/リスト排出先	センタートレイ
自動回転送信	する	G3-1Dの送出	する	自動出力レポート排出先	センタートレイ
自動ページ再送	3回	通信インターバル	6秒	外線1排出先	センタートレイ
同一発先一括送信	する	手動送受信初期設定	受信	外線2排出先	センタートレイ
ファクス切り替え時間	0秒	リダイヤル回数	2回	外線3排出先	(オプション未実装)
ページ分割しきい値	30mm	リダイヤル間隔	1分	外線3排出先	(オプション未実装)
自動縮小受信	する	ページ合成受信	2-イン1しない	外線3排出先	(オプション未実装)
両面プリント	(オプション未実装)	うら面の画像回転プリント	しない	外線3排出先	(オプション未実装)
送信先部数受信	99部	呼番別行(G4ヘッダ)	(オプション未実装)	ISDN排出先	(オプション未実装)
受信モード	ファクス	セレクト受信	しない	留守番着信接続	する
外線1-回線契約種別	発信番号通知	外線1-ダイヤルインFAX番号	(設定無効)	外線1-ダイヤルインTEL番号	(設定無効)
外線1-発信番号識別種別	する	外線1-モデムダイヤルイン接続	しない	外線1-発信番号応用機能	あり
外線1-着信音設定	着信音1	外線1-発信番号蓄積	する	外線1-相手名変換	しない
ビジネスホン通知-送信結果通知	(設定無効)	ビジネスホン通知-受信結果通知	(設定無効)	ビジネスホン通知-異常通知	(設定無効)
ホールド送信時の送信通知先	(設定無効)	ビジネスホン通知-共通通知先	(設定無効)	ビジネスホン通知-異常通知先	(設定無効)
電話優先時音声メッセージ	送出する	留守番電話無音検出	する	中継同報	許可
ボーリング予約認証番号	なし	サイファキーテーブル管理者認証番号	****	中継同報認証番号	****
外線1-モデムダイヤルインFAX番号	(設定無効)				
外線1-モデムダイヤルインTEL番号	(設定無効)				
受信紙数	トレイモード				

14

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
日付(年/月/日)	98/04/21	時計	3:00(PM)	時刻表示モード	<<12時間表示>>
オートクリア	しない	ジョブ自動解除	10分	プリント起動	10秒
RDSセーブ	しない	ローパワーモード	15分	スリープモード	60分

15

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
操作パネル正常入力音	あり	正常終了音(コピー)	なし	トナー残量警告音	あり
操作パネル異常入力音	あり	正常終了音(コピー以外)	あり	メモリー代行受信通知音	あり
準備完了音	あり	異常終了音	あり	ラインモニター自音	2
				呼出ベル音量	3

16

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
ファクス受信文書	優先度1(高)	自動出力レポート	優先度2(中)	プリンター文書	優先度3(低)

17

ボックス番号	ボックス名	認証番号	受信通知先	ボックス番号	ボックス名	認証番号	受信先通知
01	名称未登録	****		16			
02	名称未登録	****		17			
03				18			
04				19			
05				20			
06				21			
07				22			
08				23			
09				24			
10				25			
11	名称未登録	****		26			
12				27			
13				28			
14				29			
15				30			

18

No.	ジョブメモリーコメント	No.	ジョブメモリーコメント	No.	ジョブメモリーコメント
1	7: 両面電子ソートコピー(本とじ)	8		15	41: 各支店へ同報送信
2	8: 2in1コピー	9		16	
3		10	コメント未登録	17	
4	40: 通信管理レポート出力	11	2: コメント未登録	18	
5	39: 親展ボックス5へボーリング予約	12		19	
6		13		20	
7		14			

次ページに続きます。

## 各種レポート/リストの見かた

コメント		コメント	
No.	コメント	No.	コメント
1	お電話下さい	26	
2		27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7	両面電子ソートコピー(本とじ)	32	
8	2in1コピー	33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	親展ボックス5へボーリング予約
15		40	通信管理レポート出力
16		41	各支店へ同報送信
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

1. **自局情報**  
自局に関する設定内容が表示されます。
2. **G3-ID**  
G3 IDが表示されます。
3. **G4-ID**  
G4 IDが表示されます。
4. **G3設定**  
G3回線に関する設定内容が表示されます。
5. **ISDNパラメータ**  
ISDNに関する設定内容が表示されます。
6. **画面表示設定**  
タッチパネルディスプレイに表示される画面の初期設定が表示されます。
7. **コピーお好み機能**  
お好みコピー画面の初期設定が表示されます。
8. **ファクスお好み機能**  
お好みファクス画面の初期設定が表示されます。
9. **コピー画面設定**  
コピー画面に関する設定内容が表示されます。
10. **ファクス画面設定**  
ファクス画面に関する設定内容が表示されます。
11. **レポート設定**  
レポートに関する設定内容が表示されます。

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
ビジネスホン  
に通知する4  
各種レポート／リスト  
を出力する5  
いろいろな機能  
を設定する6  
ご参考に

12. **コピー機能設定**  
コピー機能に関する設定内容が表示されます。
13. **ファクス機能設定**  
ファクス機能に関する設定内容が表示されます。
14. **タイマ設定**  
日時やパワーセーブなどに関する設定内容が表示されます。
15. **音調整**  
音に関する設定内容が表示されます。
16. **プリント優先順位**  
プリント優先順位の設定内容が表示されます。
17. **親展ボックス**  
親展ボックスの登録状況が表示されます。
18. **ジョブメモリーコメント**  
ジョブメモリーに登録されているコメントが表示されます。
19. **コメント**  
コメントに登録されている文が表示されます。



ワンポイント .....

●機能設定リストを出力するには (P144)

## 各種レポート/リストの見かた

## 蓄積文書リストの見かた

1	2	3	4	5	6
文書番号	受付時刻	相手	文書内容	サイズ	ページ数
0044	5-20: 3:55PM		同報 待機中 (30局)	A4縦	1
0046	5-20: 3:55PM		プリント待ち 受信文書 親展ボックス:09	B4縦	2
0047	5-20: 3:56PM	カイハツ	ボーリング	A4縦	12
0049	5-20: 3:56PM		作業用文書 同報集信レポート	A4縦	12
0050	5-20: 3:57PM		集信 待機中		0
0053	5-20: 3:57PM		作業用文書 同報集信レポート	A4縦	1
0054	5-20: 3:58PM	0335095538	プリント待ち 受信文書 親展ボックス:05	A4縦	11
0055	5-20: 3:58PM	ソウム	送信 時刻指定: 4:35PM	A4縦	999
0058	5-20: 3:59PM		同報 待機中 (30局)	A4縦	2
0060	5-20: 3:59PM	トウカイシヤ	送信 時刻指定: 4:30PM	A4縦	3

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

88-4-21: 4:00PM  
0337407951  
NTTトウキョウ  
NTT東京

## 1. 文書番号

送信操作を受け付けたときや受信したときに自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

## 2. 受付時刻

送信文書が蓄積された時刻、受信文書は着信時刻が記録されます。また、レポートなどの文書は作成時刻、その他は送信、集信などの指示をした時刻が記録されます。

## 3. 相手

通信した相手先の電話番号、G3 ID/G4 IDが記録されます。同報、集信、中継同報指示の場合は記録しません。

以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

## • 送信時

- ① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名
- ② 電話番号
- ③ G3 ID/G4 ID (スペース含む)
- ④ 通信モード「ECM(またはG3、SG3)」

## • 受信時

- ① G3 ID/G4 ID (スペース含む)  
ナンバー・ディスプレイ契約時でも、相手先のファクスに登録されている発信元電話番号が記録されます。発信電話番号は記録されません。
- ② 通信モード「ECM (またはG3、SG3)」

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 蓄積レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

4. 文書内容

文書の内容、状態、親展ボックスの情報、リダイヤルの情報について記録されます。これらの内容は重複して記録される場合もあります。サイファ通信時は、先頭に「S」が記載されます。

同報 .....同報またはマルチ中継同報の指示があります。

送信 .....送信の指示があります。

受信文書 .....受信中の文書があります。

(XXX局中残りYYY局) .....同報、集信において1局目の通信が終了（正常終了、異常終了）している場合に表示されます。

(XXX局) .....同報、集信において1局目の通信が終了していない場合に表示されま

す。  
待機中 .....通信がリダイヤル待機中になった場合と、同報または集信において1局以上の通信が終了（正常終了、異常終了）した場合に表示されま

す。  
時刻指定:hh:mmAM (PM) .....時刻指定通信がhh:mm (時:分) に指定されています。

作業用文書イメージ .....モニターレポート/未送信レポートに表示する原稿の1ページ目の画像（イメージ）があります。

作業用文書 .....レポートを作成するために機械が作成した文書があります。

未送信 .....未送信文書があります。

優先 .....優先送信されるものがあります。

5. サイズ

蓄積されている文書の1ページめのサイズが記録されます。

A3縦、A4縦、B4縦、A4横、A5横、B5横、8.5×11" (インチ) 縦、8.5×11" (インチ) 横、8.5×14" (インチ) 縦

6. ページ数

蓄積されていた文書の枚数が記録されます。



ワンポイント.....

●蓄積文書リストを出力するには (←P144)



お知らせ

●蓄積文書がないときは、蓄積文書リストは出力されません。

## 各種レポート/リストの見かた

## 登録ダイヤルリストの見かた

登録ダイヤルリスト

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98-4-21; 9:30PM  
0337407951  
NTTトウキョウ  
NTT東京

短縮ダイヤル設定表	短縮番号	索引	宛先名	ファクス番号	回線	通信モード	送信品質	登録サイズ
	001	N	NTTエイゴウ	0335095538		G3自動	設定しない	B4
	002	N	NTTカイハツ	0335094202		G3自動	標準	A3
	003	H		011		国際通信	高品質	A3
	004	.						
	.	.						
	050	か	カゴシマシヤ	0992577736		G3自動	設定しない	A4

1-50 (1/3)

登録ダイヤルリスト

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98-4-21; 9:30PM  
0337407951  
NTTトウキョウ  
NTT東京

短縮ダイヤル設定表	短縮番号	時刻指定	ボックス番号	サイファキー番号	送信シート	送信先コメント	発信元コメント	受信モード
	001	3:00PM			あり	03:よろしくお願ひします。		ファクス
	002		1	01	あり	03:よろしくお願ひします。		ファクス
	003				なし			
	004				あり	20:回覧して下さい。	10:新製品リストです。	ファクス
	.							
	.							
	050				あり	50:至急連絡下さい。		

1-50 (2/3)

## 短縮ダイヤル設定表 (1/3)

- 短縮番号**  
短縮番号が記録されます。
- 索引**  
索引文字（1文字）が記録されます。
- 宛先名**  
短縮ダイヤルに登録されている宛先名が記録されます。
- ファクス番号**  
短縮ダイヤルに登録されているファクスの電話番号が記録されます。

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
ビジネスホン  
に通知する4  
各種レポート／リスト  
を出力する5  
いろいろな機能  
を設定する6  
ご参考に

## 5. 回線

内線の場合、「内線」と記録されます。

## 6. 通信モード

短縮ダイヤルを使用する場合に適用される通信のモードが記録されます。  
G3自動、海外通信、G4自動（オプション）

## 7. 送信画質

画質が記録されます。  
設定しない、標準、高画質、超高画質

## 8. 蓄積サイズ

最大蓄積サイズ（A3/B4/A4）が記録されます。

**短縮ダイヤル設定表（2/3）**

## 9. 時刻指定

時刻指定送信を設定した場合は、指定した送信時刻が記録されます。

## 10. ボックス番号

親展通信を設定した場合は、ボックス番号が記録されます。

## 11. サイファキー番号

サイファ通信時に使用するサイファキー番号が記録されます。

## 12. 送信シート

短縮ダイヤルを使用して送信を行う場合に、送信シートを付けるか付けないかの設定が記録されます。

## 13. 送信先コメント

送信シートの送信先のコメント欄に表示されるコメントの番号および内容が記録されます。

## 14. 発信元コメント

送信シートの発信元のコメント欄に表示されるコメントの番号および内容が記録されます。

次ページに続きます。

## 各種レポート／リストの見かた

短縮番号	ポーリング暗証番号	中継宛先グループ	中継指示暗証番号	中継結果返送	中継局へ出力	結果通知先	発信番号着信音
001		40	****	しない	しない		なし
002	****	30	****	しない	しない		なし
003		20	****	しない	しない		なし
004		10	****	しない	しない		なし
005			****	しない	しない		なし

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98-4-21:9:30PM  
0337407951  
NTTトウキョウ  
NTT東京

1-50 (3/3)

## 中継指示局設定表 (3/3)

- 短縮番号**  
短縮番号が記録されます。
- ポーリング暗証番号**  
ポーリング通信用に登録されている暗証番号が記録されます（機密保持のため「\*\*\*\*」で表示されます）。
- 中継宛先グループ**  
中継同報宛先として登録されているグループ番号が記録されます。
- 中継指示暗証番号**  
中継同報用に登録されている暗証番号が記録されます（機密保持のため「\*\*\*\*」で表示されます）。
- 中継結果返送**  
中継同報の結果通知と、中継機から返送するかどうかの設定が記録されます。
- 中継局へ出力**  
文書の中継機でも出力するかどうかの設定が記録されます。
- 結果通知先**  
本装置をビジネスホンと接続して使用する場合は、通信結果通知先内線番号が記録されます。
- 発信番号着信音**  
ナンバー・ディスプレイを利用し、この短縮ダイヤルの相手先からの着信時に発信番号着信音を鳴らすかどうかの設定が記録されます。



ワンポイント.....

●登録ダイヤルリストを出力するには (P145)

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート／リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## サイファキーリストの見かた

1

2

サイファキーリスト

時刻  
G3-ID  
G4-ID  
自局名  
発信元名

98-4-21:4:18PM  
0337407951  
NTTトウキョウ  
NTT東京

キーNo.	サイファキー	キーNo.	サイファキー
0	123456789ABCDEF0	50	3456789ABCDEF012
1	23456789ABCDEF01	51	456789ABCDEF0123
2	3456789ABCDEF012	52	
3	456789ABCDEF0123	53	6789ABCDEF012345
4	56789ABCDEF01234	54	789ABCDEF0123456
5	6789ABCDEF012345	55	89ABCDEF01234567
6	789ABCDEF0123456	56	9ABCDEF012345678
7	89ABCDEF01234567	57	ABCDEF0123456789
8	9ABCDEF012345678	58	BCDEF0123456789A
9		59	CDEF0123456789AB
10	BCDEF0123456789A	60	DEF0123456789ABC
11	CDEF0123456789AB	61	EF0123456789ABCD
12	DEF0123456789ABC	62	FO123456789ABCDE
13	EF0123456789ABCD	63	O123456789ABCDEF
14	FO123456789ABCDE	64	123456789ABCDEF0
15	O123456789ABCDEF	65	23456789ABCDEF01
16	123456789ABCDEF0	66	3456789ABCDEF012
17	23456789ABCDEF01	67	456789ABCDEF0123
18	3456789ABCDEF012	68	56789ABCDEF01234
19	456789ABCDEF0123	69	6789ABCDEF012345
20	56789ABCDEF01234	70	789ABCDEF0123456
21	6789ABCDEF012345	71	89ABCDEF01234567
22	789ABCDEF0123456	72	9ABCDEF012345678
23	89ABCDEF01234567	73	ABCDEF0123456789
24	9ABCDEF012345678	74	BCDEF0123456789A
25	ABCDEF0123456789	75	CDEF0123456789AB
26	BCDEF0123456789A	76	DEF0123456789ABC
27	CDEF0123456789AB	77	EF0123456789ABCD
28	DEF0123456789ABC	78	FO123456789ABCDE
29	EF0123456789ABCD	79	O123456789ABCDEF
30	FO123456789ABCDE	80	123456789ABCDEF0
31	O123456789ABCDEF	81	23456789ABCDEF01
32	123456789ABCDEF0	82	3456789ABCDEF012
33	23456789ABCDEF01	83	456789ABCDEF0123
34	3456789ABCDEF012	84	56789ABCDEF01234
35	456789ABCDEF0123	85	6789ABCDEF012345
36	56789ABCDEF01234	86	789ABCDEF0123456
37	6789ABCDEF012345	87	89ABCDEF01234567
38	789ABCDEF0123456	88	9ABCDEF012345678
39	89ABCDEF01234567	89	ABCDEF0123456789
40	9ABCDEF012345678	90	BCDEF0123456789A
41	ABCDEF0123456789	91	CDEF0123456789AB
42	BCDEF0123456789A	92	
43	CDEF0123456789AB	93	EF0123456789ABCD
44	DEF0123456789ABC	94	FO123456789ABCDE
45	EF0123456789ABCD	95	O123456789ABCDEF
46	FO123456789ABCDE	96	123456789ABCDEF0
47	O123456789ABCDEF	97	23456789ABCDEF01
48	123456789ABCDEF0	98	3456789ABCDEF012
49	23456789ABCDEF01	99	456789ABCDEF0123

1. キーNo.  
サイファキー番号が記録されます。

2. サイファキー  
登録されているサイファキーが記録されます。



ワンポイント.....

●サイファキーリストを出力するには (P146)

**STOP** お願い

●出力されたサイファキーリストは、他人に見られないよう、取り扱いにご注意ください。

## 各種レポート/リストの見かた

## パワーオフレポートの見かた

パワーオフレポートは、電源が切れたあと再度電源が入ったときに自動的に出力されます。電源が切れたことによってメモリから削除された蓄積文書を確認することができます。

パワーオフレポート						
				時刻 G3-ID G4-ID 自局名 発信元名	98-4-21: 5:05PM 0337407951 NTTトウキョウ NTT東京	
これらの文書ファイルは電源断により、削除されました。						
文書番号	受付時刻	相手	文書内容	サイズ	ページ数	
0044	5-22: 1:54PM		同報 待機中 (30局)	A4縦	1	2
0046	5-22: 2:04PM	0089	プリント待ち 受信文書 親展ボックス:09	B4縦	2	3
0047	5-22: 3:15PM		ポーリング	A4縦	12	4
0049	5-22: 4:55PM		作業用文書 同報集信レポート	A4縦	12	5
0050	5-22: 6:56PM		集信 待機中		0	6
0053	5-22: 7:06PM		作業用文書 同報集信レポート	A4縦	1	7
0054	5-22: 7:57PM	0335094202	プリント待ち 受信文書 親展ボックス:05	A4縦	11	
0055	5-22: 8:07PM	1234	送信 時刻指定: 6:00PM	A4縦	9	
0058	5-22: 9:57PM	0335095538	送信 時刻指定: 6:00PM	B5X11縦	3	
0060	5-22: 10:59PM	0089	送信 時刻指定: 6:00PM	A4縦	3	

## 1. 電源断メッセージ

電源断により、蓄積文書が削除されたというメッセージが記録されます。

## 2. 文書番号

操作を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

## 3. 受付時刻

送信文書が蓄積された時刻、受信文書は着信時刻が記録されます。また、レポートなどの作業用文書は作成時刻、その他は送信、集信などの指示をした時刻が記録されます。

## 4. 相手

送信先、受信元の相手先の電話番号、G3 ID/G4 IDが記録されます。同報、集信、中継同報指示の場合は記録しません。

以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

## • 送信時

- ① 短縮ダイヤルに登録されている宛先名
- ② 電話番号
- ③ G3 ID/G4 ID (スペース含む)
- ④ 通信モード「ECM (またはG3、SG3)」

## • 受信時

- ① G3 ID/G4 ID (スペース含む)  
ナンバー・ディスプレイ契約時でも、相手先のファクスに登録されている発信元電話番号が記録されます。発信電話番号は記録されません。
- ② 通信モード「ECM (またはG3、SG3)」

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
ビジネスホン  
に通知する4  
各種レポート／リスト  
を出力する5  
いろいろな機能  
を設定する6  
ご参考に**5. 文書内容**

文書の内容、状態、親展ボックスの情報、リダイヤルの情報について記録されます。これらの内容は重複して記録される場合もあります。サイファ通信時は、先頭に「S」が記載されます。

同報 …………… 同報またはマルチ中継同報の指示があります。

送信 …………… 送信の指示があります。

受信文書 …………… 受信中の文書があります。

(XXX局中残りYYY局) …………… 同報、集信において1局目の通信が終了（正常終了、異常終了）している場合に表示されます。

(XXX局) …………… 同報、集信において1局目の通信が終了していない場合に表示されません。

待機中 …………… 通信がリダイヤル待機中になった場合と、同報または集信において1局以上の通信が終了（正常終了、異常終了）した場合に表示されません。

時刻指定:hh:mmAM (PM) …時刻指定通信がhh:mm (時:分) に指定されています。

作業用文書イメージ …………… モニターレポート/未送信レポートに表示する原稿の1ページ目の画像（イメージ）があります。

作業用文書 …………… レポートを作成するために機械が作成した文書があります。

未送信 …………… 未送信文書があります。

優先 …………… 優先通信されるものがあります。

リモートメンテナンス …………… 当社のEPシステムで送受信するデータがあります。

**6. サイズ**

蓄積されている文書の1ページめのサイズが記録されます。

A3縦、A4縦、B4縦、A4横、A5横、B5横、8.5×11" (インチ) 縦、8.5×11" (インチ) 横、8.5×14" (インチ) 縦

**7. ページ数**

蓄積されていた文書の枚数が記録されます。



# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

電源を入れたとき、節電状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときには、本装置の設定状態は、あらかじめ設定されている値（初期値）に戻ります。仕様設定とは、初期値の設定を変更したり、本装置が備えている機能を使う／使わないを決めておくことです。お買い求め時に設定されている本装置の仕様設定は、タッチパネルディスプレイの仕様設定の画面で変更することができます。よく使う値やよく使う機能に合わせて仕様設定しておくこと、操作するたびに設定を変更する手間が省けて便利です。

●コピー機能の仕様設定で変更できる項目と設定できる値の範囲は、以下の表のとおりです。

お買い求め時は  に設定されています。

コピー機能設定項目	設定できる値	参照ページ
1.用紙トレイ*	<input type="checkbox"/> 自動、手差しトレイ**、トレイ1～トレイ4** (縮小/拡大 <input type="checkbox"/> 自動% のとき、 <input type="checkbox"/> 自動 に設定できません。)	☛P175、300
2.縮小/拡大*	<input type="checkbox"/> 100%、 <input type="checkbox"/> 自動%、141%、122%、115%、86%、81%、70% (用紙トレイ <input type="checkbox"/> 自動 のとき、 <input type="checkbox"/> 自動% に設定できません。)	☛P177、300
3.コピー濃度*	<input type="checkbox"/> 自動、うすく2、うすく1、ふつう、こく1、こく2	☛P179、300
4.原稿の種類*	<input type="checkbox"/> 文字、文字/写真、写真	☛P181、300
5.センター移動*	する、 <input type="checkbox"/> しない	☛P183、300
6.ソート*	する、 <input type="checkbox"/> しない	☛P185、300
7.排出トレイ*/**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ** (サイドトレイ未装着機では「(オプション未実装)」と表示されます。)	☛P187、300
8.セット枚数制限	する (1～99枚)、 <input type="checkbox"/> しない	☛P189、302
9.自動トレイ切り替え	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P191、302
10.トレイ優先順位	各順位でトレイ1～トレイ4** ( <input type="checkbox"/> 1→ <input type="checkbox"/> 2→ <input type="checkbox"/> 3→ <input type="checkbox"/> 4**)	☛P193、302
11.自動解除時の用紙トレイ	<input type="checkbox"/> トレイ1～トレイ4**	☛P195、302
12.自動画像回転	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P197、302
13.オフセット排出**	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P199、302

\* 印のついている機能はコピー画面で一時的に値を変更できます。

\*\* 印はオプション、およびオプションを装着したときに有効となる設定項目です。装着されていない場合は、表示されないか、またはコピー機能設定画面中の設定状態に「(オプション未実装)」と表示されます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポートリストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## コピー機能を設定する

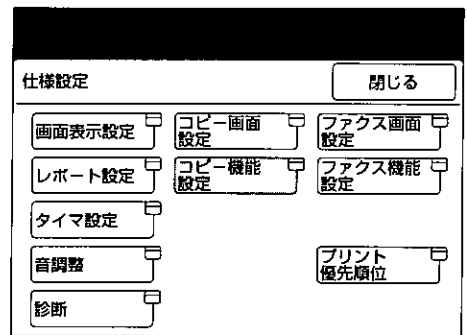
### 用紙トレイの仕様設定

電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに、どの用紙トレイが選択されるかを設定しておくことができます。お買い求め時は「自動」に設定されていますが、特定の用紙を使ってコピーすることが多い場合には、その用紙をセットした用紙トレイを初期値に設定しておくことで、コピー時に用紙トレイを指定する手間が省けます。

1

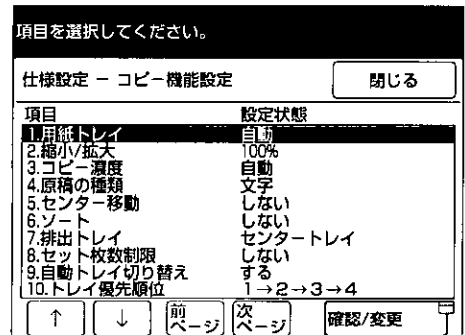
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

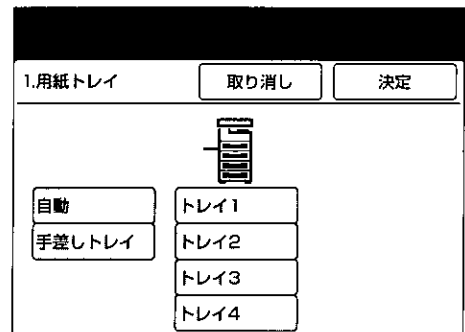
1. **用紙トレイ** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



3

**自動** またはいずれかのトレイを選択して用紙トレイの初期値を指定します。

※トレイ4と手差しトレイはオプションです。



次ページに続きます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通じる

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

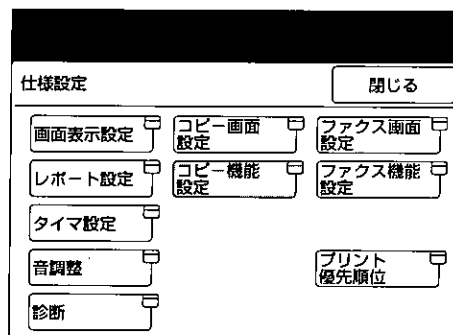
## 縮小／拡大の仕様設定

電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに選択される倍率を設定しておくことができます。お買い求め時は「100%」に設定されていますが、特定の倍率でコピーすることが多い場合には、その倍率を初期値に設定しておくこと、コピー時に縮小／拡大倍率を指定する手間が省けます。

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

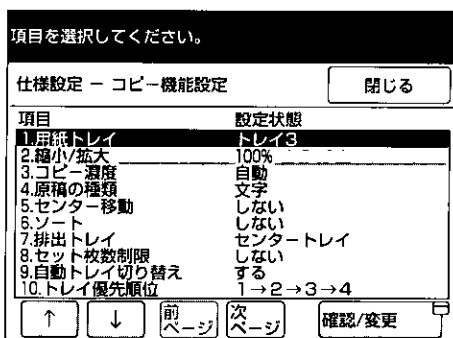
1

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2. **縮小/拡大** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

2

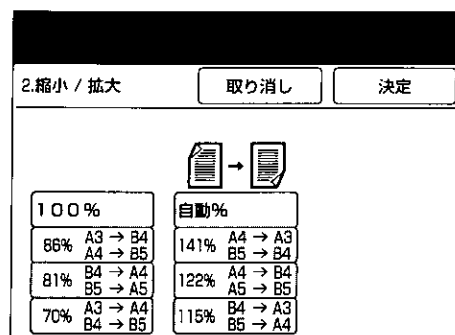


3 **確認/変更** を選択します。

3

いずれかの倍率を選択して縮小／拡大の初期値を指定します。

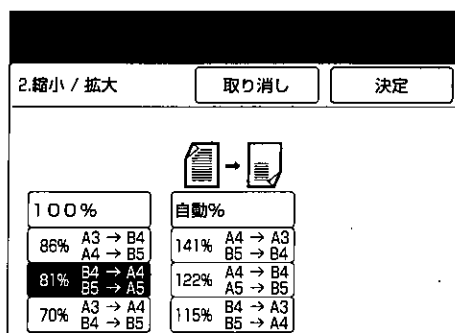
4



5 **決定** を選択します。

画面は、手順4で **81% B4→A4 B5→A5** を選択した場合の例です。

5



次ページに続きます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

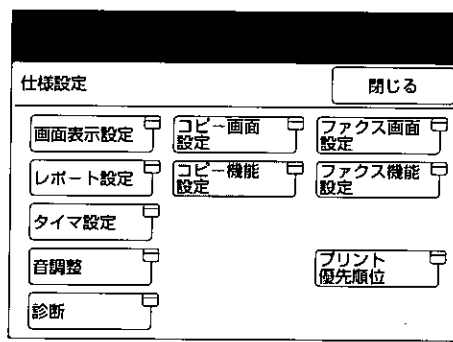
## コピー濃度の仕様設定

電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに選択されるコピー濃度を設定しておくことができます。お買い求め時は「自動」に設定されていますが、特定の濃度を指定してコピーすることが多い場合には、その濃度を初期値に設定しておくこと、コピー時に濃度を指定する手間が省けます。

1

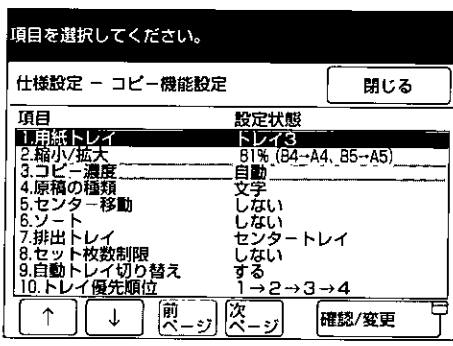
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



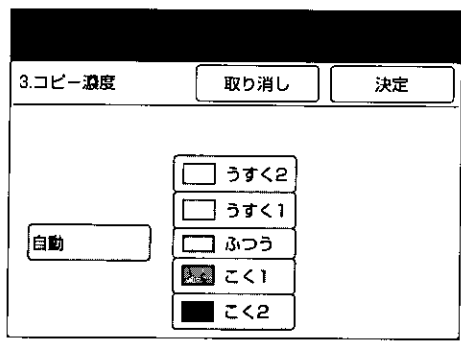
2

**3.コピー濃度** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



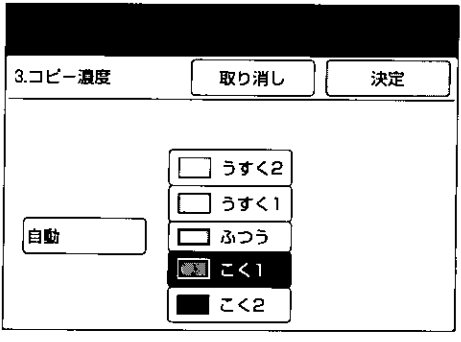
3

**確認/変更** を選択します。



4

**自動** またはいずれかの濃度を選択してコピー濃度の初期値を指定します。



5

**決定** を選択します。

画面は、手順4で「こく1」を選択した場合の例です。

次ページに続きます。

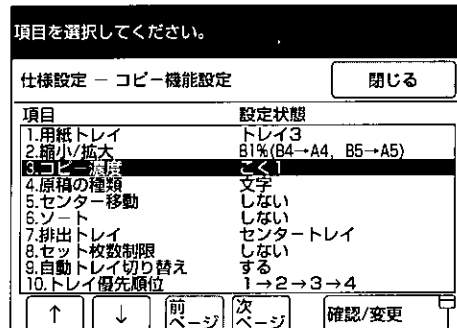
## 5.いろいろな機能を設定する



# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- コピー濃度について (←基本P69)
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

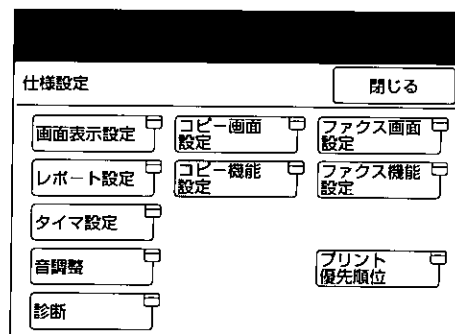
## 原稿の種類仕様設定

電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに、原稿の種類としてどの値が選択されているかを設定しておくことができます。お買い求め時は「文字」に設定されていますが、「文字」以外の設定でコピーすることが多い場合には、その原稿の種類を初期値に設定しておくこと、コピー時に種類を指定する手間が省けます。

1

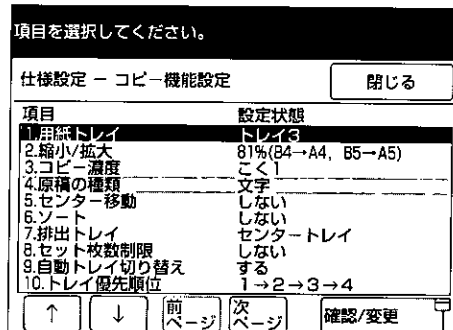
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



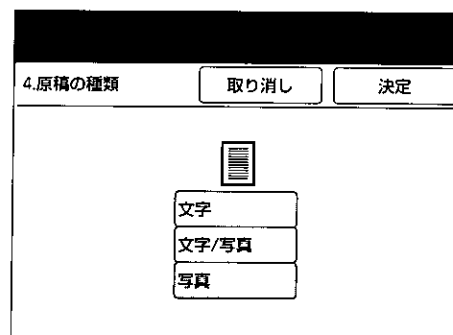
2

**4.原稿の種類** を、直接指で触れるか を使って選択します。



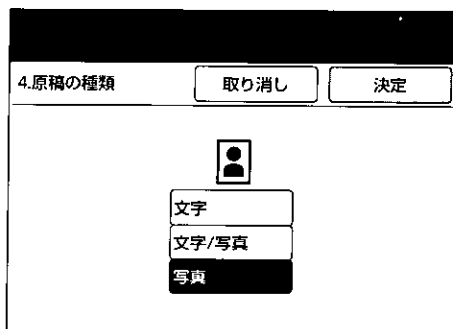
3

**確認/変更** を選択します。



4

**文字**、**文字/写真**、**写真** のいずれかを選択して、原稿の種類の初期値を指定します。



5

**決定** を選択します。

画面は、手順4で「写真」を選択した場合の例です。

次ページに続きます。



# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

項目を選択してください。

項目	設定状態
1.用紙トレイ	トレイ3
2.縮小/拡大	81%(B4→A4, B5→A5)
3.コピー濃度	ごく1
4.原稿の種類	写真
5.センター移動	しない
6.ソート	しない
7.排出トレイ	センタートレイ
8.セット枚数制限	しない
9.自動トレイ切り替え	する
10.トレイ優先順位	1→2→3→4

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



## ワンポイント.....

- 原稿の種類とは (←基本P71)
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

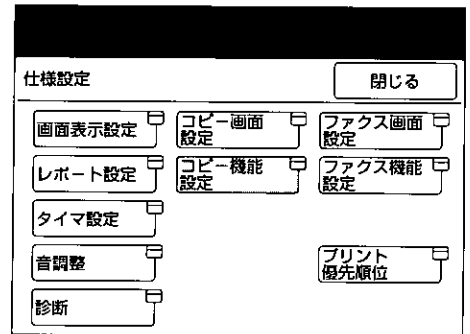
6 ご参考に

## センター移動の仕様設定

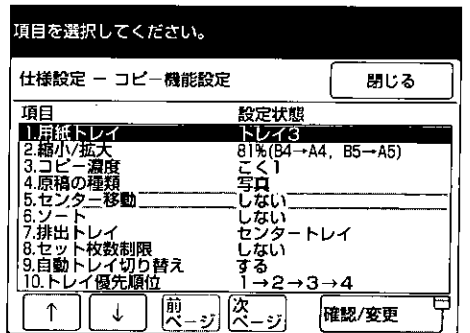
電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに、センター移動機能を使う状態にしておくかどうかを設定しておくことができます。お買い求め時はセンター移動は「しない」に設定されていますが、センター移動機能を使ってコピーすることが多い場合には、センター移動「する」を初期値に設定しておくこと、コピー時に設定する手間が省けます。

1 メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー機能設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

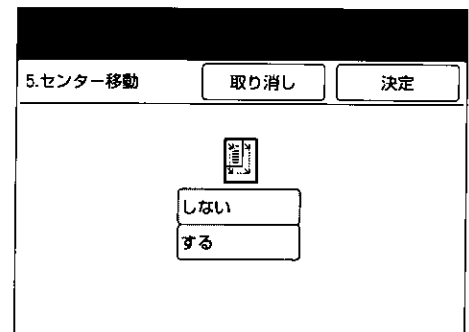


2 「5.センター移動」を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



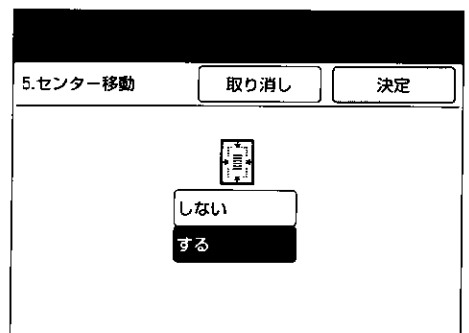
3 「確認/変更」を選択します。

4 「しない」または「する」を選択して、センター移動の初期値を指定します。



5 「決定」を選択します。

画面は、手順4で「する」を選択した場合の例です。



次ページに続きます。

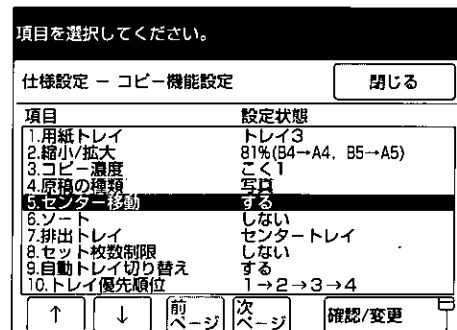


# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



7

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



## ワンポイント.....

- センター移動とは (←基本P97)
- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

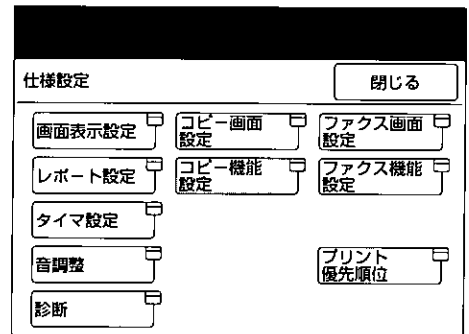
## ソートの仕様設定

電源を入れたとき、待機状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したときなどに、ソート機能を使う状態にしておくかどうかを設定しておくことができます。お買い求め時はソートは「しない」に設定されていますが、ソート機能を使ってコピーすることが多い場合には、ソート「する」を初期値に設定しておくこと、コピー時に設定する手間が省けます。

メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー機能設定」を選択します。

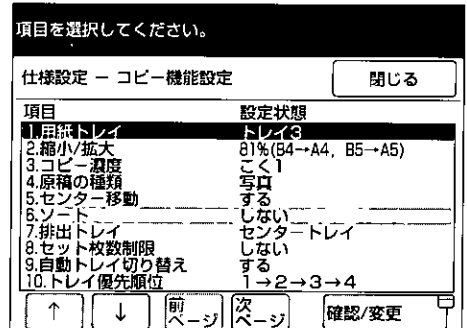
1

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



「6.ソート」を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

2

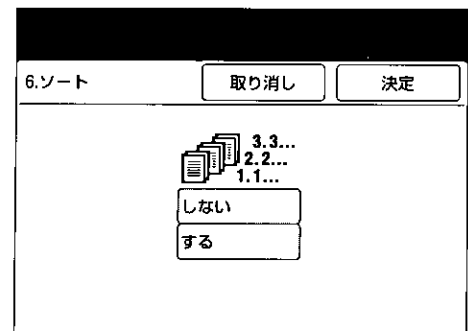


「確認/変更」を選択します。

3

「しない」または「する」を選択して、ソートの初期値を指定します。

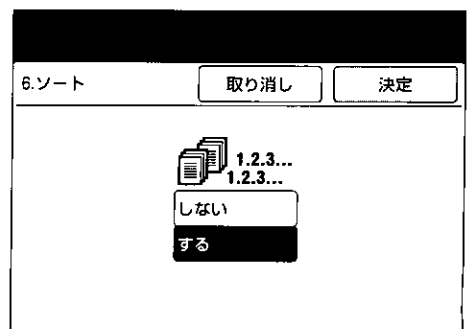
4



「決定」を選択します。

画面は、手順4で「する」を選択した場合の例です。

5



次ページに続きます。



# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

項目を選択してください。

項目	設定状態
1. 用紙トレイ	トレイ3
2. 縮小/拡大	81%(B4→A4, B5→A5)
3. コピー濃度	ごく1
4. 原稿の種類	写真
5. センター移動	する
6. ソート	する
7. 排出トレイ	センタートレイ
8. セット枚数制限	しない
9. 自動トレイ切り替え	する
10. トレイ優先順位	1→2→3→4

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

7 **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- ソートとは (←基本P116)
- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使う通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いづら機能を設定する

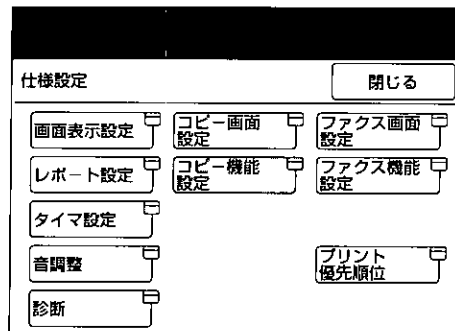
6 ご参考に

## 排出トレイの仕様設定

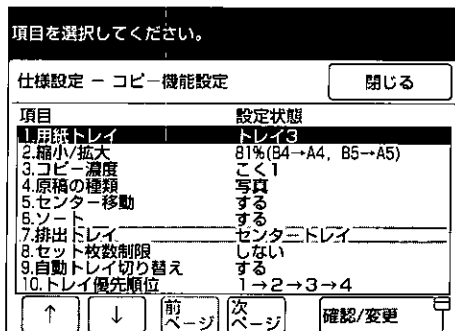
サイドトレイ（オプション）が装着されている場合、コピーをセンタートレイ/サイドトレイのどちらに排出させるかをあらかじめ指定しておくことができます。お買い求め時は排出トレイは「センタートレイ」に設定されていますが、サイドトレイに排出させることが多い場合には、「サイドトレイ」を初期値に設定しておくこと、コピー時に設定する手間が省けます。

1 メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー機能設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

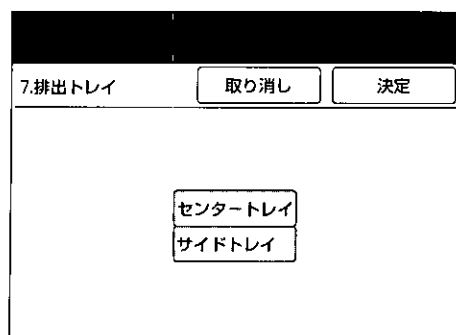


2 「7.排出トレイ」を直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



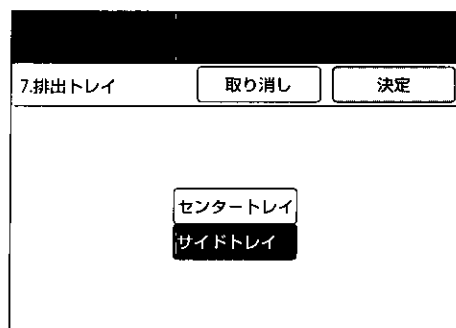
3 「確認/変更」を選択します。

4 「センタートレイ」または「サイドトレイ」を選択して、排出トレイの初期値を指定します。



5 「決定」を選択します。

画面は、手順4で「サイドトレイ」を選択した場合の例です。



次ページに続きます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

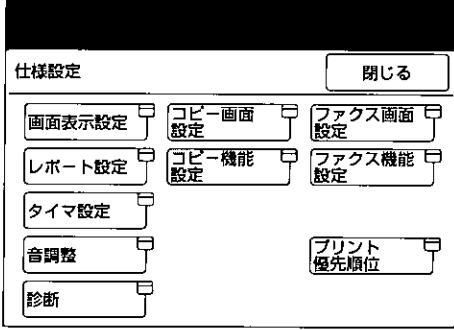
6 ご参考に

## セット枚数制限の仕様設定

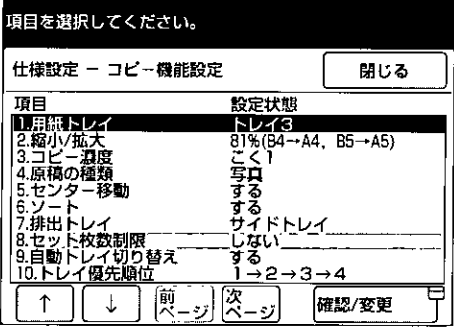
1枚の原稿に対して一度にコピーできる枚数を制限することができます。お買い求め時は枚数制限は「しない」に設定されていますが、1～99枚の範囲で枚数が制限できます。コピー時にセット枚数制限を上回る枚数を指定すると、自動的にセット枚数制限の値に変更されます。

1 メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

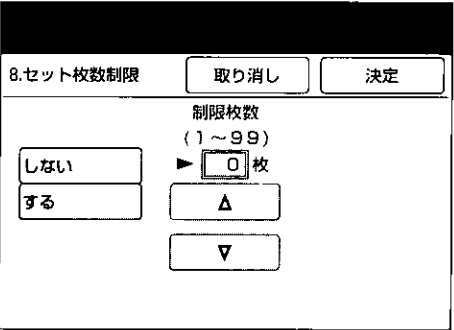
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2 **8.セット枚数制限** を直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

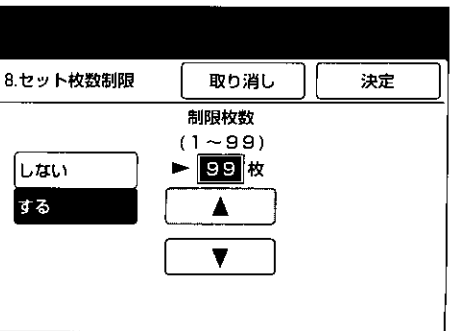


3 **確認/変更** を選択します。



4 **しない** または **する** を選択して、**セット枚数制限をするかどうか**を指定します。

ここでは例として **する** を選択します。  
**しない** を選択した場合は、手順6に進みます。



5 一度にコピーできる**最大枚数 (1～99枚)**をダイヤルボタンで入力するか、**▲** または **▼** を選択して指定します。

次ページに続きます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

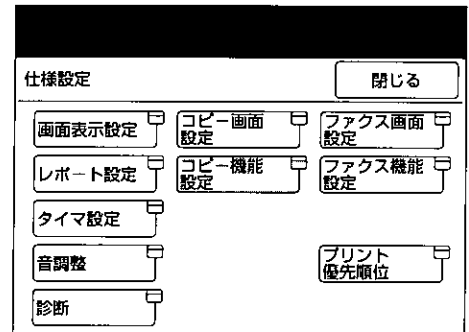
## 自動トレイ切り替えの仕様設定

コピー中に用紙がなくなった場合、同一サイズ、同一方向の用紙がセットされている他の用紙トレイの用紙が使用されるようにする／しないの設定を変更することができます。お買い求め時は、自動的にトレイの切り替えが行われるように、**する**に設定されています。ただし、多重手差しトレイ（オプション）から用紙を送るように切り替えることはできません。

1

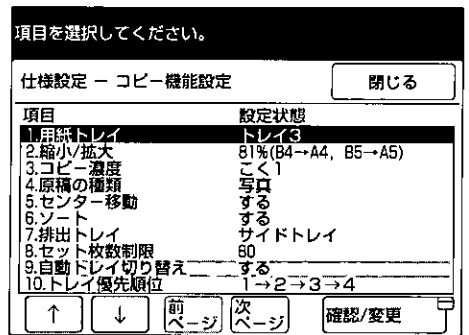
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



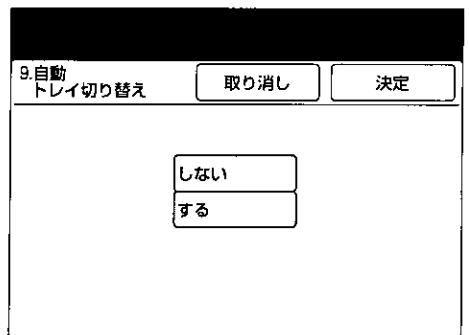
2

**9.自動トレイ切り替え** を直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



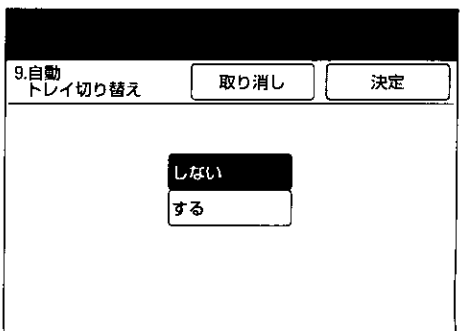
3

**確認/変更** を選択します。



4

**しない** または **する** を選択して、自動トレイ切り替えの設定を指定します。



5

**決定** を選択します。

画面は、手順4で **しない** を選択した場合の例です。



1 登録する  
通信相手を

2 通信する  
便利な機能を使って

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート  
出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に

## トレイ優先順位の仕様設定

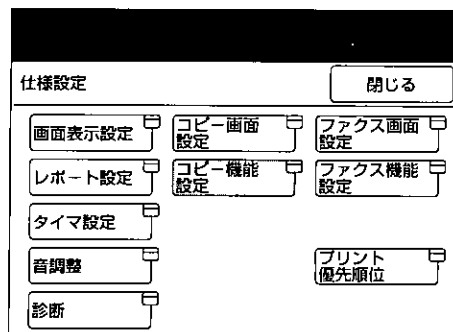
同一サイズ、同一方向の用紙が複数の用紙トレイにセットされている場合に、コピー/プリントするとき、どの用紙トレイの用紙から使うかを指定しておくことができます。この設定は、用紙トレイで「自動」を選択したときや自動トレイ切り替え（●P191）を「する」にしてある場合に機能します。

お買い求め時は1番目は「トレイ1」、2番目は「トレイ2」、3番目は「トレイ3」、4番目は「トレイ4」（オプション）の順に設定されています。

1

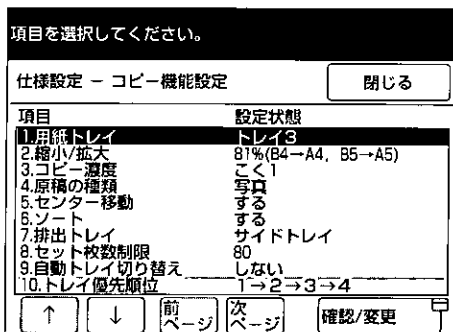
メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー機能設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



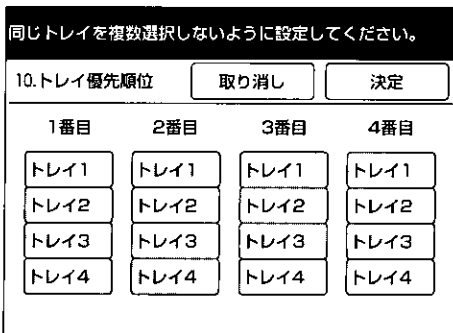
2

10.トレイ優先順位 を直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



3

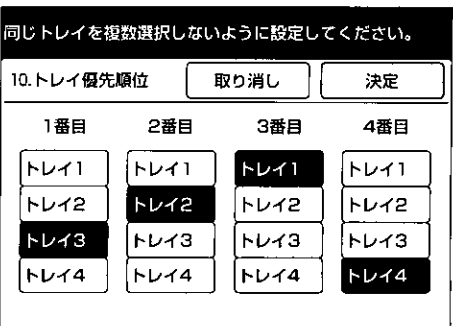
確認/変更 を選択します。



4

1~4番目としてそれぞれのトレイを指定するかを「トレイ1」~「トレイ4」を選択して指定します。

※トレイ4はオプションです。



5

決定 を選択します。

画面は、手順4で1番目に「トレイ3」、2番目に「トレイ2」、3番目に「トレイ1」、4番目に「トレイ4」を選択した場合の例です。



# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

項目を選択してください。

項目	設定状態
1.用紙トレイ	トレイ3
2.縮小/拡大	81%(B4→A4, B5→A5)
3.コピー濃度	ごく1
4.原稿の種類	写真
5.センター移動	する
6.ソート	する
7.排出トレイ	サイドトレイ
8.セット枚数制限	80
9.自動トレイ切り替え	しない
10.トレイ優先順位	3→2→1→4

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

7 **【オールクリア】 ボタンを押します。**  
初期画面に戻ります。

## ワンポイント .....

●設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

## お知らせ

- 多重手差しトレイ（オプション）は指定の対象になりません。
- 手順4で同じ用紙トレイを重複して指定した場合、手順5で「ビピビ」という音が鳴り、**決定** を選択することができません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通値する

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 自動解除時の用紙トレイの仕様設定

縮小/拡大の「自動%」を選択したときなど、用紙トレイの「自動」が解除されたときに、自動的に選択される用紙トレイをあらかじめ設定することができます。お買い求め時は、「トレイ1」が自動的に選択されるように設定されていますが、よく使う用紙をセットしてある用紙トレイを指定しておくくと便利です。

### ●お買い求め時の基本コピー画面

自動解除時の用紙トレイに指定されている用紙トレイは、基本コピー画面の「自動」と「トレイ選択」の間に表示されています。設定を変更すると、表示が変わります。

自動解除時に  
選択される用  
紙トレイ

※トレイ4はオプション  
です。

メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー機能設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

次ページ を選択します。

項目	設定状態
1. 用紙トレイ	トレイ1
2. 縮小/拡大	81%(B4→A4, B5→A5)
3. コピー濃度	こく1
4. 原稿の種類	写真
5. センター移動	する
6. ソート	する
7. 排出トレイ	サイドトレイ
8. セット枚数制限	80
9. 自動トレイ切り替え	しない
10. トレイ優先順位	3→2→1→4

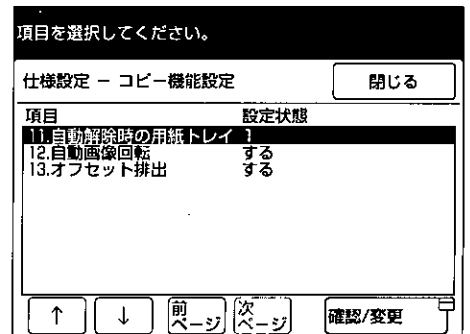
次ページに続きます。

# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

3

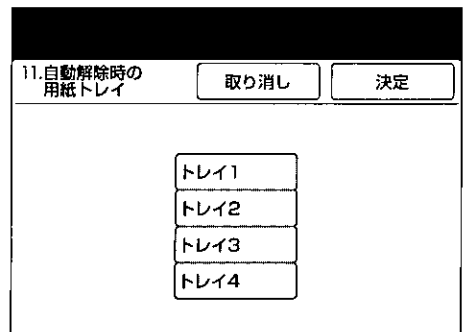
11.自動解除時の用紙トレイ が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



4

**トレイ1** ~ **トレイ4** のいずれかを選択して、**自動** が解除されたときに選択される用紙トレイを指定します。

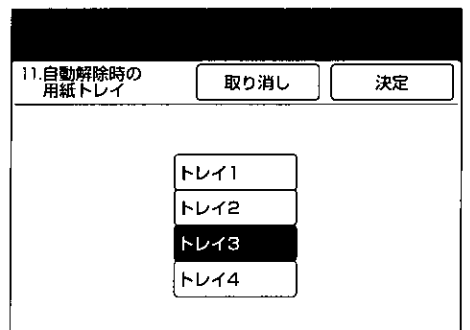
※トレイ4はオプションです。



5

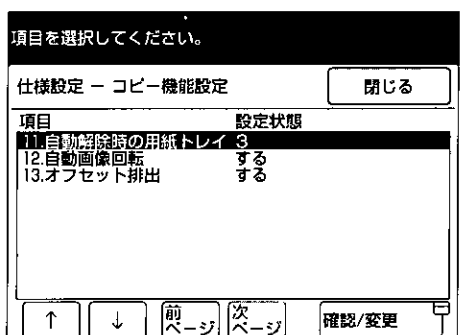
**決定** を選択します。

画面は、手順4で **トレイ3** を選択した場合の例です。



6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



7

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- 多重手差しトレイ (オプション) は指定の対象になりません。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通じる

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

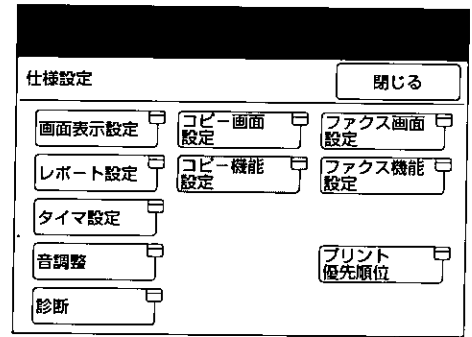
## 自動画像回転の仕様設定

自動画像回転機能を使用する/しないを設定することができます。お買い求め時は、**する**に設定されています。

1

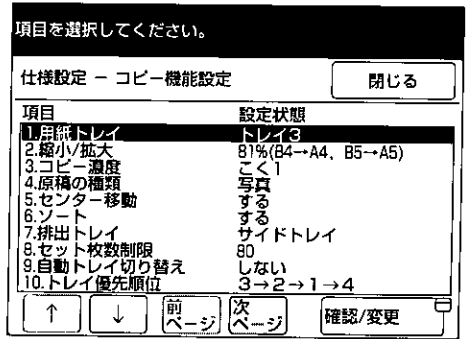
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



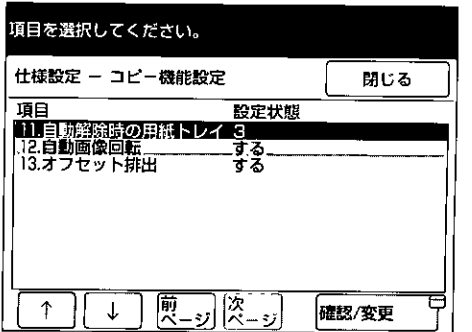
2

**次ページ** を選択します。



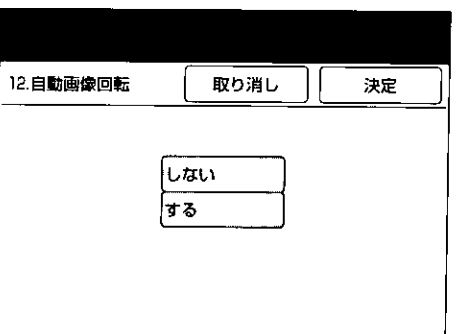
3

**12.自動画像回転** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

**しない** または **する** を選択して、自動画像回転機能を利用するかどうかを指定します。

次ページに続きます。



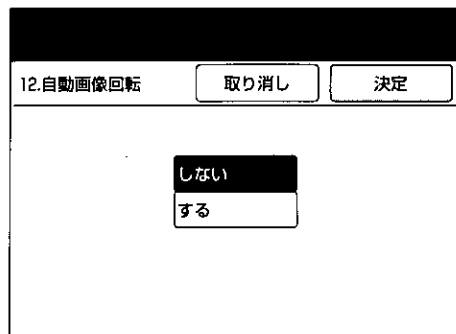
# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

6

**決定** を選択します。

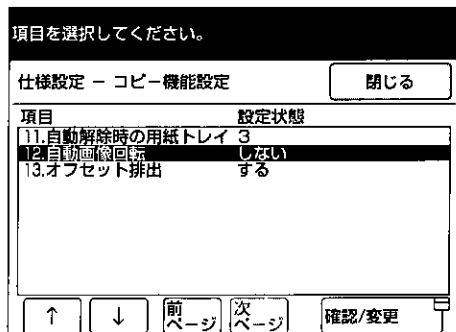
画面は、手順5で **しない** を選択した場合の例です。



7

設定した値が表示されているのを確認し、

**閉じる** を選択します。



8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 自動画像回転とは (←基本P58)
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

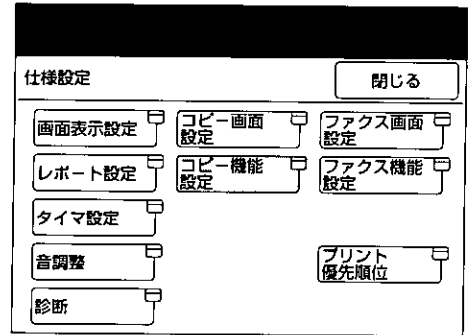
## オフセット排出の仕様設定

オフセット排出機能を使用する/しないを設定することができます。お買い求め時は、**する**に設定されています。

1

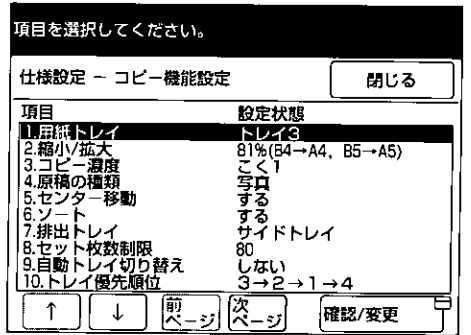
メニュー画面の**仕様設定**を選択⇒右の画面で**コピー機能設定**を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え]ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



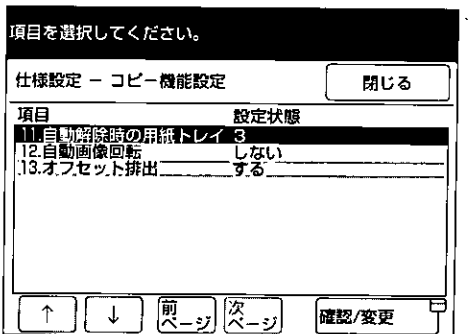
2

**次ページ**を選択します。



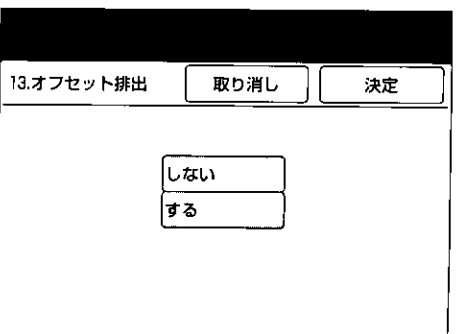
3

**13. オフセット排出**を、直接指で触れるか **↑****↓**を使って選択します。



4

**確認/変更**を選択します。



5

**しない**または**する**を選択して、オフセット排出機能を利用するかどうかを指定します。

次ページに続きます。



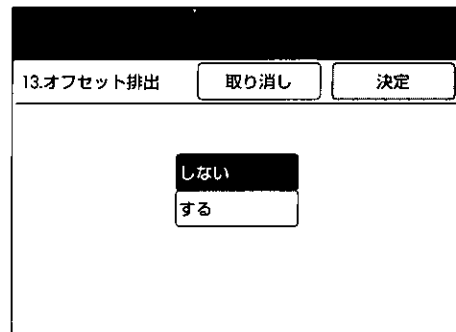
# コピー機能の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

**6**

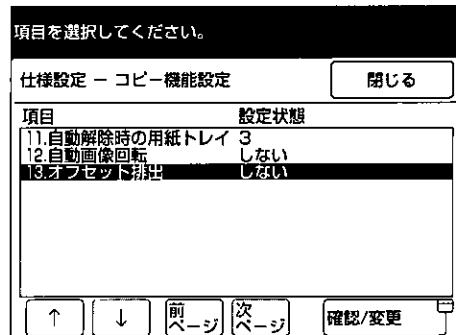
**決定** を選択します。

画面は、手順5で **しない** を選択した場合の例です。



**7**

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



**8**

**【オールクリア】 ボタン**を押します。

初期画面に戻ります。



## ワンポイント .....

- オフセット排出とは (←基本P129)
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



## お知らせ

- 自動両面ユニット (オプション) またはサイドトレイキットA (オプション) が装着されていない場合は、設定状態に「(オプション未実装)」と表示され、確認/変更の操作ができません。

# コピー画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

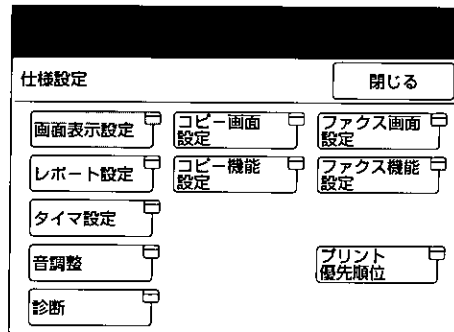
## ディスプレイの初期画面を変更する

コピー/ファクスのどちらをよく利用するかによって、電源を入れたときにタッチパネルディスプレイに最初に表示される画面を変えることができます。お買い求め時はメニュー画面が表示されるように設定されています。

1

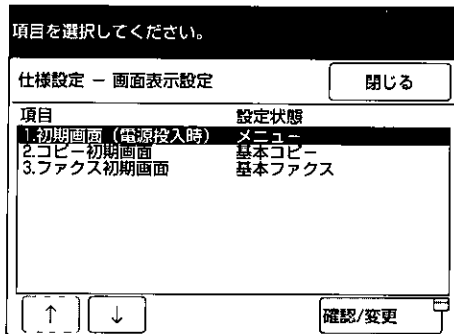
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **画面表示設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



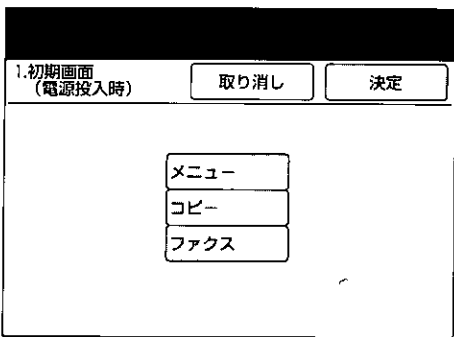
2

**1.初期画面 (電源投入時)** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



3

**メニュー**、**コピー**、**ファクス** のいずれかを選択して電源投入時の初期画面を指定します。



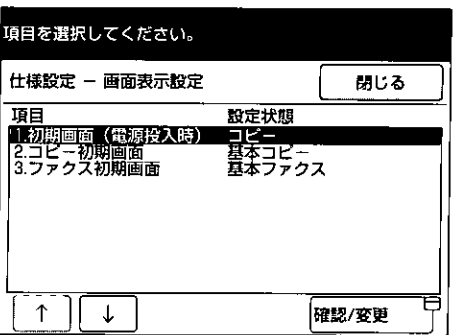
4

**決定** を選択します。

5

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順3で **コピー** を選択した場合の例です。



6

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リニアを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

# コピー画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

コピー画面を表示させたときに表示される初期画面の設定を変えたり、コピー画面に表示されるさまざまな機能の初期値を変更することができます。

●コピー画面の仕様設定で変更できる項目と設定できる値の範囲は、以下の表のとおりです。

お買い求め時は  に設定されています。

コピー画面設定項目	設定できる値	参照ページ
1~6.お好み機能	—	▶P204, 294
7~12.固定倍率*	定型倍率 (10種類 173%、163%、 <u>141%</u> 、 <u>122%</u> 、 <u>115%</u> 、 <u>86%</u> 、 <u>81%</u> 、 <u>70%</u> 、61%、51%)、任意倍率	▶P206, 294
13~15.わく消し*	<u>5mm</u> (0~50mm) : 左右わく消し初期値 <u>5mm</u> (0~50mm) : 上下わく消し初期値 <u>15mm</u> (0~50mm) : 中消し初期値	▶P208, 294

\*印のついている機能はコピー画面で一時的に値を変更できます。

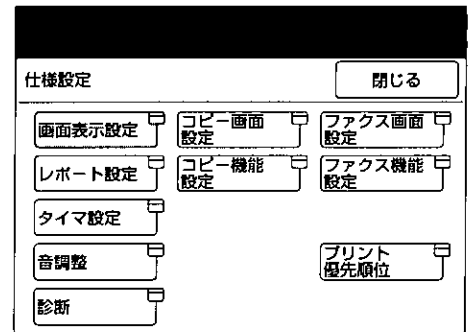
## コピーの初期画面を変更する

コピー画面を表示させたときに最初に表示される画面を、基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の中から指定することができます。よく使う画面をコピー画面の初期画面として設定しておくくと便利です。お買い求め時は基本コピーの画面が表示されるように設定されています。

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **画面表示設定** を選択します。

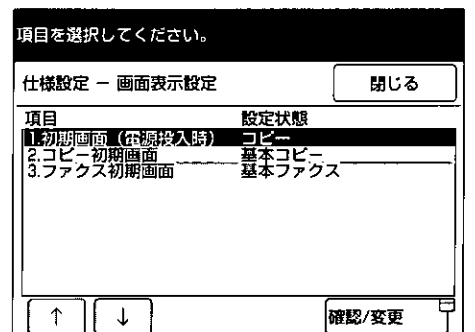
1

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**2.コピー初期画面** を直接指で触れるか   を使って選択します。



3

**確認/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

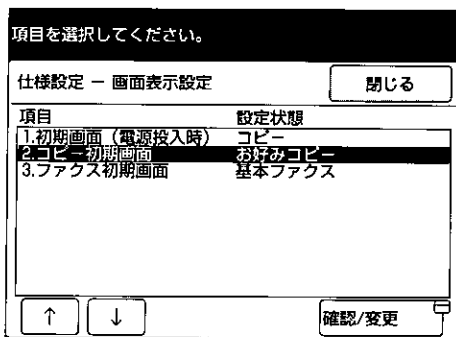
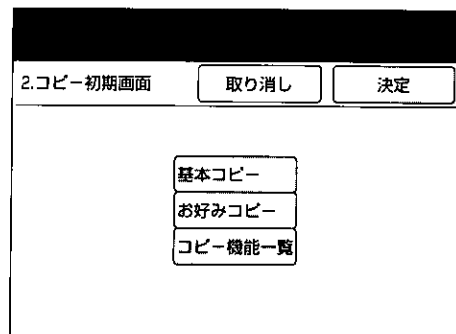
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



4 **基本コピー**、**お好みコピー**、**コピー機能一覧** のいずれかを選択してコピー初期画面を指定します。

5 **決定** を選択します。

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。  
画面は、手順4で**お好みコピー**を選択した場合の例です。

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

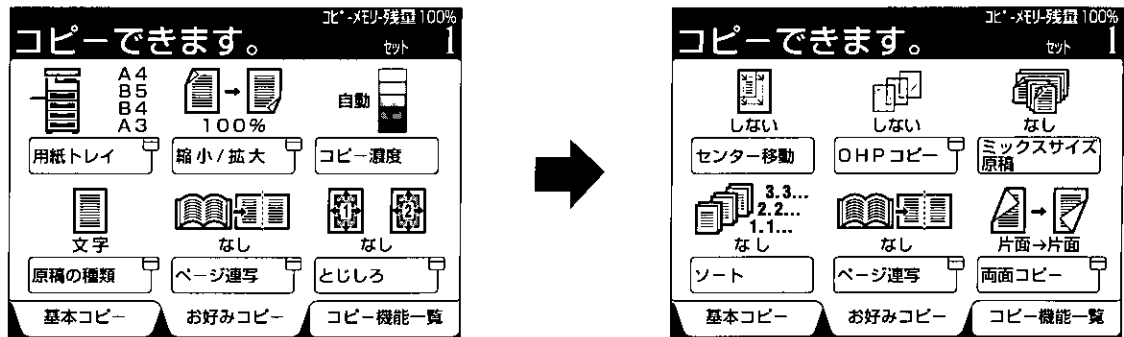
# コピー画面の設定を変えてより使いやすくするには

(仕様設定)

## お好みコピー画面を変更する

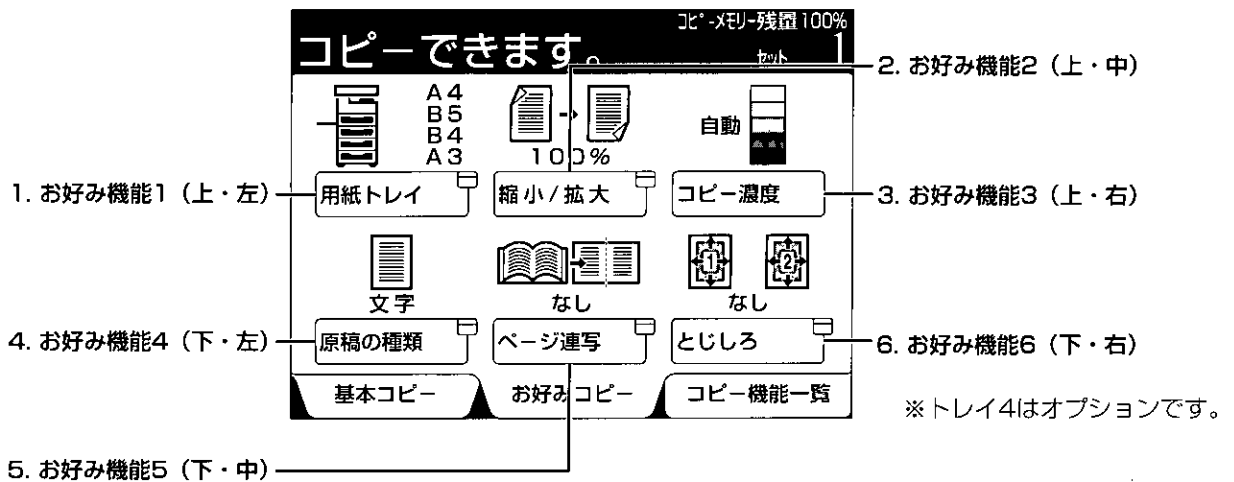
お好みコピー画面には、コピー機能一覧フォルダに表示されているすべての機能の中から任意に6つの機能を選んで表示させることができます。よく使う機能が表示されるようにしておく便利です。たとえば下図のように、お買い求め時に設定されているお好みコピー画面の表示内容を変えることができます。

〈例：お買い求め時のお好みコピー画面 → お好み機能5（下・中）以外のすべての機能を入れ替えた場合〉



### ●お買い求め時のお好みコピー画面

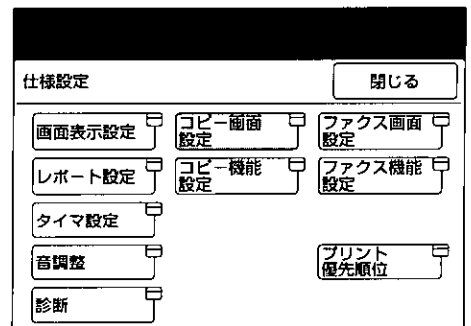
お好み機能の各機能と、お好みコピー画面に表示される位置との関係は、以下のとおりです。



〈例：お好み機能4を「両面コピー」に入れ替える場合〉

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー画面設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



1 登録する  
通信相手を

2 通信する  
便利な機能を使って

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リニア  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に

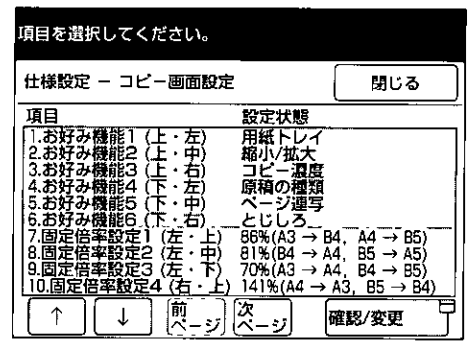
2

設定状態を変更したい項目を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

ここでは例として「4.お好み機能4 (下・左)」を選択します。

3

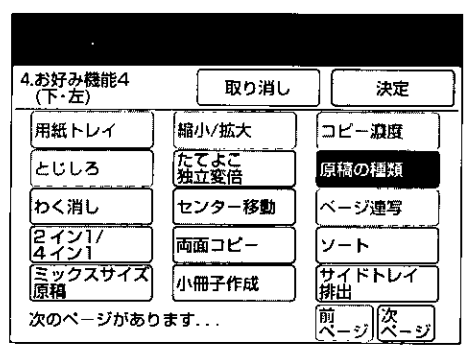
確認/変更を選択します。



4

お好みコピー画面に新しく表示したい機能を選択します。

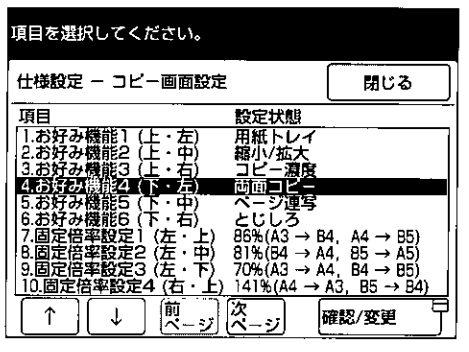
ここでは例として「両面コピー」を選択します。項目の枠が点線で表示されている機能は、すでにお好みコピー画面に表示されているため、選択できません。



5

決定を選択します。

コピー画面設定の画面に戻ります。設定状態に手順4で選択した機能が表示されています。お好みコピー画面に表示される機能をもっと変更したい場合は、手順2～5を繰り返します。



6

設定した値が表示されているのを確認し、閉じるを選択します。

7

【オールクリア】 ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

その他のコピー画面設定を変更する

固定倍率を仕様設定する

コピー画面の縮小/拡大の「固定/任意」を選択すると、縮小/拡大のポップアップ画面(下図)が表示されます。このポップアップ画面には、6つの固定倍率が表示されています。

●お買い求め時の設定による縮小/拡大のポップアップ画面

コピー画面の縮小・拡大の「固定/任意」を選択すると、固定倍率の操作ボタンが表示されます。

表示される固定倍率設定1~6は、任意の数値(25~400%)に1%きざみで設定変更することができます。

コピーできます。 北・残り残量 100% セット 1

縮小/拡大 閉じる

100%

自動% (25~400) %

固定倍率設定 1 (左・上)	86% A3 → B4 A4 → B5	固定倍率設定 4 (右・上)	141% A4 → A3 B5 → B4
固定倍率設定 2 (左・中)	81% B4 → A4 B5 → A5	固定倍率設定 5 (右・中)	122% A4 → B4 A5 → B5
固定倍率設定 3 (左・下)	70% A3 → A4 B4 → B5	固定倍率設定 6 (右・下)	115% B4 → A3 B5 → A4

メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「コピー画面設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え]ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

仕様設定 閉じる

画面表示設定 コピー画面設定 ファクス画面設定

レポート設定 コピー機能設定 ファクス機能設定

タイマ設定

音調整 プリント優先順位

診断

数値を変更したい固定倍率を、7.固定倍率設定1(左・上) ~ 12.固定倍率設定6

(右・下)の中から直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

ここでは例として7.固定倍率設定1(左・上)を選択します。

仕様設定 - コピー画面設定 閉じる

項目	設定状態
1.お好み機能1(上・左)	印刷/レイ
2.お好み機能2(上・中)	縮小/拡大
3.お好み機能3(上・右)	コピー濃度
4.お好み機能4(下・左)	両面コピー
5.お好み機能5(下・中)	ページ連写
6.お好み機能6(下・右)	とじしろ
7.固定倍率設定1(左・上)	86%(A3 → B4, A4 → B5)
8.固定倍率設定2(左・中)	81%(B4 → A4, B5 → A5)
9.固定倍率設定3(左・下)	70%(A3 → A4, B4 → B5)
10.固定倍率設定4(右・上)	141%(A4 → A3, B5 → B4)

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

確認/変更を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音響レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

4 定型倍率の中から選択するか、任意倍率の ▲ または ▼ を使って、希望の倍率を指定します。

7.固定倍率設定1 (左・上)

定型倍率		任意倍率	
86% A3 → B4 A4 → B5	173% A5 → B4	(25~400) %	
81% B4 → A4 B5 → A5	163% B5 → A3	<input type="text" value=""/>	
70% A3 → A4 B4 → B5	141% A4 → A3 B5 → B4	<input type="button" value="▲"/>	
61% A3 → B5	122% A4 → B4 A5 → B5	<input type="button" value="▼"/>	
57% B4 → A5	115% B4 → A3 B5 → A4		

5 **決定** を選択します。  
画面は、手順4で「250」%を指定した場合の例です。

7.固定倍率設定1 (左・上)

定型倍率		任意倍率	
86% A3 → B4 A4 → B5	173% A5 → B4	(25~400) %	
81% B4 → A4 B5 → A5	163% B5 → A3	<input type="text" value="250"/>	
70% A3 → A4 B4 → B5	141% A4 → A3 B5 → B4	<input type="button" value="▲"/>	
61% A3 → B5	122% A4 → B4 A5 → B5	<input type="button" value="▼"/>	
57% B4 → A5	115% B4 → A3 B5 → A4		

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

項目を選択してください。

仕様設定 - コピー画面設定

項目	設定状態
1.お好み機能1 (上・左)	用紙トレイ
2.お好み機能2 (上・中)	縮小/拡大
3.お好み機能3 (上・右)	コピー濃度
4.お好み機能4 (下・左)	両面コピー
5.お好み機能5 (下・中)	ページ連写
6.お好み機能6 (下・右)	とじしろ
7.固定倍率設定1 (左・上)	250%
8.固定倍率設定2 (左・中)	81%(B4 → A4, B5 → A5)
9.固定倍率設定3 (左・下)	70%(A3 → A4, B4 → B5)
10.固定倍率設定4 (右・上)	141%(A4 → A3, B5 → B4)

7 **[オールクリア]** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

 ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

# コピー画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## わく消しの仕様設定

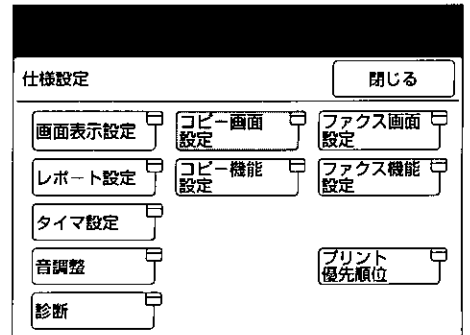
原稿をコピーするときに、コピーのまわりや中央に生じる影を消す、わく消しの機能について、初期値を変更することができます。よく使うわく消し位置やわく消し量が決まっているときには、初期値をあらかじめ変更しておくとう便利です。わく消し位置やわく消し量の初期値は、0~50 mmの範囲で入力して設定します。

お買い求め時は、左右わく消し初期値と上下わく消し初期値がそれぞれ「5」mmに、中消し初期値が「15」mmに設定されています。

1

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **コピー画面設定** を選択します。

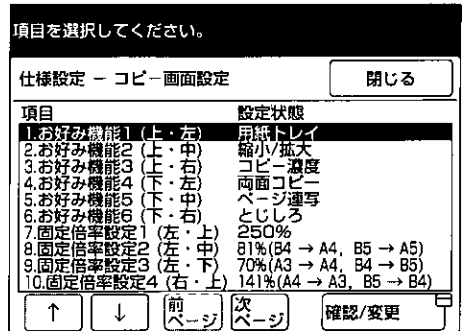
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**次ページ** を選択します。

左右わく消し量の初期値を変更するときは手順3に進みます。  
上下わく消し量の初期値を変更するときは手順7に進みます。  
中消し量の初期値を変更するときは手順11に進みます。



3

**13.左右わく消し初期値** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

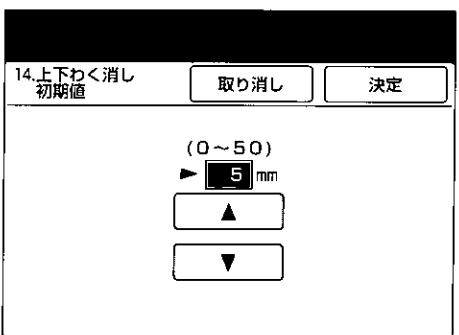
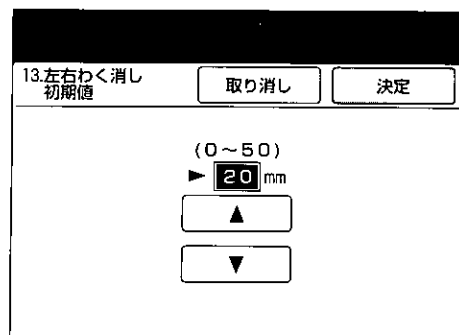
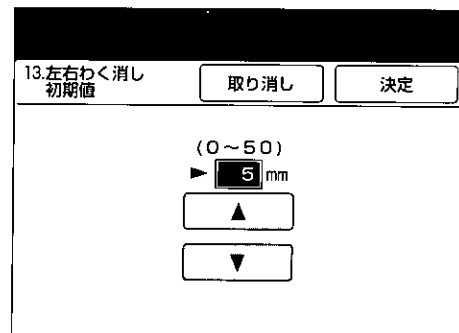
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 着信レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



5 初期値に指定したい左右わく消し量 (0~50) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲または▼を使って指定します。

ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6 決定を選択します。

画面は、手順5で「20」mmを指定した場合の例です。

7 14.上下わく消し初期値 を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

8 確認/変更を選択します。

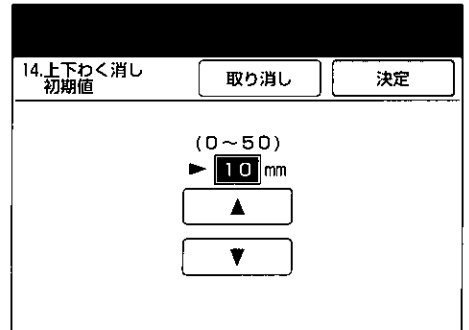
9 初期値に指定したい上下わく消し量 (0~50) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲または▼を使って指定します。

ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

次ページに続きます。

# コピー画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

**10** **決定** を選択します。  
画面は、手順9で「10」mmを指定した場合の例です。

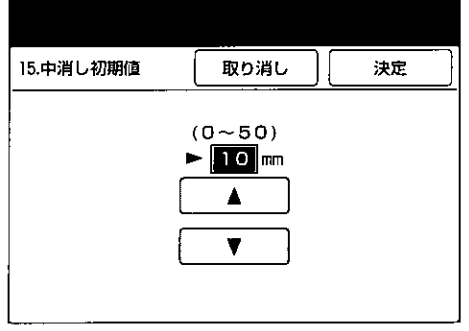


**11** **15.中消し初期値** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

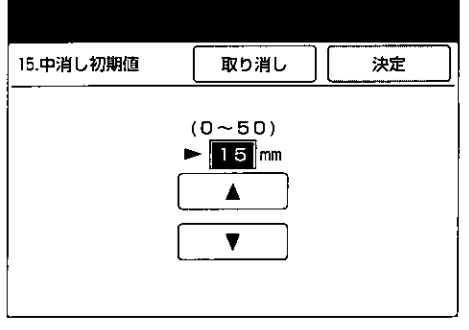


**12** **確認/変更** を選択します。

**13** 初期値に指定したい中消し量 (0~50) を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲** または **▼** を使って指定します。  
ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**14** **決定** を選択します。  
画面は、手順13で「15」mmを指定した場合の例です。



**1** 通信相手を登録する

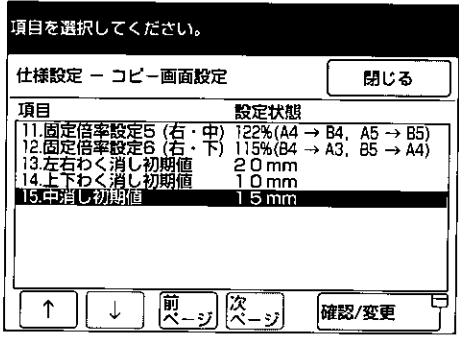
**2** 便利な機能を使って通信する

**3** ビジネスホンを通知する

**4** 各種レポート/リポートを出力する

**5** いろいろな機能を設定する

**6** ご参考に



**15** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**16** **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

 **ワンポイント** .....

- わく消しとは (➡基本P95)
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

## ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

電源を入れたとき、節電状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したとき、または送信スタート後には、本装置の設定状態は、あらかじめ設定されている値（初期値）に戻ります。仕様設定とは、初期値の設定を変更したり、本装置が備えている機能を使う／使わないを決めておくことです。お買い求め時に設定されている本装置の仕様設定は、タッチパネルディスプレイの仕様設定の画面で変更することができます。よく使う値やよく使う機能に合わせて仕様設定しておく、操作するたびに設定を変更する手間が省けて便利です。

●ファクス機能の仕様設定で変更できる項目と設定できる値の範囲は、以下の表のとおりです。

お買い求め時は  に設定されています。

ファクス機能設定項目	設定できる値	参照ページ
1. 送信画質*	<input type="checkbox"/> 標準、高画質、超高画質	☛P214、304
2. 原稿の種類*	<input type="checkbox"/> 文字、文字/写真、写真	☛P214、304
3. 送信濃度*	<input type="checkbox"/> ふつう (5段階に調整できる)	☛P214、304
4. 通信モード*	<input type="checkbox"/> G3自動、海外通信、G4自動 (G4はオプション)	☛P214、304
5. 発信元記録*	<input type="checkbox"/> 付ける、付けない	☛P214、304
6. 掲示板/ポーリング発信元	<input type="checkbox"/> 付ける、付けない	☛P214、304
7. ミックスサイズ原稿*	あり、 <input type="checkbox"/> なし	☛P214、304
8. モニターレポート*	<input type="checkbox"/> 出力しない、出力する	☛P214、306
9. 原稿通過スタンプ*/**	<input type="checkbox"/> 押さない、押す	☛P214、306
10. 長尺原稿	<input type="checkbox"/> 600mm、3600mm	☛P216、306
11. 自動回転送信	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P218、306
12. G3 IDの送出	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P220、306
13. リダイヤル回数	0~9回 ( <input type="checkbox"/> 2回)	☛P222、306
14. リダイヤル間隔	1~255分 ( <input type="checkbox"/> 1分)	☛P222、306
15. 自動ページ再送	0~5回 ( <input type="checkbox"/> 3回)	☛P224、308
16. 通信インターバル	3~255秒 ( <input type="checkbox"/> 8秒)	☛P226、308
17. 同一宛先一括送信	<input type="checkbox"/> する、しない	☛P228、308
18. 手動送受信初期設定	<input type="checkbox"/> 受信、送信	☛P230、308
19. ファクス切り替え時間	0~15秒 ( <input type="checkbox"/> 0秒)	☛P232、308
20. 受信モード***	<input type="checkbox"/> ファクス、電話(手動受信)、ファクス/電話自動切り替え	☛P234、308
21. 電話優先時音声メッセージ	送出不しい、 <input type="checkbox"/> 送出する	☛P236、308
22. 留守番電話接続	<input type="checkbox"/> しない、する	☛P238、310
23. 留守番電話無音検出	しない、 <input type="checkbox"/> する	☛P240、310
24. セレクト受信***	<input type="checkbox"/> しない、する	☛P242、310

\*印のついている機能はファクス画面で一時的に値を変更できます。

\*\*印はオプション、およびオプションを装着したときに有効となる設定項目です。装着されていない場合は、ファクス機能設定画面中の設定状態に「(オプション未実装)」と表示されます。

\*\*\*印のついている機能はメニュー画面の「受信設定」で設定した値が、電源を切るまで有効になります。

1 登録する  
通信相手を

2 通信する  
便利な機能を使って

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に

- 「20.受信モード」「24.セレクト受信」は、電源を入れたときに、あらかじめ設定されている値（初期値）に戻ります。節電状態から復帰したとき、[オールクリア] ボタンを押したとき、または送信スタート後には、あらかじめ設定している値（初期値）には戻りません。

お買い求め時は  に設定されています。

ファクス機能設定項目	設定できる値	参照ページ
25. ページ分割しきい値	0~127mm (30mm)	●P244、310
26. 自動縮小受信	<input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない	●P246、310
27. 受信紙宣言	<input type="checkbox"/> トレイモード、 <input type="checkbox"/> ユーザーモード	●P248、310
28. ページ合成受信	2イン1する、 <input type="checkbox"/> 2イン1しない	●P250、310
29. 両面プリント**	する、 <input type="checkbox"/> しない、2枚目以降両面プリントする	●P252、312
30. うら面の画像回転プリント	する、 <input type="checkbox"/> しない、たて送り用紙 (□) のみ回転、よこ送り用紙 (◇) のみ回転	●P254、312
31. 送信先部数受信	しない、 <input type="checkbox"/> する: 2~99部 (99部)	●P65、312
32. レポート/リスト排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
33. 自動出力レポート排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
34. 外線1排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
35. 内線1排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
36. 外線2排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
37. 内線2排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
38. 外線3排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
39. 内線3排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
40. ISDN排出先**	<input type="checkbox"/> センタートレイ、 <input type="checkbox"/> サイドトレイ**	●P256、312
41. 呼識別行 (G4ヘッダ) **	付ける、 <input type="checkbox"/> 付けない	●P258、314
42. 中継同報	禁止、 <input type="checkbox"/> 許可: 0000~9999 (暗証番号)	●P45、314
43. 送信結果通知****	<input type="checkbox"/> しない、 <input type="checkbox"/> する	●P131、314
44. 受信結果通知****	<input type="checkbox"/> しない、 <input type="checkbox"/> する (共通通知先なし)、 <input type="checkbox"/> する: 0~9999 (内線番号)	●P136、314
45. 異常通知****	<input type="checkbox"/> しない、 <input type="checkbox"/> する: 0~9999 (内線番号)	●P141、314

\*\*\*\*印はビジネスホン通知が設定されていない場合、「設定無効」と表示されます。

「1.送信画質」から「9.済スタンプ」の仕様設定の変更は、「仕様設定の操作手順例」(●P214)を参考に操作を行ってください。各機能に関する詳細は、表の参照ページをご覧ください。

「10.長尺原稿」から「45.異常通知」の仕様設定の変更操作は、参照ページで説明しています。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## ファクス機能を設定する

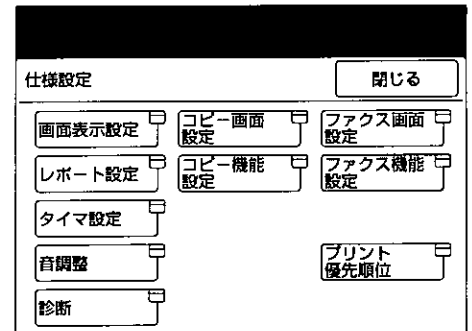
### 仕様設定の操作手順例

〈例：モニターレポートの仕様設定を変更する場合〉

1

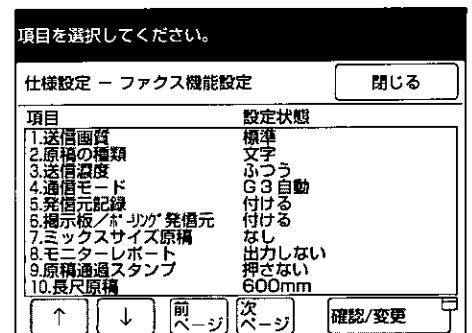
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

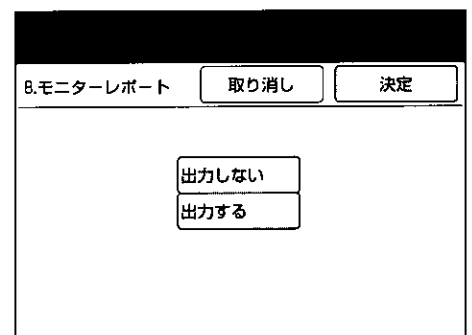
設定を変更したい項目を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

初期値を指定します。

画面は、手順2で **8.モニターレポート** を選択した場合の例です。



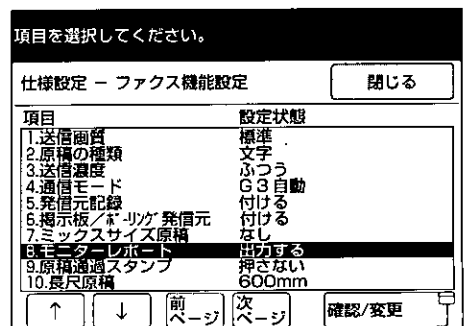
5

**決定** を選択します。

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **出力する** を選択した場合の例です。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホーンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

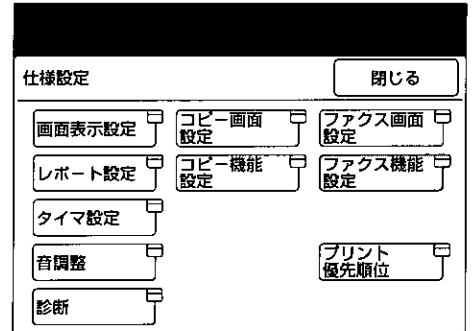
## 長尺原稿の仕様設定

DADF（自動両面原稿送り装置）で読み取れる原稿の最大長は、お買い求め時は **600mm** に設定されています。600 mmを上回る長さの原稿を読み取らせることが多いときは、 **3600mm** に設定を変更することができます。

1

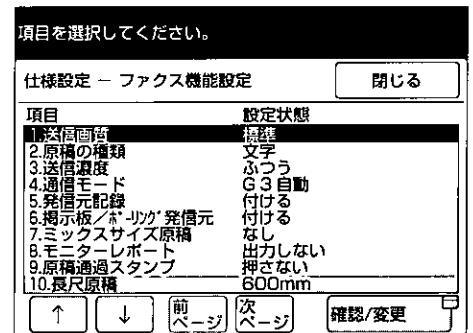
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**10.長尺原稿** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

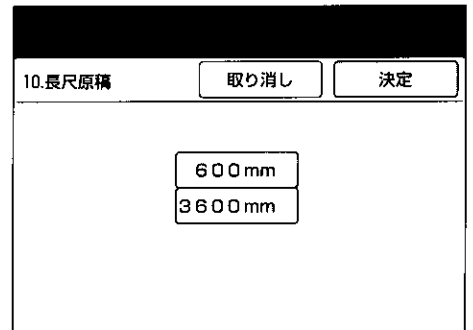


3

**確認/変更** を選択します。

4

**600mm** または **3600mm** を選択して、初期値を指定します。



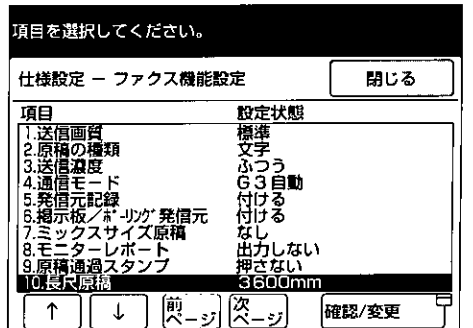
5

**決定** を選択します。

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **3600mm** を選択した場合の例です。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



**お知らせ** .....

- 長尺原稿の設定値にかかわらず、1枚の原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、読み取りが中断されます。

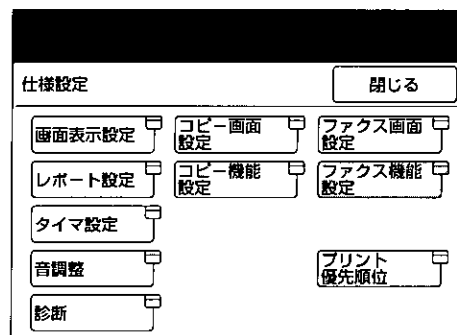
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 自動回転送信の仕様設定

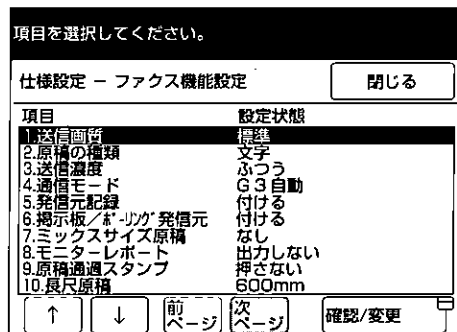
原稿をメモリ内で90°回転させれば、画像を縮小することなく送信できる場合には、自動的に画像を回転させる自動回転送信機能を使用する/しないを設定することができます。お買い求め時は、**する**に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

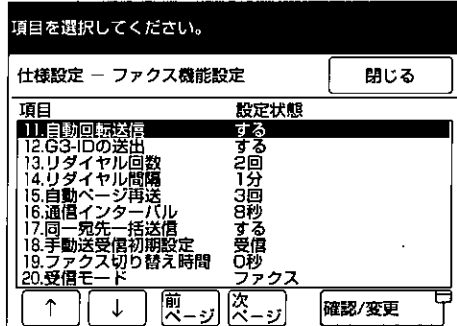
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



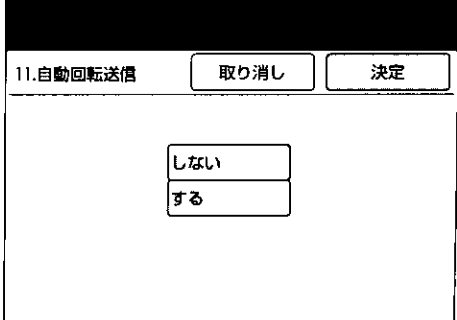
**2** **次ページ** を選択します。



**3** **11.自動回転送信** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



**4** **しない** または **する** を選択して、自動回転送信機能を利用するかどうかを指定します。



**5** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**6**

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順4で **しない** を選択した場合の例です。

項目を選択してください。

仕様設定 - ファクス機能設定		閉じる
項目	設定状態	
11.自動回線送信	しない	
12.G3-IDの送付	する	
13.リダイヤル回数	2回	
14.リダイヤル間隔	1分	
15.自動ページ再送	3回	
16.通信インターバル	8秒	
17.同一宛先一括送信	する	
18.手動送受信初期設定	受信	
19.ファクス切り替え時間	0秒	
20.受信モード	ファクス	

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

**7** **【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

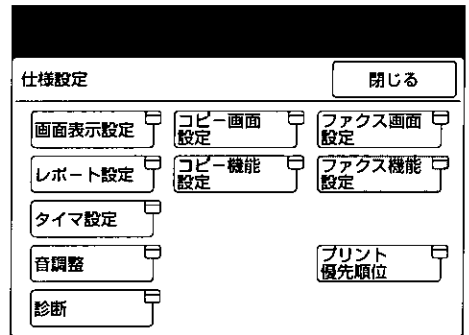
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## G3 IDの送出手続き

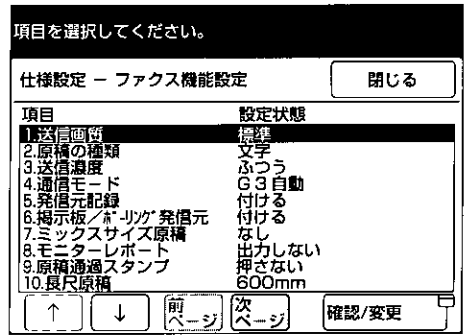
G3通信時に、G3 IDを相手先に通知する／しないを設定することができます。お買い求め時は、**する**に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

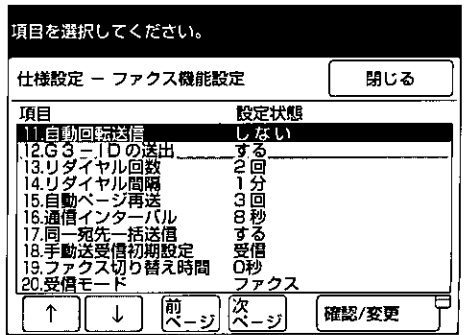
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



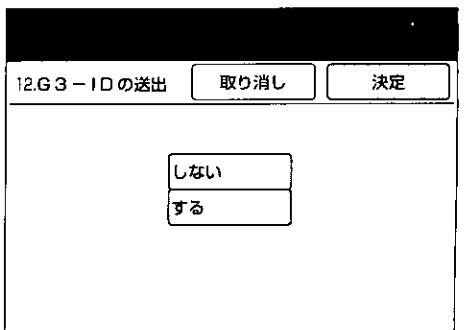
**2** **次ページ** を選択します。



**3** **12. G3-IDの送出手続き** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



**4** **確認/変更** を選択します。



**5** **しない** または **する** を選択して、G3 IDの送出手続きをするかどうかを指定します。

**6** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

項目を選択してください。

仕様設定 - ファクス機能設定 閉じる

項目	設定状態
11.自動回線送信	しない
12.GS-IDの検出	しない
13.リダイヤル回数	2回
14.リダイヤル間隔	1分
15.自動ページ再送	3回
16.通信インターバル	8秒
17.同一宛先一括送信	する
18.手動送受信初期設定	受信
19.ファクス切り替え時間	0秒
20.受信モード	ファクス

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

7 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **しない** を選択した場合の例です。

8 **【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

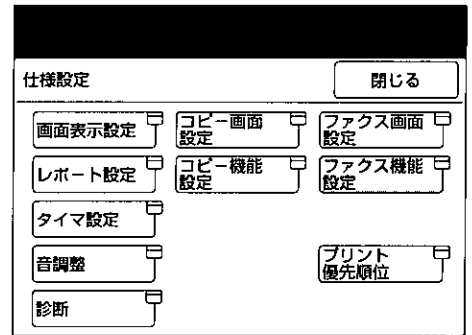
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## リダイヤル回数と間隔の仕様設定

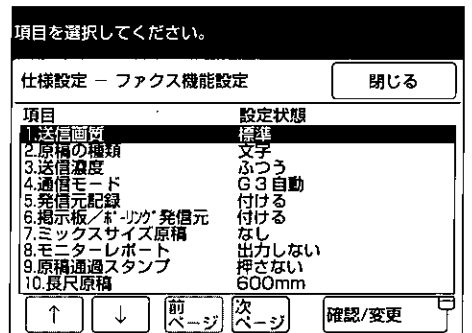
リダイヤルは、相手先がお話し中などで応答しないときに、自動的に再度ダイヤルする機能です。お買い求め時は、1分ごとに「2」回リダイヤルされるように設定されています。リダイヤルの回数（0～9回）とリダイヤル間隔（1～255分）の設定を変更することができます。

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

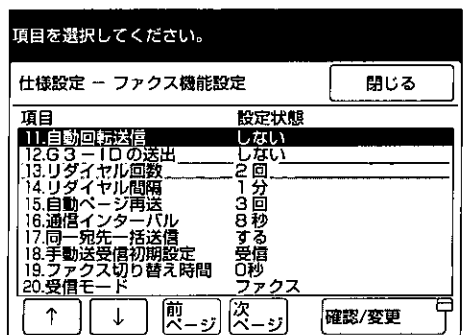
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



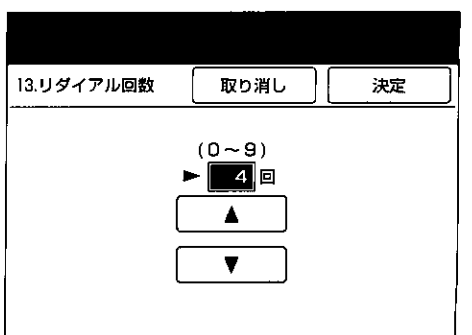
**次ページ** を選択します。



**13.リダイヤル回数** を、直接指で触れるか **↑↓** を使って選択します。



**確認/変更** を選択します。



指定したいリダイヤル回数（0～9）を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲**または**▼**を使って指定します。

ここでは例として「4」回を指定します。ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して消してから入力し直します。

**決定** を選択し、設定した値が表示されているのを確認します。



# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

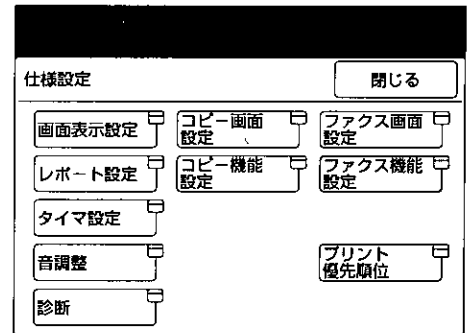
## 自動ページ再送の仕様設定

自動ページ再送は、通信中に何らかの障害が起こり送信が中断された場合に、そのページを自動的に送り直す機能です。お買い求め時は、「3」回送り直されるように設定されています。再送の回数（0～5回）の設定を変更することができます。

1

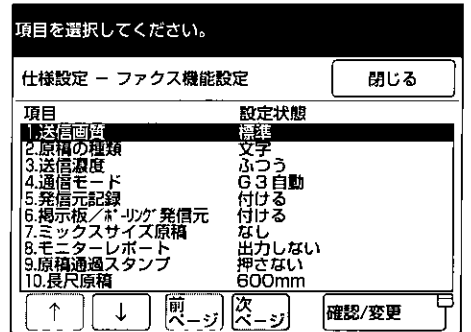
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



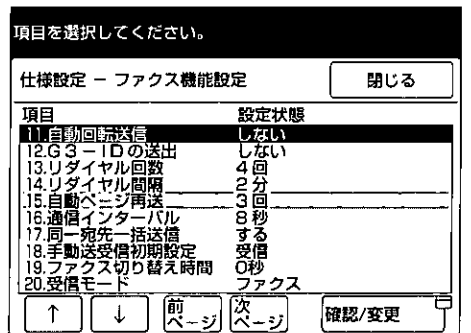
2

**次ページ** を選択します。



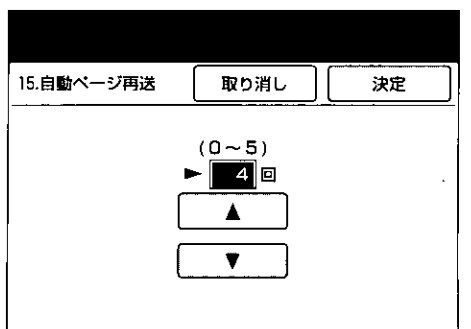
3

**15.自動ページ再送** を、直接指で触れるか **↑/↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

指定したい再送回数（0～5）を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲**または**▼**を使って指定します。

ここでは例として「4」回を指定します。ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して消してから入力し直します。

6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

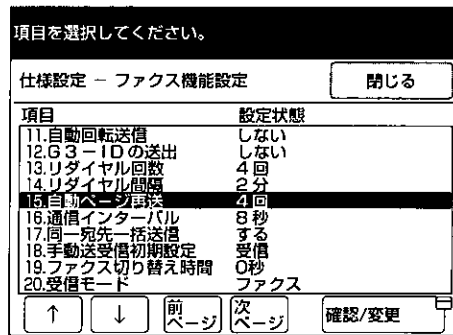
4 音速レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



8

**【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



お知らせ

- 手動送信した場合は、自動ページ再送されません。
- 自動ページ再送を「0」回に設定すると、自動ページ再送されません。
- 再送は、リダイヤル間隔 (P222) で設定されている間隔で行われます。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

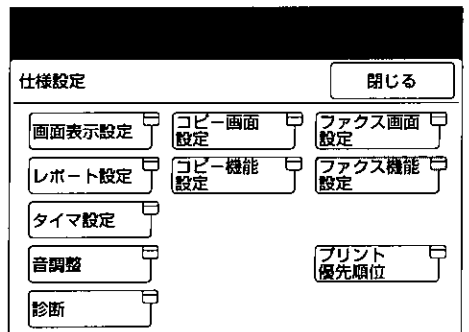
## 通信インターバルの仕様設定

通信インターバルとは、ひとつの通信が終わったあと、次に送信を始めるまでの間隔です。お買い求め時は、「8」秒に設定されています。通信インターバル（3～255秒）の設定を変更することができます。通信インターバルが長いほど、順次同報送信（●P37）などにかかる全体の時間は長くなりますが、通信インターバルの間は受信待機状態となるため、受信しやすくなります。

1

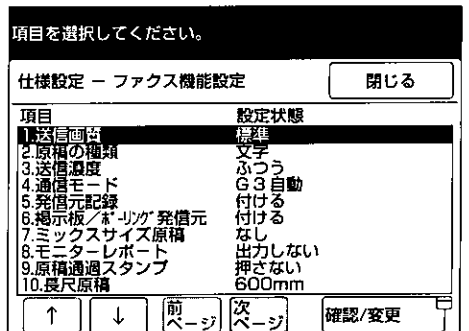
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



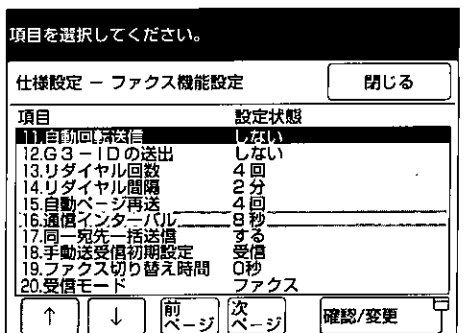
2

**次ページ** を選択します。



3

**16. 通信インターバル** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

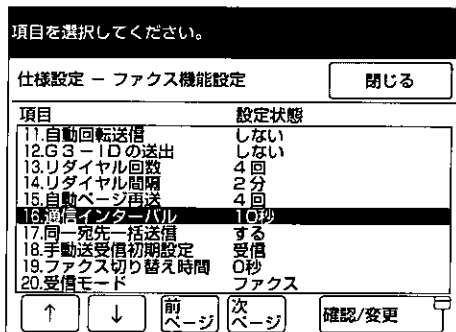
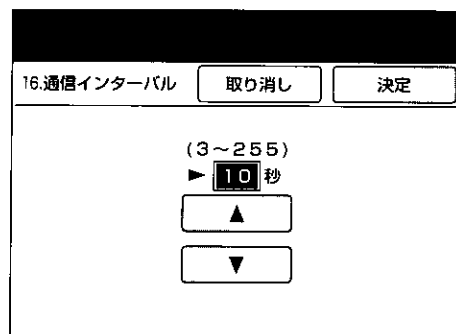
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホーンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



**5** 指定したい通信インターバル (3~255) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲ または ▼ を使って指定します。  
 ここでは例として「10」秒を指定します。  
 ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

**6** **決定** を選択します。

**7** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**8** **[オールクリア]** ボタンを押します。  
 初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- 中継同報送信 (P42) を多く利用する場合は、通信インターバルを「8」秒以上に設定してください。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

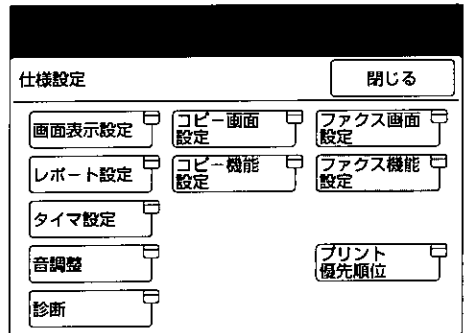
## 同一宛先一括送信の仕様設定

一括送信とは、同一の宛先への複数の送信が予約されている場合、1回の通信で複数の原稿データを送信する機能です。一括送信機能を利用すると、通信コストが低減できます。お買い求め時は、同一宛先一括送信は「**する**」に設定されています。

1

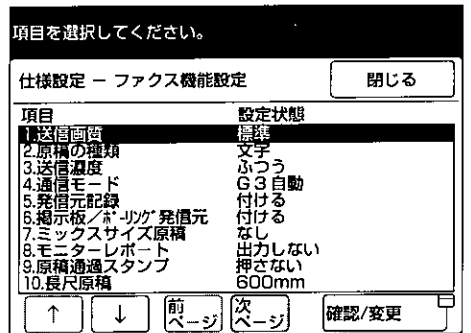
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



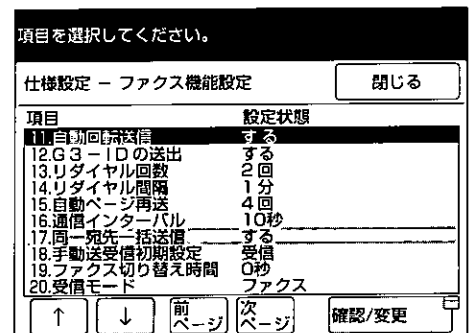
2

**次ページ** を選択します。



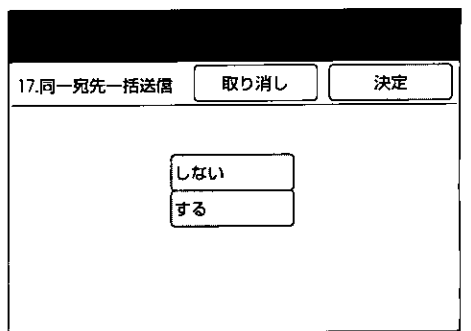
3

**17.同一宛先一括送信** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

**しない** または **する** を選択して、同一宛先一括送信をするかどうかを指定します。

6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **しない** を選択したときの例です。

項目を選択してください。

項目	設定状態
11.自動回転送信	する
12.G3-IDの送出	する
13.リダイヤル回数	2回
14.リダイヤル間隔	1分
15.自動ページ再送	4回
16.通信インターバル	10秒
17.同一宛先一括送信	しない
18.手動送受信初期設定	受信
19.ファクス切り替え時間	0秒
20.受信モード	ファクス

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

8

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- ダイヤルボタンで宛先を指定した場合で、通信モードが異なるときは一括送信されません。
- 以下の通信のときは、一括送信できません。
  - 送信中の通信が正常終了でないとき
  - 手動送信のとき
  - 順次同報
  - 中継同報
  - 親展通信
  - 指定時刻になっていない時刻指定通信

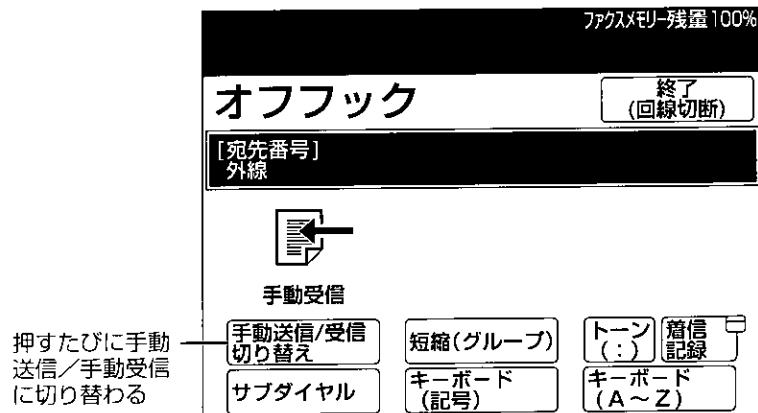
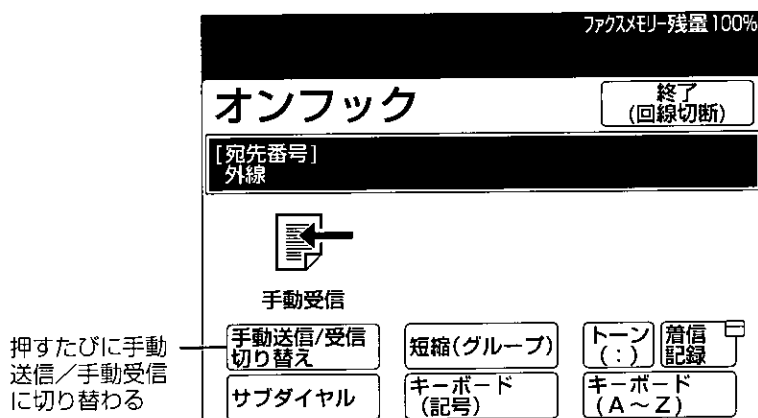
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 手動送受信の仕様設定

オンフック（●基本P180）またはオフフック（●基本P179）のときに、画面に最初に表示される状態を手動受信にするか手動送信にするかの設定を変更することができます。お買い求め時は、手動受信の状態になるように設定されています。

### ●お買い求め時のオンフック/オフフック画面

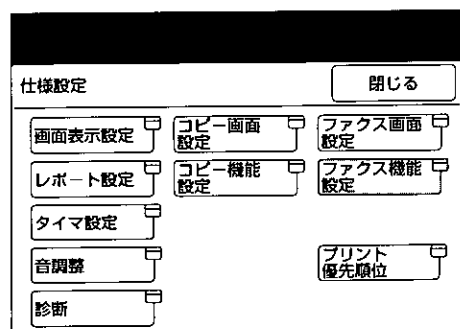
手動送受信は、初期値を変更しておかなくても、オンフックまたはオフフック時に「手動送信/受信切り替え」を選択することによって、簡単に切り替えられます。



メニュー画面の「仕様設定」を選択→右の画面で「ファクス機能設定」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

1



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

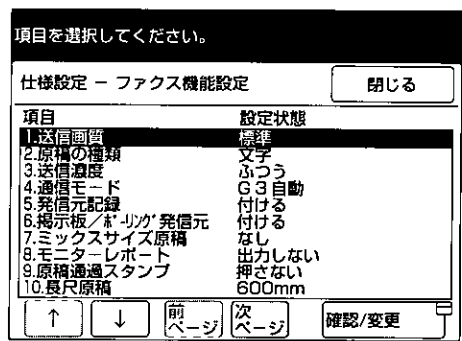
4 音報レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

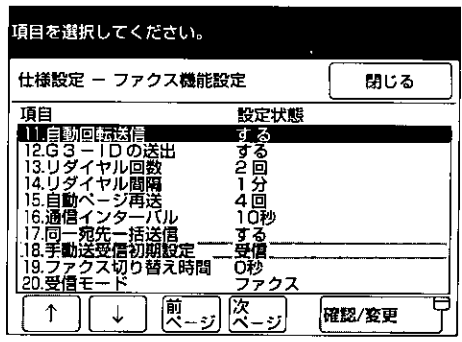
2

**次ページ** を選択します。



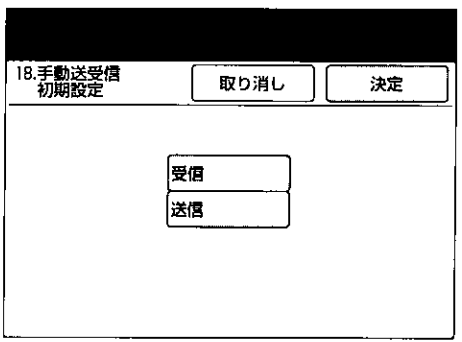
3

**18.手動送受信初期設定** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。

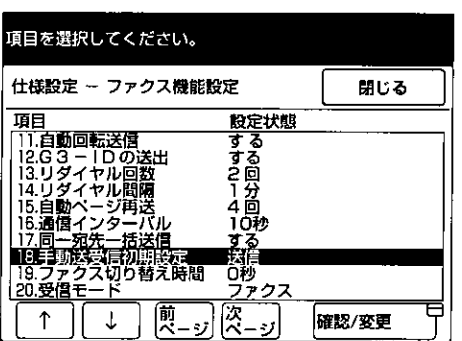


5

**受信** または **送信** を選択して、どちらを初期値に設定するかを指定します。

6

**決定** を選択します。



7

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **送信** を選択した場合の例です。

8

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

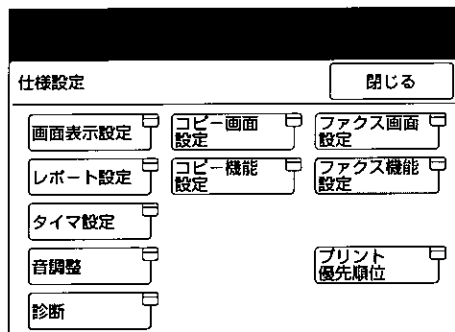
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## ファクス切り替え時間の仕様設定

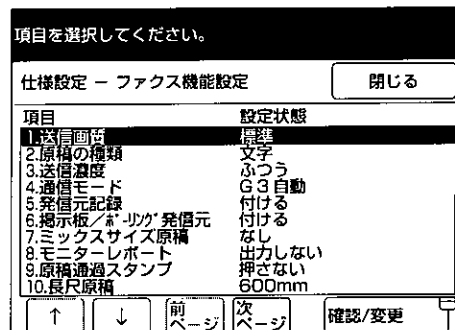
ファクス切り替え時間とは、受信モード（●基本P174）を「ファクス」にしている場合に電話がかかってきてからファクス通信が開始されるまでの時間です。お買い求め時は、「0」秒に設定されていますが、受話器をご利用の場合は、ファクス切り替え時間（0～15秒）を調整してご利用になると便利です。相手先が電話のときは、設定時間内に受話器を取りあげればお話しできます。受話器を取りあげたときに相手先がファクスだったときは、手動受信にして「スタート」ボタンを押すと通信することができます。

メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「ファクス機能設定」を選択します。

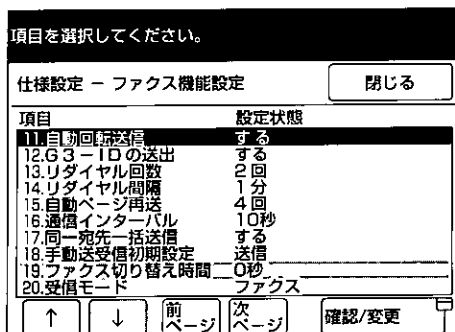
メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



次ページを選択します。



19. ファクス切り替え時間を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



確認/変更を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

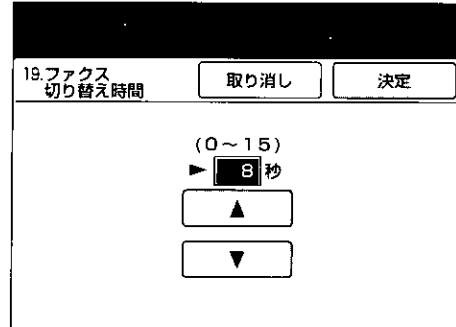
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

5

指定したいファクス切り替え時間 (0~15) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲ または ▼ を使って指定します。

ここでは例として「8」秒を指定します。  
ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

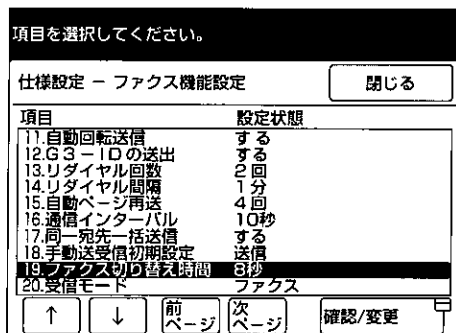


6

決定 を選択します。

7

設定した値が表示されているのを確認し、閉じる を選択します。



8

[オールクリア] ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

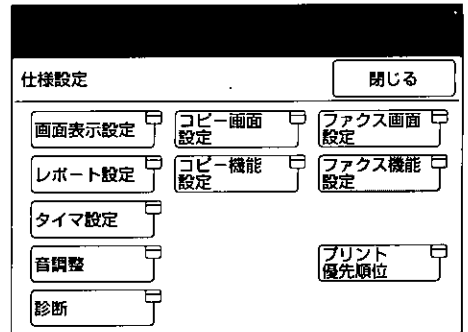
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 受信モードの仕様設定

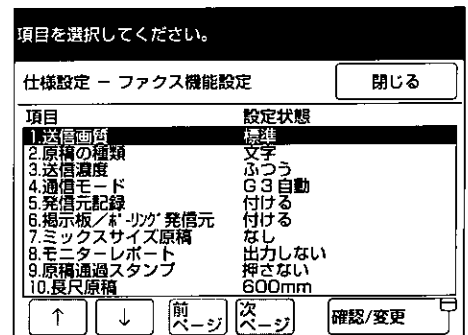
受信モードの初期値を変更することができます。お買い求め時は、自動受信されるように「ファクス」に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

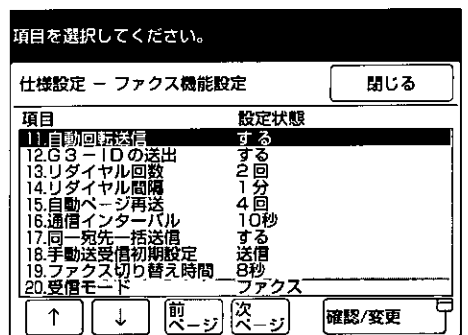
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



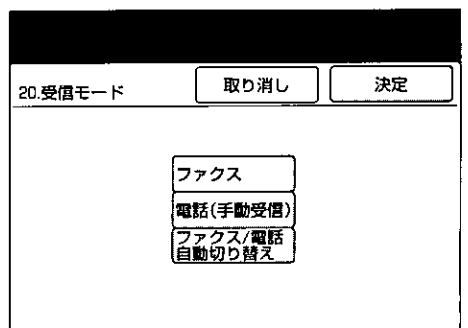
**2** **次ページ** を選択します。



**3** **20.受信モード** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



**4** **確認/変更** を選択します。



**5** **ファクス**、**電話 (手動受信)**、**ファクス/電話自動切り替え** のいずれかを選択して、受信モードの初期値を指定します。

**6** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

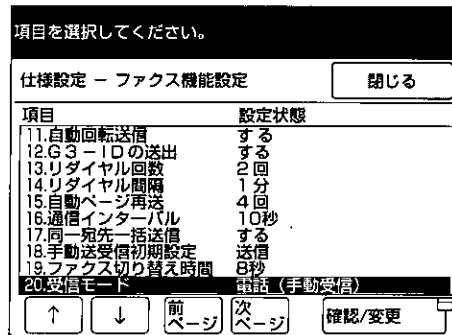
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順5で **電話（手動受信）** を選択した場合の例です。



7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

8



ワンポイント.....

- 受信モードについて（←基本P174）
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

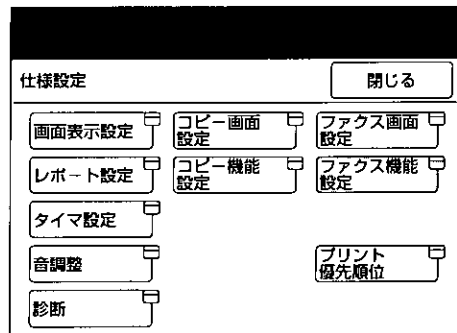
# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 電話優先時音声メッセージの仕様設定

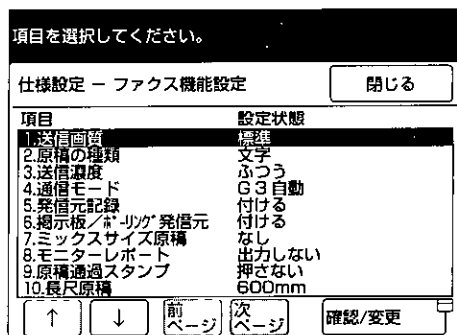
受信モードを「ファクス/電話自動切り替え」にしてご利用になる場合の設定です。電話をかけてきた相手の方に、呼び出し中であることを伝える音声メッセージを送出する/しないの設定が変更できます。お買い求め時は「送出的」に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

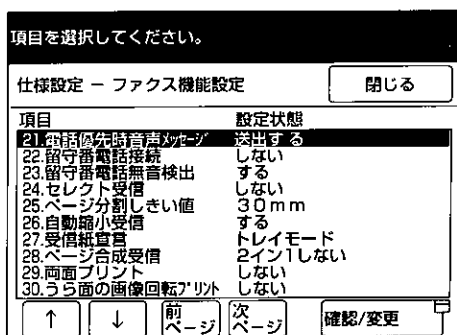
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



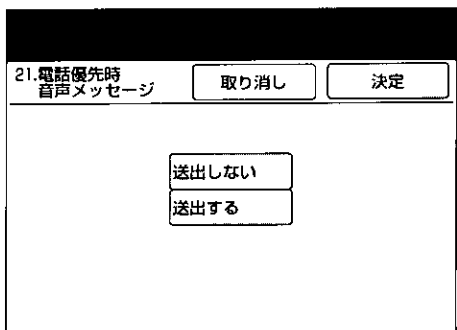
**2** **次ページ** を2回選択します。



**3** **21. 電話優先時音声メッセージ** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



**4** **送出不しい** または **送出的** を選択して、電話優先時音声メッセージを相手の方に送るかどうかを指定します。



**5** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通じる

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

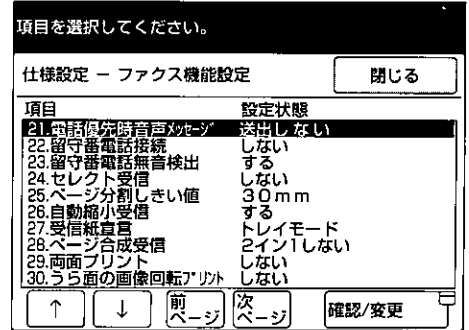
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順4で**送出不しい**を選択した場合の例です。

6



7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

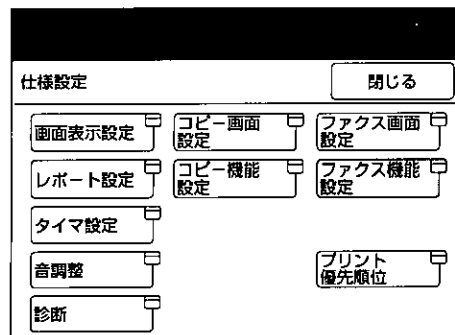
## 留守番電話接続の仕様設定

外付け電話機として留守番電話機を接続しているときに、この設定を **する** にすると、留守番電話モードが設定できるようになります。(●基本P186) お買い求め時は **しない** に設定されています。外付け電話機を付けない場合や留守番機能のない電話機を接続する場合は **しない** に設定しておきます。

1

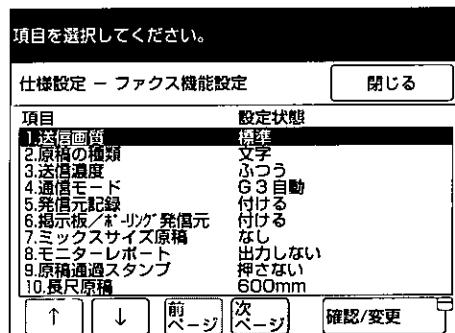
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し続けてメニュー画面を表示させます。



2

**次ページ** を2回選択します。



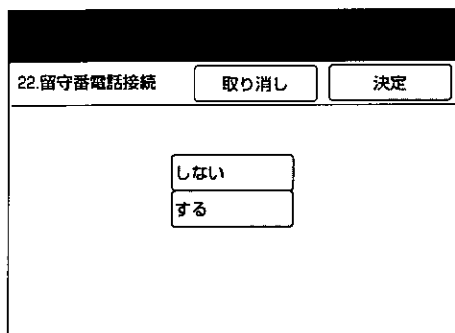
3

**22.留守番電話接続** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

**しない** または **する** を選択して、留守番電話モードを使えるようにするかどうかを指定します。

6

**決定** を選択します。



# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

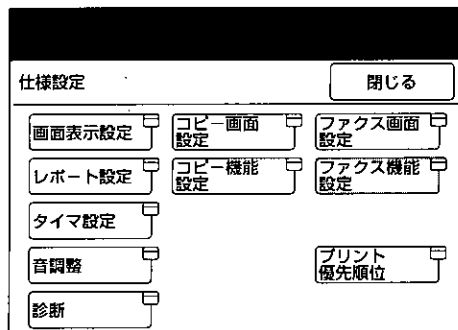
## 留守番電話無音検出の仕様設定

外付けの留守番電話機を接続し、留守番電話接続（●P238）を「する」に設定して留守番電話モードを利用する場合の設定です。留守番電話機が用件の録音状態になってから約7秒間無音の状態が続いた場合に、留守番電話からファクスに切り替えるようにする／しないの設定が変更できます。お買い求め時は「する」に設定されています。

1

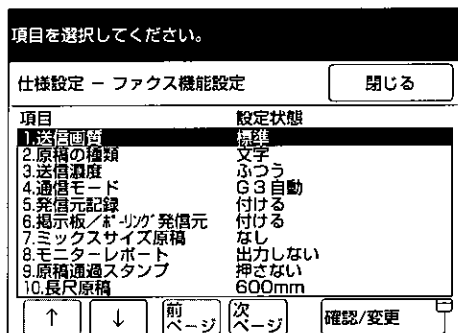
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



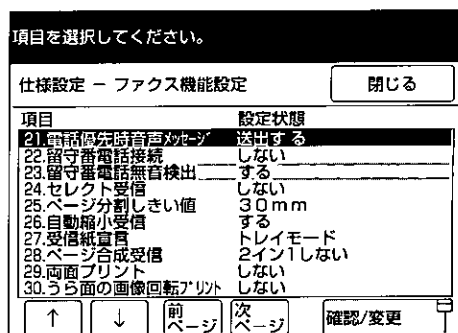
2

**次ページ** を2回選択します。



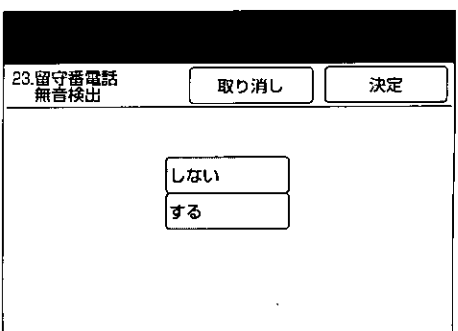
3

**23.留守番電話無音検出** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

**しない** または **する** を選択して、留守番電話無音検出機能を利用するかどうかを指定します。

6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホーンに通知する

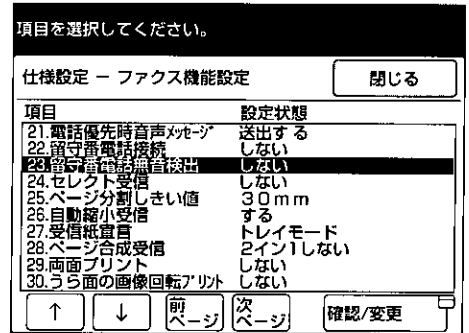
4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順5で **しない** を選択した場合の例です。



7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

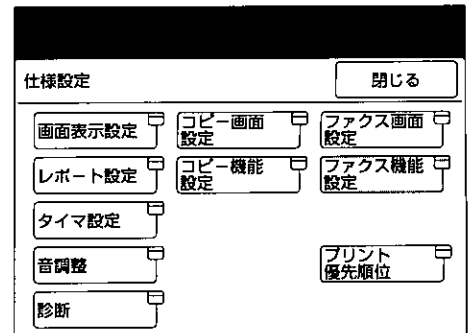
## セレクト受信の仕様設定

セレクト受信とは、受信する相手を限定する機能です。ファクスが送信されてくると、相手先から送られてくるID番号（発信元番号）の下4桁と、本装置の短縮ダイヤルに登録されている電話番号が照合されます。一致する場合にのみ受信するのでいたずらファクスや無用なファクスの受信が防止できます。ここでは電源ON時のセレクト受信の初期状態を設定します。お買い求め時は「しない」に設定されています。一時的にセレクト受信しない/するを切り替えたい場合は、受信設定で切り替えます。(←基本P177)

1

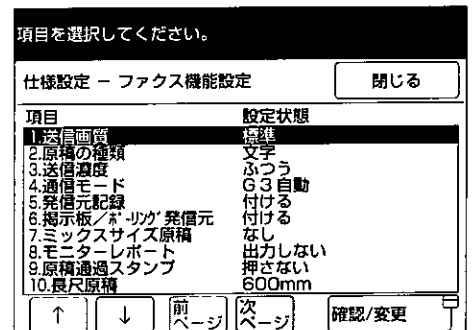
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



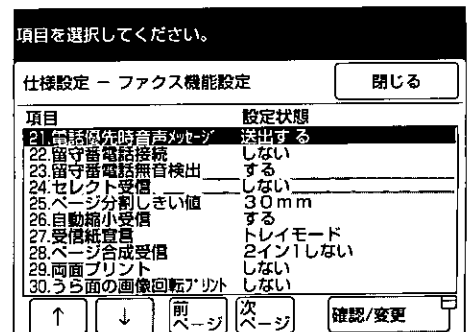
2

**次ページ** を2回選択します。



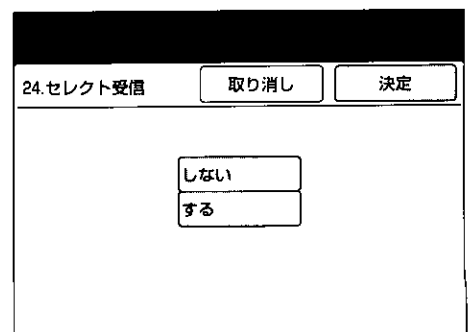
3

**24.セレクト受信** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



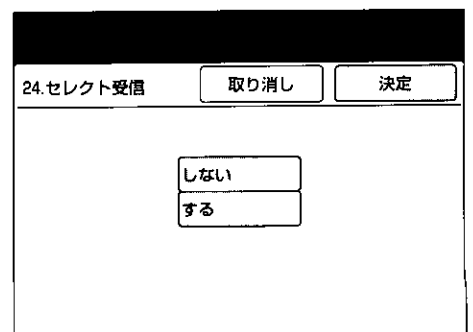
4

**確認/変更** を選択します。



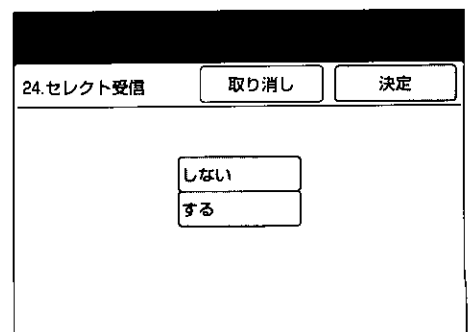
5

**しない** または **する** を選択して、セレクト受信するかどうかを指定します。



6

**決定** を選択します。



1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

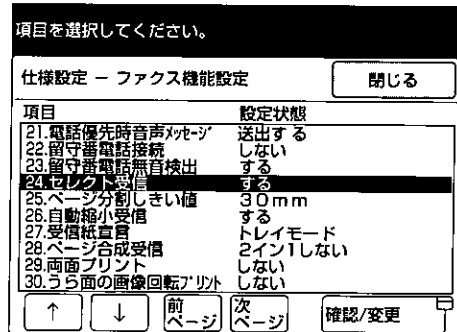
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**7** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **する** を選択した場合の例です。



**8** **【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



**お知らせ** .....

- 短縮ダイヤルに相手先のファクスの電話番号が正しく登録されていないと、相手先からのファクスを受信することができません。
- 相手先がID番号を正しく登録していないと、ファクスを受信することができません。特定の相手先からのファクスを受信できないときは、相手先のID番号登録をご確認ください。
- 相手先のファクスがID番号を送ってこない、または登録できない機種の場合、セレクト受信でファクスを受信することはできません。
- 相手先から送られたID番号が4桁未満のときは、短縮ダイヤルに同じ桁数で登録されていないと、受信することができません。
- 手動受信、ポーリング通信をしているときは、セレクト受信はできません。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

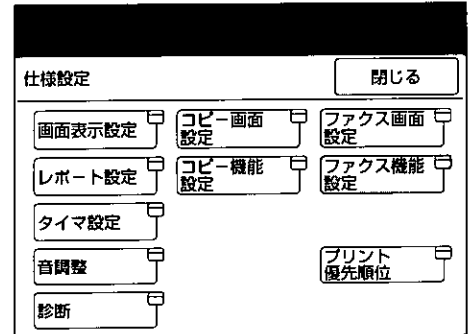
## ページ分割しきい値の仕様設定

ページ分割しきい値とは、受信文書の長さが用紙サイズよりも長い場合に、ページ分割するかどうかを決める値（0～127mm）です。用紙サイズを超える長さが、設定されているページ分割しきい値より大きいときは、複数のページに分割してプリントされます。お買い求め時は、「30」mmに設定されています。自動縮小受信（●P246）と組み合わせで設定してください。

1

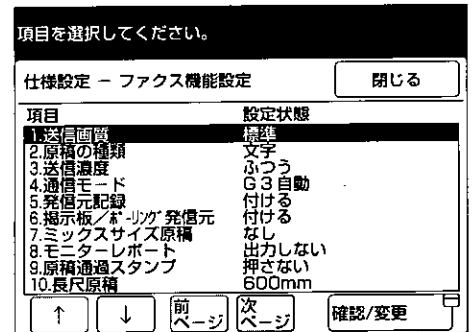
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



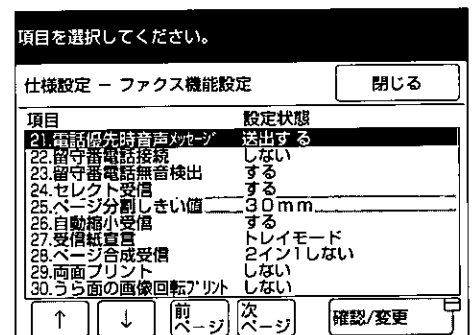
2

**次ページ** を2回選択します。



3

**25. ページ分割しきい値** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。

1 通信相手登録する

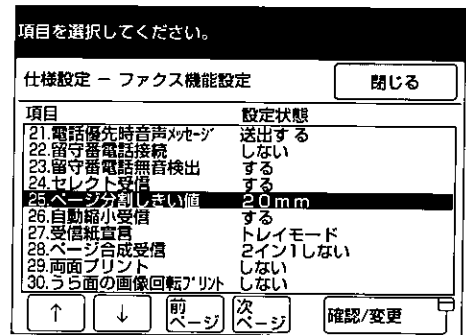
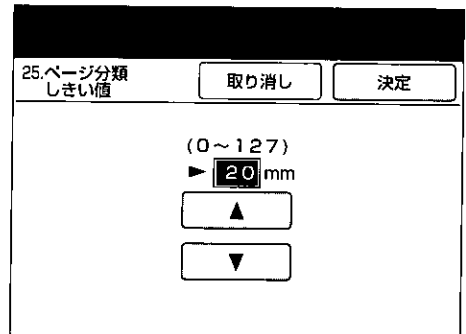
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



5 指定したいページ分割しきい値 (0~127) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲ または ▼ を使って指定します。  
 ここでは例として「20」mmを指定します。  
 ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

6 **決定** を選択します。

7 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

8 **[オールクリア]** ボタンを押します。  
 初期画面に戻ります。

ワンポイント .....

●設定操作を中止するには  
 [オールクリア] ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

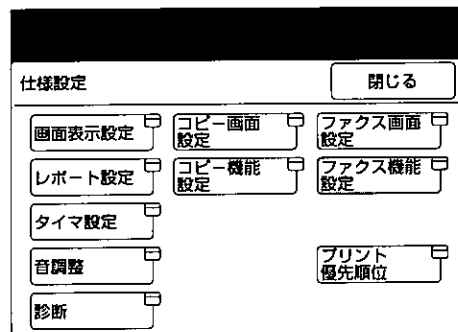
## 自動縮小受信の仕様設定

自動縮小受信とは、受信文書が用紙サイズをページ分割しきい値以内で超える場合に、自動的に縮小して1枚の用紙にプリントする機能です。お買い求め時は自動縮小されるように「する」に設定されています。「しない」に設定されていると、ページ分割しきい値以内で超えた長さの画像は切り捨てられます。ページ分割しきい値（●P244）と組み合わせで設定してください。

1

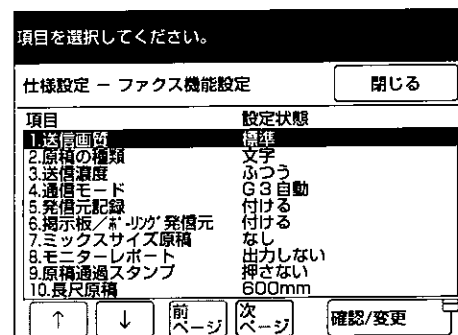
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



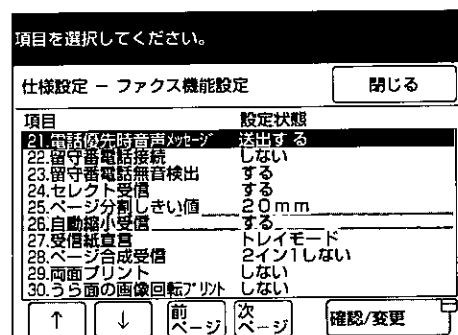
2

**次ページ** を2回選択します。



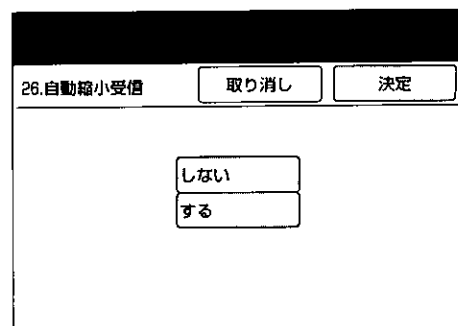
3

**26. 自動縮小受信** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



4

**確認/変更** を選択します。



5

**しない** または **する** を選択して、自動縮小受信するかどうかを指定します。

6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **しない** を選択した場合の例です。

項目を選択してください。

項目	設定状態
21. 電話優先時音声メッセージ	送出する
22. 留守番電話接続	しない
23. 留守番電話無音検出	する
24. セレクト受信	する
25. ページ分割しきい値	20mm
26. 自動縮小受信	しない
27. 受信紙サイズ	トレイモード
28. ページ合成受信	2イン1しない
29. 両面プリント	しない
30. 裏面の画像回転アライ	しない

↑ ↓ 前ページ 次ページ 確認/変更

7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 受信紙宣言の仕様設定

受信紙宣言とは、受信側が適切な受信サイズを送信側に宣言することです。これにより、受信側は、相手の送信サイズを指定または制限することができます。

受信紙宣言には以下の2つのモードがあります。

### ●トレイモード

セットされた用紙トレイのサイズを宣言します。送信側の原稿より小さな用紙しかセットされていない場合には、送信側の機能でもっとも近い用紙サイズに縮小されます。

受信文書は、セットされている用紙の中で、等倍でしかも画像が欠けないように出力できるもっとも近いサイズの用紙に出力します。

### ●ユーザーモード

用紙や用紙トレイの有無にかかわらず、希望する受信サイズを宣言します。

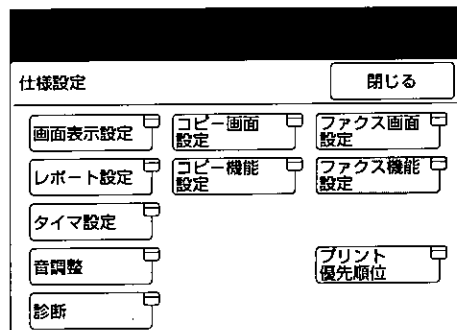
宣言した用紙トレイがセットされており、その中に受信文書サイズの用紙がセットされていれば等倍で出力します。セットされていなければ、宣言した用紙の中で、等倍でしかも画像が欠けないように出力できるもっとも近いサイズの用紙に出力します。

それ以外の場合は代行蓄積文書になります。

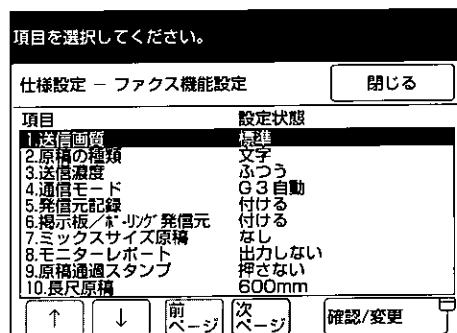
お買い求め時は「**トレイモード**」に設定されています。

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

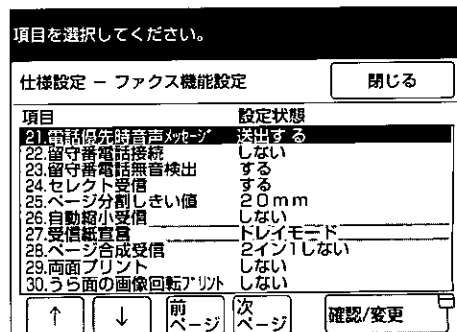
メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**次ページ** を2回選択します。



**27. 受信紙宣言** を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



**確認/変更** を選択します。

**1** 通信相手を登録する

**2** 便利な機能を使って通信する

**3** ビジネスホンに通知する

**4** 音種レポート/リストを出力する

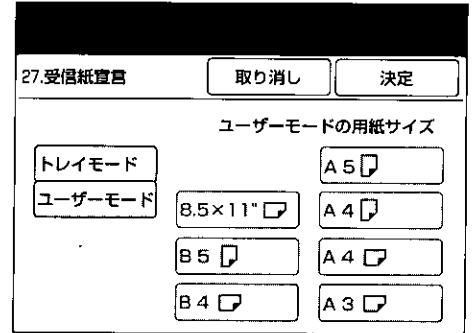
**5** いろいろな機能を設定する

**6** ご参考に

**5**

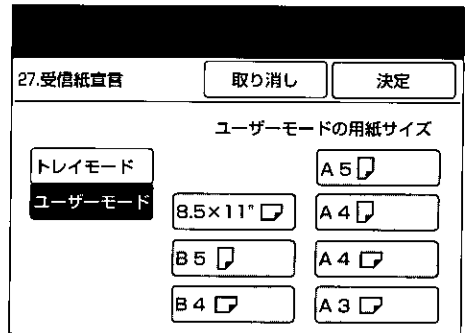
**トレイモード** または **ユーザーモード** を選択して、受信紙宣言のモードを指定します。

ここでは例として **ユーザーモード** を選択します。  
**トレイモード** を選択した場合は、手順7に進みます。



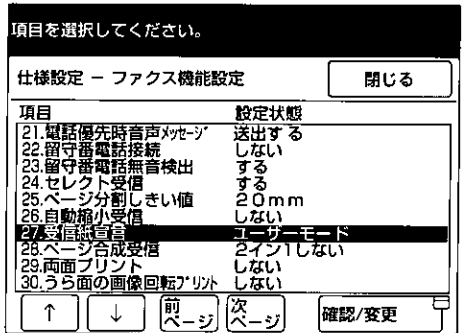
**6**

設定する用紙サイズを選択します。



**7**

**決定** を選択します。



**8**

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**9**

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
 【オールクリア】 ボタンを押します。



**お知らせ** .....

- 多重手差しトレイ (オプション) は指定の対象になりません。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

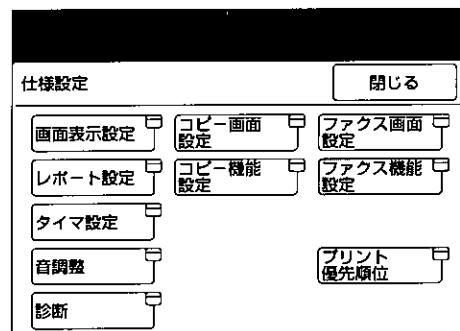
## ページ合成受信の仕様設定

ページ合成受信とは、2枚連続受信した文書がA4以下（□に限る）で、セットされている用紙がA4以上（□を除く）のみの場合、2ページを1ページに合成（2イン1）してプリントする機能です。たとえば、A5 □ の原稿を2枚受信した場合、A4 □ の用紙1枚でプリントできます。

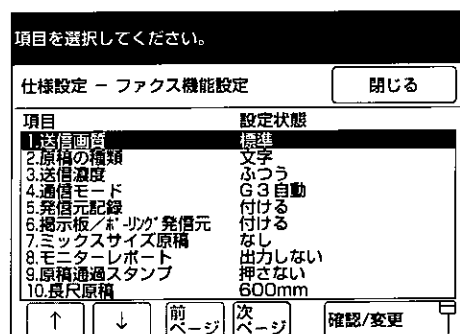
ページ合成受信を自動的に行うかどうかの設定を変更することができます。お買い求め時は「2イン1しない」に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

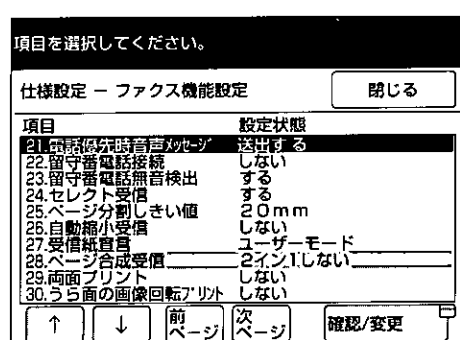
メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**2** **次ページ** を2回選択します。

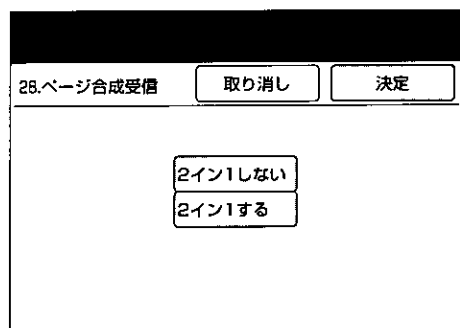


**3** **28. ページ合成受信** を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。



**4** **確認/変更** を選択します。

**5** **2イン1しない** または **2イン1する** を選択して、自動的にページ合成受信するかどうかを指定します。



**6** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホーンに通知する

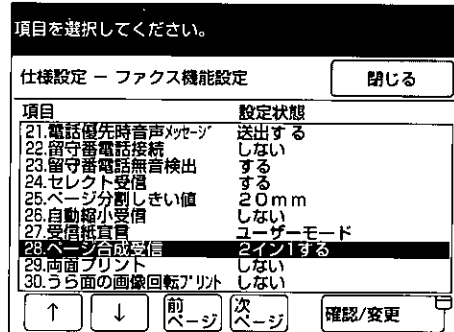
4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順5で **2イン1する** を選択した場合の例です。



7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

●設定操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

●ページ合成受信が **2イン1する** に設定されている場合でも、受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされていれば、その用紙を優先してプリントします。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 両面プリントの仕様設定

受信文書やレポートを用紙の両面に出力するように設定することができます。

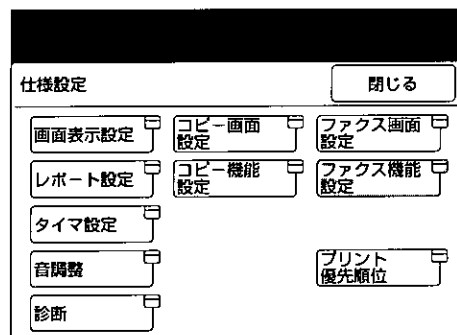
1枚目に送信シートが付けられていることが多いときなどは、1枚目のみ片面プリントし、2枚目以降を両面プリントするように設定することもできます。この場合でも、レポートのプリントのときは1枚目から両面プリントされます。

両面プリントするには、自動両面ユニット（オプション）が必要です。お買い求め時は両面プリント  しない に設定されています。

1

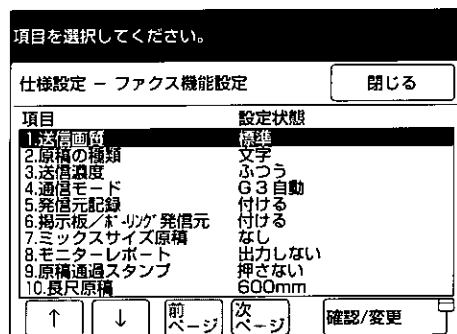
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



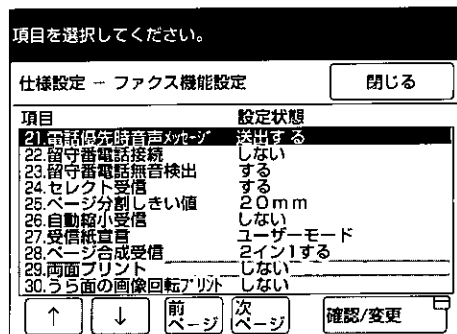
2

**次ページ** を2回選択します。



3

**29. 両面プリント** を、直接指で触れるか  ↑  ↓ を使って選択します。

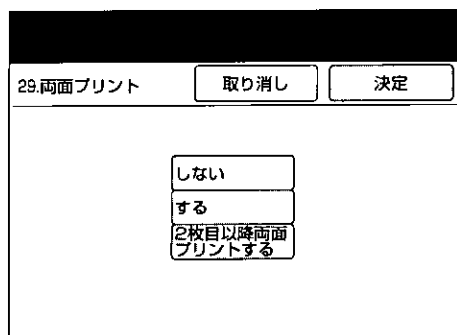


4

**確認/変更** を選択します。

5

**しない**、**する**、**2枚目以降両面プリント** **する** のいずれかを選択して、両面プリント機能の利用を指定します。



6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

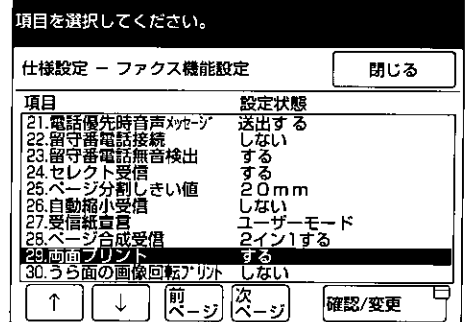
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順5で **する** を選択した場合の例です。



7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

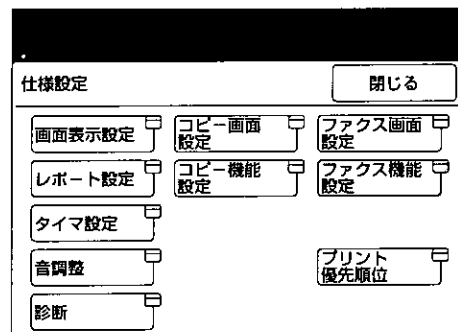
## うら面の画像回転プリントの仕様設定

受信文書やレポートを両面プリント（←P252）するとき、うら面に出力される画像を180°回転させるように設定することができます。

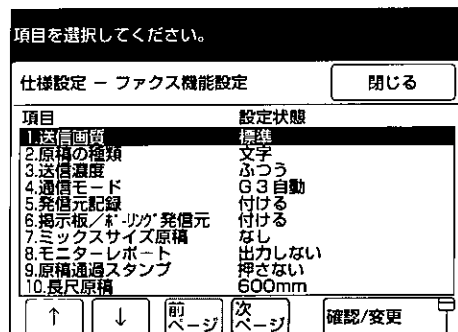
両面プリントするには、自動両面ユニット（オプション）が必要です。お買い求め時は、うら面の画像回転プリントは「しない」に設定されています。

**1** メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

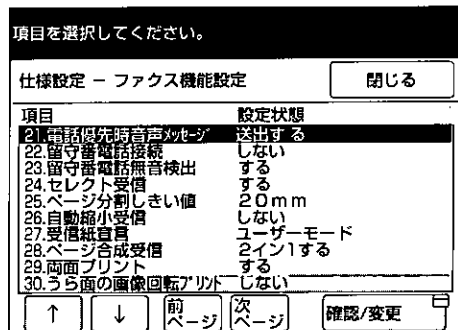
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



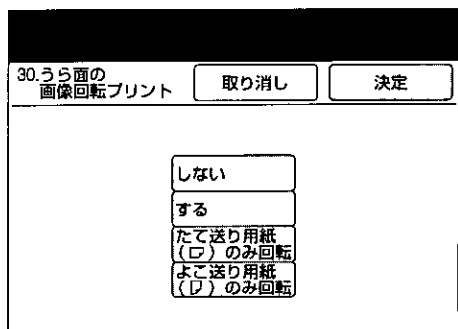
**2** **次ページ** を2回選択します。



**3** **30. うら面の画像回転プリント** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



**4** **確認/変更** を選択します。



**5** **しない**、**する**、**たて送り用紙 (☐) のみ回転**、**よこ送り用紙 (☐) のみ回転** のいずれかを選択して、うら面の画像回転プリント機能の設定を指定します。

**6** **決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

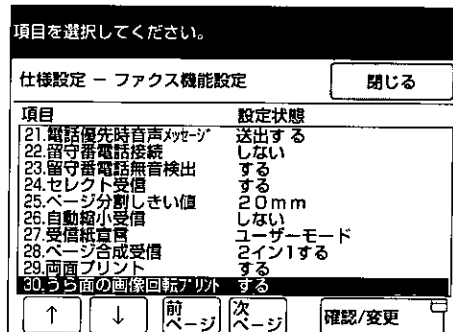
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順5で **する** を選択した場合の例です。



7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- うら面の画像回転プリントの設定は、両面プリント(●P252)の設定が **する** または **2枚目以降両面プリントする** に設定されているときのみ有効です。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

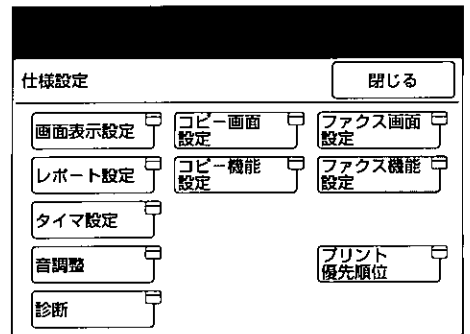
## 排出先の仕様設定

排出トレイには、装置の中央にあるセンタートレイのほかに、サイドトレイ（オプション）があります。サイドトレイがある場合には、レポートやリスト、自動出力レポートの排出先を設定することができます。また、各回線ごとの受信文書の排出先も設定することができます。

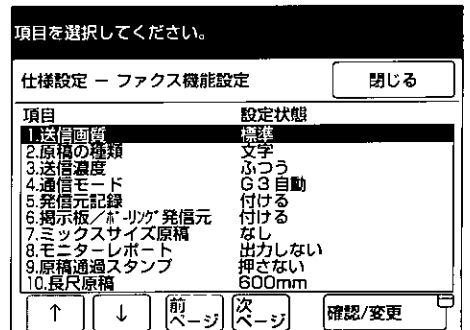
サイドトレイではおもて面が上向きに排出され、センタートレイではおもて面が下向きに排出されます。

メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

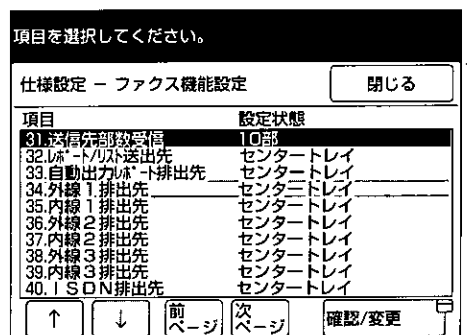


**次ページ** を3回選択します。

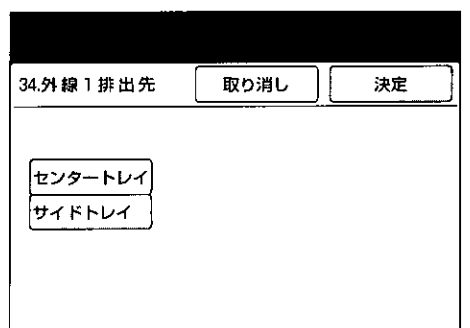


排出先の設定を変更したい項目を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

ここでは例として **34.外線1 排出先** を選択します。



**確認/変更** を選択します。



排出先を選択します。

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通話する

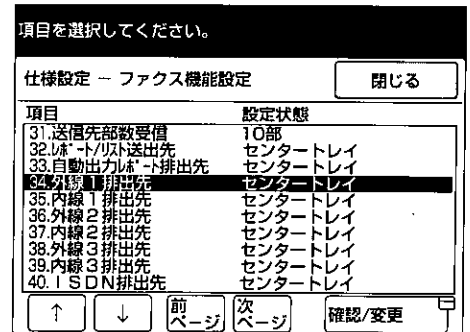
3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。



7

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



**お知らせ** .....

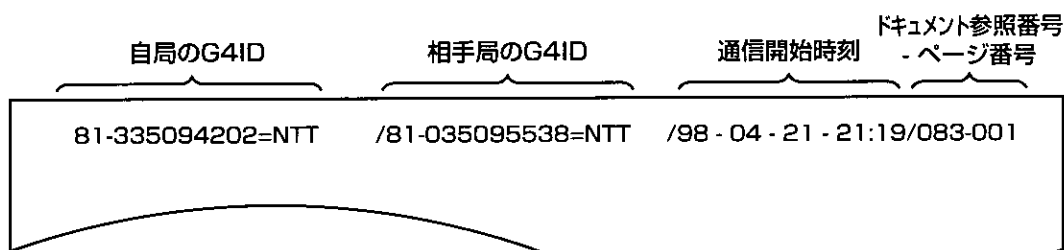
- サイドトレイ（オプション）が装着されていない場合は、「センタートレイ（オプション未実装）」と表示され、排出先を設定することはできません。
- 増設していない回線の設定状態には、「（オプション未実装）」と表示され、排出先を設定することはできません。

# ファクス機能の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## 呼識別行 (G4ヘッダ) の仕様設定

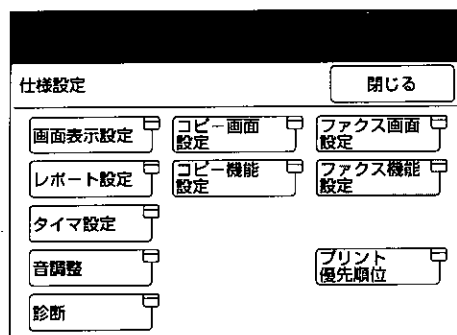
G4通信ユニット (オプション) を増設してご利用の場合の設定です。G4受信文書にヘッダを付けるかどうかを設定することができます。お買い求め時は「付けない」に設定されています。

G4ヘッダは、G4通信で受信したときに、用紙の先端に以下のように記録されます。

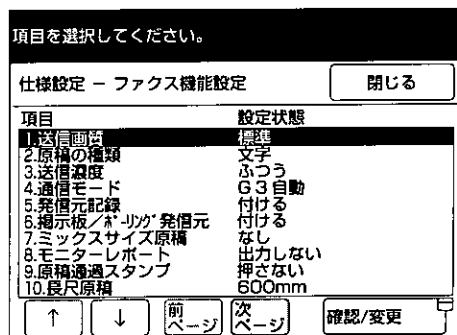


メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス機能設定** を選択します。

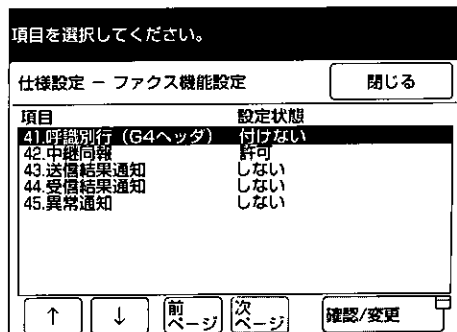
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



**次ページ** を4回選択します。



**41. 呼識別行 (G4ヘッダ)** が選択されていることを確認し、**確認/変更** を選択します。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

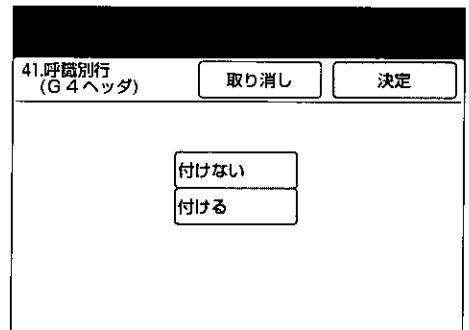
3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

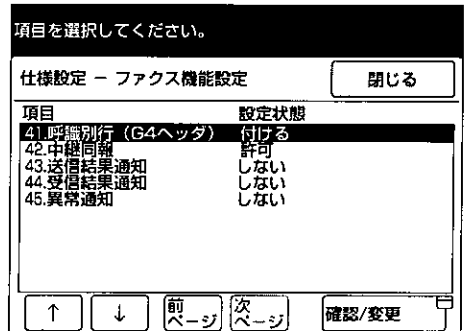
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

4 **付けない** または **付ける** を選択して、G4ヘッダを付けるかどうかを指定します。



5 **決定** を選択します。



6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。  
画面は、手順4で **付ける** を選択した場合の例です。

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。



お知らせ

- G4通信ユニット (オプション) が増設されていない場合は、「(オプション未実装)」と表示され変更することはできません。

# ファクス画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

ファクス画面を表示させたときに最初に表示される初期画面の設定を変えたり、ファクス画面に表示されるさまざまな機能の初期値を変更することができます。

●ファクス画面の仕様設定で変更できる項目と設定できる値は、以下の表のとおりです。

お買い求め時は  に設定されています。

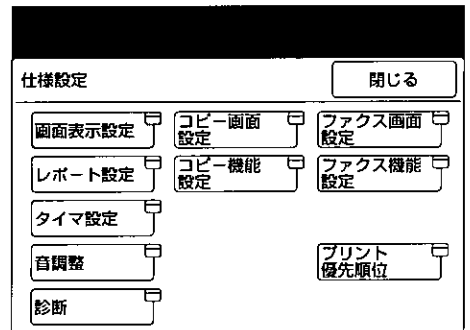
ファクス画面設定項目	設定できる値	参照ページ
1~6. お好み機能	—	●P262, 296
7. 宛先表表示開始番号	<input type="text" value="001"/> ~300	●P265, 296
8. 時刻指定初期値	0:00~23:00 ( <input type="text" value="9:00 (PM)"/> )	●P266, 296
9. 送信中画面表示	する、 <input type="text" value="しない"/>	●P267, 296

## ファクスの初期画面を変更する

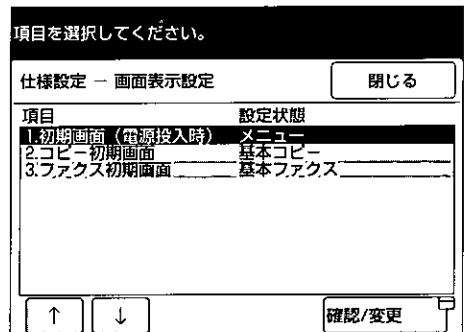
ファクス画面を表示させたときに最初に表示される画面を、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧、宛先表の中から指定することができます。よく使う画面をファクス画面の初期画面として設定しておくくと便利です。お買い求め時は  の画面が表示されるように設定されています。

1. メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **画面表示設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2. **3.ファクス初期画面** を、直接指で触れるか   を使って選択します。



3. **確認/変更** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

4

**基本ファクス** ~ **宛先表** の中からいずれかを選択してファクス初期画面を指定します。

5

**決定** を選択します。

6

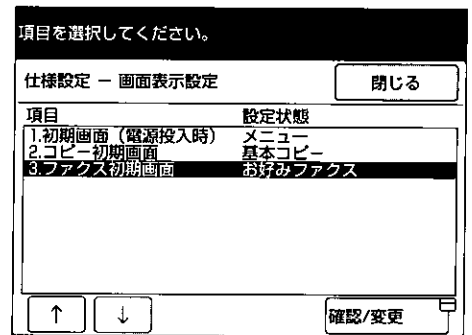
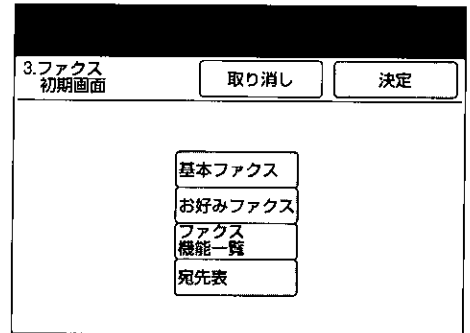
設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **お好みファクス** を選択した場合の例です。

7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

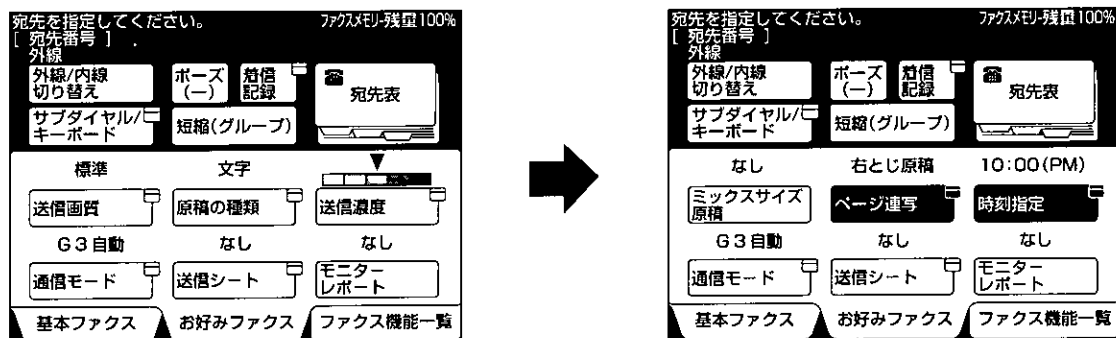
- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

# ファクス画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

## お好みファクス画面を変更する

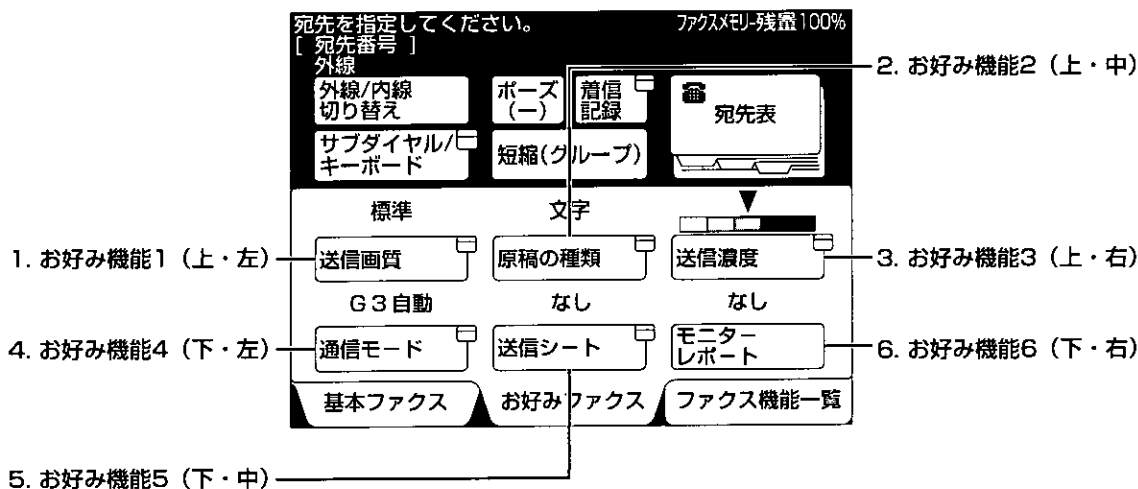
お好みファクス画面には、ファクス機能一覧画面に表示されているすべての機能の中から任意に6つの機能を選んで表示させることができます。よく使う機能が表示されるようにしておくとう便利です。たとえば下図のように、お買い求め時に設定されているお好みファクス画面の表示内容を変えることができます。

〈例：お買い求め時のお好みファクス画面→お好み機能1～3の機能を入れ替えた場合〉



### ●お買い求め時のお好みファクス画面

お好み機能の各機能と、お好みファクス画面に表示される位置との関係は、以下のとおりです。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

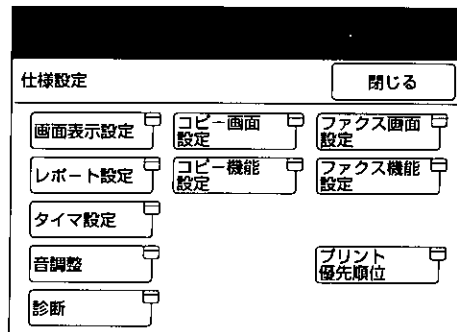
6 ご参考に

〈例：お好み機能1を「ミックスサイズ原稿」に入れ替える場合〉

1

メニュー画面の「仕様設定」を選択⇒右の画面で「ファクス画面設定」を選択します。

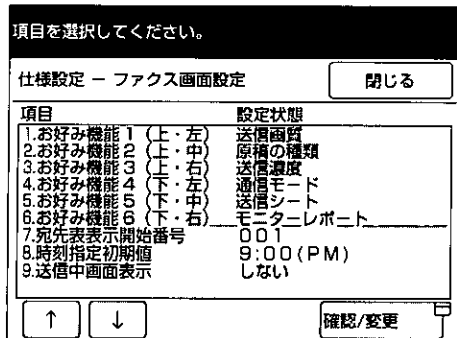
メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

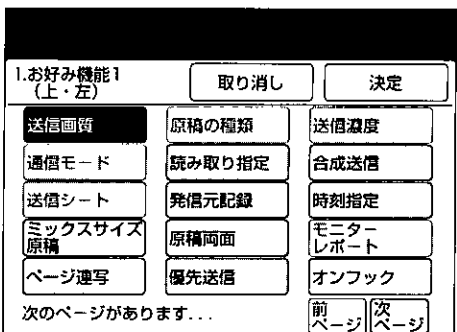
設定を変更したい項目を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。

ここでは例として「1.お好み機能1(上・左)」を選択します。



3

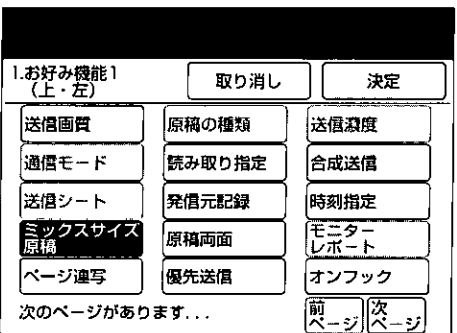
確認/変更を選択します。



4

お好みファクス画面に新しく表示したい機能を選択します。

ここでは例として「ミックスサイズ原稿」を選択します。項目の枠が点線で表示されている機能は、すでにお好みファクス画面に表示されているため、選択できません。



5

決定を選択します。

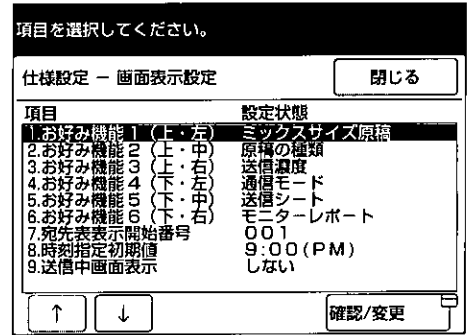
ファクス画面設定の画面に戻ります。お好みファクス画面に表示される機能をもっと変更したい場合は、手順2～5を繰り返します。

次ページに続きます。



# ファクス画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。



7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。

**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

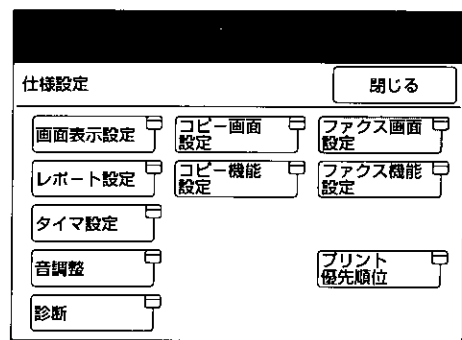
## その他のファクス画面設定を変更する

### 宛先表表示開始番号の仕様設定

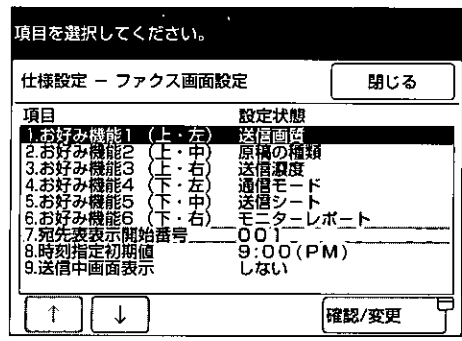
宛先表（基本P152）を開いたときに、最初に表示される短縮番号の開始番号を変更することができます。お買い求め時は、「001」に設定されています。

1 メニュー画面の **仕様設定** を選択→右の画面で **ファクス画面設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



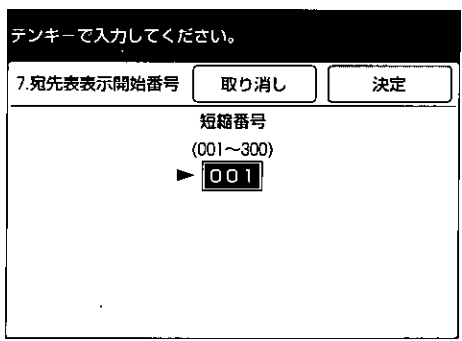
2 **7.宛先表表示開始番号** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



3 **確認/変更** を選択します。

4 開始番号に指定したい短縮番号（3桁）を、**ダイヤルボタン**で入力します。

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



5 **決定** を選択します。

6 **閉じる** を選択します。

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

●設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

# ファクス画面の設定を変えてより使いやすくするには (仕様設定)

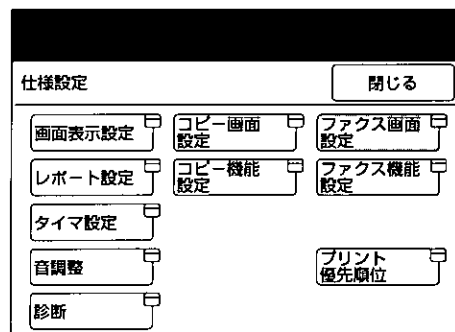
## 時刻指定初期値の仕様設定

時刻指定通信 (P40) を設定するときに、最初に表示される開始時刻を変更することができます。よく使用する時刻をあらかじめ設定しておけば、時刻指定通信のときに時刻を設定する手間が省けます。お買い求め時は、「9:00 (PM)」に設定されています。

1

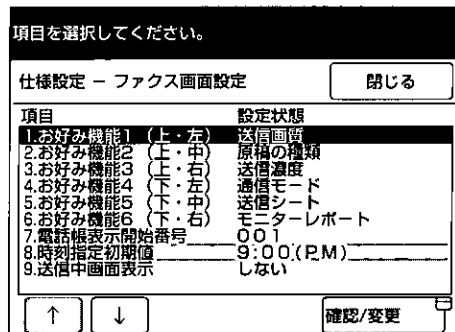
メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒右の画面で **ファクス画面設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを押してメニュー画面を表示させます。



2

**8.時刻指定初期値** を、直接指で触れるか **↑↓** を使って選択します。



3

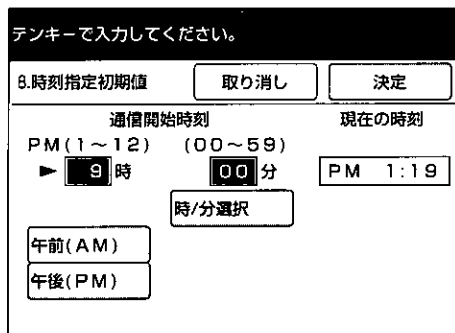
**確認/変更** を選択します。



4

**時/分選択** を選択し、変更したい項目に **▶** を表示させます。

**時/分選択** に繰り返し指で触れるごとに、**▶** の表示される項目が変わります。



5

必要に応じて **午前(AM)** または **午後(PM)** を選択してから、ダイヤルボタンで数字を入力します。

24時間表示の場合は、**午前(AM)** と **午後(PM)** は表示されません。

6

**決定** を選択します。

7

**閉じる** を選択します。

8

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

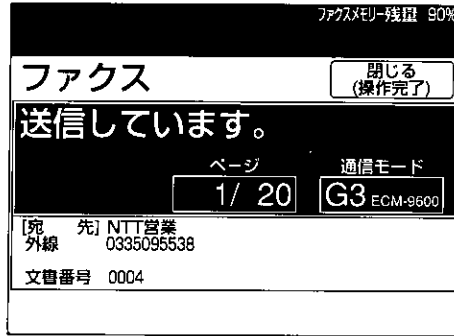
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

## 送信中画面表示の仕様設定

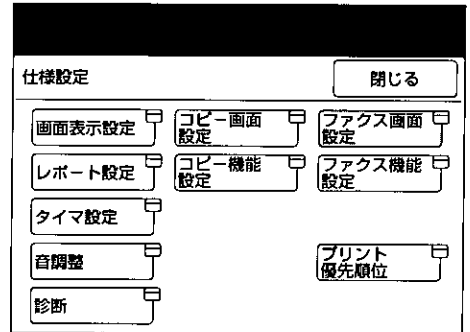
送信の状態をディスプレイに表示させるかどうかの設定が変更されます。**する**に設定すると、**通信/ジョブ状態確認**(通信中止) ボタンを押さなくても、送信中の状態が確認できます。お買い求め時は、**しない**に設定されています。

### ●送信中画面

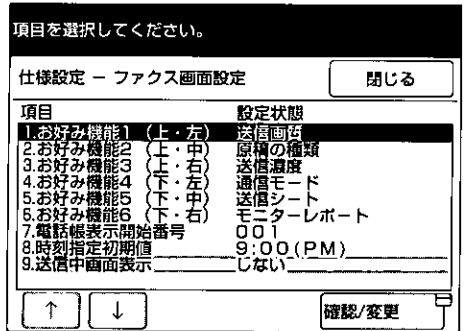


メニュー画面の **仕様設定** を選択⇒次の画面で **ファクス画面設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、**[機能切り替え]** ボタンを押してメニュー画面を表示させます。

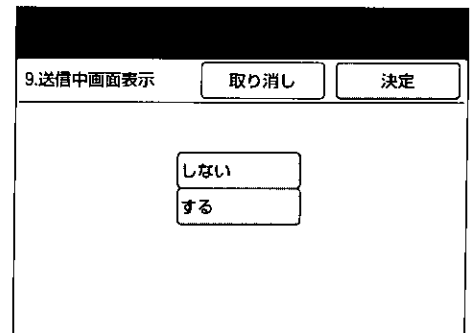


**9.送信中画面表示** を、直接指で触れるか **↑↓** を使って選択します。



**確認/変更** を選択します。

**しない** または **する** を選択して、送信中画面を表示させるかどうかを指定します。



**決定** を選択します。

**閉じる** を選択します。

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

# (仕様設定)

操作パネルのボタンを押したときの音や、各種の通知音、警告音などを鳴らすかどうかの設定を変えることができます。また、音量を調整することもできます。

お買い求め時は  に設定されています。

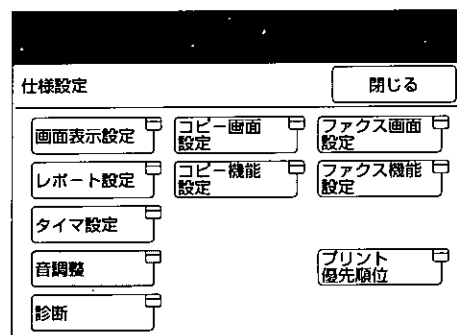
音調整	設定できる項目	音の種類	参照ページ
1.操作パネル正常入力音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブツ	●P268,318
2.操作パネル異常入力音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブブツ	●P270,318
3.準備完了音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブー (1秒)	●P271,318
4.正常終了音 (コピー)	あり、 <input type="checkbox"/> なし	ブー (1秒)	●P272,318
5.正常終了音 (コピー以外)	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブー (1秒)	●P273,318
6.異常終了音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブー (5秒)	●P274,318
7.トナー残量警告音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブーブー (3.6秒)	●P276,318
8.メモリー代行受信通知音	<input type="checkbox"/> あり、なし	ブーブー (3.6秒)	●P277,320
9.ラインモニター音量	なし、 <input type="checkbox"/> あり 1~3 ( <input type="checkbox"/> 2)	呼出音や応答音などの電話回線上の音	●P278,320
10.呼出しベル音量	0~3 ( <input type="checkbox"/> 3)	ブブブツ...	●P280,320

## 操作パネル正常入力音の仕様設定

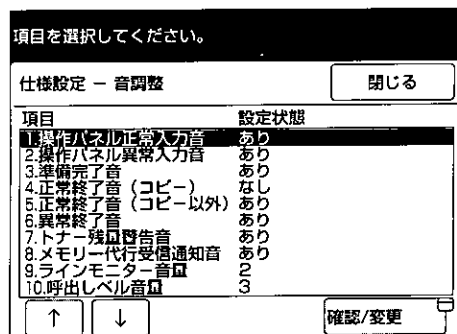
操作パネルやタッチパネルディスプレイのボタンを正しく押したときに、「ブツ」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は あり (鳴る) に設定されています。

1 **メニュー画面で「仕様設定」を選択⇒右の画面で「音調整」を選択します。**

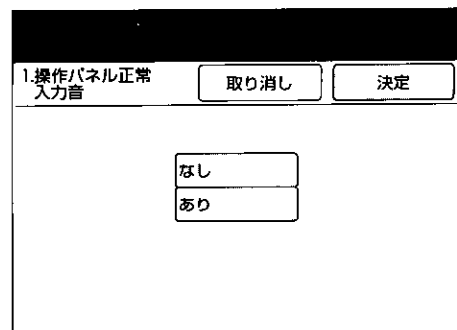
メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し表示させます。



2 **1.操作パネル正常入力音が選択されていることを確認し、「確認/変更」を選択します。**



3 **なしまたはありを選択して、操作パネル正常入力音を鳴らすかどうかを指定します。**



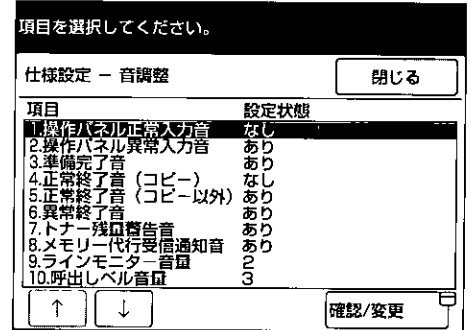
4 **決定** を選択します。

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
に通知する  
ビジネスホン4  
を出力する  
各種レポート/リスト5  
を設定する  
いろいろな機能6  
ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

画面は、手順3で **なし** を選択した場合の例です。

5



6

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

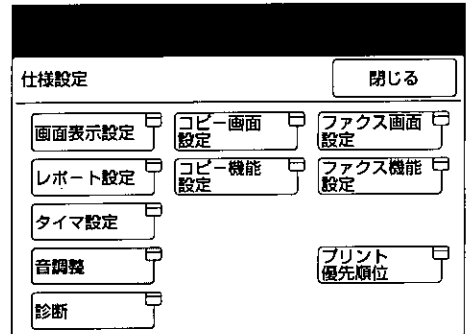
# (仕様設定)

## 操作パネル異常入力音の仕様設定

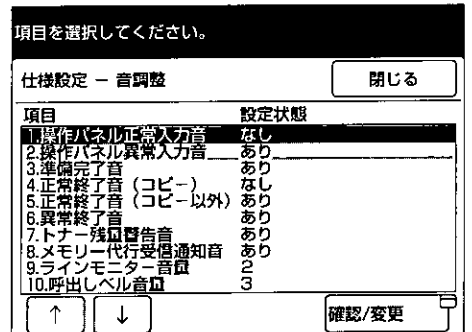
操作パネルやタッチパネルディスプレイのボタンを押して受け付けられなかったときに、「ブブブ」 という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は「あり」（鳴る）に設定されています。

**1** メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

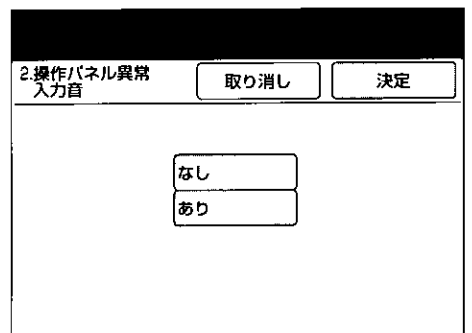
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



**2** **2.操作パネル異常入力音** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

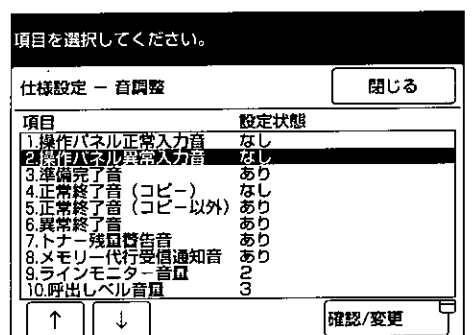


**3** **確認/変更** を選択します。



**4** **なし** または **あり** を選択して、操作パネル異常入力音を鳴らすかどうかを指定します。

**5** **決定** を選択します。



**6** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で「なし」を選択した場合の例です。

**7** **[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには [オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手  
を登録する2 便利な機能を使  
って通信する3 ビジネスホ  
ンに通知する4 各種レポート/リス  
トを出力する5 いろいろな機能  
を設定する6 ご参考に  
に

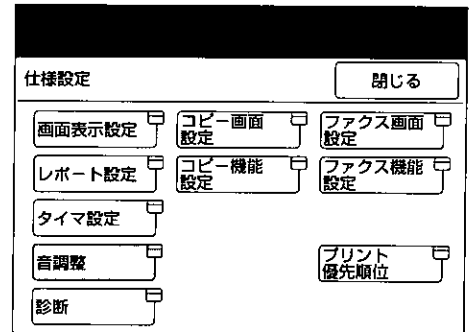
## 準備完了音の仕様設定

電源を入れたときなど、本装置が待機状態から使用可能になったときに、「ブー」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は「あり」（鳴る）に設定されています。

1

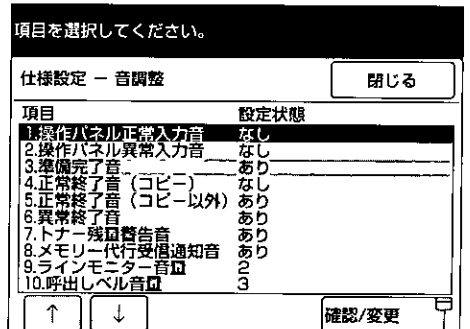
メニュー画面で「仕様設定」を選択⇒右の画面で「音調整」を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



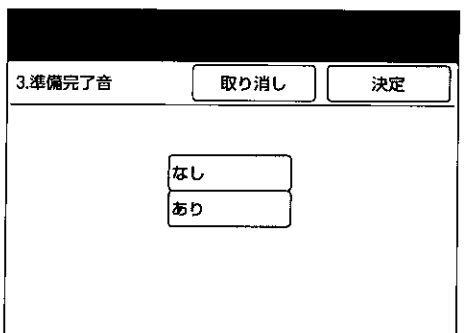
2

3.準備完了音 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



3

確認/変更 を選択します。

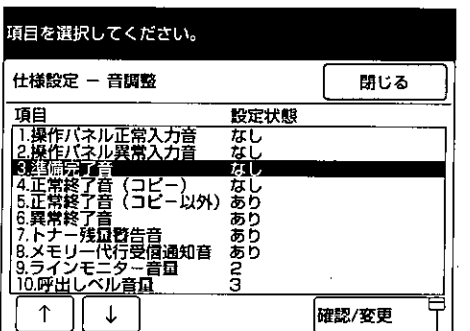


4

なし または あり を選択して、準備完了音を鳴らすかどうかを指定します。

5

決定 を選択します。



6

設定した値が表示されているのを確認し、「閉じる」を選択します。

画面は、手順4で「なし」を選択した場合の例です。

7

【オールクリア】 ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

# (仕様設定)

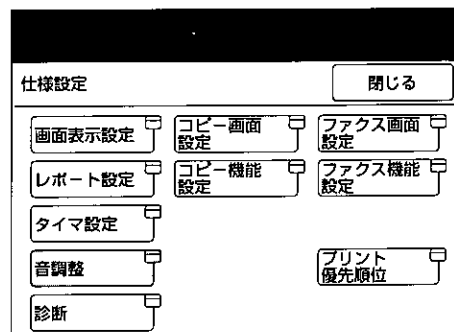
## 正常終了音（コピー）の仕様設定

コピーが正常に終了したときに、「ブー」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時はなし（鳴らない）に設定されています。

1

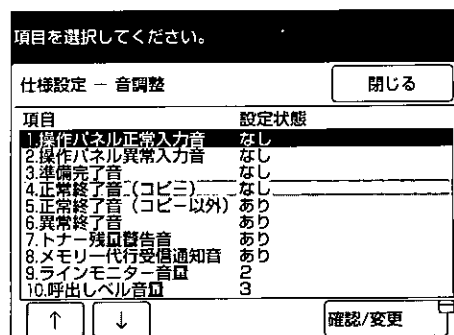
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し表示させます。



2

4.正常終了音（コピー）を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。

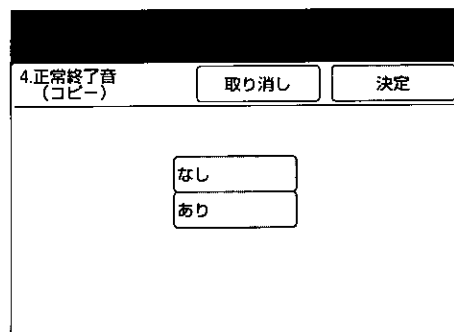


3

**確認/変更** を選択します。

4

なしまたは **あり** を選択して、コピーの正常終了音を鳴らすかどうかを指定します。



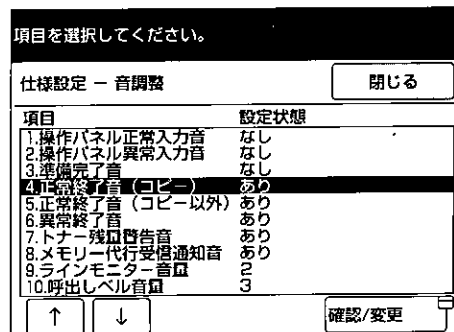
5

**決定** を選択します。

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **あり** を選択した場合の例です。



7

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

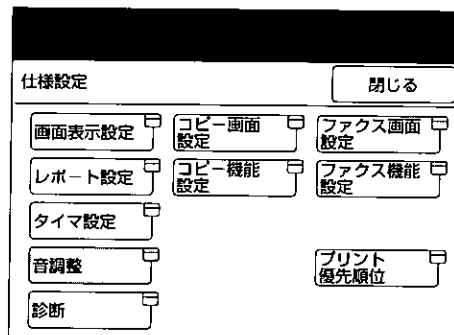
## 正常終了音（コピー以外）の仕様設定

蓄積文書の通信、プリント、通話、自動診断などが正常に終了したときに、「ブー」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は **あり**（鳴る）に設定されています。

1

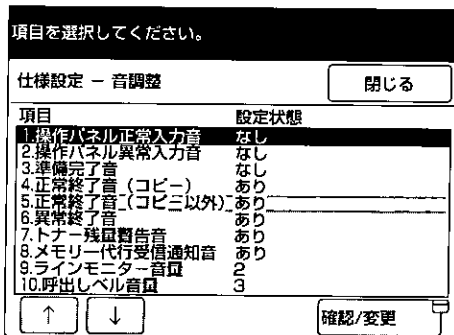
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



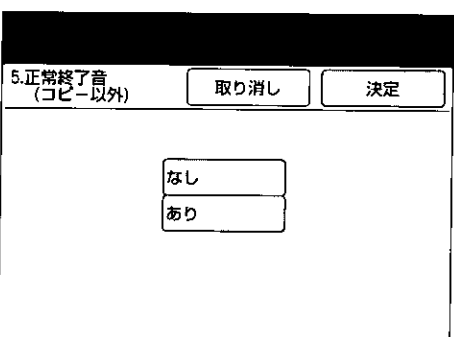
2

**5.正常終了音(コピー以外)** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



3

**確認/変更** を選択します。



4

**なし** または **あり** を選択して、コピー以外の正常終了音を鳴らすかどうかを指定します。

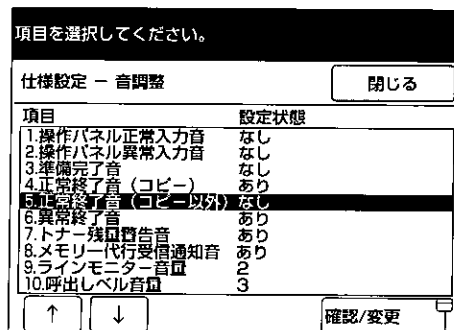
5

**決定** を選択します。

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **なし** を選択した場合の例です。



7

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

[オールクリア] ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

# (仕様設定)

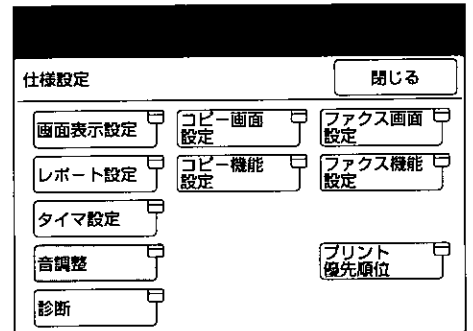
## 異常終了音の仕様設定

用紙がなくなったり、原稿/用紙づまりなどが発生して、コピーやプリントが異常終了したときに、「ブー」(5秒)という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は **あり** (鳴る) に設定されています。

1

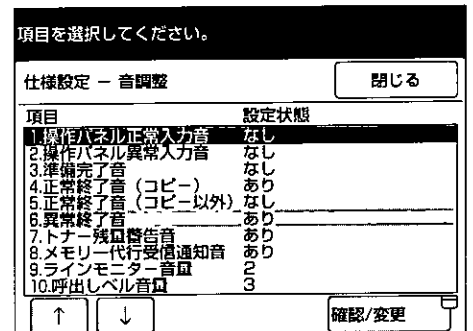
メニュー画面で **仕様設定** を選択→右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



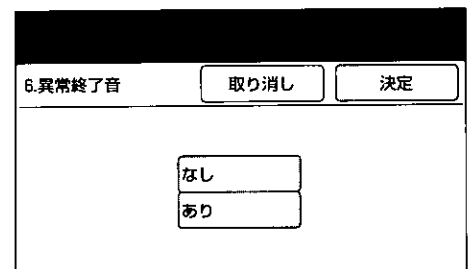
2

**6.異常終了音** を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



3

**確認/変更** を選択します。



4

**なし** または **あり** を選択して、異常終了音を鳴らすかどうかを指定します。

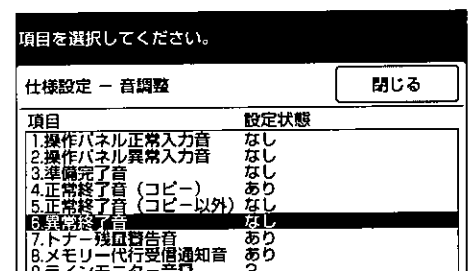
5

**決定** を選択します。

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **なし** を選択した場合の例です。

6



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

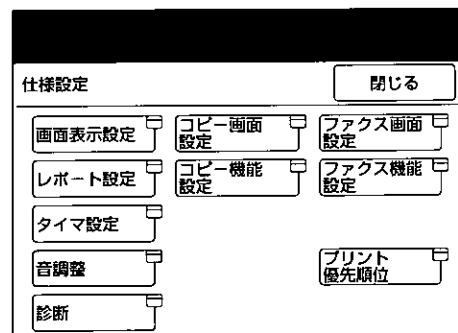
# (仕様設定)

## トナー残量警告音の仕様設定

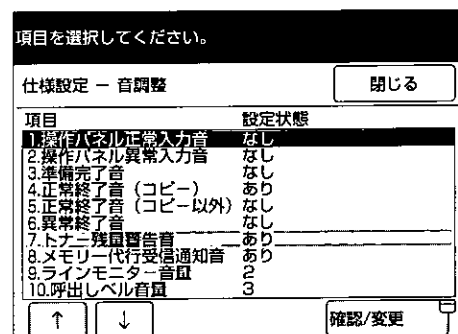
ドラム／トナーカートリッジの交換が必要になったときに、「ブーブーブー」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は「あり」（鳴る）に設定されています。

1 **メニュー画面で「仕様設定」を選択⇒右の画面で「音調整」を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し表示させます。

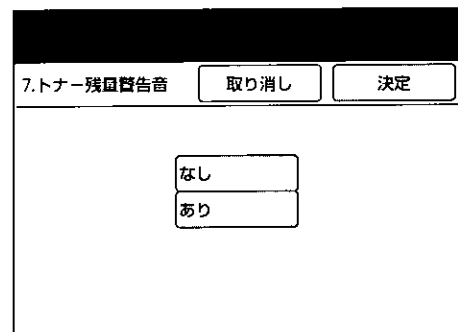


2 **「7.トナー残量警告音」を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**



3 **「確認/変更」を選択します。**

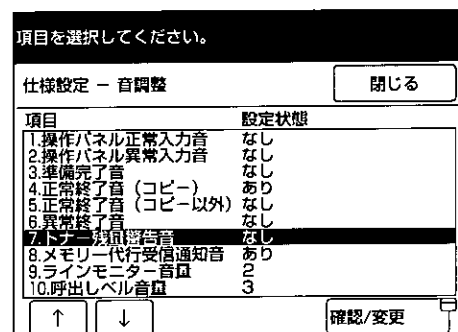
4 **「なし」または「あり」を選択して、トナー残量警告音を鳴らすかどうかを指定します。**



5 **「決定」を選択します。**

6 **設定した値が表示されているのを確認し、「閉じる」を選択します。**

画面は、手順4で「なし」を選択した場合の例です。



7 **「オールクリア」ボタンを押します。**  
初期画面に戻ります。

### ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
「オールクリア」ボタンを押します。

1 登録する  
通信相手

2 便利な機能を使って  
送信する

3 ビジネスホン  
に通知する

4 音種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に

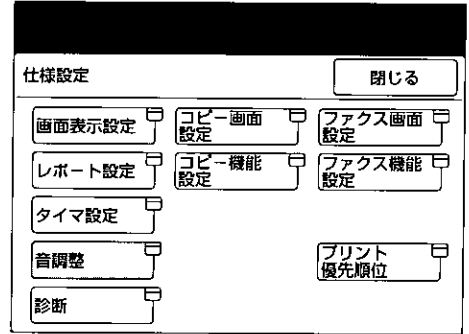
## メモリー代行受信通知音の仕様設定

メモリー代行受信通知音とは、文書を出力できずにメモリー代行受信になったときに鳴る音です。代行蓄積文書があることを知らせるメッセージ（●基本P220）を表示すると同時に、「ブーブーブー」という音を鳴らすかどうかの設定を変更できます。お買い求め時は「あり」（鳴る）に設定されています。

1

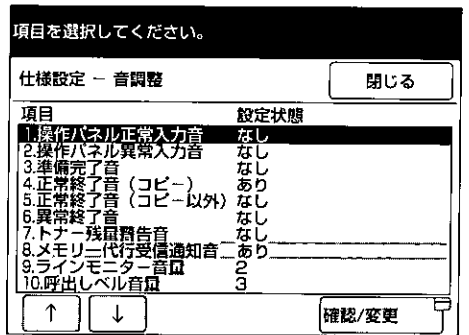
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



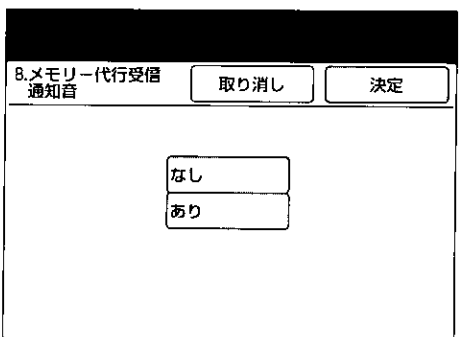
2

8.メモリー代行受信通知音 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



3

**確認/変更** を選択します。

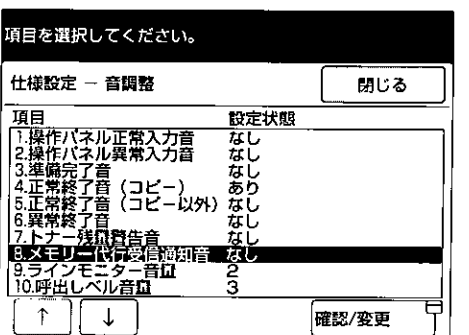


4

**なし** または **あり** を選択して、メモリー代行受信通知音を鳴らすかどうかを指定します。

5

**決定** を選択します。



6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で「なし」を選択した場合の例です。

7

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

## 音の仕様設定を変えるには

## (仕様設定)

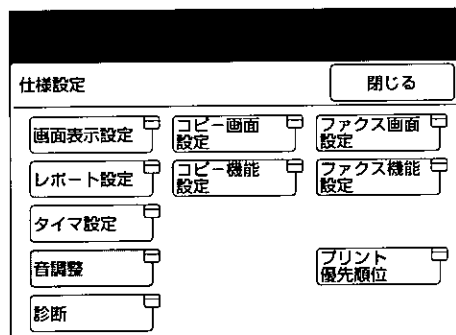
## ラインモニター音量の仕様設定

ラインモニター音とは、ダイヤルを開始してから相手先に接続されるまでの間の電話回線の音（呼出音や応答音など）です。ラインモニター音が聞こえるようにする／しない、あるいはその音量（1～3）を設定することができます。お買い求め時は、**あり**（聞こえる）に、音量は「2」に設定されています。

1

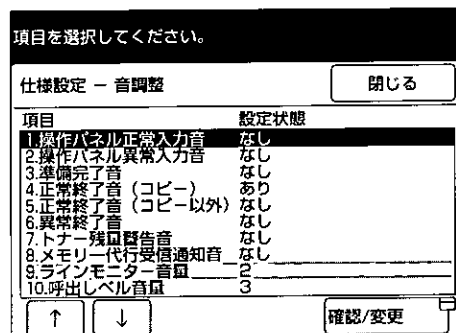
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



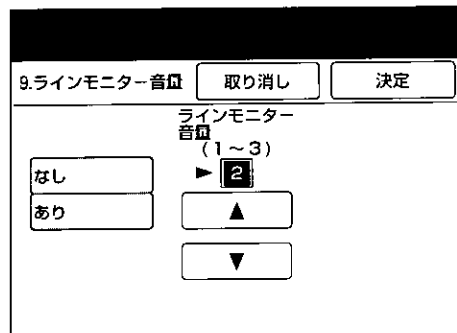
2

9.ラインモニター音量 を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



3

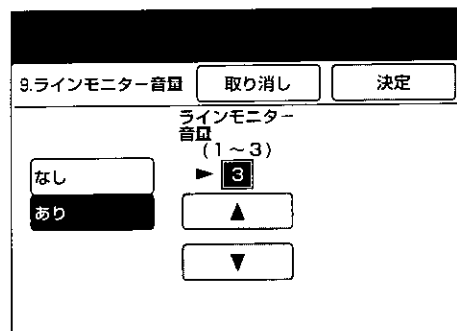
**確認/変更** を選択します。



4

**なし** または **あり** を選択して、ラインモニター音が聞こえるようにするかどうかを指定します。

ここでは例として **あり** を選択します。  
**なし** を選択した場合は、手順6に進みます。



5

指定したい音量（1～3）を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲** または **▼** を使って指定します。

ここでは例として「3」を指定します。  
ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して消してから入力し直します。

6

**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

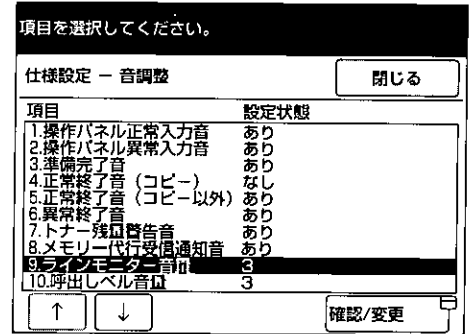
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

7



8

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

# 音の仕様設定を変えるには

# (仕様設定)

## 呼出しベル音量の仕様設定

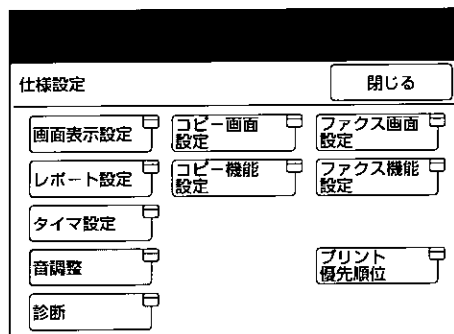
呼出しベル音とは、着信したときに鳴る音（「プププッ…」）です。本装置にISDN回線またはG3回線を増設している場合は、以下の手順で呼出しベル音量（0～3）を設定することができます。お買い求め時は、音量「3」に設定されています。

本装置に接続している回線がG3回線の1回線のみの場合、受話器もベル音を出しますので、あわせて受話器のベル音量を調整してください。（←基本P181）

1

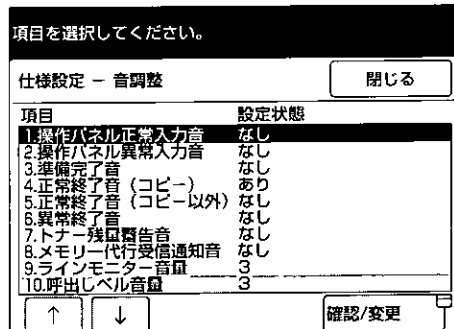
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **音調整** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



2

10.呼出しベル音量 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



3

**確認/変更** を選択します。

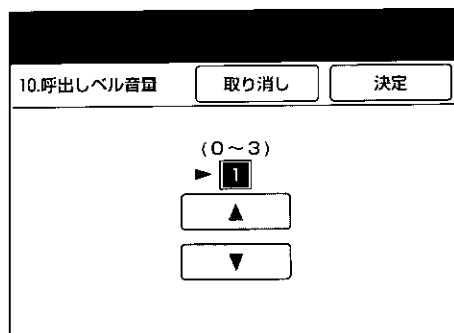
4

指定したい音量（0～3）を、ダイヤルボタンで入力するか、▲または▼を使って指定します。

[0] に設定すると、呼出しベルは鳴らなくなります。

ここでは例として「1」を指定します。

ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して消してから入力し直します。



5

**決定** を選択します。

**1** 通信相手を登録する

**2** 便利な機能を使って通値する

**3** ビジネスホーンに通知する

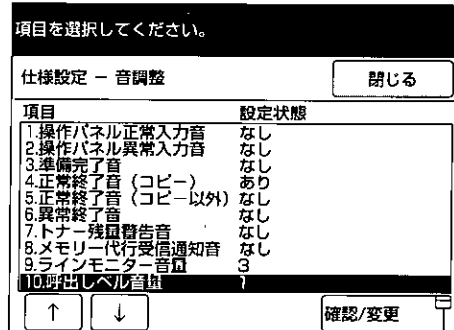
**4** 音種レポート/リストを出力する

**5** いろいろな機能を設定する

**6** ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

6



7

**【オールクリア】** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

●設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。

# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

●コピー機能、ファクス機能、音調整以外で、仕様を変更できる項目と設定できる値は、以下の表のとおりです。

お買い求め時は  に設定されています。

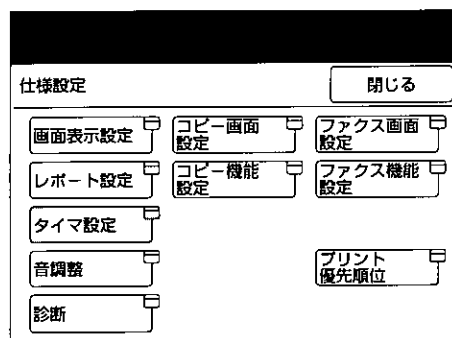
設定項目	設定できる値	参照ページ	
タイム設定	日付	—	☛P316、基本P31
	時計	—	☛P316、基本P31
	オートクリア	しない、する：(1~4分/ <input type="text" value="1"/> 分)	☛P282、316
	ジョブ自動解除	しない、する：(4~99分/ <input type="text" value="10"/> 分)	☛P284、316
	プリント起動	0~240秒/ <input type="text" value="10"/> 秒	☛P286、316
	ROSセーブ	しない、 <input type="text" value="する"/> ：(30~99秒/ <input type="text" value="30"/> 秒)	☛P288、316
	自動節電モード	最終操作からローパワーモードまでの時間： <input type="text" value="15"/> ~110分/ <input type="text" value="15"/> 分 ローパワーモードからスリープモードまでの時間：10~105分/ <input type="text" value="45"/> 分	☛P290、316
プリント優先順位	ファクス受信文書	優先度1 (高)、優先度2 (中)、 <input type="text" value="優先度3 (低)"/>	☛P292、320
	自動出力レポート	優先度1 (高)、優先度2 (中)、 <input type="text" value="優先度3 (低)"/>	☛P292、320

## オートクリアの仕様設定

オートクリアとは、操作が一定の時間行われなかったときに、自動的に初期画面に戻す機能です。オートクリアを  に設定したときは、オートクリアされるまでの時間を、「1」～「4」分の範囲で設定します。お買い求め時は、「1」分でオートクリアされるように設定されています。

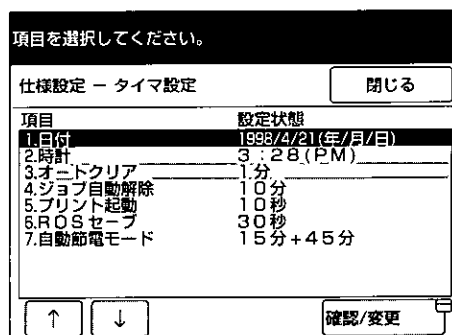
1 **メニュー画面で「仕様設定」を選択⇒右の画面で「タイム設定」を選択します。**

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し表示させます。



2 **「3.オートクリア」を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**

3 **「確認/変更」を選択します。**



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

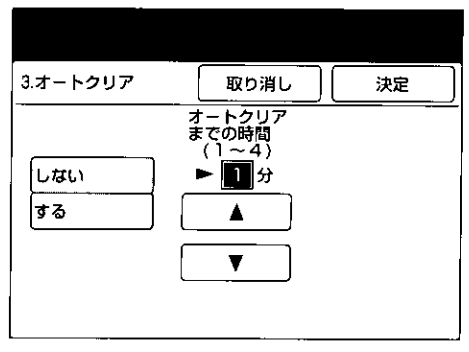
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**4** **しない** または **する** を選択して、オートクリアされるようにするかどうかを指定します。

ここでは例として **する** を選択します。

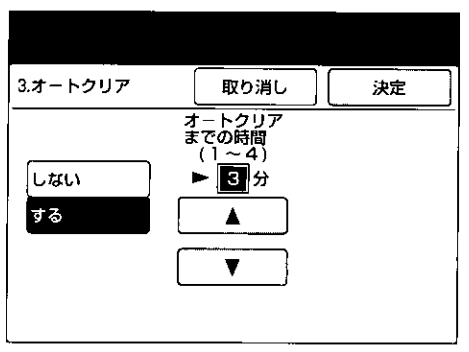
**しない** を選択した場合は、手順6に進みます。



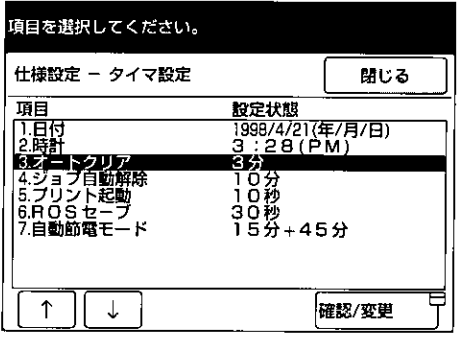
**5** 指定したいオートクリアまでの分数 (1~4) を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲** または **▼** を使って指定します。

ここでは例として「3」分を指定します。

ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して消してから入力し直します。



**6** **決定** を選択します。



**7** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**8** **[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。

**ワンポイント** .....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

## ジョブ自動解除の仕様設定

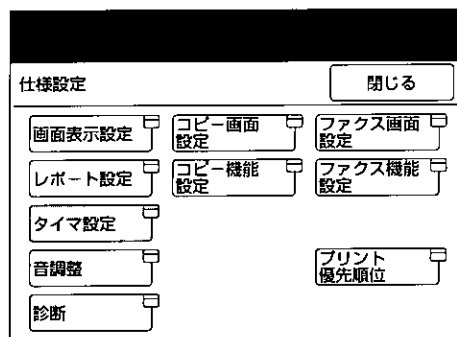
用紙がなくなったり、原稿/用紙づまりが発生してから一定の時間がたってもその原因が解決されないとき、本装置は停止したままになります。ジョブ自動解除とは、停止の原因となったコピー作業を自動的に解除して、中断の原因になった本装置の部分をわずかに他のコピー作業ができるようにする機能です。

ジョブ自動解除を「する」に設定したときは、ジョブ自動解除されるまでの時間を、4~99分の範囲で設定します。また、ジョブ自動解除を「しない」に設定すると、原因が解決されるまで他のコピーはできません。

お買い求め時は、「10」分でジョブ自動解除されるように設定されています。

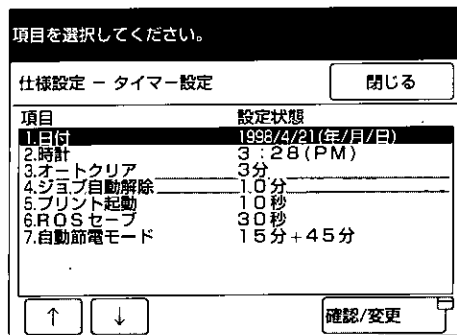
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒次の画面で **タイマ設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、「機能切り替え」ボタンを繰り返し押し表示させます。



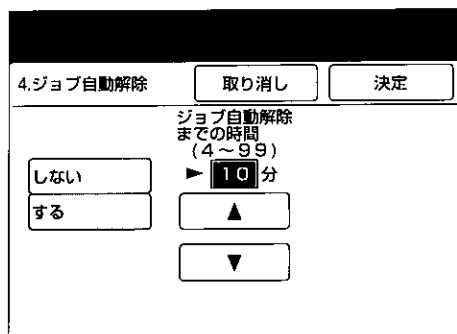
1

4.ジョブ自動解除 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2

確認/変更 を選択します。



3

「しない」または「する」を選択して、ジョブ自動解除されるようにするかどうかを指定します。

ここでは例として「する」を選択します。  
「しない」を選択した場合は、手順6に進みます。

4

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

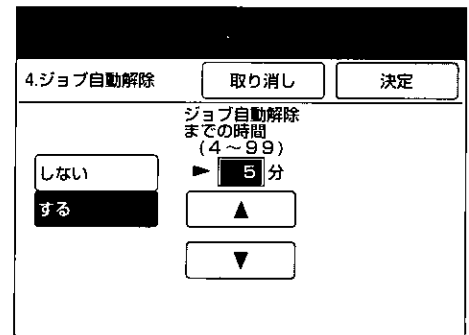
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

5

指定したいジョブ自動解除までの分数（4～99）を、ダイヤルボタンで入力するか、▲または▼を使って指定します。

ここでは例として「5」分を指定します。  
ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。

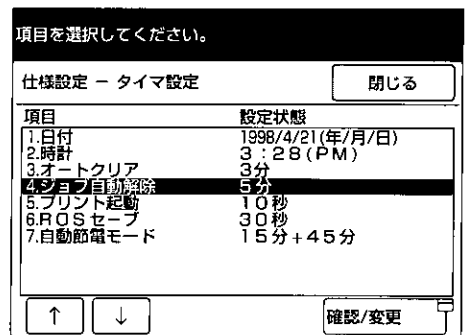


6

**決定** を選択します。

7

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を押します。



8

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

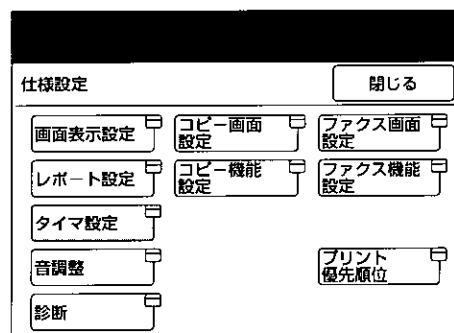
# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

## プリント起動の仕様設定

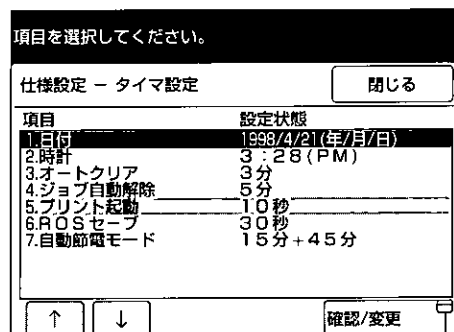
本装置を操作しているときに受信文書やレポートが蓄積されている場合、本装置の操作を終えてからプリントが起動されるまでの時間を、0～240秒の範囲で変更することができます。お買い求め時は、「10」秒に設定されています。

メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **タイマ設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



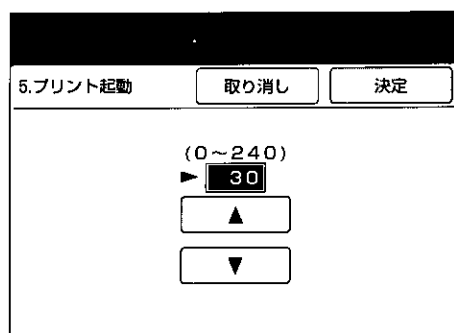
5. **プリント起動** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



**確認/変更** を選択します。

指定したいプリント起動までの秒数 (0～240) を、ダイヤルボタンで入力するか、▲ または ▼ を使って指定します。

ここでは例として「30」秒を指定します。ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**決定** を選択します。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

6 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる**を選択します。

項目を選択してください。

項目	設定状態
1.日付	1998/4/21(年/月/日)
2.時計	3:28(PM)
3.オートクリア	3分
4.ジョブ自動解除	5分
5.プリント起動	30秒
6.ROSセーブ	30秒
7.自動節電モード	15分+45分

↑ ↓ 確認/変更

7 **【オールクリア】** ボタンを押します。  
初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
【オールクリア】 ボタンを押します。



# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

## ■節電機能の仕様設定を変える

一定時間、本装置を使わないときに、消費電力を低減し発する音も小さくなる節電機能が利用できます。(●P340) 本装置には、以下の2つの節電機能があります。

### ●ROSセーブ

一定の秒数、本装置を使用しないでいると、出力装置のモーターが自動的に待機状態になります。操作パネルの操作やプリントを伴わない通信などは、ROSセーブ中のままでも行えます。また、ファクスを受信すると、ROSセーブは解除されます。

### ●自動節電モード

自動節電モードは、自動的に2段階の節電モードに切り替わる機能です。

一定の時間、本装置を使用しないでいると、定着部ヒーターおよびモーターが自動的に待機状態になるローパワーモードに切り替わります。さらに一定の時間が経過すると、本装置のほとんどが待機状態となり消費電力が最小限になるスリープモードに切り替わります。

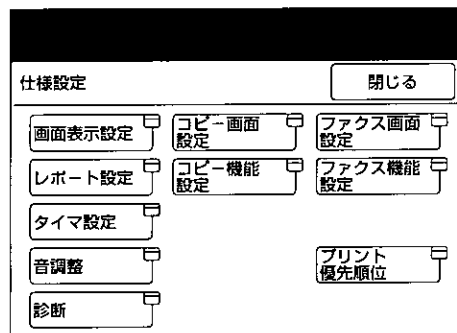
自動節電モード中は、タッチパネルディスプレイが消灯し、[節電中/解除] ボタンが点灯します。[節電中/解除] ボタンを押すか、操作パネルのいずれかのボタンを押すと、待機状態が解除されます。また、ファクスを受信すると、自動節電モードは解除されます。

## ROSセーブの仕様設定

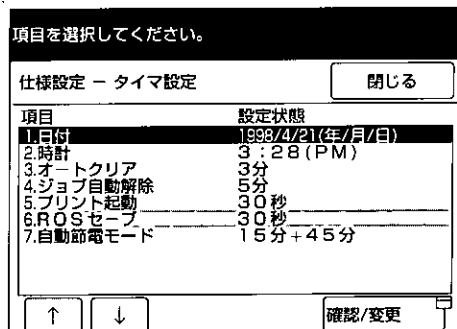
ROSセーブする／しないの設定を変更できます。ROSセーブを「する」に設定したときは、待機状態になるまでの時間を、30～99秒の範囲で設定します。お買い求め時は、「30」秒でROSセーブが開始されるように設定されています。

**1** メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒右の画面で **タイマ設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



**2** **6.ROSセーブ** を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



**3** **確認/変更** を選択します。

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/シリアルを出力する

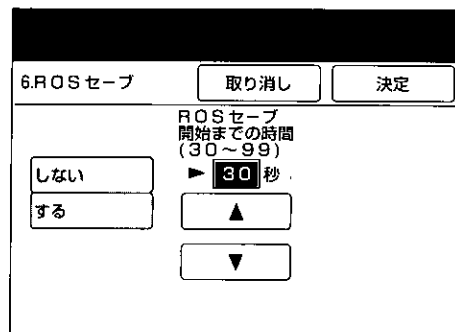
5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

**4** **しない** または **する** を選択して、ROSセーブするかどうかを指定します。

ここでは例として **する** を選択します。

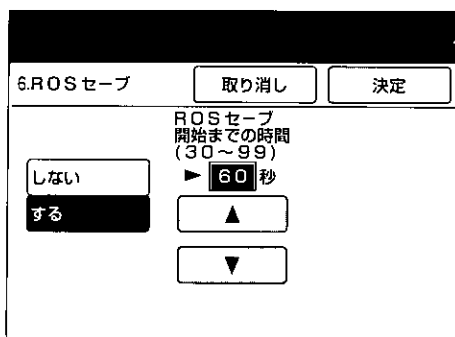
**しない** を選択した場合は、手順6に進みます。



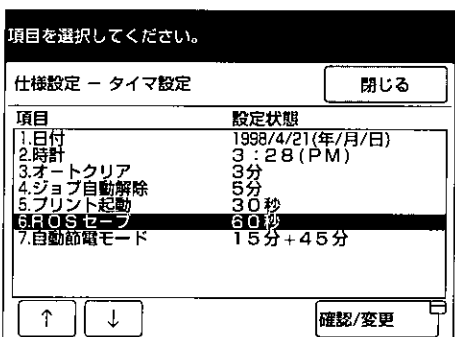
**5** ROSセーブ開始までの秒数 (30~99) を、ダイヤルボタンで入力するか、**▲** または **▼** を使って指定します。

ここでは例として「60」秒を指定します。

ダイヤルボタンの入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して1文字ずつ消してから入力し直します。



**6** **決定** を選択します。



**7** 設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

**8** **[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

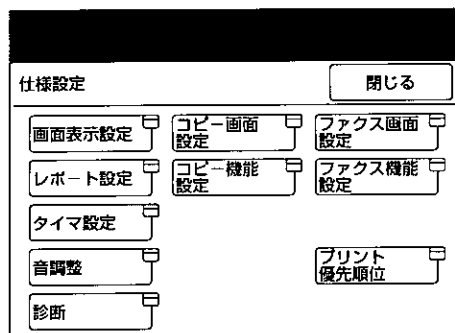
# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

## 自動節電モードの仕様設定

最終操作からローパワーモードに切り替わるまでの時間（15～110分）と、ローパワーモードに入ってからスリープモードに切り替わるまでの時間（ローパワーモードに切り替わるまでの時間と合わせて120分以内）の設定が変更できます。お買い求め時は、それぞれ「15」分と「45」分に設定されています。

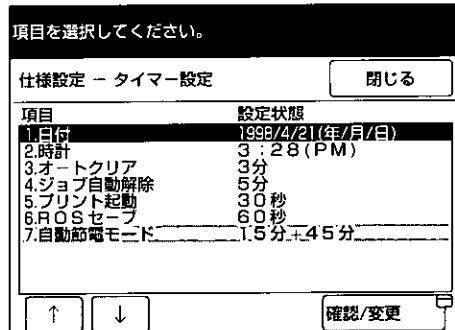
メニュー画面で **仕様設定** を選択→右の画面で **タイマ設定** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



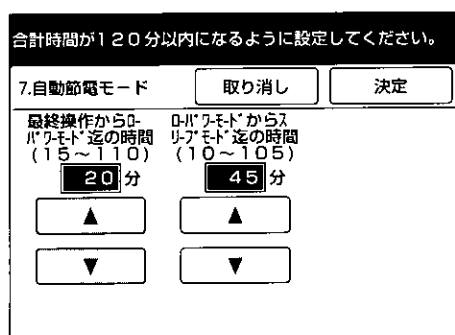
1

7.自動節電モード を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2

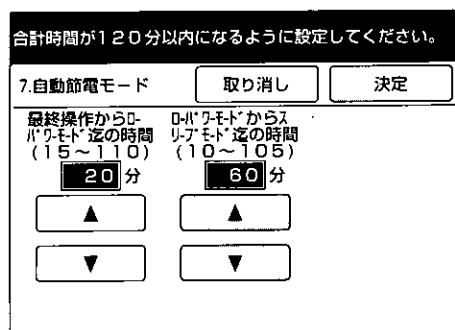
**確認/変更** を選択します。



3

ローパワーモードに切り替わるまでの分数（15～110）を、▲または▼を使って指定します。

スリープモードに切り替わるまでの分数と合わせて120分以内になるようにします。  
ここでは例として「20」分を指定します。



4

スリープモードに切り替わるまでの分数（10～105）を、▲または▼を使って指定します。

ローパワーモードに切り替わるまでの分数と合わせて120分以内になるようにします。  
ここでは例として「60」分を指定します。

5

**決定** を選択します。

6

1 通信相手登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろ便利な機能を設定する

6 ご参考に

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

7

項目を選択してください。

仕様設定 - タイマ設定	設定状態	閉じる
1.日付	1998/4/21 (年/月/日)	
2.時計	3 : 28 (PM)	
3.オートクリア	3分	
4.ジョブ自動解除	55分	
5.プリント起動	500秒	
6.FOSセーブ	500秒	
7.自動節電モード	20分+60分	

↑ ↓ 確認/変更

8

**[オールクリア]** ボタンを押します。

初期画面に戻ります。



ワンポイント.....

- 設定操作を中止するには  
[オールクリア] ボタンを押します。

# その他の仕様設定を変えるには (仕様設定)

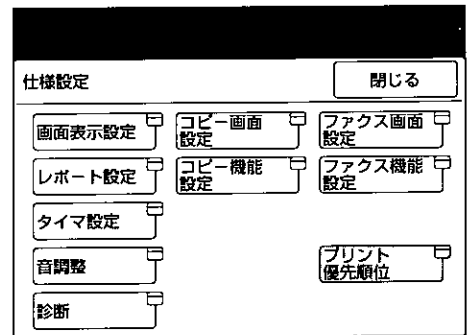
## プリント優先順位の仕様設定

ファクス受信文書と自動出力レポートそれぞれのプリントが実行待ちになっているとき、どちらを優先してプリントするかの設定を変更できます。同じ優先度に設定すると、プリント待ちになった順にプリントします。お買い求め時は、ファクス受信文書、自動出力レポートとも、**優先度3 (低)**に設定されています。

1

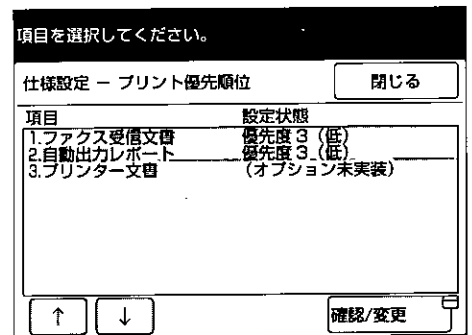
メニュー画面で **仕様設定** を選択⇒次の画面で **プリント優先順位** を選択します。

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。



2

1. **ファクス受信文書** または 2. **自動出力レポート** のうち、**プリント優先順位** の設定を変更したい項目を、直接指で触れるか **↑** **↓** を使って選択します。



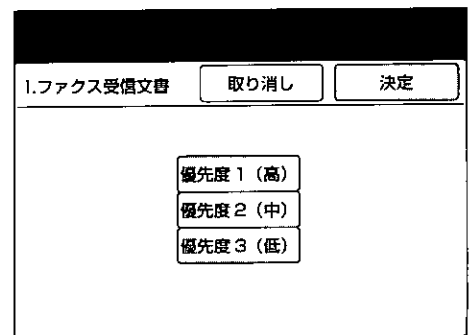
3

**確認/変更** を選択します。

4

**優先度1 (高)**、**優先度2 (中)**、**優先度3 (低)** のいずれかを選択して、優先度を指定します。

画面は、手順2で **1.ファクス受信文書** を選択した場合の例です。



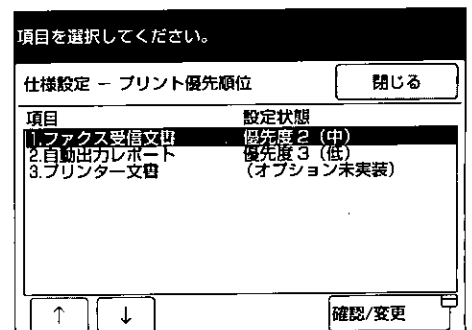
5

**決定** を選択します。

6

設定した値が表示されているのを確認し、**閉じる** を選択します。

画面は、手順4で **優先度2 (中)** を選択した場合の例です。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

7

**【オールクリア】 ボタンを押します。**

初期画面に戻ります。



ワンポイント .....

● 設定操作を中止するには

【オールクリア】 ボタンを押します。



# 登録／設定操作一覧

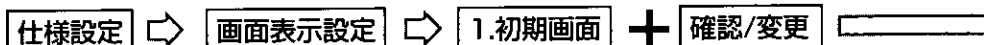
## 仕様設定

### ■画面表示設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

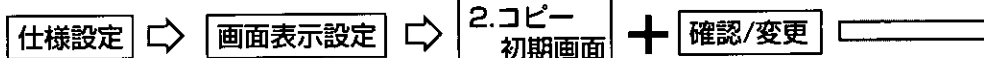
#### 初期画面（電源投入時） （●P201）

電源を入れたときや節電状態から復帰したときなどに最初に表示される画面を設定します。



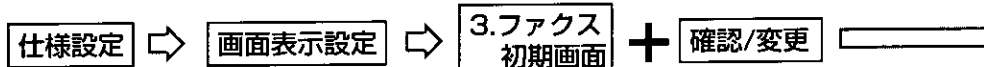
#### コピー初期画面 （●P202）

コピー画面を表示したときに最初に表示される画面を設定します。



#### ファクス初期画面 （●P260）

ファクス画面を表示したときに最初に表示される画面を設定します。

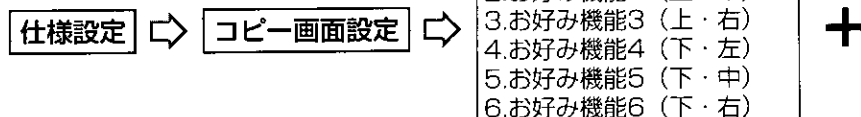


### ■コピー画面設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

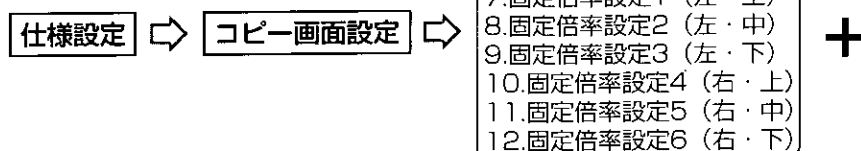
#### お好み機能1～6 （●P202、204）

お好みコピー画面に表示される機能項目を設定します。



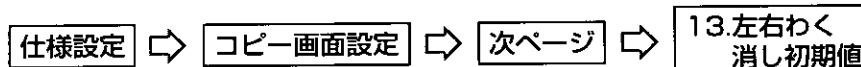
#### 固定倍率設定1～6 （●P202、206）

コピー画面の「縮小/拡大」を選択したときに表示される固定倍率を設定します。



#### 左右わく消し初期値 （●P202、208）

コピー時に、原稿の左右何mmの影を消すかを設定します。



次々ページに続きます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

操作一覧の見方

- ⇒ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

設定値の選択

メニュー  
コピー  
ファクス

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒

設定値の選択

基本コピー  
お好みコピー  
コピー機能一覧

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒

設定値の選択

基本ファクス  
お好みファクス  
ファクス機能一覧  
宛先表

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒

表示したい機能の選択

機能を1つ選択する

確認/変更 ⇒

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒

表示したい倍率の指定

定型倍率の中から選択するか、任意倍率を入力して指定する

確認/変更 ⇒

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒

左右わく消し量の指定

初期値に指定したいわく消し量をmmで入力する  
(5mm)

+ 確認/変更 ⇒

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒



# 登録／設定操作一覧

## 上下わく消し初期値 (●P202、208)

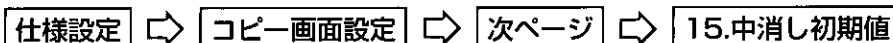
コピー時に、原稿の上下何mmの影を消すかを設定します。



## 中消し初期値

(●P202、208)

コピー時に、原稿の中央何mmの影を消すかを設定します。

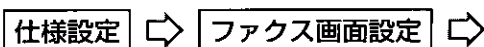


## ■ファクス画面設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

## お好み機能1～6 (●P260、262)

お好みファクス画面に表示される機能項目を設定します。



### 変更したい項目の選択

1. お好み機能1 (上・左)
2. お好み機能2 (上・中)
3. お好み機能3 (上・右)
4. お好み機能4 (下・左)
5. お好み機能5 (下・中)
6. お好み機能6 (下・右)



## 宛先表表示開始番号 (●P260、265)

宛先表を開いたときに最初に表示される短縮番号の開始番号を設定します。



## 時刻指定初期値 (●P260、266)

時刻指定通信を開始する時刻の初期値を設定します。



## 送信中画面表示 (●P260、267)

送信の状態をディスプレイに表示させるかどうかを設定します。



1 通信相手を登録する

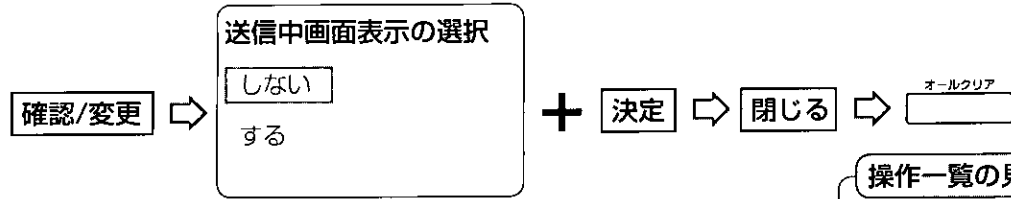
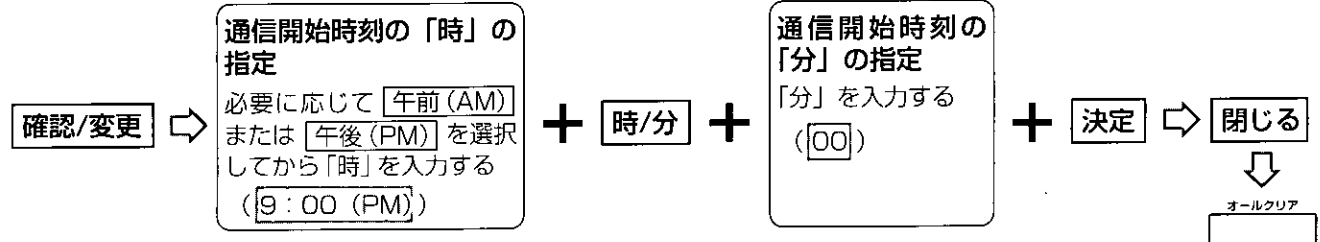
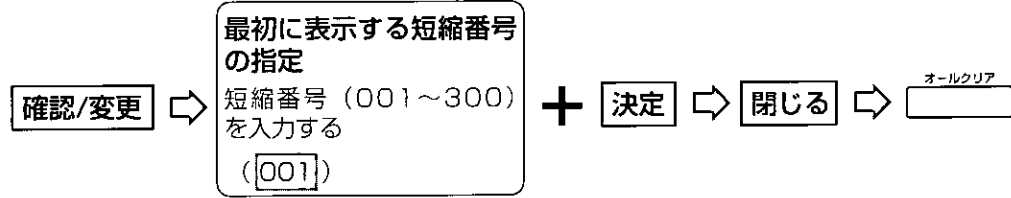
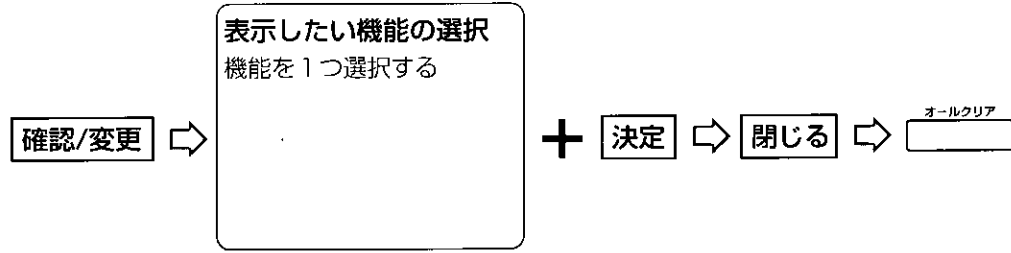
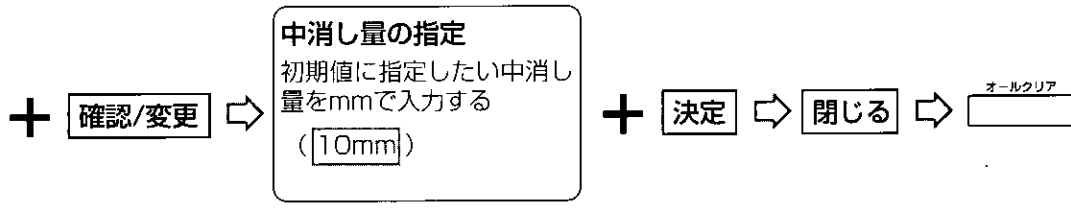
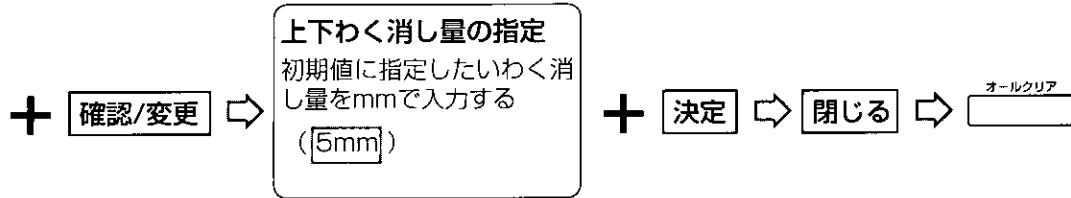
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



**操作一覧の見方**

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

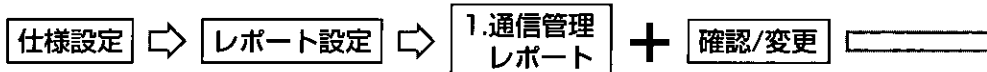
## 登録／設定操作一覧

## ■レポート設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押して表示させます。

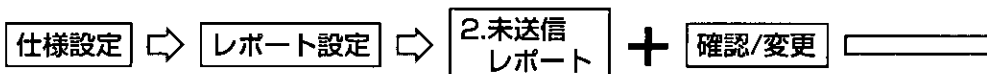
### 通信管理レポート (●P143、144、148、152)

通信結果の合計が50になったときに出力するかどうかを設定します。



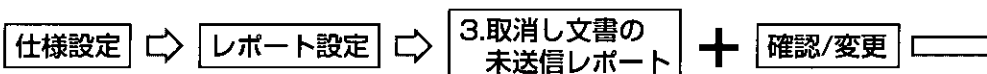
### 未送信レポート (●P143、148、154)

通信の異常終了後に自動的に出力するかどうかを設定します。



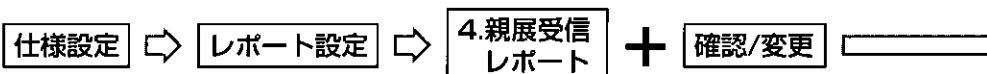
### 取消し文書の未送信レポート (●P143、148)

通信を中止したときに自動的に出力するかどうかを設定します。



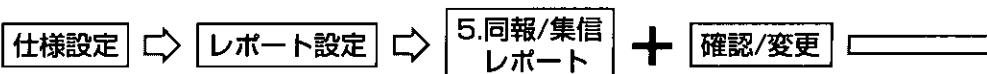
### 親展受信レポート (●P143、148、157)

親展受信後に自動的に出力するかどうかを設定します。



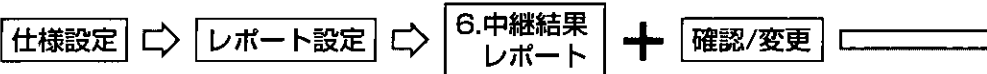
### 同報/集信レポート (●P143、148、158)

同報/集信通信後に自動的に出力するかどうかを設定します。



### 中継結果レポート (●P143、150、160)

中継機として中継同報を行ったあとに、自動的に出力するかどうかを設定します。



**1** 通信相手を登録する

**2** 便利な機能を使って通信する

**3** ビジネスホンを通知する

**4** 各種レポート/リスマを出力する

**5** いろいろな機能を設定する

**6** ご参考に

通信管理レポート出力設定の選択

なし  
 あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

未送信レポート出力設定の選択

なし  
 あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

取消し文書の未送信レポート出力設定の選択

なし  
あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

親展受信レポート出力設定の選択

なし  
 あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

同報/集信レポート出力設定の選択

なし  
 あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

中継結果レポート出力設定の選択

なし  
あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

操作一覧の見方

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

## ■コピー機能設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

<b>用紙トレイ</b> (●P174、175) 選択される用紙トレイの初期値を設定します。
<b>縮小／拡大</b> (●P174、177) コピー倍率の初期値を設定します。
<b>コピー濃度</b> (●P174、179) コピー濃度の初期値を設定します。
<b>原稿の種類</b> (●P174、181) コピーする原稿の種類についての初期値を設定します。
<b>センター移動</b> (●P174、183) センター移動機能を通常使うかどうかを設定します。
<b>ソート</b> (●P174、185) ソート機能を通常使うかどうかを設定します。
<b>排出トレイ*</b> (●P174、187) センタートレイとサイドトレイ(オプション)のどちらへの排出を初期値とするかを設定します。

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 1.用紙トレイ + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 2.縮小/拡大 + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 3.コピー濃度 + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 4.原稿の種類 + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 5.センター移動 + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 6.ソート + 確認/変更

仕様設定 ⇨ コピー機能設定 ⇨ 7.排出トレイ + 確認/変更

次々ページに続きます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使う

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポートリストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

用紙トレイ初期値の選択

自動またはいずれかのトレイを選択する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

コピー倍率初期値の選択

100%、自動%、またはいずれかの倍率を選択する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

コピー濃度初期値の選択

自動またはいずれかの濃度を選択する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

原稿の種類初期値の選択

文字/写真  
写真

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

センター移動設定の選択

する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

ソート設定の選択

する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

排出トレイの選択

サイドトレイ

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

操作一覧の見方

⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。

+ : 同一の画面で操作します。

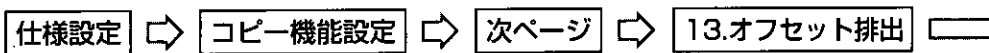
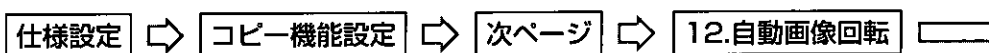
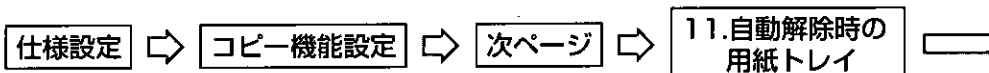
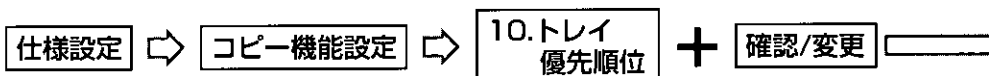
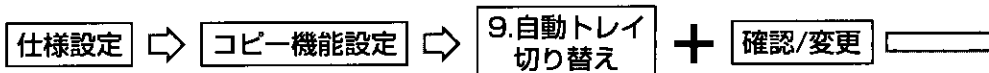
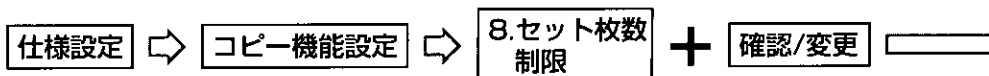
: お買い求め時の設定を表わします。

\* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

<p><b>セット枚数制限</b> (●P174、189)</p> <p>一度にコピーできる枚数の制限について設定します。</p>
<p><b>自動トレイ切り替え</b> (●P174、191)</p> <p>コピー中に用紙がなくなったときに、同一サイズ、同一方向の用紙のトレイに自動的に切り替えるかどうかの設定をします。</p>
<p><b>トレイ優先順位</b> (●P174、193)</p> <p>同一サイズ、同一方向の用紙がセットされている複数の用紙トレイの優先順位を設定します。</p>
<p><b>自動解除時の用紙トレイ</b> (●P174、195)</p> <p>用紙トレイ選択が「自動」から解除されたときに選択される用紙トレイの初期値を設定します。</p>
<p><b>自動画像回転</b> (●P174、197)</p> <p>自動画像回転機能を通常使うかどうかを設定します。</p>
<p><b>オフセット排出*</b> (●P174、199)</p> <p>オフセット排出機能を通常使うかどうかを設定します。</p>



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

セット枚数制限の指定

しない

する +  制限枚数の指定  
最大枚数を入力する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

自動トレイ切り替え設定の選択

しない

する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

優先順位の指定

1~4番目のそれぞれについてトレイを選択する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

自動解除時の用紙トレイの選択

トレイ1

トレイ2

トレイ3

トレイ4\*

+ 確認/変更 ⇨ + 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

自動画像回転設定の選択

しない

する

+ 確認/変更 ⇨ + 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

オフセット排出設定の選択

しない

する

+ 確認/変更 ⇨ + 決定 ⇨ 閉じる ⇨  オールクリア

操作一覧の見方

⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。

+ : 同一の画面で操作します。

: お買い求め時の設定を表わします。

\* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

## 登録／設定操作一覧

## ■ファクス機能設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

## 送信画質

(●P212、基本P144)

送信画質の初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 1.送信画質 + 確認/変更

## 原稿の種類

(●P212、基本P145)

送信する原稿の種類についての初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 2.原稿の種類 + 確認/変更

## 送信濃度

(●P212、基本P146)

送信濃度の初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 3.送信濃度 + 確認/変更

## 通信モード

(●P212、基本P147)

通信モードの初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 4.通信モード + 確認/変更

## 発信元記録

(●P212、基本P37)

発信元記録を付けるかどうかの初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 5.発信元記録 + 確認/変更

## 掲示板/ポーリング発信元

(●P71、212)  
掲示板/ポーリング予約の場合に、相手先で出力する文書に発信元記録を付けるかどうかの初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 6.掲示板/ポーリング発信元 + 確認/変更

## ミックスサイズ原稿

(●P57、P212)

サイズの異なる原稿を一度に読み取らせる機能の初期値を設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 7.ミックスサイズ原稿 + 確認/変更

次々ページに続きます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

送信画質初期値の選択

- 標準
- 高画質
- 超高画質

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

原稿の種類初期値の選択

- 文字
- 文字/写真
- 写真

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

送信濃度初期値の選択

5段階の中から選択する

- ぶつう

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

通信モード初期値の選択

- G3自動
- 海外通信
- G4自動

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

発信元記録の初期値の選択

- 付けない
- 付ける

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

発信元記録の初期値の選択

- 付けない
- 付ける

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

ミックスサイズ原稿初期値の選択

- なし
- あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

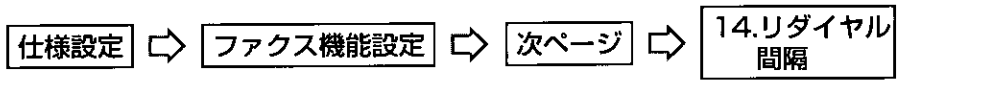
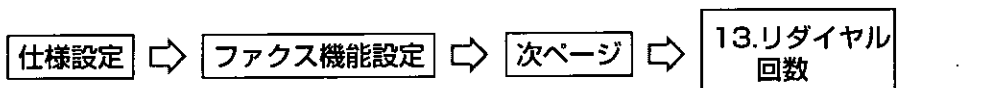
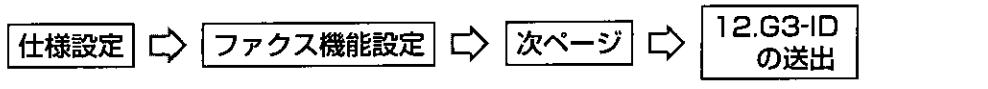
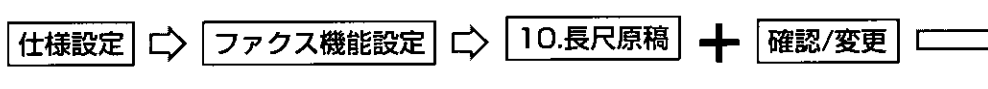
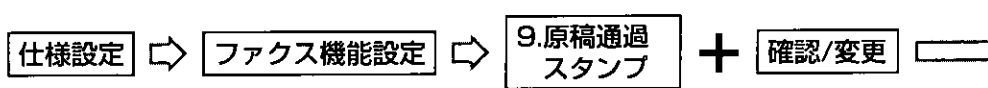
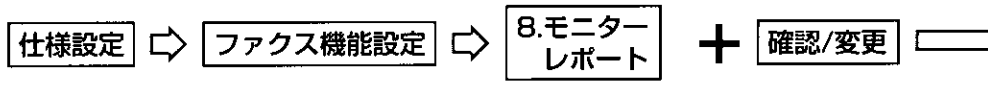
操作一覧の見方

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

<p><b>モニターレポート</b> (●P147、154、212)</p> <p>通信操作時にレポート出力を指示しなくても、通信ごとに出させるかどうかを設定します。</p>
<p><b>原稿通過スタンプ*</b> (●P212、334)</p> <p>読み取った原稿に、済スタンプ（オプション）を付けるかどうかの初期値を設定します。</p>
<p><b>長尺原稿</b> (●P212、216)</p> <p>DADF（自動両面原稿送り装置）で読み取れる原稿の最大長を設定します。</p>
<p><b>自動回転送信</b> (●P212、218)</p> <p>送信時に自動回転送信機能をはたかせるかどうかを設定します。</p>
<p><b>G3 IDの送付</b> (●P212、220)</p> <p>G3送信時にG3 IDを相手先に通知するかどうかを設定します。</p>
<p><b>リダイヤル回数</b> (●P212、222)</p> <p>自動的にリダイヤルする回数を設定します。</p>
<p><b>リダイヤル間隔</b> (●P212、222)</p> <p>自動的にリダイヤルする間隔を設定します。</p>



次々ページに続きます。

**1**  
登録する  
通信相手を

**2**  
通信する  
便利な機能を使って

**3**  
に通知する  
ビジネスホン

**4**  
を出力する  
音種レポート/リスト

**5**  
を設定する  
いろいろな機能

**6**  
ご参考に

モニターレポート出力の選択

出力しない

出力する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

済スタンプの初期値の選択

押さない

押す

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

原稿の最大長値の選択

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

+ 確認/変更 ⇨ 自動回転送信設定の選択

しない

する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

+ 確認/変更 ⇨ G3 IDの送付設定の選択

しない

する

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

+ 確認/変更 ⇨ リダイヤル回数の指定

リダイヤル回数を入力する

()

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

+ 確認/変更 ⇨ リダイヤル間隔の指定

分数を入力して指定する

()

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

**操作一覧の見方**

⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。

+ : 同一の画面で操作します。

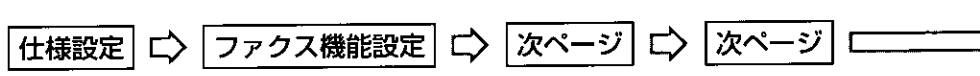
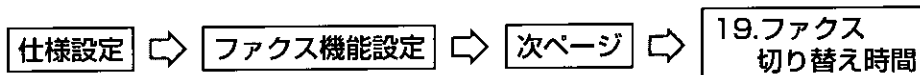
: お買い求め時の設定を表わします。

\* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

<p><b>自動ページ再送</b> (●P212、224)</p> <p>自動ページ再送を行うかどうか、ならびにその回数を設定します。</p>
<p><b>通信インターバル</b> (●P212、226)</p> <p>ひとつの通信が終わってから次の送信を始めるまでの間隔を設定します。</p>
<p><b>同一宛先一括送信</b> (●P212、228)</p> <p>同一の宛先への送信をまとめて行うかどうかを設定します。</p>
<p><b>手動送受信初期設定</b> (●P212、230)</p> <p>オンフックまたはオフフック時に、ディスプレイに「手動受信」と「手動送信」のどちらを表示させるかを設定します。</p>
<p><b>ファクス切り替え時間</b> (●P212、232)</p> <p>電話がかかってきてからファクス自動受信が開始されるまでの時間を設定します。</p>
<p><b>受信モード</b> (●P212、234、基本P174)</p> <p>受信モードの初期値を設定します。</p>
<p><b>電話優先時音声メッセージ</b> (●P212、236)</p> <p>相手先が電話だった場合に、呼び出し中であることを伝える音声メッセージを送出するかどうかを設定します。</p>



次々ページに続きます。

1 通信相手を登録する

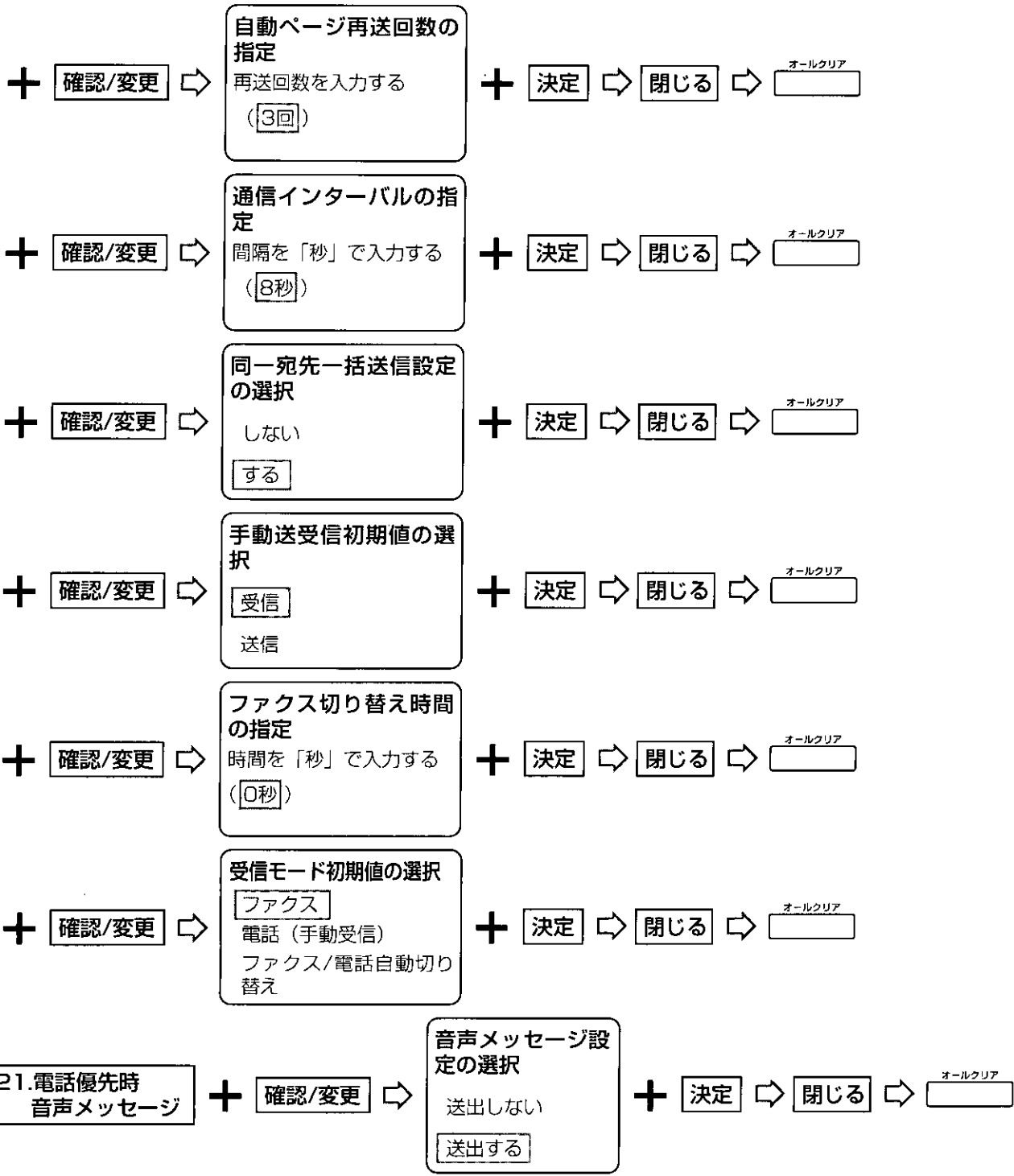
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



**操作一覧の見方**

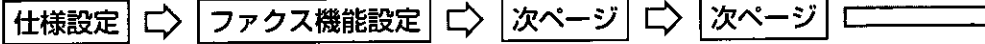
- ⇒ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- ⊕ : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

**留守番電話接続  
(●P212、238)**

留守番電話機を外付けして使用するかどうかを設定します。



**留守番電話無音検出  
(●P212、240)**

留守番電話機を外付けし、「留守番電話モード」を設定する場合の留守番電話無音検出を設定します。



**セレクト受信  
(●P212、242、基本P177)**

セレクト受信機能を利用するかどうかを設定します。



**ページ分割しきい値  
(●P213、244)**

受信文書の長さが用紙サイズより何mm以上長い場合に分割してプリントするかを設定します。



**自動縮小受信  
(●P213、246)**

自動縮小受信機能を利用するかどうかを設定します。



**受信紙宣言  
(●P213、248)**

送信側に対してトレイモード／ユーザーモードのどちらかで受信サイズを宣言するか、ユーザーモードの場合はそのサイズを設定します。



**ページ合成受信  
(●P213、250)**

ページ合成受信機能を利用するかどうかを設定します。



次々ページに続きます。

1 登録する  
通信相手を登録する

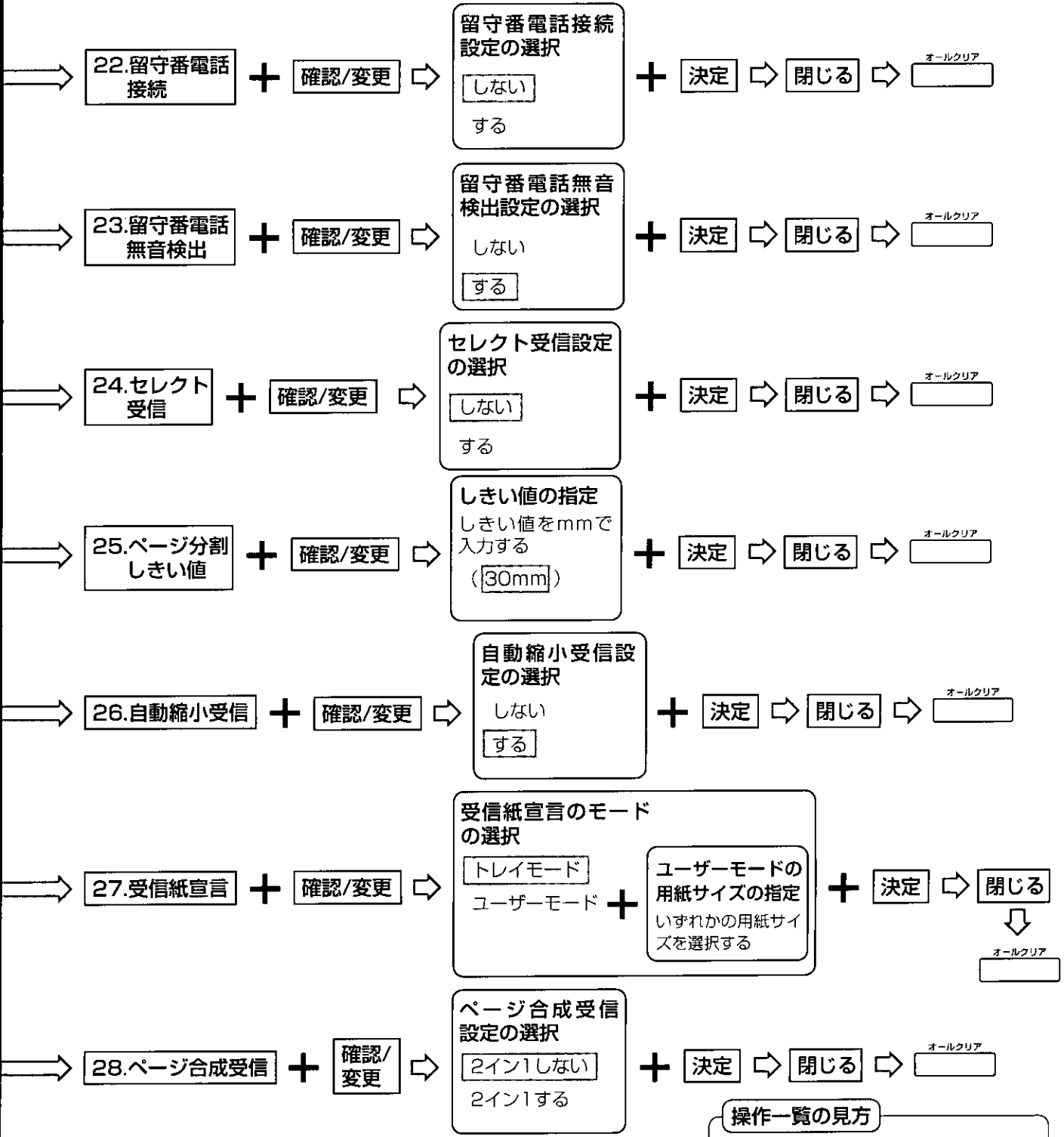
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



操作一覧の見方

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

<p><b>両面プリント*</b> (●P213、252)</p> <p>受信原稿やレポートを用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。</p>
<p><b>うら面の画像回転プリント (●P213、254)</b></p> <p>受信原稿やレポートを両面プリントするとき、うら面の画像を180°回転させるかどうかを設定します。</p>
<p><b>送信先部数受信 (●P65、213)</b></p> <p>出力部数を指定してきた文書を1部しか出力しないか、一定部数の場合に限り、受信してコピーするかを設定します。</p>
<p><b>レポート／リスト排出先* (●P213、256)</b></p> <p>レポートやリストの排出先を設定します。</p>
<p><b>自動出力レポート排出先* (●P213、256)</b></p> <p>自動出力レポートの排出先を設定します。</p>
<p><b>外線1 排出先* (●P213、256)</b></p> <p>(増設したオプションの外線や内線についても、同様に設定操作が行えます。) 回線ごとの受信文書の排出先を設定します。</p>

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ ⇨ 次ページ

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ ⇨ 次ページ

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 3回押す

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 3回押す

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 3回押す

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 3回押す

次々ページに続きます。

1 登録する  
通信相手を

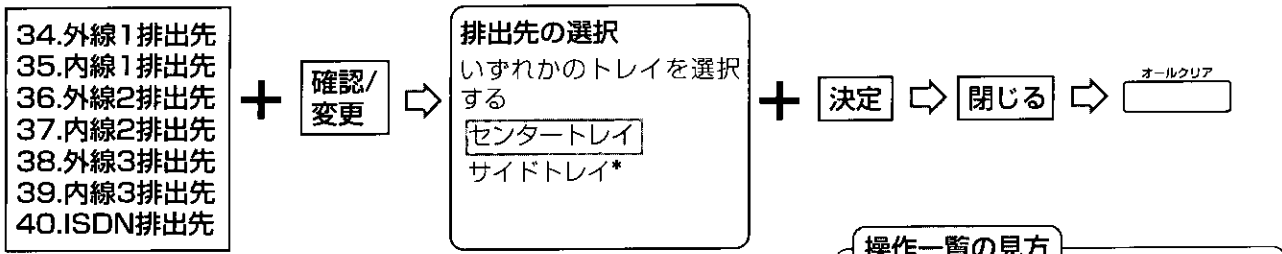
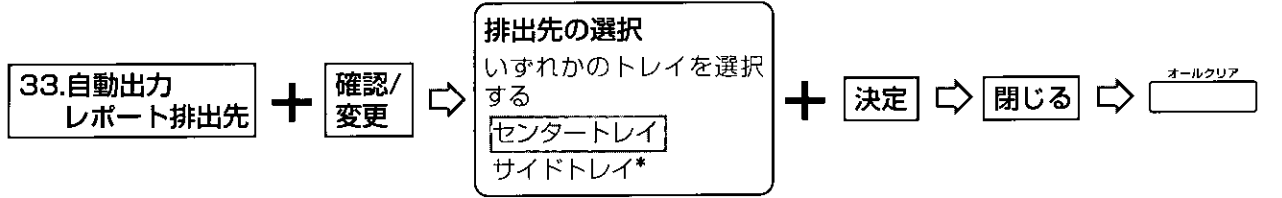
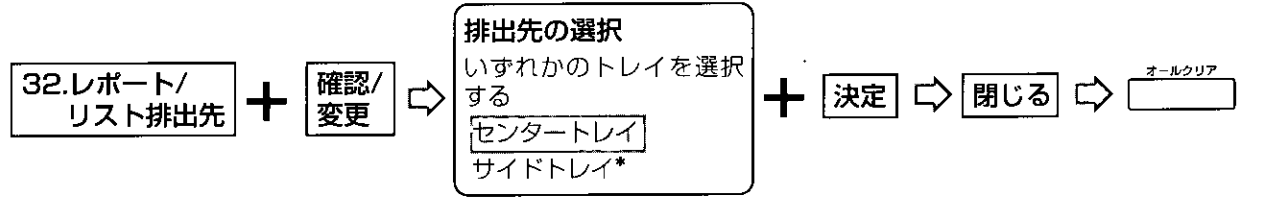
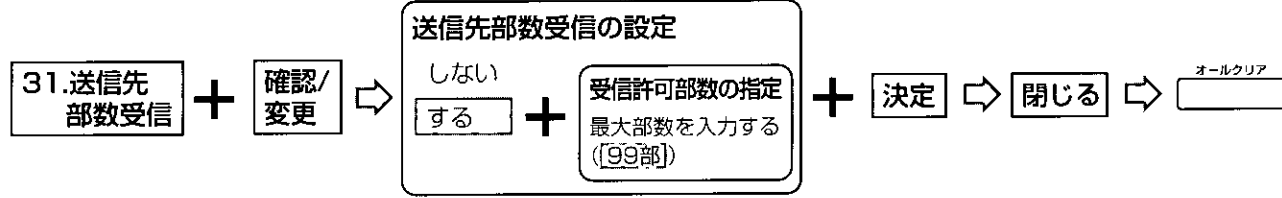
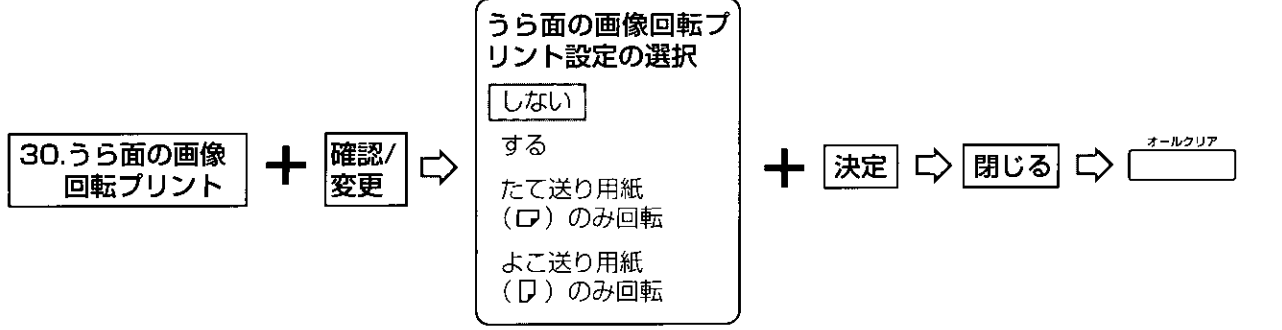
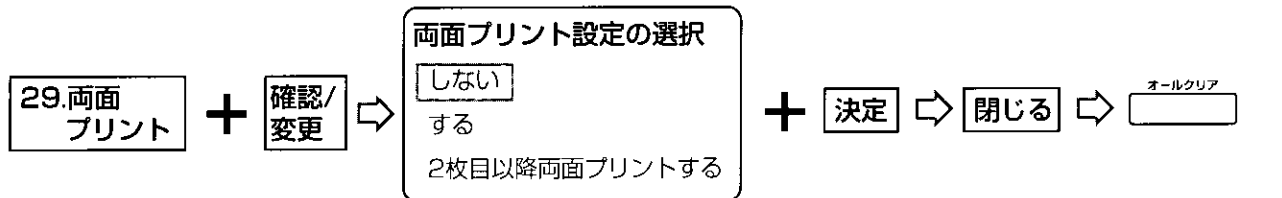
2 通信する  
便利な機能を使って

3 ビジネスホン  
に通知する

4 各種レポート/リスト  
を出力する

5 いろいろな機能  
を設定する

6 ご参考に



**操作一覧の見方**

- ⇒ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

## 呼識別行 (G4ヘッダ) \*

(☛P213、258)

G4受信文書にヘッダを付けるかどうかを設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 4回押す

## 中継同報

(☛P45、213)

本装置の中継機としての使用の禁止／許可を設定し、許可の場合は暗証番号を登録します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 4回押す

## 送信結果通知

(☛P131、213)

内線電話機に送信結果を通知させるかどうかを設定します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 4回押す

## 受信結果通知

(☛P136、213)

内線電話機に受信結果を通知させるかどうかを設定し、共通通知先を登録します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 4回押す

## 異常通知

(☛P141、213)

ファクスの異常を特定の内線電話機に通知させるかどうかを設定し、通知先を登録します。

仕様設定 ⇨ ファクス機能設定 ⇨ 次ページ 4回押す

1 通信相手を登録する

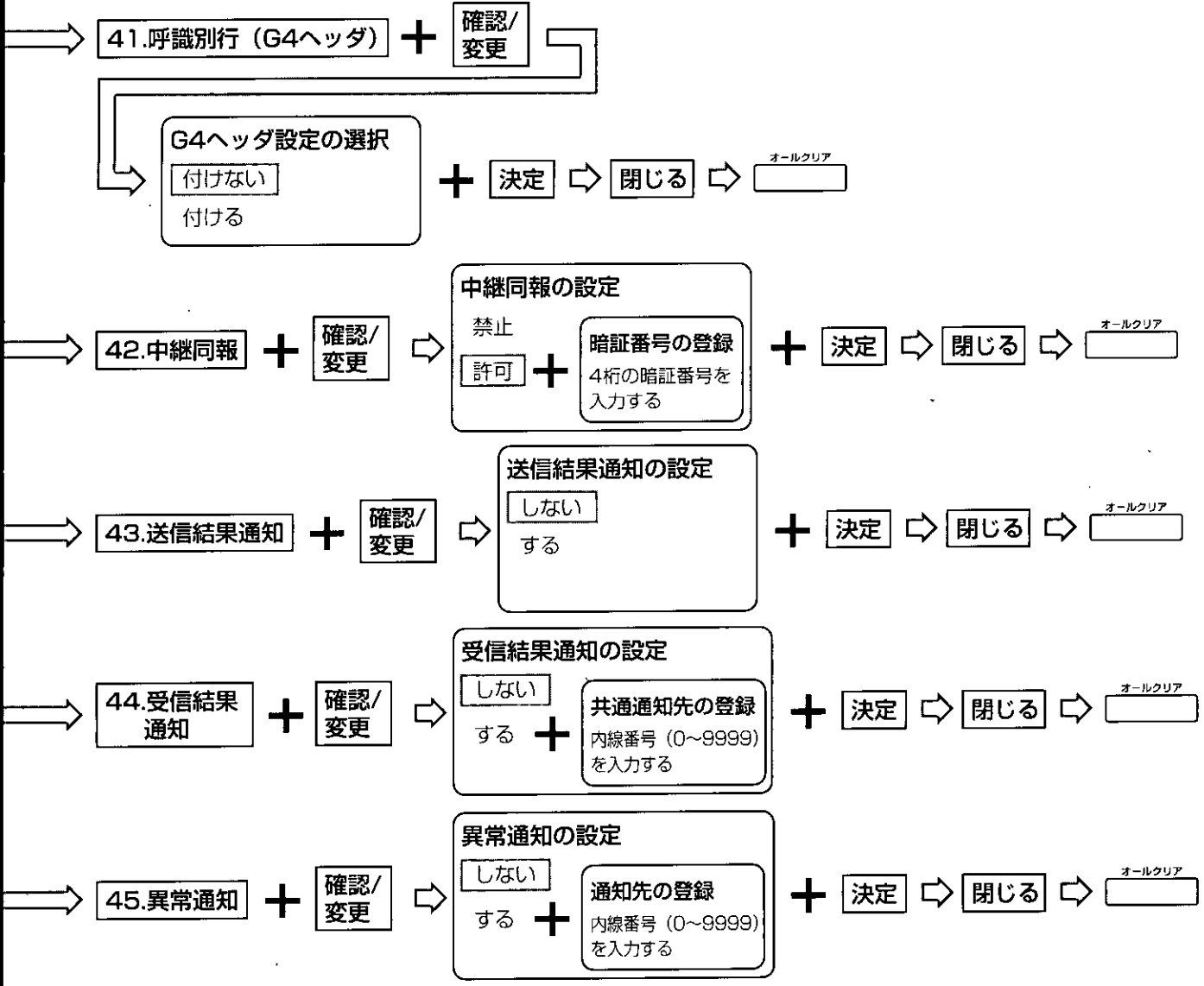
2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



**操作一覧の見方**

- ➡ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- ⊕ : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

## ■タイマ設定

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

<p><b>日付</b> (●P282、基本P31) 現在の日付を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 1.日付 + 確認/変更</p>
<p><b>時計</b> (●P282、基本P31) 現在の時刻を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 2.時計 + 確認/変更</p>
<p><b>オートクリア</b> (●P282) オートクリア機能を利用するかどうか、ならびにオートクリアまでの時間を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 3.オートクリア + 確認/変更</p>
<p><b>ジョブ自動解除</b> (●P282、284) ジョブ自動解除機能を利用するかどうか、および自動解除までの時間を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 4.ジョブ自動解除 + 確認/変更</p>
<p><b>プリント起動</b> (●P282、286) 本装置の操作を終了してから、プリント待ちの受信文書やレポートのプリントを開始するまでの時間を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 5.プリント起動 + 確認/変更</p>
<p><b>ROSセーブ</b> (●P282、288) ROSセーブ機能を利用するかどうか、およびROSセーブ開始までの時間を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 6. ROSセーブ + 確認/変更</p>
<p><b>自動節電モード</b> (●P282、290) 最終操作からローパワーモード開始までの時間、およびローパワーモード開始からスリープモード開始までの時間を設定します。</p>	<p>仕様設定 ⇨ タイマ設定 ⇨ 7.自動節電モード + 確認/変更</p>

- 1 登録する  
通信相手を登録する
- 2 通信する  
便利な機能を使って通信する
- 3 ビジネスホンを通知する
- 4 各種ポート/リストを出力する
- 5 いづいかな機能を設定する
- 6 ご参考に

**操作一覧の見方**

- ⇒ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- ⊕ : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

**日付の設定**  
 年/月/日選択 を選択して ▶ を変更したい項目に移動させ、数字を入力する



**表示方法の選択**  
 12時間制表示 ⊕ 24時間制表示

**午前午後の指定**  
 午前 (AM)  
 午後 (PM)

**時刻の設定**  
 時/分選択 を選択して ▶ を変更したい項目に移動させ、数字を入力する



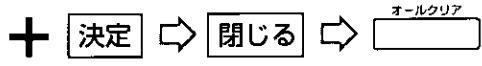
**オートクリア設定の選択**  
 しない  
 する ⊕

**時間の指定**  
 時間を「分」で入力する  
 (1分)



**ジョブ自動解除設定の選択**  
 しない  
 する ⊕

**時間の指定**  
 時間を「分」で入力する  
 (10分)



**プリント起動までの時間の指定**  
 時間を「秒」で入力する  
 (10秒)



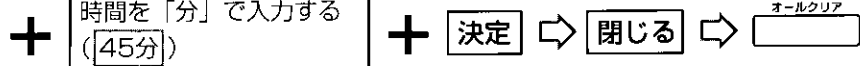
**ROSセーブ設定の選択**  
 しない  
 する ⊕

**時間の指定**  
 時間を「秒」で入力する  
 (30秒)



**ローパワーモード開始までの時間の指定**  
 時間を「分」で入力する  
 (15分)

**スリープモード開始までの時間の指定**  
 時間を「分」で入力する  
 (45分)



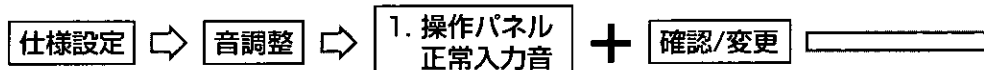
## 登録／設定操作一覧

## ■音調整

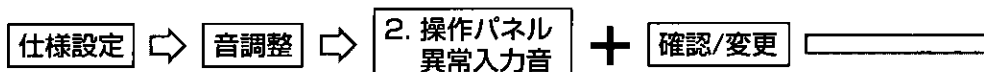
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押して表示させます。

**操作パネル正常入力音**  
 (●P268)

操作パネル正常入力音を鳴らすかどうかを設定します。


**操作パネル異常入力音**  
 (●P268、270)

操作パネル異常入力音を鳴らすかどうかを設定します。


**準備完了音**

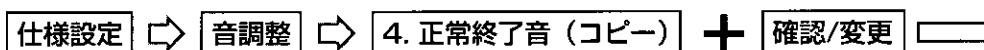
(●P268、271)

待機状態から使用可能になったときの準備完了音を鳴らすかどうかを設定します。


**正常終了音 (コピー)**

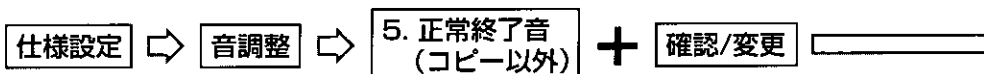
(●P268、272)

コピーが終了したときの正常終了音を鳴らすかどうかを設定します。


**正常終了音 (コピー以外)**

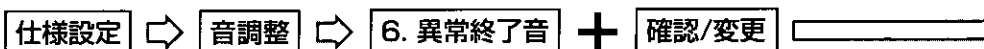
(●P268、273)

通信、プリント、通話、自動診断などが終了したときの正常終了音を鳴らすかどうかを設定します。


**異常終了音**

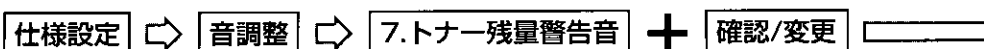
(●P268、274)

コピーやプリントが異常終了したときの異常終了音を鳴らすかどうかを設定します。


**トナー残量警告音**

(●P268、276)

ドラム／トナーカートリッジ交換時期を知らせる警告音を鳴らすかどうかを設定します。



次々ページに続きます。

1  
登録する  
通信相手を2  
通値する  
便利な機能を使って3  
に通知する  
ビジネスホン4  
を出力する  
音種レポート/リスト5  
を設定する  
いろいろな機能6  
ご参考に操作パネル正常入力音  
設定の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 操作パネル異常入力音  
設定の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 

## 準備完了音設定の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 正常終了音（コピー）  
設定の選択

なし

あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 正常終了音（コピー以  
外）設定の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 

## 異常終了音設定の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ トナー残量警告音設定  
の選択

なし

あり+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ 

## 操作一覧の見方

⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。

+ : 同一の画面で操作します。

 : お買い求め時の設定を表わします。

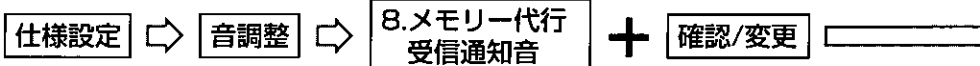
\* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

## メモリー代行受信通知音 (P268、277)

代行受信文書があることを知らせる通知音を鳴らすかどうかを設定します。



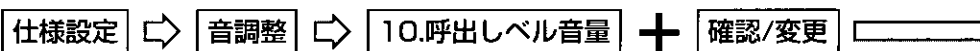
## ラインモニター音量 (P268、278)

ラインモニター音を聞こえるようにするか、およびその音量を設定します。



## 呼出しベル音量 (P268、280)

着信時の呼出し音量を設定します。「0」に設定すると、呼出しベルが鳴りません。



## ■プリント優先順位

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押して表示させます。

### ファクス受信文書～自動出力レポート (P282、292)

受信文書プリントと自動出力レポートプリントの優先順位を設定します。



## ■診断

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押して表示させます。

### 自動診断

(基本P224)

自動診断機能を実行するときの操作です。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

メモリ代行受信通知音設定の選択

なし  
あり

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

ラインモニター音設定の選択

なし  
あり

+ 音量的設定  
音量を入力する  
([2])

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

呼出しベル音量の指定

音量を入力する  
([3])

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

確認/変更 ⇨

優先度の指定

優先度1 (高)  
優先度2 (中)  
優先度3 (低)

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨

⇨ <診断終了> 閉じる ⇨

操作一覧の見方

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

# 登録／設定操作一覧

## 登録／変更

### ■サブダイヤル

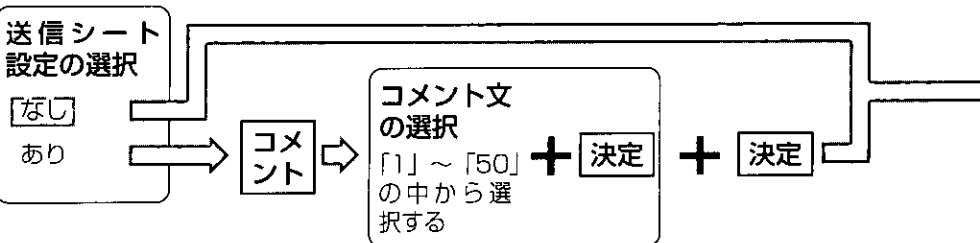
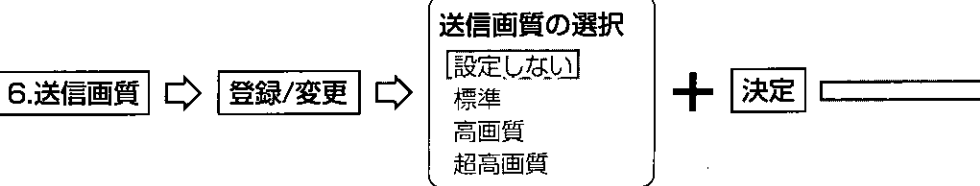
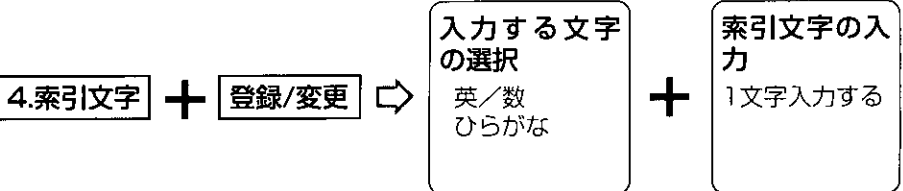
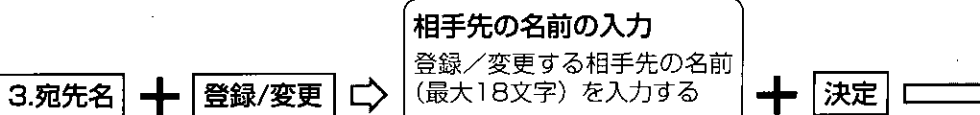
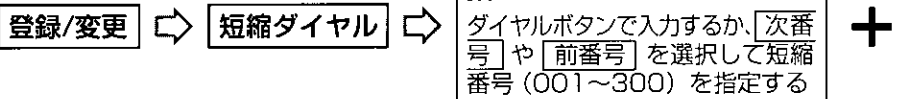
メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押して表示させます。

**サブダイヤル**  
(●P14、基本P160)  
サブダイヤルを登録／変更します。



### ■短縮ダイヤル

**短縮ダイヤル**  
(●P16~34、基本P154~157)  
短縮ダイヤルを登録／変更します。ファクス番号と相手先を登録するだけでも短縮ダイヤルとして使用できます。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使う  
通値する

3 ビジネスホンを通知する

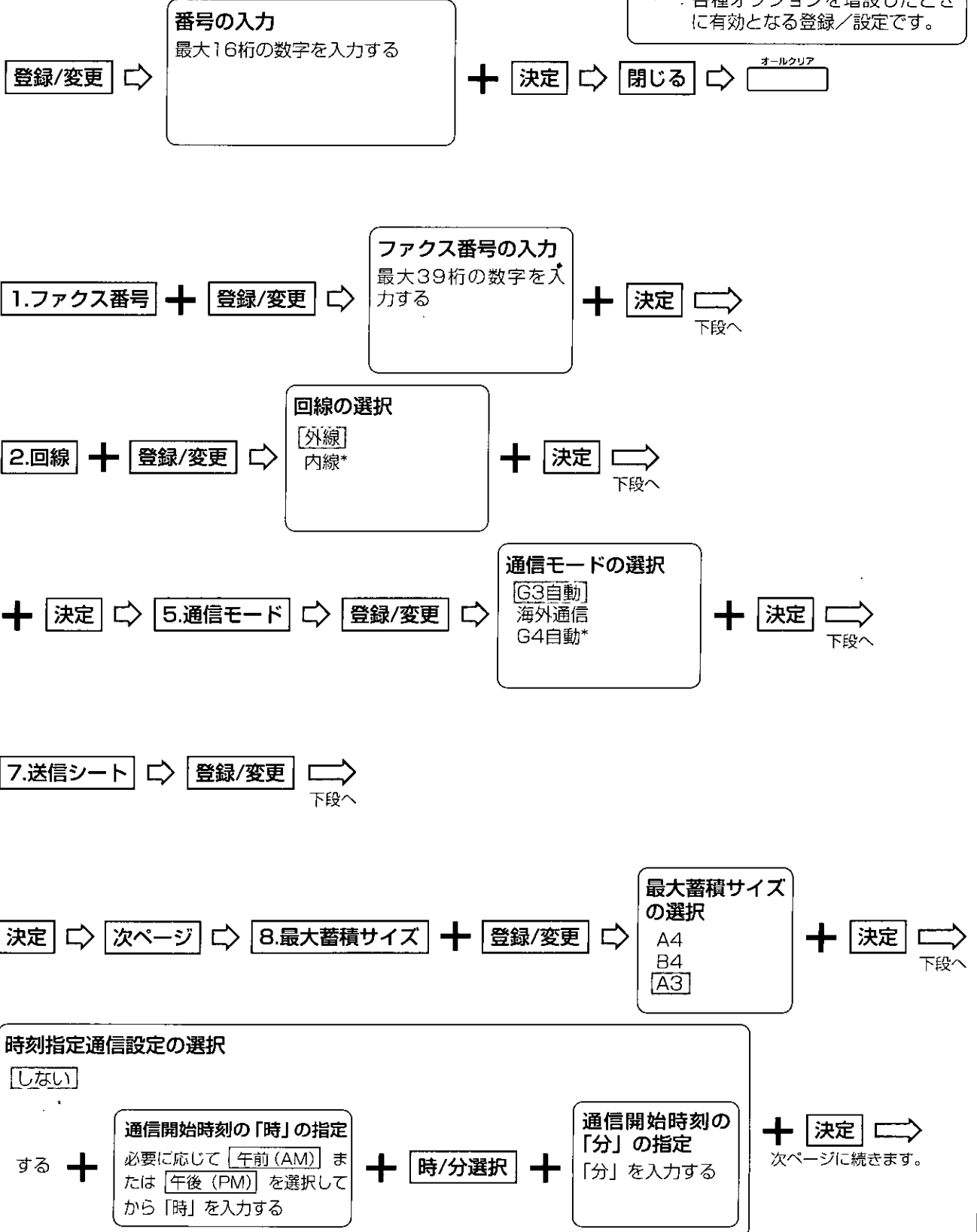
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

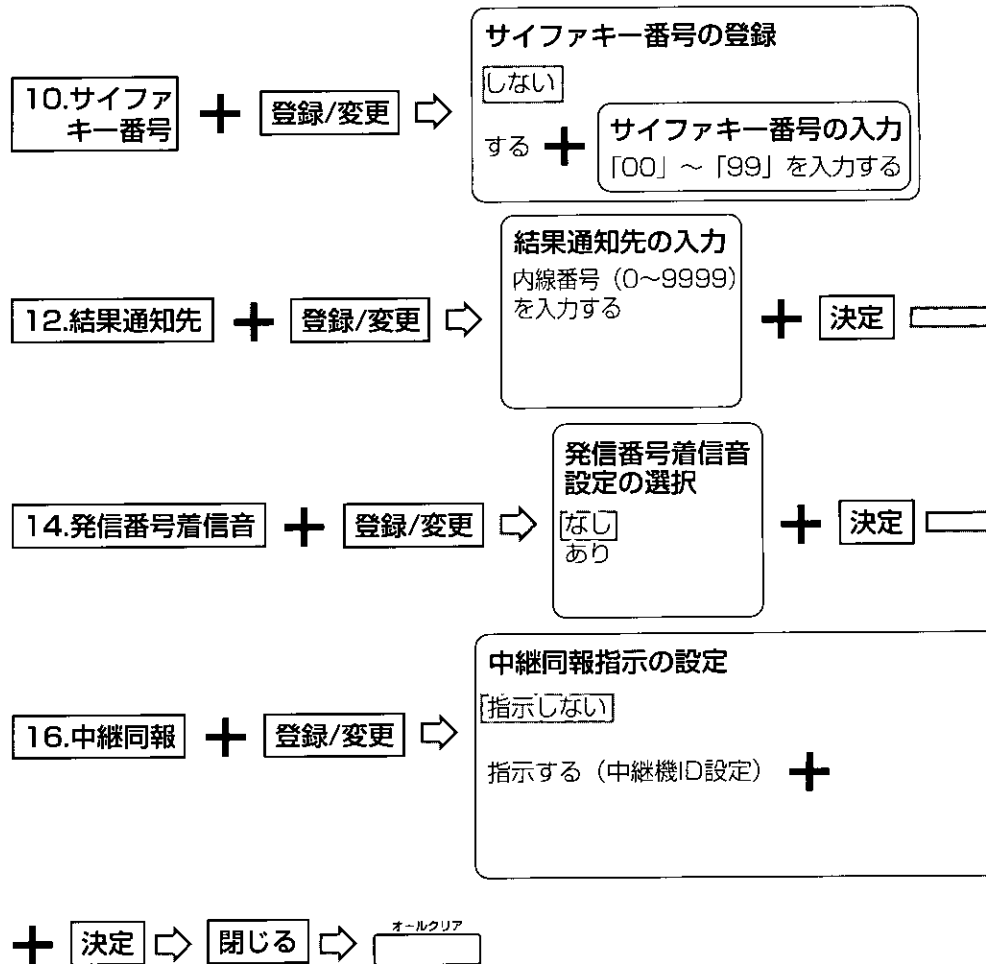
操作一覧の見方

- ➡ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- ☐ : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



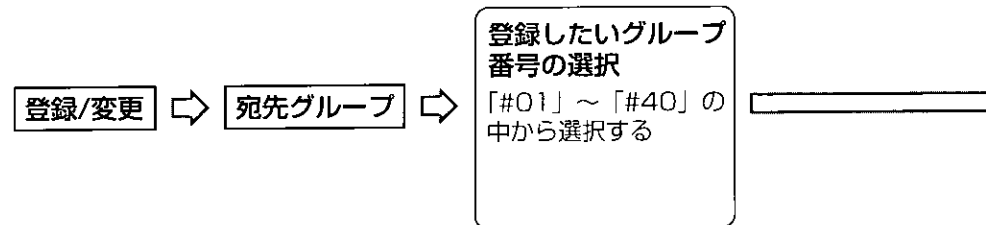
# 登録／設定操作一覧

短縮ダイヤル (つづき)

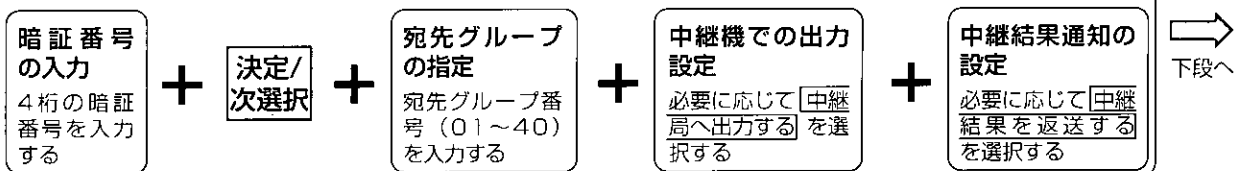
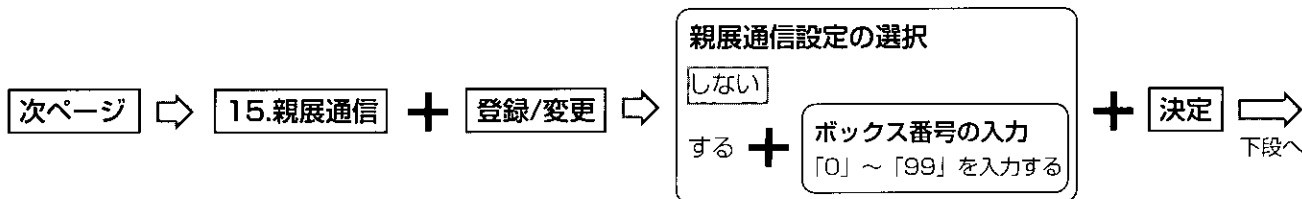
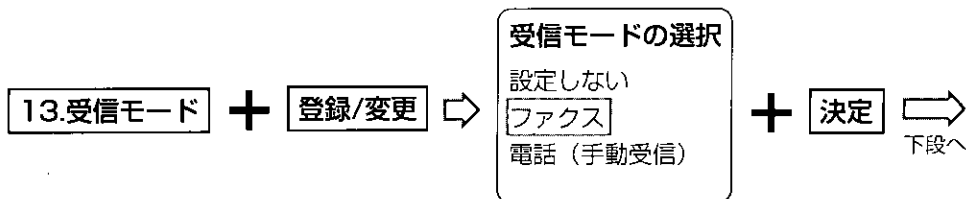
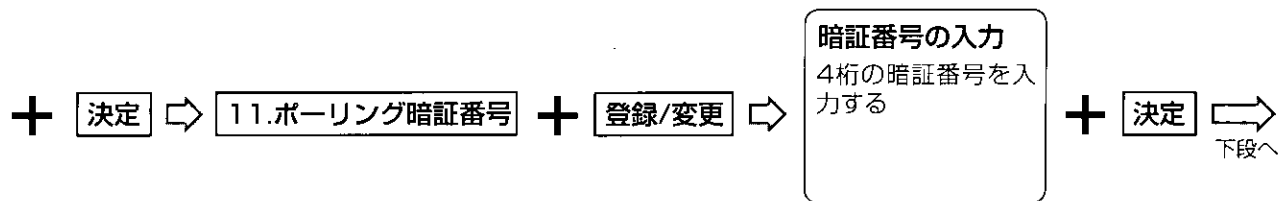


## ■宛先グループ

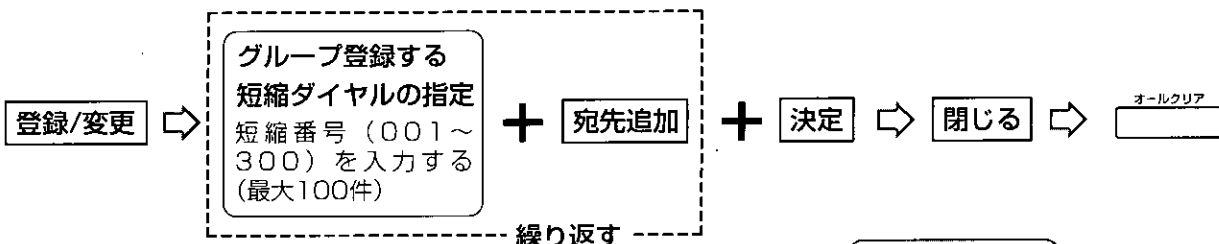
**宛先グループ**  
(●P35、基本P158)  
宛先グループを登録します  
(グループ登録したい各相手  
先があらかじめ短縮ダイヤル  
に登録しておいてください。)



- 1 通信相手登録する
- 2 便利な機能を使って通信する
- 3 ビジネスホンに通知する
- 4 各種レポートリストを出力する
- 5 いついかなる機能を設定する
- 6 ご参考に



※「15. 親展通信」と「16. 中継同報」は、同時に「する」と「指示する」に設定できません。



操作一覧の見方

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

# 登録／設定操作一覧

## ■サイファキー

### サイファキー登録用暗証番号 (●P84)

すべてのサイファキーを登録／変更するときに必要な暗証番号を登録します。

登録/変更



サイファキー



### 暗証番号の入力

4桁の数字を入力する

+

決定

### サイファキー (●P86)

サイファキーを登録／変更します。

登録/変更



サイファキー



### サイファキー登録用の暗証番号の入力

登録してある4桁の暗証番号を入力する

+

決定

## ■コメント

### コメント (●P53)

送信シートやジョブメモリに付けるコメントを登録します。

登録/変更



コメント



### 登録したいコメント番号の選択

「1」～「50」の中から選択する

+

登録/変更

## ■ジョブメモリ

### ジョブメモリ

#### (●P93、基本P133)

1つのボタンを押しただけで一連の定型操作が行えるジョブメモリを登録します。

登録/変更



ジョブメモリー



### 登録したいボタン番号の選択

「1」～「20」の中から選択する

+

### コメントを付けるかどうかの選択

コメントなし

コメントが登録されている場合

コメント選択

コメント未登録の場合

### コメント番号の選択

「1」～「50」の中から登録済みの番号を選択する

+

### コメントを登録したいコメント番号の選択

「1」～「50」の中から未登録の番号を選択する

+

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンを通知する

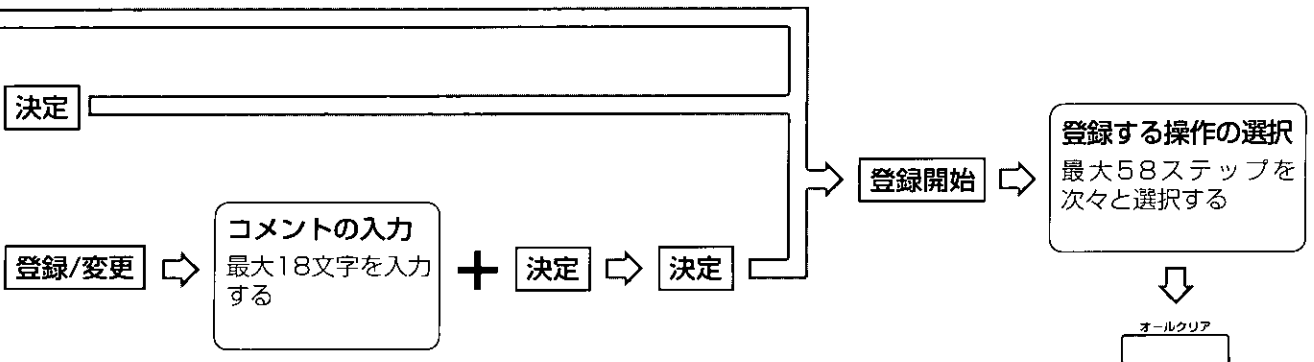
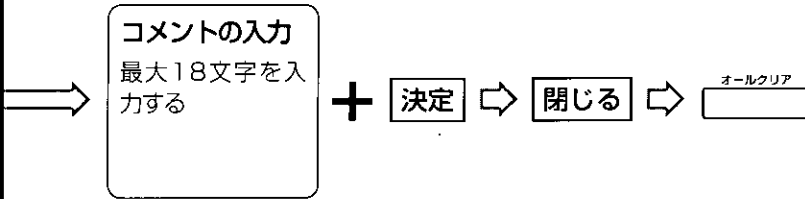
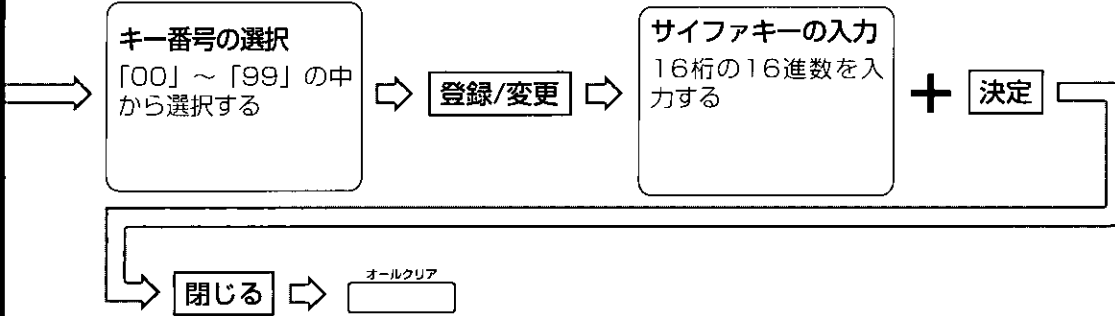
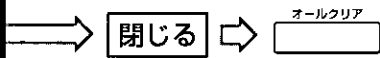
4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

操作一覧の見方

- ➡ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- ☐ : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 登録／設定操作一覧

## ■ 自局情報

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

### 自局名 (●基本P34)

相手先のディスプレイや通信管理レポートに表示される自局名を登録します。



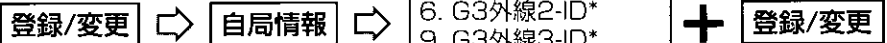
### 発信元名 (●基本P36)

発信元記録や送信シートにプリントされる発信元名を登録します。



### G3 ID (ファクス番号) (●基本P38)

G3 ID (ファクス番号) を登録します。

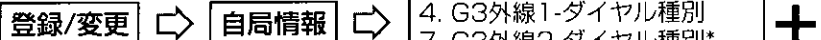


#### 登録する外線を選択

- 3. G3外線1-ID
- 6. G3外線2-ID\*
- 9. G3外線3-ID\*

### ダイヤル種別 (●基本P38)

回線ごとにダイヤル種別を登録します。

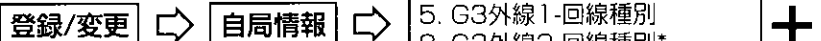


#### 登録する回線の「ダイヤル種別」の選択

- 4. G3外線1-ダイヤル種別
- 7. G3外線2-ダイヤル種別\*
- 10. G3外線3-ダイヤル種別\*

### 回線種別 (●基本P38)

回線ごとに回線種別を登録します。



#### 登録する回線の「回線種別」の選択

- 5. G3外線1-回線種別
- 8. G3外線2-回線種別\*
- 11. G3外線3-回線種別\*

### G4 ID\*

#### (●基本P42)

G4通信ユニット (オプション) 増設時にG4 IDを登録します。



次々ページに続きます。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使っている

3 ビジネスホンを通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 参考

操作一覧の見方

⇒ : 次の画面または操作パネルで操作します。

+ : 同一の画面で操作します。

□ : お買い求め時の設定を表わします。

\* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

自局名の入力  
カタカナ/英数字/記号で最大20文字を入力する

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

発信元名の入力  
最大30文字を入力する

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

ファクス番号の入力  
最大20桁の数字を入力する

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

ダイヤル種別の選択  
PB  
10pps  
20pps

登録/変更 ⇒

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

回線種別の選択  
NTT  
PBX

登録/変更 ⇒

+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

登録するG4回線IDの選択  
21. G4回線1-ID  
22. G4回線2-ID

+ 登録/変更 ⇒

G4 IDの入力  
国コード-加入者番号=加入者略号の順で入力する

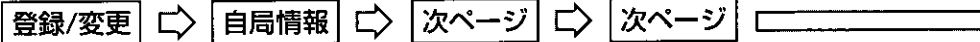
+ 決定 ⇒ 閉じる ⇒  オールクリア

# 登録／設定操作一覧

## ISDN ID\*

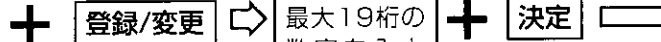
(●基本P44)

ISDN ID (ファクス番号、サブアドレス、通信能力、発信番号通知) を登録します。



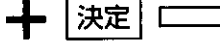
### 登録するISDN IDの「サブアドレス」の選択

- 24. ISDN ID1-サブアドレス
- 28. ISDN ID2-サブアドレス
- 32. ISDN ID3-サブアドレス
- 36. ISDN ID4-サブアドレス



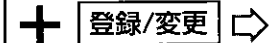
### サブアドレスの入力

最大19桁の数字を入力する



### 登録するISDN IDの「発信番号通知」の選択

- 26. ISDN ID1-発信番号通知
- 30. ISDN ID2-発信番号通知
- 34. ISDN ID3-発信番号通知
- 38. ISDN ID4-発信番号通知



### 発信番号通知設定の選択

しない  
する

## ■発信番号識別／ダイヤルイン登録

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

### ダイヤルイン

(●P102)

ダイヤルイン契約時に、回線にファクス用、電話用の各電話番号を登録し、回線契約種別に「ダイヤルイン」を設定します。



### 電話用の電話番号の入力

下4桁を入力する



### モデムダイヤルイン接続

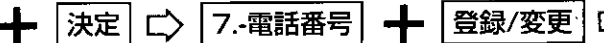
(●P119)

ナンバーディスプレイとダイヤルインの契約時に、ファクス用、電話用の各電話番号を登録し、モデムダイヤルイン接続を設定します。



### ファクス用の電話番号の入力

市外局番から入力する



次々ページに続きます。

**1**  
登録する  
通信相手を

**2**  
通信する  
便利な機能を使って

**3**  
に通知する  
ビジネスホン

**4**  
を出力する  
各種レポート/リスト

**5**  
を設定する  
いろいろな機能

**6**  
ご参考に

登録するISDN IDの選択  
23. ISDN ID1-(FAX番号)  
27. ISDN ID2-(FAX番号)  
31. ISDN ID3-(FAX番号)  
35. ISDN ID4-(FAX番号)

+ 登録/変更 ⇨

ファクス番号の入力  
最大32桁の数字を入力する

+ 決定 ⇨  
下段へ

登録するISDN IDの「通信能力」の選択  
25. ISDN ID1-通信能力  
29. ISDN ID2-通信能力  
33. ISDN ID3-通信能力  
37. ISDN ID4-通信能力

+ 登録/変更 ⇨

通信能力の選択  
電話/G3/G4で なし  
ありを選択する  
なし  
あり

+ 決定 ⇨  
下段へ

+ 決定 ⇨ 閉じる ⇨ オールクリア

**操作一覧の見方**

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- + : 同一の画面で操作します。
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。

登録/変更 ⇨ ファクス用の電話番号の入力  
下4桁を入力する

+ 決定 ⇨

3.-電話番号

+ 登録/変更 ⇨

下段へ

登録/変更 ⇨ ダイヤルイン + 決定 ⇨ 閉じる ⇨ オールクリア

登録/変更 ⇨ 発信番号通知/ダイヤルイン

+ 決定 ⇨

6.-ファクス番号

+ 登録/変更 ⇨

下段へ

電話用の電話番号の入力  
市外局番から入力する

+ 決定 ⇨

5.-モデムダイヤルイン接続

+ 登録/変更 ⇨

下段へ

# 登録／設定操作一覧

## 回線契約種別

(●P110)

ナンバー・ディスプレイ契約時に、回線契約種別に「発信番号通知」または「発信番号通知/ダイヤルイン」を設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



1.外線1の回線契約種別

## 発信番号応用機能

(●P112)

本装置のナンバー・ディスプレイ対応機能によって受信した発信電話番号を使って、各応用機能を利用するかどうかを設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



8.発信番号応用機能

## 着信音設定

(●P114)

ナンバー・ディスプレイ契約時に、相手先が短縮ダイヤルに登録されている場合に鳴らす着信音を設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



9.着信音設定

## 発信番号蓄積

(●P115)

ナンバー・ディスプレイ契約時に、発信電話番号蓄積機能を利用するかどうかを設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



10.発信番号蓄積

## 相手名変換 (●P116)

ナンバー・ディスプレイ契約時に、相手名変換機能を利用するかどうかを設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



次ページ



11.相手名変換

## 発信番号識別着信

(●P117)

ナンバー・ディスプレイ契約時に、発信番号識別機能を利用するかどうかを設定します。

登録/変更



発信番号識別/  
ダイヤルイン



4.発信番号識別着信

## ■親展ボックス

メニュー画面が表示されていないときは、[機能切り替え] ボタンを繰り返し押し表示させます。

## 親展ボックス (●P75)

親展受信文書を蓄積するための親展ボックスを登録します。

登録/変更



親展ボックス



登録したい親展ボ  
ックス番号の選択

「01」～「30」から選  
択する



登録/変更

受信結果通知先を登録しない場合

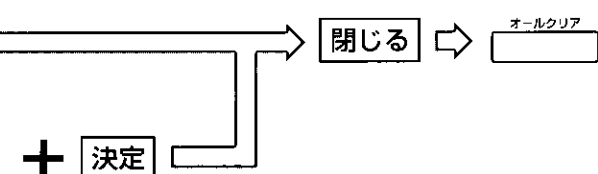
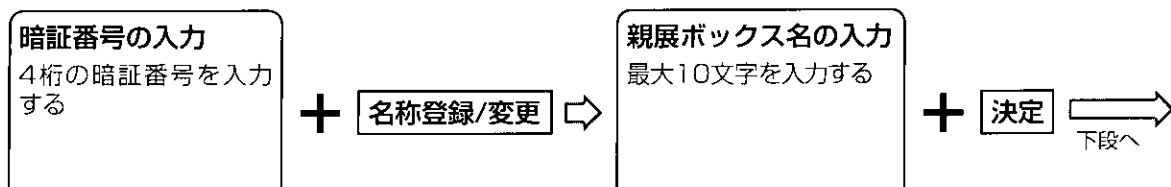
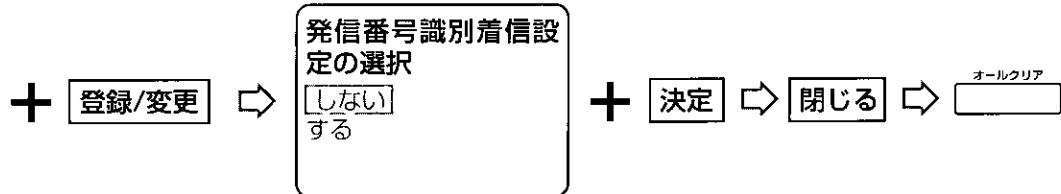
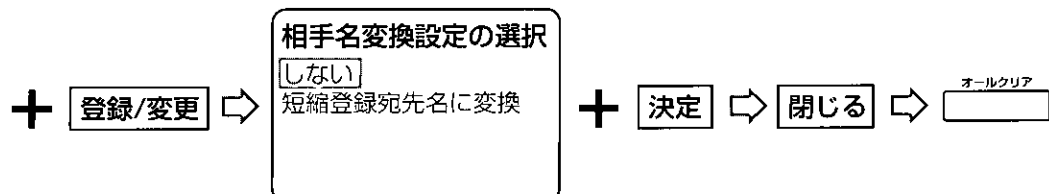
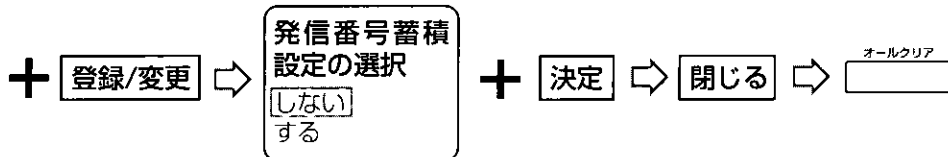
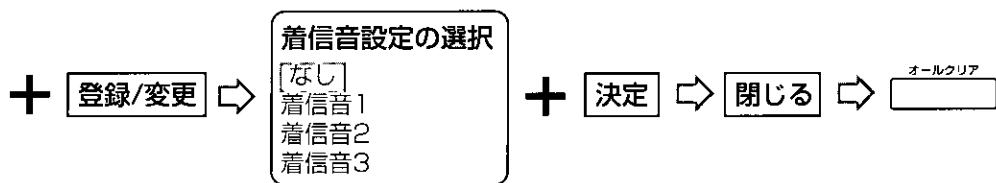
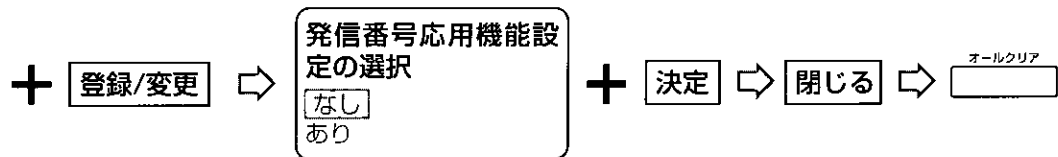
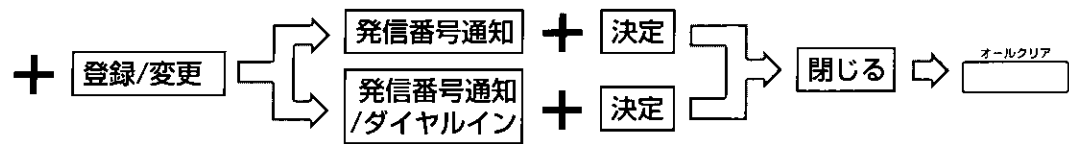
受信結果通知先を  
登録する場合

結果通知先登録/変更



結果通知先の入力  
内線番号 (0~9999)  
を入力する

- 1** 登録する  
通信相手を手を登録する
- 2** 通信する  
便利な機能を使って通信する
- 3** ビジネスホンに通知する
- 4** 各種レポート/リストを出力する
- 5** いろいろな機能を設定する
- 6** ご参考に



**操作一覧の見方**

- ⇨ : 次の画面または操作パネルで操作します。
- +
- : お買い求め時の設定を表わします。
- \* : 各種オプションを増設したときに有効となる登録/設定です。



# 各種オプションについて

オプション品については、NTT窓口等へお問い合わせください。

オプション	ご利用になると	参照ページ
増設記録紙カセット	用紙トレイ4となります。	●基本P21
多重手差しキット	多重手差しトレイとなります。	●基本P22
自動両面ユニット	両面コピー/両面プリントのときに、用紙を反転させます。自動的に用紙の両面にコピー/プリントすることができます。	●基本P21
サイドトレイキットA	用紙のおもて面を上にして排出することができます。 簡易サイドトレイとともに、オフセット出力キットが同梱されています。	●基本P22、 129
サイドトレイキットB	用紙のおもて面を上にして排出することができます。 自動両面ユニットを装着している場合にご利用になれるサイドトレイです。	●基本P22
G4通信ユニット	G4通信を行えます。	●P337、 338
増設G3ポート(3回線まで)	G3回線を増設します。(合計で3回線まで増設できます。)	—
増設G4ポート	2つのG4通信を同時に行えます。	—
外線/内線切替キット	外線と内線を切り替えることができます。	●P91、 基本P179
済スタンプキット	DADF(自動両面原稿送り装置)にセットすると、読み終わった原稿にスタンプを押すことができます。	●P334、 336
デュアルアクセス拡張キット	2つの作業を同時に行う場合の組み合わせが多くなります。	—
増設メモリ(4MB)	原稿読み取り容量が増加します。	—
PCプリンタユニット	本装置をプリンタのかわりとしてご利用になれます。	—
LAN接続ユニット	LAN接続した場合、ネットワーク環境でのプリンタとしてご利用になれます。	—
LANボード	LAN接続を行なえます。(10Base5、10Base2/T、Local Talk、Token Ring)	—
プリンタ増設RAMモジュール	本装置をプリンタとしてご利用になる場合、プリント処理効率が増加します。	—

## 済スタンプを利用する

済スタンプを利用すると、DADF(自動両面原稿送り装置)にセットした原稿が、1枚ずつ確実にメモリに蓄積されたかどうかを確認することができます。

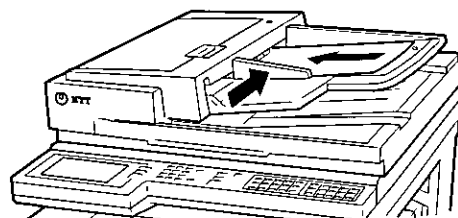
### 送信時に済スタンプを設定する

原稿をDADF(自動両面原稿送り装置)にセットするときに、済スタンプ機能を設定します。DADF(自動両面原稿送り装置)を通過した原稿にスタンプが押されていないときは、もう一度送信し直してください。済スタンプは、コピー時には設定できません。

1

#### 原稿をDADF(自動両面原稿送り装置)にセットします。

原稿をセットするには(●基本P54)



2

#### ファクス画面が表示されるまで【機能切り替え】ボタンを繰り返し押します。

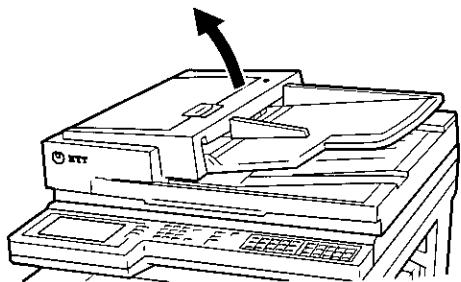


# 各種オプションについて

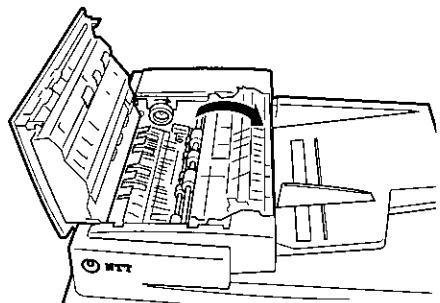
## ■済スタンプを交換する

済スタンプの写りがうすくなったら、印体（スタンプインク）を交換してください。

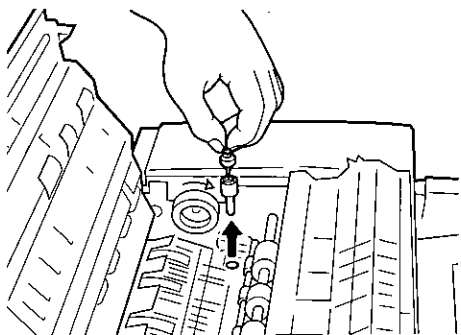
- 1** 原稿読取部カバーのレバーを上げながら、カバーを開きます。



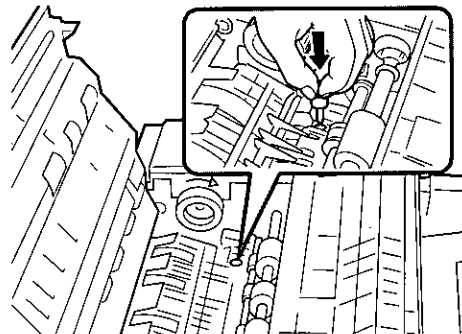
- 2** 緑色のラベル部を持って内側のカバーを開けます。



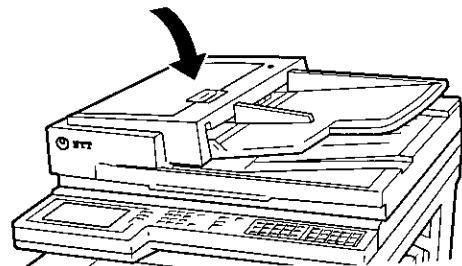
- 3** うすくなったスタンプの印体に、ピンを突き刺して抜き取ります。  
印体のスポンジ部分だけ抜き取れたときは、印体の下部分も抜き取ってください。



- 4** 新しいスタンプ（印体）を差し込みます。



- 5** 内側のカバーを戻して、原稿読取部カバーをカチッと音がするまで閉じます。



### STOP お願い

- スタンプ面には直接手を触れないでください。手などに付着した場合は、すみやかに洗ってください。

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 音響レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に

### G4通信ユニットを利用する

G4通信ユニットを増設すると、高速なファクス通信を行うことができます。  
電話回線とISDN回線の両方の回線に接続してお使いの場合には、G3モードとG4モードとを切り替えて送信できます。

以下の機能は、G4モードでは利用できません。

- 中継同報送信 (●P42)
- 親展通信 (●P74)
- サイファ通信 (●P82)
- 送信先部数 (●P63)

### G4通信ユニットを増設したときの通信モード

G4通信ユニットを増設したときは、通信モードの初期値を「G4自動」に設定しておくとう便利です。(●P304、基本P147) 通信モードを「G4自動」にしておくと、送信する相手先のファクスがG3機だった場合に、自動的に通信モードをG3に切り替えて再送します。



### お知らせ

- 通信モードを「G3自動」に設定して通信を行う場合は、必ず電話回線も接続しておいてください。
- 本装置は、ISDN回線の2チャンネルを同時に使用することはできません。1チャンネルのみを使用します。

### 増設G3ポートを利用する

増設G3ポート(オプション)装着時は、外付け電話機をオフフックしても、オフフック画面が表示されません。したがって、外付け電話機での手動送信、手動受信はご利用できません。

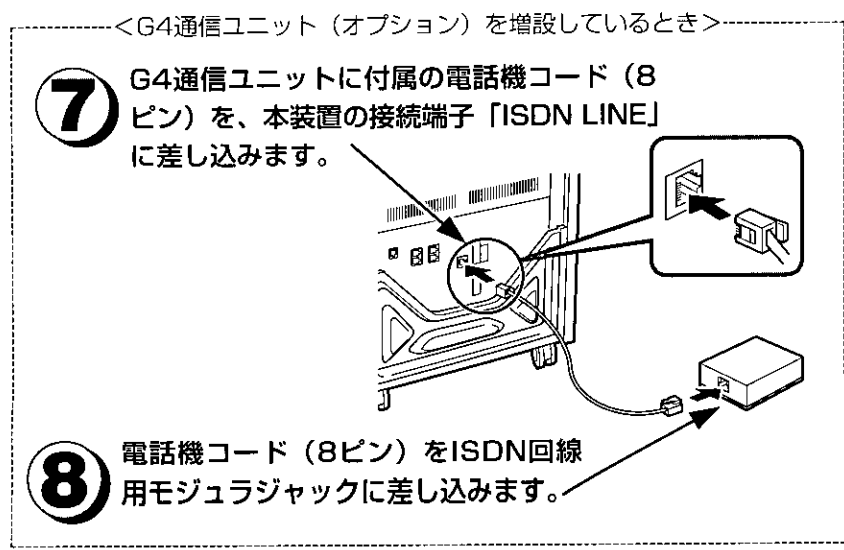
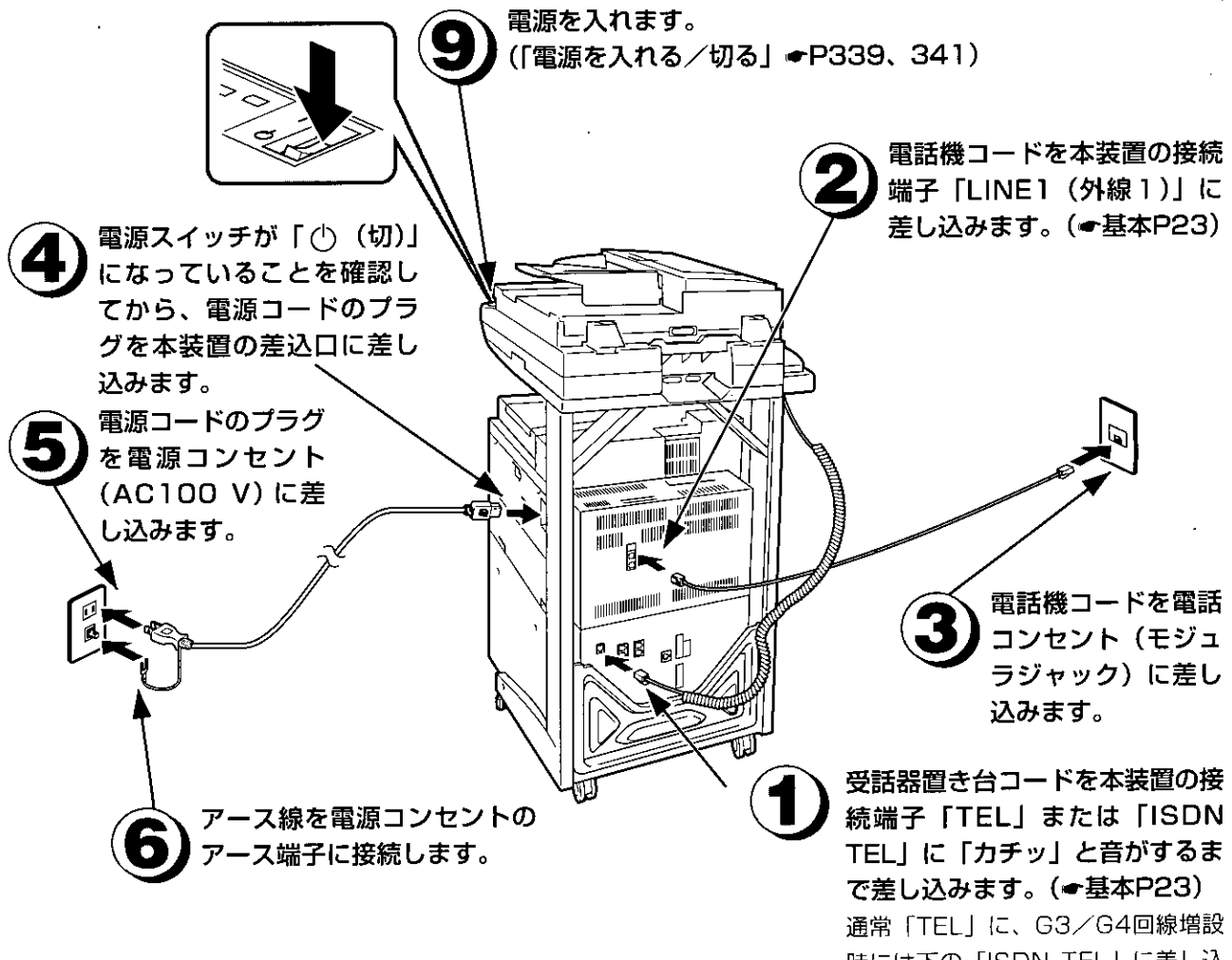


# 機器を設置、接続するには

設置工事は担当者（工事担任者資格を有する者）におまかせください。  
 本装置をご使用にあたり、NTTのレンタル電話機が不要になった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ「機器使用料金」は不要となります。

## 電源、電話回線を接続する

図のように、接続を行います。電源プラグは、電源スイッチが「**⏻**（切）」になっていることを確認してから差し込んでください。



1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

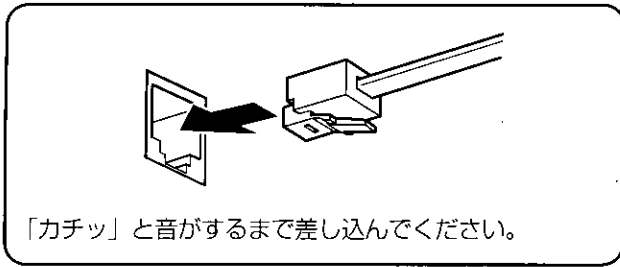
3 ビジネスホンに通知する

4 音速レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

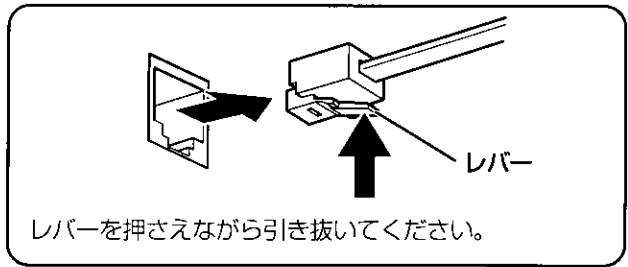
6 ご参考に

●電話機コードや受話器置き台コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●電話機コードや受話器置き台コードを抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

**STOP** お願い

- 電話回線がモジュラジャック式でないときは、NTT窓口等へお問い合わせください。接続工事には、工事担当者資格が必要です。
- お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合には、本装置あるいは外付け電話機をご使用になれないことがあります。この場合には、他の電話機を外して接続してください。
- 本装置を移転、移動するときは、NTT窓口等へご相談ください。

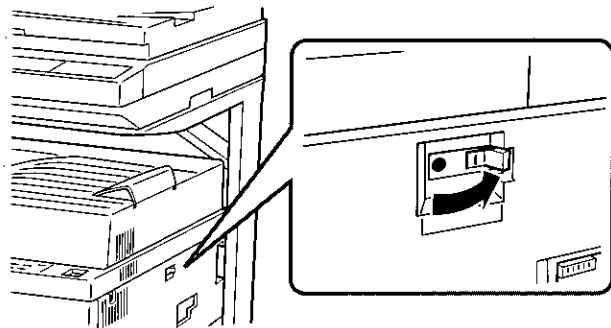
**警告**

- 電源コードは必ず付属のものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

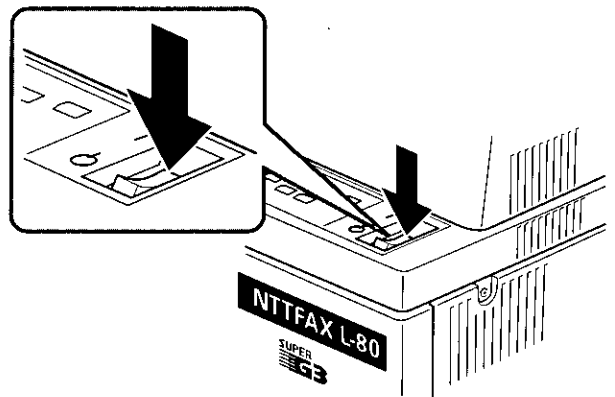
**電源を入れる／切る**

**■電源を入れる**

**1** ブレーカースイッチを「| (入)」にします。ブレーカースイッチは、長期間使用しない場合や移動する場合以外、「| (入)」にしておきます。

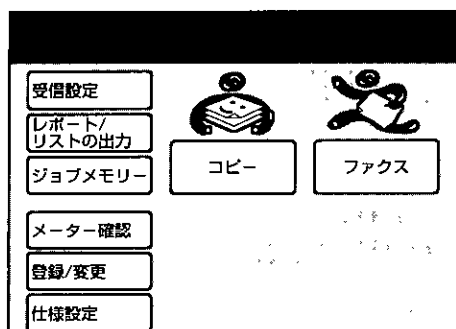


**2** 電源スイッチを「| (入)」にします。電源が入ります。



約48秒すると、タッチパネルディスプレイの表示が初期画面に変わります。この状態になれば、操作することができます。

初期画面をメニュー画面以外に設定している場合は、初期画面に設定している画面が表示されます。





# 機器を設置、接続するには





## スタート予約について

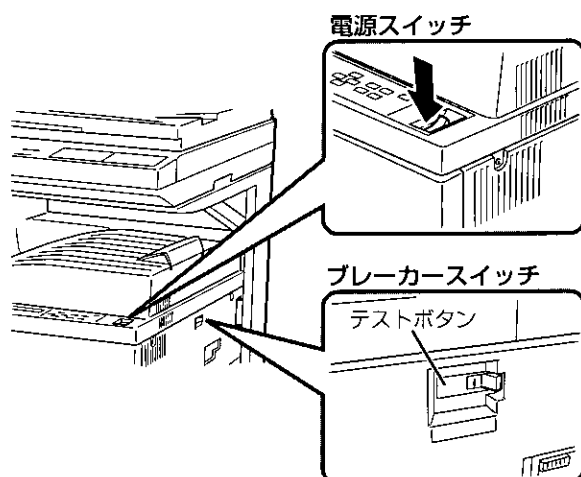
タッチパネルディスプレイの表示が初期画面に変わったら、操作が行えます。コピー画面を表示させて原稿をセットし、[スタート] ボタンを押すと、コピーできる状態になり次第、自動的に読み取りが開始されます。この機能を「スタート予約」と呼びます。

- スタート予約をすると、タッチパネルディスプレイのメッセージエリアに「自動的にスタートします。(スタート予約中)」と表示されます。
- スタート予約を解除するには  
[ストップ] ボタンを押します。  
また、操作パネルのいずれかのボタンを押すと、スタート予約は解除されます。

## 漏電保護回路について

本装置には、漏電保護回路がついています。1か月に一度は、以下の方法で、漏電保護回路が正常に作動するか確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電の原因になることがあります。

- ①電源スイッチを「 (切)」にします。
- ②ボールペンなどの先で、ブレーカースイッチの左にあるテストボタンを押します。  
ブレーカースイッチが「 (入)」から「 (切)」に切り替われば、正常に作動しています。
- ③確認後、ブレーカースイッチ、電源スイッチの順に「 (入)」にします。



## 節電機能について

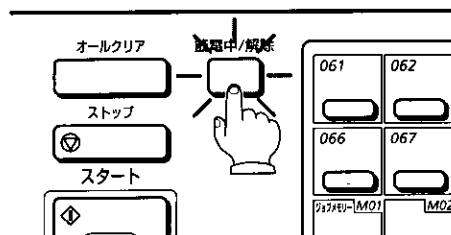
節電機能とは、電源が入っている状態で一定時間使用しないしていると、自動的に機械が待機状態になる機能です。待機中は電力が節約できます。

- 節電状態には、以下の3つのモードがあります。
  - ROSセーブ……………モーターが止まっている状態
  - ローパワーモード…ヒーター部の温度を下げている状態
  - スリープモード……ヒーター部の電力を止めて、もっとも電力を節約できる状態

ローパワーモードまたはスリープモードのときは、タッチパネルディスプレイが消灯し、[節電中/解除] ボタンが点灯します。

### ●節電状態を解除するには

点灯している [節電中/解除] ボタンを押します。また、操作パネルのいずれかのボタンを押しても、節電状態が解除されます。ローパワーモードのときは、DADF (自動両面原稿送り装置) に原稿をセットしたり原稿カバーを上げても解除されます。




## ワンポイント……………

- 節電モードの設定を変更するには (●P288)



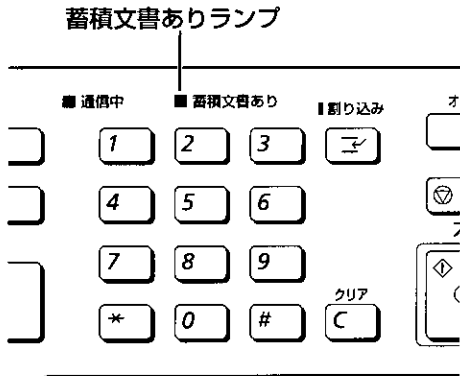
## お知らせ

- 電源スイッチは、ドラム/トナーカートリッジと用紙をセットしたあとで「 (入)」にしてください。
- ブレーカースイッチが連続して落ちる場合は、当社のサービス取扱所に連絡してください。

- 1 通信相手を登録する
- 2 便利な機能を使う
- 3 ビジネスホンに通知する
- 4 音種レポート/リストを出力する
- 5 いろいろな機能を設定する
- 6 参考

## ■電源を切る

- 1 電源を切る前に、必ず操作パネルの蓄積文書ありランプが消灯していることを確認してください。

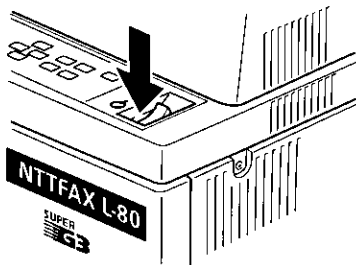


蓄積文書ありランプが点灯しているときに電源を切ると、コピーの蓄積文書は削除されます。また、電源を切って約3時間以上放置すると、メモリに蓄積されている文書が削除されます。

### 蓄積文書ありランプが点灯しているときは

代行蓄積文書があるかどうかを確認します。  
 代行蓄積文書があるときは、ディスプレイの指示に従って出力します。  
 代行蓄積文書がないときは、蓄積文書リスト(●P166)を出力し、内容を確認します。

- 2 電源スイッチを「 (切)」にします。

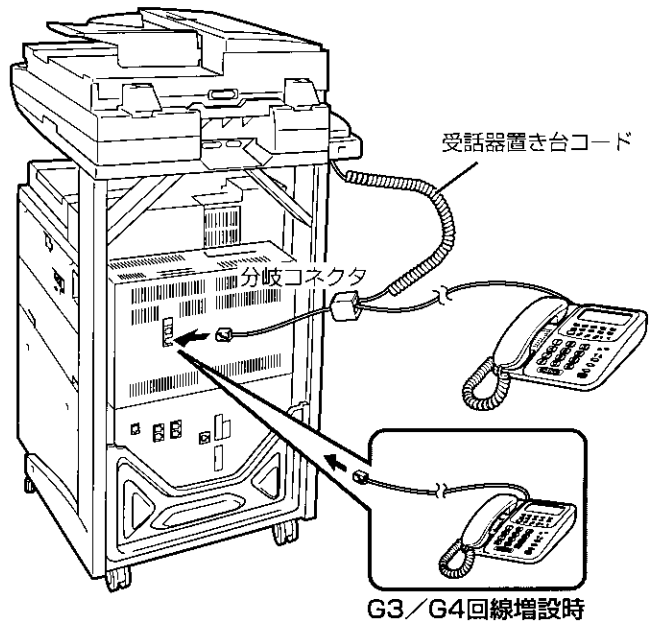


### 蓄積文書ありランプが点灯しているときに電源を切ると

コピーの蓄積文書は、電源を切ると削除されます。また、電源を切って約3時間以上放置すると、メモリに蓄積されている文書が削除されます。削除された文書は復旧できません。また、約3時間以内で復旧できるのは、それ以前に約72時間以上充電していた場合に限られます。

## ■外付け電話機を接続する

お手持ちの電話機(留守番電話機など)を外付け電話機として接続するときは、通常、本装置の受話器置き台コードと外付け電話機の電話機コードを分岐コネクタに接続して、本装置の接続端子「TEL」に差し込んでください。また、G3/G4回線増設時は、外付け電話機の電話機コードを直接本装置の接続端子「TEL」に差し込んでください。この場合、受話器置き台コードは本装置の「ISDN TEL」に差し込みます。(●P338)



### お知らせ

- ISDN回線のみ接続して使用している場合やアナログ回線使用時には、ISDN回線で外付け電話機を使って、電話をかけることはできません。

### STOP お願い

- 本装置の接続端子「TEL」は、一般電話回線に接続する一般の電話機を1台だけ接続できます。ただし、この端子は、一般電話回線の仕様と完全には一致していません。このため、接続する電話機によっては、正常に動作しない場合があります。また、電話機以外の通信機やビジネスホンなどを接続した場合も、正常に動作しない場合があります。
- 外付け電話機は、電話回線の種類に合ったものをお使いください。外付け電話機の種類によってはご使用になれない場合や、一部機能がご利用になれない場合があります。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- 外付け電話機の電話機コードがモジュラプラグ式でないときは、NTT窓口等へお問い合わせください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。
- 増設G3ポート(オプション)装着時は、外付け電話機をオフフックしても、オフフック画面が表示されません。したがって、外付け電話機での手動送信、手動受信はご利用できません。



## 主な仕様

外觀・仕様などは、改良のため予告なしに変更することがあります。

コピー原稿 サイズ	DADF (自動両面 原稿送り装置)	最大：幅 297×長さ432 mm 最小：幅 100×長さ148 mm
	コピーガラス	最大：幅 297×長さ420 mm 最小： —
送信原稿 サイズ	DADF (自動両面 原稿送り装置)	最大：幅 300×長さ3600 mm (片面原稿) 幅 300×長さ432 mm (両面原稿) 最小：幅 100×長さ148 mm
	コピーガラス	最大：幅 297×長さ420 mm 最小： —
用紙サイズ		コピー時：A3、B4、A4、B5、A5、はがき 通信時：A3、B4、A4、B5、A5
有効読み取り幅		297 mm
有効記録範囲		289 mm
走査方式		CCDイメージセンサによる平面走査
走査線密度	コピー時	読み取り部：主走査 (23.6 dot/mm) ×副走査 (23.6 dot/mm) (600 dpi) 記録部：主走査 (23.6 dot/mm) ×副走査 (23.6 dot/mm) (600 dpi)
	通信時	超高画質モード：主走査 (16 dot/mm) ×副走査 (15.4 l/mm) 高画質モード：主走査 (8 dot/mm) ×副走査 (7.7 l/mm) 標準モード：主走査 (8 dot/mm) ×副走査 (3.85 l/mm)
通信モード		G3、G3-ECM ※G4通信ユニット (オプション) 増設時：G4
通信速度		33600~2400 bit/s ※G4通信ユニット (オプション) 増設時：64000 bit/s、56000 bit/s
記録方式		電子写真方式
適用回線		一般電話回線、ファクシミリ通信網 (利用者) ※G4通信ユニット (オプション) 増設時：INSネット64、国際ISDN
電源		AC100±10 V 50/60 Hz
消費電力		待機 (スリープモード) 時：21 W以下 待機 (ローパワーモード) 時：103 W以下 コピー時最大消費電力：1400 W以下
直流抵抗		154 Ω
外形寸法		647 mm (横幅) ×669 mm (奥行き) ×1118 mm (高さ)
重量		約109 Kg (用紙を除く)
使用環境		温度：10~36 ℃ 湿度：15~85 % (ただし結露しないこと)

<注> NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。

<注> 一般電話回線の通信速度は、回線の条件、状況等によって33600 bit/s以下の速度になることがあります。

## 索引

## 数字/アルファベット

2イン1/4イン1	基101
DADF (自動両面原稿送り装置)	基21
原稿をセットする	基54
FAX情報サービス	応97
Fネットアクセス	応125
Fネットサービス	
Fネットを利用して送信する	応127
サービスの主な内容	応125
G3 ID	基34、38
	応328
G3 ID送出手の仕様設定を変える	応220、306
G4 ID	基34、42
	応328
G4通信ユニット	基34、147
	応334、337、338
ISDN ID	基34、44、47
	応330
ISDN回線用差込口	基23
NVM表	基20
OHP合紙	基124
PBX	応128、140
PB信号	基182
ROSセーブ	応288
仕様設定を変える	応282、288、316

## 五十音

## 【ア行】

アース線	応338
相手先	
宛先表で指定する	基151
グループ番号で指定する	基153
サブダイヤルを使って指定する	基153
ダイヤル入力で指定する	基148
短縮番号で指定する	基150
ワンタッチボタンで指定する	基150
相手名変更	応116、332
宛先グループ	
グループから宛先を削除する	基159
	応36
登録する	基158
	応35、324

ワイルドカードを使って短縮ダイヤルを  
指定する ..... 基159  
..... 応36

宛先表	基151
宛先表表示開始番号	
仕様設定を変える	応260、265、296
暗証番号	
サイファキー登録用	応84
親展ボックス用	応75
中継回線用	応45
ポーリング通信用	応67
異常終了音	
仕様設定を変える	応268、274、318
異常通知	応140
異常通知を設定する	応141、314
異常通知の表示例	応140
一般回線用差込口	基23
うら面の画像回転プリント	
仕様設定を変える	応254、312
英/数キーボード	基48
エラーメッセージ一覧	基220
お好みコピー画面	基29
画面を変更する	応204、294
お好みファクス画面	基30
画面を変更する	応262、296
オートクリア	
仕様設定を変える	応282、316
オプション	
G4通信ユニットを利用する	応337
オプション品一覧	応334
済スタンプを利用する	応334
オフセット排出	
オフセット排出とは	基129
仕様設定を変える	応199、302
オフフックダイヤル	基179
着信記録を使ったオフフックダイヤル	応124
【オールクリア】ボタン	基25
オンフックダイヤル	基180
【力行】	
海外通信	応98
回線	
回線を短縮ダイヤルに登録する	応20
回線契約種別	応110、332
回線種別	基38
	応328

1 通信相手を登録する

2 便利な機能を使って通信する

3 ビジネスホンに通知する

4 各種レポート/リストを出力する

5 いろいろな機能を設定する

6 ご参考に



- 小冊子となるようにコピーする ……基120  
 ジョブメモリを使ってコピーする ……基132、139  
 ソート機能を使ってコピーする ……基116  
 縦長／横長に変形する ……基86  
 中止する ……基77  
 次のコピーを予約する ……基58  
 とじしろをつける ……基83  
 途中で読み取りの設定を変える ……基73  
 濃度を調整してコピーする ……基69  
 倍率を指定してコピーする ……基64  
 倍率を自動的に選択させてコピーする ……基66  
 はがきにコピーする ……基114  
 部数を指定してコピーする ……基57  
 見開き原稿を左右に分割してコピーする ……基99  
 用紙を指定してコピーする ……基59  
 両面コピーする ……基105  
 割り込んでコピーする ……基78  
**コピー濃度** ……基69  
 仕様設定を変える ……応174、179、300  
**コメント** ……応53、326
- 【サ行】**
- 再送**  
 自動ページ再送 ……応224  
 リダイヤル ……基143
- 最大蓄積サイズ**  
 最大蓄積サイズ設定を短縮ダイヤルに  
 登録する ……応23、322
- サイドトレイ** ……基22  
**サイドトレイキット** ……基129  
 応334  
**サイドトレイ排出** ……基130  
 仕様設定を変える ……応187、300  
**サイファキー** ……応82、83  
 削除する ……応88  
 登録する ……応86、326  
**サイファキー登録用暗証番号** ……応84、86  
**サイファキー番号** ……応82  
 サイファキー番号を短縮ダイヤルに  
 登録する ……応25、324  
**サイファキーリスト** ……応143、146、171  
**サイファ通信** ……応82  
 サイファキーを登録する ……応86  
 サイファキー登録用の暗証番号を登録する ……応84  
 サイファ送信をする ……応89  
 準備をする ……応83  
**索引文字** ……基152  
 索引文字を短縮ダイヤルに登録する ……基154  
 応20、322  
**サブアドレス** ……基47、149  
 登録する ……基45  
**サブダイヤル** ……基153  
 削除する ……応15  
 登録する ……基160  
 応14、322  
**自局名** ……基34  
 応328  
**時刻指定初期値**  
 仕様設定を変える ……応260、266、296  
**時刻指定通信** ……応40  
 時刻指定通信設定を短縮ダイヤルに  
 登録する ……応24、322  
**自動解除時の用紙トレイ**  
 仕様設定を変える ……応174、195、302  
**自動回転送信**  
 仕様設定を変える ……応212、218、306  
**自動画像回転** ……基58  
 仕様設定を変える ……応174、197、302  
**自動縮小受信**  
 仕様設定を変える ……応213、246、310  
**自動出力レポート排出先**  
 仕様設定を変える ……応213、256、312  
**自動診断** ……基224  
 応320  
**自動節電モード** ……応288  
 仕様設定を変える ……応282、290、316  
**自動トレイ切り替え**  
 仕様設定を変える ……応174、191、302  
**自動ページ再送**  
 仕様設定を変える ……応212、224、308  
**自動用紙選択** ……基58  
**自動両面ユニット** ……基21  
 応334  
**自動両面ユニット開レバー** ……基22、207  
**縮小／拡大**  
 仕様設定を変える ……応174、177、300  
**受信結果通知** ……応130  
 受信結果通知を設定する ……応136、314  
**受信紙宣言**  
 仕様設定を変える ……応213、248、310  
**受信モード** ……基174  
 受信モードを切り替える ……基175  
 受信モードを短縮ダイヤルに  
 登録する ……応27、325  
 仕様設定を変える ……応212、234、308

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
に通知する  
ビジネスホン4  
を出力する  
各種レポート/リスト5  
を設定する  
いろいろな機能6  
を参考に



# 索引

- 手動受信 ..... 基174、178
- 手動送受信初期設定
  - 仕様設定を変える ..... 応212、230、308
- 手動送信 ..... 基164
  - 相手からかかってきたとき ..... 基165
- 受話器 ..... 基20、22、164、178、179
- 受話器置き台 ..... 基20
- 受話器置き台コード ..... 応338、339
- 受話器置き台コード差込口 ..... 基23
- 順次同報送信 ..... 応37
  - 複数の相手先の指定方法 ..... 応38
- 準備完了音
  - 仕様設定を変える ..... 応268、271、318
- 仕様 ..... 応342
- 小冊子作成 ..... 基120
  - とじ位置の選択 ..... 基123
- 仕様設定
  - 一覧 ..... 応294
  - 音の仕様設定を変える ..... 応268
  - コピー画面の仕様設定を変える ..... 応201
  - コピー機能の仕様設定を変える ..... 応174
  - ファクス画面の仕様設定を変える ..... 応260
  - ファクス機能の仕様設定を変える ..... 応212
  - その他の仕様設定を変える ..... 応282
- 状態表示コード ..... 基216
- 消耗品 ..... 基197
- 初期画面
  - コピーの初期画面を変更する ..... 応202、294
  - ディスプレイの初期画面を
    - 変更する ..... 応201、294
  - ファクスの初期画面を変更する ..... 応260、294
- ジョブ自動解除
  - 仕様設定を変える ..... 応282、284、316
- ジョブメモリ ..... 基132
  - コメントを変更する ..... 基137
  - 削除する ..... 基138
  - 実行する ..... 応96
  - 登録を変更する ..... 基136
  - 登録する (コピー) ..... 基133
  - 登録する (ファクス) ..... 応93、326
- ジョブメモリーボタン ..... 基25、132、139
  - 応92
- 親展受信レポート ..... 応143、148、157、298
- 親展通信 ..... 応74
  - 準備をする ..... 応74
  - 親展受信文書をプリントする ..... 応80
  - 親展通信を短縮ダイヤルに登録する ..... 応28、324
  - 親展で送信する ..... 応78
  - 親展ボックスを開設する ..... 応75、332
  - 通知先を指定する ..... 応75、332
- 親展ボックス ..... 応74
  - 開設する ..... 応75、332
  - 削除する ..... 応77
  - 内容を変更する ..... 応77
- 親展ボックス暗証番号 ..... 応74、75
- 親展ボックス番号 ..... 応74、75、78
- 【スタート】ボタン ..... 基25
- スタート予約 ..... 応340
- ストップ ..... 基22
- 【ストップ】ボタン ..... 基25
- 済スタンプ ..... 基143
  - 交換する ..... 応334
  - 仕様設定を変える ..... 応212、214、306
  - 送信時に設定する ..... 応334
- 正常終了音 (コピー)
  - 仕様設定を変える ..... 応268、272、318
- 正常終了音 (コピー以外)
  - 仕様設定を変える ..... 応268、273、318
- 清掃をする
  - DADFの清掃をする ..... 基188
  - 原稿カバーの清掃をする ..... 基187
  - コピーガラスの清掃をする ..... 基187
  - 本体の清掃をする ..... 基187
- 接続 (設置)
  - アース線を接続する ..... 応338
  - 外付け電話機を接続する ..... 応341
  - 電源を入れる / 切る ..... 応339、341
  - 電源を接続する ..... 応338
  - 電話回線を接続する ..... 応338
- 設定
  - 異常通知を設定する ..... 応141、314
  - 音の仕様設定を変える ..... 応268、318
  - コピー画面の仕様設定を変える ..... 応201、294
  - コピー機能の仕様設定を変える ..... 応174、300
  - 受信結果通知を設定する ..... 応136、314
  - 仕様設定 (一覧) ..... 応294
  - 送信結果通知を設定する ..... 応131、314
  - 送信先部数受信を設定する ..... 応65、312
  - タイマ設定をする ..... 応282、316
  - ダイヤルイン接続を設定する ..... 応102、330

- 中継同報を設定する……………応45、314  
 ナンバー・ディスプレイ対応機能を  
 設定する……………応110、332  
 日付/時刻を設定する……………基31  
 応316  
 ファクス画面の仕様設定を変える…応260、296  
 ファクス機能の仕様設定を変える…応212、304  
 プリント優先順位を設定する……………応292、320  
 モニターレポートの出力を設定する……………応147、306  
 読み取りの設定を変える……………基162  
 留守番電話の設定をする……………基184、186  
 応310  
 レポートの出力を設定する……………応148、298  
**【設定確認】 ボタン**……………基24  
**節電機能**……………応340  
**【節電中/解除】 ボタン**……………基25  
 応340  
**セット枚数制限**  
 仕様設定を変える……………応174、189、302  
**セレクト受信**  
 一時的に設定する……………基177  
 仕様設定を変える……………応212、242、310  
**センター移動**……………基97  
 仕様設定を変える……………応174、183、300  
**センタートレイ**……………基21、129  
**操作パネル**……………基22、24  
**操作パネル異常入カ音**  
 仕様設定を変える……………応268、270、318  
**操作パネル正常入カ音**  
 仕様設定を変える……………応268、318  
**送受信通知**……………応128  
 共通通知先を登録して受信する……………応137  
 受信結果を通知させる……………応130  
 受信結果通知を設定する……………応136、314  
 送信結果を通知させる……………応129  
 送信結果通知を設定する……………応131、314  
 通知先を指定して掲示板/  
 ポーリング予約をセットする……………応135  
 通知先を指定して親展受信する……………応75、332  
 通知先を指定して送信する……………応133  
 通知先を指定してポーリング受信する……………応138  
**送信画質**  
 仕様設定を変える……………応212、214、304  
 送信画質設定を短縮ダイヤルに  
 登録する……………応22、322  
 送信時に選択する……………基144  
**送信結果通知**……………応129  
 送信結果通知を設定する……………応131、314
- 送信先部数**  
 送信先部数を指定して送信する……………応63  
 送信先部数受信を設定する……………応65、312  
**送信シート**……………応52  
 コメントを登録する……………応53  
 送信シートを設定して送信する……………応55  
 送信シートの設定を短縮ダイヤルに  
 登録する……………応22、322  
**送信中画面表示**  
 仕様設定を変える……………応260、267、296  
**送信濃度**  
 仕様設定を変える……………応212、214、304  
 送信時に選択する……………基146  
**増設記録紙カセット**……………基21  
 応334  
**ソート**……………基116  
 仕様設定を変える……………応174、185、300  
**外付け電話機**……………基179  
 応341
- 【タ行】**  
**ダイヤルイン**……………応100  
 契約についての注意……………応101  
 ダイヤルイン接続を設定する……………応102、330  
 停電になったときの電話の受け方……………応100  
 ナンバー・ディスプレイと同時契約  
 するとき……………応104  
**ダイヤル種別**  
 登録する……………基38  
 応328  
 ダイヤル種別の見分け方……………基41  
**ダイヤルトーン**……………基149  
**ダイヤル入力**……………基148  
 応38  
**ダイヤルボタン**……………基24  
**多重手差しキット**……………応334  
**多重手差しトレイ**……………基22、61、114  
**タッチパネルディスプレイ**……………基24  
 タッチパネルディスプレイの各部の  
 名前とはたらき……………基26  
**たてよこ独立変倍**……………基86  
 原稿とコピーの長さを設定する……………基89  
 たて倍率とよこ倍率を設定する……………基87  
 たて倍率/よこ倍率を自動設定させる……………基92  
**短縮ダイヤル**……………基154  
 宛先名を登録する……………基156  
 応17、322

1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
に通知する  
ビジネスホン4  
を出力する  
各種レポート/リスト5  
を設定する  
いろいろな機能6  
ご参考に



1  
登録する  
通信相手を2  
通信する  
便利な機能を使って3  
に通知する  
ビジネスホン4  
を出力する  
音種レポート/レスポ5  
を設定する  
いろいろな機能6  
を参考に

回線種別……………基38  
 ……応328  
 コメント……………応53、326  
 サイファキー……………応86、326  
 サブダイヤル……………基160  
 ……応14、322  
 自局名……………基34  
 ……応328  
 ジョブメモリ (コピー) ……基133  
 ……応326  
 ジョブメモリ (ファクス) ……応93、326  
 親展ボックス……………応75、332  
 ダイヤル種別……………基38  
 ……応328  
 短縮ダイヤル……………基154  
 ……応16、322  
 登録/変更 (一覧) ……応322  
 発信元名……………基36  
 ……応328

登録ダイヤルリスト……………応143、145、168  
 トーン信号……………基149  
 特殊記号……………基149  
 とじしろ……………基83  
 とじしろがつく位置……………基85  
 両面コピーするときの設定……………基85  
 トナー残量警告音  
 仕様設定を変える……………応268、276、318  
 ドラム/トナーカートリッジ……………基20、197  
 交換する……………基194  
 取り消し文書の未送信レポート……………応143、148、298  
 トレイ優先順位  
 仕様設定を変える……………応174、193、302

## 【ナ行】

## 内線電話機

通信結果を内線電話機に通知する……………応128  
 ファクスの異常を内線電話機に通知する……………応140  
 ナンバー・ディスプレイ……………応105  
 相手名変換を設定する……………応116、332  
 回線契約種別を設定する……………応110、332  
 サービスを利用した便利な機能……………応109  
 着信記録を使ってかけ直す……………応124  
 着信記録を表示させる……………応122  
 発信電話番号蓄積を設定する……………応115、332  
 発信電話番号着信音を設定する……………応114、332  
 発信番号応用機能を設定する……………応112、332  
 発信番号識別着信を設定する……………応117、332  
 本装置での表示例……………応107

モデムダイヤルラインの設定をする……………応119、330

## 【ハ行】

## 排出トレイ

仕様設定を変える……………応174、187、300

## はがき

往復はがきにコピーする……………基115

はがきにコピーする……………基114

発信……………基179

発信者番号通知……………基47

発信電話番号蓄積……………応115、332

## 発信電話番号着信音

発信番号着信音を短縮ダイヤルに

登録する……………応28

発信番号応用機能……………応112、332

発信番号識別着信……………応117、332

発信元記録……………基37、143

掲示板/ポーリング予約のときに

付ける……………応304

仕様設定を変える……………応212、214、304

発信元名……………基36

……応328

パワーオフレポート……………応143、172

ビジネスホン……………応128、140

左側下部カバー……………基22、209

左側上部カバー……………基207

日付/時刻を合わせる……………基31

……応316

ひらがなキーボード……………基49

ファクシミリ案内サービス……………応126

ファクスを受ける……………基174

相手先を限定して受ける……………基177

……応242

暗号化した原稿を受ける……………応82

時刻を指定して受ける……………応40

自動縮小して受ける……………応246、310

受信側の操作で原稿を受ける……………応67、72

受信紙のサイズを指定して受ける……………応248、310

受信モードを選択する……………基174

ジョブメモリを使って受ける……………応92、96

親展で受ける……………応74

電話でお話ししてから受ける……………基178

ファクス専用の電話番号で受ける……………応100、119

ファクスと電話を自動で切り替える……………基176

部数を指定してきた文書を受ける……………応63、65、312

ページ合成して受ける……………応250、310

ページ分割して受ける……………応244、310

両面にプリントして受ける……………応252、254、312



## 索引

- 留守番電話機からの操作で受ける ……基183
- ファクスを送る ……基142
- Fネットを利用して送る ……応127
- 相手先が通信中のとき ……基143
- 相手先の応答を確認してから送る ……基164
- 相手先の指定 ……基148
- 急ぎの通信を割り込ませて送る ……応39
- 同じ原稿を中継機を経由して送る ……応42、44
- 同じ原稿を複数の相手先に送る ……応37
- 海外に送る ……応98
- 外線と内線を切り替えて送る ……応91
- 原稿を暗号化して送る ……応82、89
- 現在の設定を確認する ……基143
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送る ……応57
- 時刻を指定して送る ……応40
- 受信側の操作で原稿を送る ……応67、70
- ジョブメモリを使って送る ……応92、96
- 親展で送る ……応74、78
- 送信する範囲や倍率を指定して送る ……応47
- 通信を中止する ……基166
- 通信障害のため中断されたとき ……基143
- 通信状態を確認する ……基169
- 通信待ち文書を先に送る ……基172
- 通信モードを選択する ……基147
- 途中で読み取りの設定を変える ……基162
- 表紙をつけて送る ……応52、55
- 複数の原稿を1枚にして送る ……応50
- 部数を指定して送る ……応63
- 見開き原稿を左右に分割して送る ……応61
- リダイヤルして送る ……応222、306
- 両面原稿を一度の操作で送る ……応58
- ファクス画面 ……基28、30
- お好みファクス画面 ……応262、296
- ファクス画面設定 ……応265、296
- ファクス初期画面 ……応260、294
- ファクス機能一覧画面 ……基30
- ファクス機能設定 ……応212、304
- ファクス切り替え時間
- 仕様設定を変える ……応212、232、308
- フォルダインデックス ……基26
- プッシュホンサービス ……基182
- プッシュホン信号 ……応97
- プリンタ用操作パネル ……基22
- プリント起動
- 仕様設定を変える ……応282、286、316
- プリント優先順位
- 仕様設定を変える ……応282、292、320
- ブレーカースイッチ ……基21  
    応339
- フロントカバー ……基22、194
- 分岐コネクタ ……基20
- ページ合成受信
- 仕様設定を変える ……応250、310
- ページ分割しきい値
- 仕様設定を変える ……応244、310
- ページ連写 (コピー) ……基99
- ページ連写 (ファクス) ……応61
- ポーズ ……基149
- ポート ……基149
- ポーリング暗証番号 ……応67、68
- ポーリング暗証番号を短縮ダイヤルに登録する ……応26
- ポーリング通信 ……応67
- 掲示板/ポーリング予約をセットする ……応70
- 準備をする ……応67
- 通知先を指定して受信する ……応138
- ポーリング暗証番号に登録する ……応68
- ポーリング受信をする ……応72
- ポーリング予約を解除する ……応71
- 保守サービス ……基198
- ポップアップ画面 ……基27
- 【マ行】
- 未送信レポート ……応143、148、155、298
- ミックスサイズ原稿 (コピー)
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で  
    コピーする ……基118
- ミックスサイズ原稿 (ファクス)
- 異なるサイズの原稿を一度の操作で送る ……応57
- 仕様設定を変える ……応212、214、304
- メッセージエリア ……基26
- メニュー画面 ……基28
- メモリー残量表示 ……基26、27
- メモリー送信 ……基142
- メモリーに蓄積できる原稿の枚数 ……基143
- メモリー代行受信通知音
- 仕様設定を変える ……応268、277、320
- 文字を入力する ……基48
- 特殊記号 ……基149
- 表示できる漢字 ……基200
- 英数字/記号 ……基48
- ひらがな/カタカナ/漢字 ……基49
- モジュラジャック ……応338
- モデムダイヤルイン ……応119、330

- モニターレポート……………応143、154  
 仕様設定を変える……………応212、214、306  
 送信時に設定する……………応147
- 【ヤ行】**
- 優先送信……………応39
- 用紙……………基189  
 セットできる用紙サイズと枚数……………基189  
 多重手差しトレイに補給する……………基191  
 用紙がつまったら……………基207  
 用紙トレイに補給する……………基190
- 用紙サイズ  
 セットできる用紙サイズ……………基189  
 用紙トレイの用紙サイズを変更する……………基192
- 用紙ストップ……………基21
- 用紙づまり  
 自動両面ユニットでつまったら……………基210  
 センタートレイ（出口部）でつまったら……………基207  
 多重手差しトレイでつまったら……………基210  
 トレイ部でつまったら……………基209  
 本体左側下部でつまったら……………基209  
 本体左側上部でつまったら……………基207
- 用紙トレイ……………基21、22、59  
 仕様設定を変える……………応174、175、300
- 呼出音……………基181
- 呼出しベル音量  
 仕様設定を変える……………応268、280、320
- 読み取り指定……………応47
- 【ラ行】**
- ラインモニター音量  
 仕様設定を変える……………応268、278、320
- ラック……………基9、22
- ラック接続ピン……………基22
- リダイヤル……………基143
- リダイヤル回数  
 仕様設定を変える……………応222、306
- リダイヤル間隔  
 仕様設定を変える……………応222、306
- リモートメンテナンス……………基199
- 両面原稿を送信する……………応58  
 とじ位置の選択について……………応60  
 両面原稿を一度の操作で送る……………応59
- 両面コピー……………基105  
 片面原稿を両面コピーする……………基106  
 とじ位置の選択……………基108、111
- 両面原稿を片面コピーする……………基112  
 両面原稿を両面コピーする……………基109
- 両面プリント**  
 仕様設定を変える……………応252、312
- 留守番電話機……………基183  
 接続する……………応341
- 留守番電話接続  
 仕様設定を変える……………基184  
 応238、310
- 留守番電話無音検出……………基183  
 仕様設定を変える……………応240、310
- 留守番電話モード……………基183  
 設定する……………基186
- レポート/リスト  
 機能設定リストの見かた……………応162  
 サイファキーリストの見かた……………応171  
 手動で出力する……………応144  
 親展受信レポートの見かた……………応157  
 蓄積文書リストの見かた……………応166  
 中継結果レポートの見かた……………応160  
 通信管理レポートの見かた……………応152  
 同報/集信レポートの見かた……………応158  
 登録ダイヤルリストの見かた……………応168  
 パワーオフレポートの見かた……………応172  
 未送信レポートの見かた……………応155  
 モニターレポートの出力を設定する……………応147  
 モニターレポートの見かた……………応154  
 レポートの自動出力を設定する……………応148  
 レポート/リストの種類……………応143
- レポート/リスト排出先  
 仕様設定を変える……………応256、312
- 漏電保護回路……………応340
- 【ワ行】**
- ワイルドカード  
 宛先グループの登録にワイルドカードを  
 使う……………基158  
 応36
- ワイルドカードを使って相手先を  
 指定する……………基150
- わく消し……………基95  
 仕様設定を変える……………応202、208、294、296
- 【割り込み】ボタン**……………基24
- 「割り込み」ランプ**……………基24
- ワンタッチパネル……………基25
- ワンタッチボタン……………基25、150  
 応38

1 登録する

2 通信する

3 に通知する

4 を出力する

5 を設定する

6 参考

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。  
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、  
エコマーク認定の  
再生紙を使用して  
います。

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ：<sup>トークニーナ</sup> ☎ 0120-109217〉



日本電信電話株式会社  
〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2

©1998 NTT  
本1797-1 (98.7)  
NTT FAX L-80 オウヨウ トリセツ  
帳票No.DE-0420  
891E49970